

平成 30 年度

横浜市民意識調査

ま え が き

「横浜市民意識調査」は、市民の日常生活について意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和 47（1972）年度から毎年実施しています。

本年度の調査では、市政への満足度、市政への要望、心配ごとや困っていることのほか、特集として、生活の行動範囲やインターネットの利用、地域への愛着について尋ねました。

また、定住意識や隣近所とのつき合い方についても質問しています。

市民意識調査の結果は、政策立案にあたって市民ニーズを的確に捉えるための基礎的かつ客観的なデータとして活用していきます。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

平成 31 年 3 月

横浜市政策局

目 次

I. 調査の概要	1	3. 生活意識	51
1. 目的	1	(1) 生活満足度	51
2. 構成	1	(2) 項目別生活満足度	54
3. 仕様	1	(3) 心配ごとや困っていること	62
4. 項目	1		
5. 回収結果	2	4. 地域におけるつながり	70
6. 集計方法	2	(1) 隣近所とのつき合い方	70
7. 報告書の見方	2	(2) 隣近所とのつき合いの 感じ方	74
8. 回収分析標本構成	3	(3) 隣近所とのつき合い方の まとめ	77
9. 調査票と単純集計結果	9		
II. 調査の結果	19	5. 生活の行動範囲	78
1. 市政	19	(1) 生活の行動頻度	78
(1) 市政への満足度	19	(2) 生活の行動範囲	88
(2) 市政への要望	26		
(3) 市政全体への満足度	33	6. インターネットの利用	107
(4) 満足度と要望のまとめ	37	(1) インターネットの利用状況	107
2. 定住意識	40	(2) インターネットの利用内容	109
(1) 現住地居住年数	40	(3) 情報化の進展による影響	112
(2) 前住地	42		
(3) 周辺環境の総合評価	43	7. 地域への愛着	121
(4) 現住地定住意向	46		
(5) 希望する移転先	50		
(6) 市内定住意向	50		

I. 調査の概要

1. 目的

市民の日常生活について意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題に対して、市民から回答を得る必要性が生じて各年度毎に設定する項目から構成する。

3. 仕様

- | | |
|--------------|--|
| (1) 調査地域 | 横浜市全域 |
| (2) 調査対象 | 横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 3,200 標本 (1 地点 12~18 標本、208 地点) |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳をフレームとし、日本人は層化二段無作為抽出法、外国籍市民は単純無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送留置、訪問回収
(調査票を郵送し、後日、調査員による個別訪問を行い、調査票を回収する) |
| (6) 調査時期 | 平成 30 年 5 月 25 日～6 月 11 日 |
| (7) 実査、集計、分析 | 一般社団法人輿論科学協会 |

4. 項目

- (1) 【市政】 市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度
- (2) 【定住意識】 現住地居住年数、前住地、周辺環境の総合評価、現住地定住意向、希望する移転先
- (3) 【生活意識】 生活満足度、項目別生活満足度、心配ごとや困っていること
- (4) 【地域におけるつながり】 隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方
- (5) 【生活の行動範囲】 生活の行動頻度、生活の行動範囲
- (6) 【インターネットの利用】 インターネットの利用状況、インターネットの利用内容、情報化の進展による影響
- (7) 【地域への愛着】 地域への愛着

5. 回収結果

(1) 回収分析標本数 2,352 標本 (回収率 73.5%)

(2) 未回収標本内訳

合計	転居	長期不在	一時不在	住所不明	調査拒否	その他
848	53	48	307	27	374	39
100.0% (26.5%)	6.3% (1.7%)	5.7% (1.5%)	36.2% (9.6%)	3.2% (0.8%)	44.1% (11.7%)	4.6% (1.2%)

()は、設計 3,200 標本に対する比率

6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別 (18 区別)、ブロック別 (4 ブロック)、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別 クロス集計

7. 報告書の見方

(1) n は質問に対する回答者数で、100% が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

(2) 層化二段無作為抽出法を用いた場合の標本誤差 (サンプル誤差) は、信頼度を 95% としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数 (n)、および回答比率 (P) によって異なる。

$$b = 2 \times \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

< 標本誤差早見表 >

回答比率 (P) 基数 (n)	10% または 90% 前後	20% または 80% 前後	30% または 70% 前後	40% または 60% 前後	50% 前後
2,352 人	± 1.75	± 2.33	± 2.67	± 2.86	± 2.92
2,000 人	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
1,000 人	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
500 人	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100 人	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

< 標本誤差早見表の見方 >

例えば、「ある設問の回答者数が 2,352 であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60% であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 2.86% 以内 (57.14~62.86) である」とみることができる。

ただし信頼度が 95% であるので、そのように判断することは 95% の確率で正しいことになる。

(3) 質問には、全員が 1 つの回答を選ぶもののほか、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問と 1 回答者が 2 つ以上の回答をすることができる質問がある。2 つ以上を回答する質問では、回答者の合計を回答者数 (n) で割った比率であり、通常その値は、100% を超える。

(4) 結果数値は、表章単位未満 (小数第二位) を四捨五入してあるので、内訳の合計が計 (100.0%) に一致しないこともある。

8. 回収分析標本構成

(1) 区別

	実数	割合 (%)
全体	2,352	100.0
鶴見区	189	8.0
神奈川区	140	6.0
西区	54	2.3
中区	68	2.9
南区	130	5.5
港南区	123	5.2
保土ヶ谷区	148	6.3
旭区	171	7.3
磯子区	103	4.4
金沢区	142	6.0
港北区	211	9.0
緑区	111	4.7
青葉区	179	7.6
都筑区	121	5.1
戸塚区	199	8.5
栄区	73	3.1
泉区	108	4.6
瀬谷区	82	3.5

(2) ブロック別

	実数	割合 (%)
全体	2,352	100.0
東部	581	24.7
西部	708	30.1
南部	441	18.8
北部	622	26.4

※ブロック別の構成は、以下のとおりである。

東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区

西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区

南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

(3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（平成30年3月31日現在）	
	実数	割合 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
全体	2,352	100.0	3,169,742	100.0
18～29歳	295	12.5	470,284	14.8
(18～19歳)	47	2.0	72,111	2.3
30代	304	12.9	467,797	14.8
40代	428	18.2	624,814	19.7
50代	448	19.0	507,922	16.0
60代	371	15.8	439,168	13.9
70歳以上	506	21.5	659,757	20.8
男性計	1,091	46.4	1,565,727	49.4
18～29歳	134	5.7	240,730	7.6
(18～19歳)	24	1.0	36,984	1.2
30代	145	6.2	239,803	7.6
40代	194	8.2	318,686	10.1
50代	214	9.1	264,044	8.3
60代	173	7.4	218,885	6.9
70歳以上	231	9.8	283,579	8.9
女性計	1,261	53.6	1,604,015	50.6
18～29歳	161	6.8	229,554	7.2
(18～19歳)	23	1.0	35,127	1.1
30代	159	6.8	227,994	7.2
40代	234	9.9	306,128	9.7
50代	234	9.9	243,878	7.7
60代	198	8.4	220,283	6.9
70歳以上	275	11.7	376,178	11.9

(注1) 市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

(4)ライフステージ

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値		内容	具体例
	実数	割合 (%)		
全 体	2,352	100.0		
子どもなし (計)	749	31.8		
1 単身 (1)	353	15.0	40歳未満・独身	未婚者(40歳未満) 配偶者離死別(40歳未満)
2 単身 (2)	158	6.7	40～64歳・独身	未婚者(40～64歳) 配偶者離死別(40～64歳)
3 夫婦だけ (1)	50	2.1	40歳未満・子のない夫婦	有配偶者・子どもなし(40歳未満)
4 夫婦だけ (2)	110	4.7	40～64歳・子のない夫婦	有配偶者・子どもなし(40～64歳)
5 高齢子どもなし	78	3.3	65歳以上・子どもなし	未婚者(65歳以上) 配偶者離死別・子どもなし(65歳以上) 有配偶者・子どもなし(65歳以上)
子どもあり (計)	1,521	64.7		
6 家族形成期	141	6.0	小学校入学前の乳幼児を持つ親	第一子が小学校入学前
7 家族成長前期	132	5.6	小学生の子を持つ親	第一子が小学生
8 家族成長中期	156	6.6	中学生・高校生の子を持つ親	第一子が中・高校生
9 家族成長後期	124	5.3	各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親	第一子が大学生等
10 家族成熟前期	80	3.4	学校教育を終えた子を持つ親	第一子が学校教育終了、末子が教育期
11 家族成熟中期	302	12.8	子どもが全員独立している65歳未満の親	子が全員独立した親・65歳未満
12 家族成熟後期	586	24.9	子どもが全員独立している65歳以上の親	子が全員独立した親・65歳以上
その他	82	3.5	1～12以外、分類不能	1～12以外

複数の子どもがいる場合は、第一子の状況をもとに「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」又は「10 家族成熟前期」の分類をする。ただし、「10 家族成熟前期」については、第一子が学校教育を終了し、かつ末子が教育期のものとする。

<ライフステージとその構成条件>

ライフ ステージ 質問、項目名 選択肢名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	そ の 他
		単 身 (1)	単 身 (2)	夫 婦 だ け (1)	夫 婦 だ け (2)	高 齢 子 ど も な し	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 中 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 前 期	家 族 成 熟 中 期	家 族 成 熟 後 期	
F5 子 ど も	な あ	○	○	○	○	○								
F2 年 齢	40 歳 未 満 40 歳 ~ 64 歳 65 歳 以 上	○	○	○	○	○								
F4 未 既 婚	未 婚 既 婚 ・ 有 配 偶 者 既 婚 ・ 配 偶 者 離 死 別	○	○	○	○	○								
F5 子 ど も の 成 長 段 階	小 学 校 入 学 前 小 学 校 在 学 中 中 学 校 在 学 中 高 校 在 学 中 各 種 ・ 専 修 ・ 専 門 学 校 在 学 中 短 大 ・ 大 学 ・ 大 学 院 在 学 中 学 校 教 育 終 了 { 未 婚 ・ 同 居 未 婚 ・ 別 居 既 婚 ・ 同 居 既 婚 ・ 別 居						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎

- (※注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、
「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合は、第一子の状況とする。
- (※注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを
条件とする。
- (※注3) その他は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があって、1~12以外のもの及び
分類不能なものである。

(5)世帯類型

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値		内容	具体例
	実数	割合 (%)		
全 体	2,352	100.0		
1 ひとり暮らし (1)	55	2.3	40歳未満・ひとり暮らし	未婚者(40歳未満) 配偶者離死別(40歳未満)
2 ひとり暮らし (2)	105	4.5	40～64歳・ひとり暮らし	未婚者(40～64歳) 配偶者離死別(40～64歳)
3 ひとり暮らし (3)	131	5.6	65歳以上・ひとり暮らし	未婚者(65歳以上) 配偶者離死別(65歳以上)
4 夫婦のみ(1)	164	7.0	夫婦二人暮らし・子なし	有配偶者・子どもなし
5 夫婦のみ(2)	334	14.2	夫婦二人暮らし・子が全員独立している	有配偶者・子が全員独立
6 子と同居 (1)	568	24.1	教育期の子と同居している親	有配偶者・学校教育期の子と同居
7 子と同居 (2)	365	15.5	学校教育を終えた子と同居している親	有配偶者・学校教育終了後の子と同居
8 親と同居 (1)	254	10.8	40歳未満・子なしで親と同居	未婚者(40歳未満)で親と同居 有配偶者(40歳未満)・子なしで親と同居
9 親と同居 (2)	85	3.6	40歳以上・子なしで親と同居	未婚者(40歳以上)で親と同居 有配偶者(40歳以上)・子なしで親と同居
10 祖父母と親と子	147	6.3	本人の親と子どもなど、3世代で同居	有配偶者・子と同居・親と同居(3世代)
その他	144	6.1	1～10以外、分類不能	1～10以外

「6 子と同居(1)」については、学校教育を終えた子どもの有無は問わず、教育期の子どもがいればこれに該当する。「7 子と同居(2)」は、学校教育を終えた子どものみとする。

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		ひとり暮らし(1)	ひとり暮らし(2)	ひとり暮らし(3)	夫婦のみ(1)	夫婦のみ(2)	子と同居(1)	子と同居(2)	親と同居(1)	親と同居(2)	祖父母と親子	その他
F6家族形態	ひとり暮らし	○	○	○								
	夫婦だけ 親と子(2世代) 祖父母と親子(3世代)				○	○		○	○	○	○	○
F5子どもの成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門 各種・専修・専門 短大・大学・大学院在学中					○	○					
学校教育終了	未婚・同居							○				
	未婚・別居					○						
	既婚・同居							○				
	既婚・別居					○						
F2年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(※注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終えた子どもの有無は問わない。「7子と同居(2)」は学校教育を終えた子どものみとする。

(※注2) その他は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があって、1～10以外のもの及び分類不能なものである。

(6) 出生地

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,352	100.0
横浜生まれ		760	32.3
横浜以外		1,575	67.0
無回答		17	0.7

(7) 未・既婚

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,352	100.0
既婚 (計)		1,776	75.5
有配偶		1,478	62.8
離死別		298	12.7
未婚		568	24.1
無回答		8	0.3

(8) 共働き状況 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,478	100.0
共働きしている		666	45.1
共働きしていない		797	53.9
無回答		15	1.0

(9) 職業

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,352	100.0
有職者 (計)		1,362	57.9
自営業		161	6.8
管理職		129	5.5
専門技術職		209	8.9
事務職		422	17.9
現業職		441	18.8
無職者 (計)		966	41.1
主婦・主夫		340	14.5
学生		111	4.7
無職		515	21.9
無回答		24	1.0

(10) 就業形態 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,201	100.0
会社役員		61	5.1
正社員・正規職員		683	56.9
アルバイト・パート		293	24.4
派遣社員		36	3.0
契約社員・嘱託社員		105	8.7
その他		8	0.7
無回答		15	1.2

(11) 勤務地 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,201	100.0
居住区内		248	20.6
市内他区		400	33.3
川崎市		91	7.6
川崎市を除く県内の 他市町村		73	6.1
東京都区部		325	27.1
東京都区部を除く東 京都		19	1.6
千葉県		3	0.2
埼玉県		2	0.2
その他		24	2.0
無回答		16	1.3

(12) 住居形態

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,352	100.0
持家 (一戸建て)		1,088	46.3
持家 (マンション・共同住宅)		634	27.0
借家 (一戸建て)		52	2.2
借家 (県営・市営の 共同住宅)		81	3.4
借家 (都市再生機構 (旧公 団)・公社の共同住宅)		71	3.0
借家 (社宅・公務員住宅)		46	2.0
借家 (民間アパート、民間 賃貸マンション)		350	14.9
その他		21	0.9
無回答		9	0.4

(13) 鉄道路線

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,352	100.0
横浜線		162	6.9
東横線		189	8.0
田園都市線		185	7.9
根岸線		166	7.1
相鉄線		398	16.9
東海道線北部		206	8.8
東海道線南部		263	11.2
京浜急行線		277	11.8
市営地下鉄線北部		205	8.7
市営地下鉄線南部		183	7.8
その他・不明		118	5.0

※路線を再編成したのは以下の部分である。

- ・東横線:「東横線」「みなとみらい線」
- ・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区・「南武線」、「鶴見線」
- ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外
- ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」
- ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
- ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,352]

【定住意識】 まず、お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

2.1	1	65年以上前〔昭和28年(1953年)以前〕	
2.3	2	55～64年前〔昭和29～38年(1954～1963年)〕	
6.0	3	45～54年前〔昭和39～48年(1964～1973年)〕	
8.3	4	35～44年前〔昭和49～58年(1974～1983年)〕	
12.2	5	25～34年前〔昭和59～平成5年(1984～1993年)〕	
23.3	6	15～24年前〔平成6～15年(1994～2003年)〕	
14.7	7	10～14年前〔平成16～20年(2004～2008年)〕	
12.1	8	5～9年前〔平成21～25年(2009～2013年)〕	
18.1	9	5年未満〔平成26年(2014年)以降〕	1.0 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

5.2	1	生まれてからずっと現住所に住んでいる	4.8	5	川崎市を除く県内の他市町村
30.7	2	今住んでいるのと同じ区内	6.6	6	東京都区部
31.4	3	横浜市内の別の区	2.1	7	東京都区部を除く東京都内
6.2	4	川崎市	12.5	8	そのほかの道府県・国外
			0.4		(無回答)

問3 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(〇は1つ)

44.3	1	暮らしやすい	14.5	3	どちらともいえない	2.0	5	暮らしにくい
34.9	2	どちらかという暮らしやすい	3.9	4	どちらかという暮らしにくい	0.6		(無回答)

問4 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

29.3	1	住み続ける	13.8	3	たぶん移転する	16.8	5	わからない
32.7	2	たぶん住み続ける	6.2	4	移転する			1.2 (無回答)
↓						↓		
3ページ 問5へ						3ページ 問5へ		

(問4で「3」「4」と答えた方に)

---> 問4-1 現実の問題は別として、次の移転先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ) (n=469)

13.9	1	同じ区内	28.6	2	横浜市内	20.9	3	横浜市以外	35.8	4	具体的にはわからない
0.9 (無回答)											

【生活意識】次に、日頃の生活面についてお尋ねします。

問5 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○は1つ)

24.3	1	満足しているほう	8.2	4	やや不満があるほう
45.4	2	まあ満足しているほう	5.6	5	不満があるほう
14.4	3	どちらともいえない	0.9	6	わからない
					1.4 (無回答)

問6 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

	満 足	いど うち とら 満か 足と	いど ち えら なと いも	いど うち とら 不 満と	不 満	無 回 答
(ア) 住まい	29.8	43.3	16.6	6.9	2.5	0.9
(イ) 自由に過ごせる時間	28.8	38.1	18.9	9.7	3.5	1.0
(ウ) 仕事・学業	13.6	30.6	30.4	8.8	4.5	12.2
(エ) 収入	9.4	26.8	32.7	18.6	9.7	2.8
(オ) 健康	17.8	37.2	27.5	10.6	6.0	0.9
(カ) 家族との関係	38.7	38.6	15.9	3.4	1.7	1.7
(キ) 友人や近隣とのつきあい	18.2	39.9	35.2	4.1	1.7	0.9

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

54.1	1	自分の病気や健康、老後のこと	4.8	7	近隣からの悪臭・騒音
40.8	2	家族の病気や健康、生活上の問題	3.0	8	環境問題
6.5	3	失業・倒産や収入が減ること	7.5	9	事故や災害のこと
15.2	4	仕事や職場のこと	7.8	10	犯罪や防犯のこと
24.7	5	景気や生活費のこと	11.6	11	住宅のこと
14.7	6	子どもの保育や教育のこと	3.7	12	その他(具体的に)
					13.6 13 心配ごとや困っていることはない
					1.9 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問8 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。この中から いくつでも 選んでください。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|------|----|-------------------------------------|----------|
| 47.1 | 1 | バス・地下鉄などの便 | |
| 14.5 | 2 | 幹線道路や高速道路の整備 | |
| 17.5 | 3 | 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 | |
| 4.2 | 4 | 違法駐車防止や交通安全対策 | |
| 4.0 | 5 | 駐車場の整備 | |
| 20.4 | 6 | 最寄り駅周辺の整備 | |
| 7.9 | 7 | 都心部の整備や魅力づくり | |
| 13.5 | 8 | まちなみや景観の形成や保全 | |
| 7.4 | 9 | 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり | |
| 6.6 | 10 | 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興 | |
| 0.6 | 11 | 中小企業振興や雇用の創出 | |
| 4.0 | 12 | 商店街の振興 | |
| 3.2 | 13 | 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興 | |
| 18.7 | 14 | 公園・動物園の整備 | |
| 17.3 | 15 | 緑の保全と緑化の推進 | |
| 6.9 | 16 | 河川改修と水辺環境の整備 | |
| 8.0 | 17 | 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善 | |
| 21.5 | 18 | 良質な水の確保や安定供給 | |
| 2.0 | 19 | 環境汚染や騒音などへの対策 | |
| 35.8 | 20 | ごみの分別収集、リサイクル | |
| 6.8 | 21 | ごみの不法投棄対策や街の美化 | |
| 1.9 | 22 | 地球温暖化への対策 | |
| 4.0 | 23 | 地震などの災害対策 | |
| 3.9 | 24 | 防犯対策 | |
| 3.0 | 25 | 食品衛生・環境衛生の監視・指導 | |
| 1.0 | 26 | 訪問販売などに関する消費生活相談 | |
| 3.1 | 27 | 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 | |
| 3.9 | 28 | 学校教育の充実 | |
| 1.2 | 29 | 青少年の健全育成 | |
| 15.1 | 30 | 病院や救急医療など地域医療 | |
| 12.2 | 31 | 高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など） | |
| 5.7 | 32 | 高齢者福祉 | |
| 3.8 | 33 | 障がい者福祉 | |
| 2.8 | 34 | 経済的に困っている人の保護や支援 | |
| 1.1 | 35 | 公的住宅の整備や住宅取得への融資 | |
| 12.9 | 36 | 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興 | |
| 8.5 | 37 | 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興 | |
| 5.4 | 38 | スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備 | |
| 1.8 | 39 | 国際交流・協力の推進 | |
| 2.6 | 40 | 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進 | |
| 1.2 | 41 | 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応 | |
| 5.9 | 42 | 身近な住民窓口サービス | |
| 1.2 | 43 | その他（具体的に |) |
| 14.7 | 44 | わからない | 3.2（無回答） |

問9 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。この中から いくつでも 選んでください。(○はいくつでも)

- 22.9 1 バス・地下鉄などの便
- 7.1 2 幹線道路や高速道路の整備
- 24.7 3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 15.9 4 違法駐車防止や交通安全対策
- 11.4 5 駐車場の整備
- 22.7 6 最寄り駅周辺の整備
- 6.0 7 都心部の整備や魅力づくり
- 9.5 8 まちなみや景観の形成や保全
- 4.0 9 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 3.4 10 観光やコンベンション(国際会議やイベント)の振興
- 9.5 11 中小企業振興や雇用の創出
- 21.1 12 商店街の振興
- 7.2 13 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 10.6 14 公園・動物園の整備
- 15.8 15 緑の保全と緑化の推進
- 10.0 16 河川改修と水辺環境の整備
- 9.0 17 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 10.3 18 良質な水の確保や安定供給
- 10.1 19 環境汚染や騒音などへの対策
- 10.9 20 ごみの分別収集、リサイクル
- 17.6 21 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 14.2 22 地球温暖化への対策
- 30.6 23 地震などの災害対策
- 26.5 24 防犯対策
- 9.4 25 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 5.0 26 訪問販売などに関する消費生活相談
- 20.1 27 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 18.8 28 学校教育の充実
- 11.6 29 青少年の健全育成
- 25.6 30 病院や救急医療など地域医療
- 24.0 31 高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)
- 26.2 32 高齢者福祉
- 13.8 33 障がい者福祉
- 13.1 34 経済的に困っている人の保護や支援
- 7.3 35 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 9.7 36 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 12.5 37 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 10.3 38 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 5.2 39 国際交流・協力の推進
- 4.3 40 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 4.5 41 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 13.2 42 身近な住民窓口サービス
- 4.5 43 その他(具体的に)
- 8.9 44 わからない

1.9 (無回答)

問 10 あなたは全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

7.3	1	満足しているほう	7.8	4	やや不満があるほう	
34.8	2	まあ満足しているほう	5.6	5	不満があるほう	
34.3	3	どちらともいえない	8.9	6	わからない	1.3（無回答）

【地域におけるつながり】

問 11 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。（○は1つ）

14.0	1	顔もよく知らない				
50.5	2	道で会えば挨拶ぐらいする				
26.5	3	たまに立ち話をする				
4.8	4	一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている				
3.8	5	困ったとき、相談したり助け合ったりする				0.3（無回答）

問 12 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。（○は1つ）

73.6	1	互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい				
11.9	2	人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい				
11.1	3	親密な人間関係があって、暮らしやすい				
1.1	4	人間関係が濃密で、わずらわしい				2.2（無回答）

【生活の行動範囲】

問 13 あなたは、次のことをどのくらいの頻度でしていますか。なお、することがない項目については「しない」を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	ほ	週	週	月	月	年	し	無
	ぼ	に	に	に	に	に	な	回
	毎	3	1	3	1	3	い	答
	日	回	回	回	回	回		
(ア)食料品・日用品を買いに行く	25.1	41.3	19.7	6.5	2.0	1.4	3.4	0.6
(イ)洋服や装飾品を買いに行く	0.1	1.3	4.8	18.7	31.0	35.3	7.7	1.1
(ウ)かかりつけの病院や診療所に行く	0.9	2.3	3.6	12.4	29.3	41.3	9.3	0.9
(エ)散歩をしたり、公園へ出かける	11.3	12.7	13.1	12.0	10.6	15.4	23.8	1.1
(オ)映画館に行く	0.0	0.3	0.6	1.7	7.0	47.4	41.5	1.4
(カ)観劇やコンサートに行く	0.0	0.2	0.3	1.1	3.3	35.8	57.8	1.4
(キ)習い事や趣味の教室に通う	0.9	4.6	6.0	5.2	4.0	5.3	72.4	1.4
(ク)スポーツをする、スポーツジムに通う	2.6	9.0	8.2	5.3	3.7	8.2	61.6	1.4
(ケ)理美容室・マッサージ・エステなどに通う	0.1	0.7	1.4	4.2	35.0	33.9	23.8	0.9

問 14 あなたは、次のことをする場合、主にどこに行きますか。(○はそれぞれ1つ。ただし、問 13で「しない」と回答した項目については無記入としてください。)

	住まいの周辺 (徒歩15分程度以内)	横 浜 市 内	横 浜 市 を 除 く 神 奈 川 県 内	東 京 都 内	そ れ 以 外 の 地 域	無 回 答
(ア)食料品・日用品を買いに行く	64.0	33.2	1.2	0.6	0.5	0.5
(イ)洋服や装飾品を買いに行く	11.7	74.1	5.2	6.2	1.7	1.0
(ウ)かかりつけの病院や診療所に行く	46.5	46.3	2.3	3.2	0.5	1.2
(エ)散歩をしたり、公園へ出かける	55.8	34.5	3.7	2.0	1.9	2.0
(オ)映画館に行く	6.8	70.3	13.8	6.7	0.9	1.5
(カ)観劇やコンサートに行く	0.8	27.9	9.2	54.2	5.1	2.7
(キ)習い事や趣味の教室に通う	25.6	54.1	5.0	10.6	2.1	2.6
(ク)スポーツをする、スポーツジムに通う	35.4	48.3	6.7	3.8	4.6	1.3
(ケ)理美容室・マッサージ・エステなどに通う	39.6	47.8	4.7	5.6	0.8	1.5

次ページあり

【インターネットの利用】

問 15 あなたは、過去 1 年間に、仕事や学業以外で、インターネットを利用したことがありますか。
(○は 1 つ)

75.8 1 ある

22.8 2 ない

1.4 (無回答)

↓
問 16 へ

(問 15 で「ある」と答えた方に)

--> 問 15-1 どのようなことに利用しましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。
(○はいくつでも) (n=1,782)

- | | | |
|------|----|--|
| 88.3 | 1 | ホームページの閲覧・検索 |
| 77.0 | 2 | 電子メールの送受信 |
| 58.6 | 3 | SNS (Facebook、Twitter、LINE、Instagram など) の利用 |
| 51.9 | 4 | 無料通話アプリやボイスチャット (Skype、LINE など) の利用 |
| 53.6 | 5 | 動画投稿・共有サイト (YouTube、ニコニコ動画など) の利用 |
| 70.4 | 6 | 商品やサービスの購入、取引 (インターネットオークションを含む) |
| 26.4 | 7 | インターネットバンキングなどの金融取引 |
| 10.8 | 8 | 電子申請や電子申告の手続き (電子政府の利用) |
| 20.2 | 9 | 就職・転職に関する情報の入手や応募 |
| 67.3 | 10 | 地図情報提供サービスの利用 (鉄道の乗換案内などを含む) |
| 30.8 | 11 | オンラインゲーム (ネットゲーム) |
| 31.6 | 12 | ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用 |
| 1.3 | 13 | その他 (具体的に) 0.2 (無回答) |

問 16 あなたは、情報化の進展が、暮らしに対してどのような影響を及ぼすと思いますか。
(○はそれぞれ 1 つ)

そ	そ	い	思	そ	無
う	ど	ど	ど	う	
	ち	ち	ち	思	回
	ら	ら	わ	わ	
	か	え	か	な	
	と	ら	と	い	
	い	な	い	う	
	う	と	う	そ	
	と	も	う	う	
		い	い	い	答

- (ア)生活が便利で豊かになる.....36.9.....36.1.....19.1..... 1.8.....2.1.....3.9
- (イ)経済が活性化する.....23.9.....33.2.....32.6..... 3.3..... 2.3.....4.7
- (ウ)暮らしの安心や安全性が高まる.....10.4.....19.2.....49.4.....10.2..... 6.0.....4.8
- (エ)人と人とのつながりや交流が増える..... 9.4.....20.4.....43.9.....13.0..... 8.8.....4.5
- (オ)プライバシーが侵害される.....21.3.....30.2.....35.1..... 6.0..... 2.9.....4.5
- (カ)機械などが苦手な人が取り残される.....31.0.....32.7.....23.6..... 5.4..... 3.3.....4.0
- (キ)子どもや青少年に悪影響がある.....19.3.....30.5.....36.9..... 5.5..... 3.5.....4.3
- (ク)犯罪やトラブルに巻き込まれる.....20.1.....34.6.....34.7..... 3.7..... 2.6.....4.3

【地域への愛着】

問 17 あなたは、横浜やお住まいの区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。

(○はそれぞれ1つ)

	感 じ て い る	や や 感 じ て い る	い ど ち え ら な と い も	て あ ま い り な 感 い じ	て ま っ た い た な く 感 い じ	無 回 答
(ア)横浜に対して……………	48.4	33.2	11.6	3.4	1.7	1.7
(イ)お住まいの区に対して……………	31.8	39.9	18.0	6.2	2.2	1.8
(ウ)お住まいの周辺の地域に対して……………	30.7	38.5	20.5	6.2	2.3	1.7

次ページあり

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、よろしく
お願いいたします。

【フェイスシート】

F 1 あなたの性別は。(○は1つ)

46.4	1	男 性	53.6	2	女 性
------	---	-----	------	---	-----

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

2.0	1	18～19 歳	6.5	5	35～39 歳	8.0	9	55～59 歳	14.2	13	75 歳以上
6.0	2	20～24 歳	8.7	6	40～44 歳	7.0	10	60～64 歳			
4.6	3	25～29 歳	9.5	7	45～49 歳	8.8	11	65～69 歳			
6.5	4	30～34 歳	11.1	8	50～54 歳	7.3	12	70～74 歳			

F 3 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

32.3	1	はい	67.0	2	いいえ	0.7	(無回答)
------	---	----	------	---	-----	-----	-------

F 4 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

62.8	1	既婚 (配偶者あり)	12.7	2	既婚 (離死別)	24.1	3	未 婚	0.3	(無回答)
------	---	------------	------	---	----------	------	---	-----	-----	-------

(F 4で「1」と答えた方に)

-> F 4-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ) (n=1,478)

45.1	1	している	53.9	2	していない	1.0	(無回答)
------	---	------	------	---	-------	-----	-------

F 5 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

31.8	1	子どもはいない	6.9	7	短大・大学・大学院在学中	
8.9	2	小学校入学前	15.8	8	学校教育終了-未婚-同居	
8.7	3	小学校在学中	10.5	9	学校教育終了-未婚-別居	
6.0	4	中学校在学中	3.8	10	学校教育終了-既婚-同居	
6.7	5	高校在学中	24.6	11	学校教育終了-既婚-別居	
1.0	6	各種学校、専修・専門学校在学中	1.0	12	その他 (具体的に)	2.6 (無回答)

F 6 お宅の家族形態は、この中のどれにあたりますか。同居している方のみで当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

12.4	1	ひとり暮らし	6.3	4	祖父母と親と子 (3世代)
21.9	2	夫婦のみ	2.3	5	その他 (具体的に)
55.7	3	親と子 (2世代)	1.6		(無回答)

F 7 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(○は1つ)

46.3	1	持家 (一戸建て)	3.0	5	借家 (都市再生機構 (旧公団)・公社の共同住宅)	
27.0	2	持家 (マンション・共同住宅)	2.0	6	借家 (社宅、公務員住宅)	
2.2	3	借家 (一戸建て)	14.9	7	借家 (民間アパート、民間賃貸マンション)	
3.4	4	借家 (県営・市営の共同住宅)	0.9	8	その他 (具体的に)	0.4 (無回答)

F 8 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

6.8 1	自営業	(農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)
5.5 2	管理職	(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)
8.9 3	専門技術職	(勤務医師、研究所研究員、技師など)
17.9 4	事務職	(事務職、営業職、教員など)
18.8 5	現業職	(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)
14.5 6	専業主婦・主夫	
4.7 7	学 生	
21.9 8	無 職	1.0 (無回答)

(F 8で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 8-1 あなたの現在のご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ (n=1,201))

5.1 1	会社役員	24.4 3	アルバイト・パート	8.7 5	契約社員・嘱託社員
56.9 2	正社員・正規職員	3.0 4	派遣社員	0.7 6	その他(具体的に)
				1.2	(無回答)

→ F 8-2 あなたの勤務地はどこですか。複数ある場合は、主な勤務地をお答えください。

(○は1つ)

(n=1,201)

20.6 1	居住区内	6.1 4	川崎市を除く県内の他市町村	0.2 7	千葉県
33.3 2	市内他区	27.1 5	東京都区部	0.2 8	埼玉県
7.6 3	川崎市	1.6 6	東京都区部を除く東京都	2.0 9	その他
				1.3	(無回答)

→ F 8-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。複数ある場合は、主な勤務地の場合をお答えください。(○は1つ) (n=1,201)

30.0 1	30分未満	30.2 3	1時間～1時間30分未満	0.7 5	2時間以上
33.5 2	30分～1時間未満	5.0 4	1時間30分～2時間未満	0.6	(無回答)

F 9 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、この中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近い方をお答えください。(○は1つ)

[注:どの路線に含まれるのか判断がつかないようなターミナル駅(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、ふだん利用している路線名で答えてください。それでもわからない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。]

11.8 1	東海道線・横須賀線	16.5 9	市営地下鉄線(ブルーライン・グリーンライン)
6.9 2	横浜線	0.0 10	南武線
7.1 3	東横線	0.1 11	金沢シーサイドライン
7.9 4	田園都市線・こどもの国線	0.1 12	鶴見線
5.3 5	京浜東北線〔横浜～鶴見〕	0.9 13	みなとみらい線
7.1 6	根岸線〔横浜～大船〕	0.5 14	その他・駅名(具体的に)
14.5 7	京浜急行線	0.4 15	わからない
16.9 8	相鉄線〔本線・いずみ野線〕	4.1	(無回答)

ご協力ありがとうございました。

II. 調査の結果

1. 市政

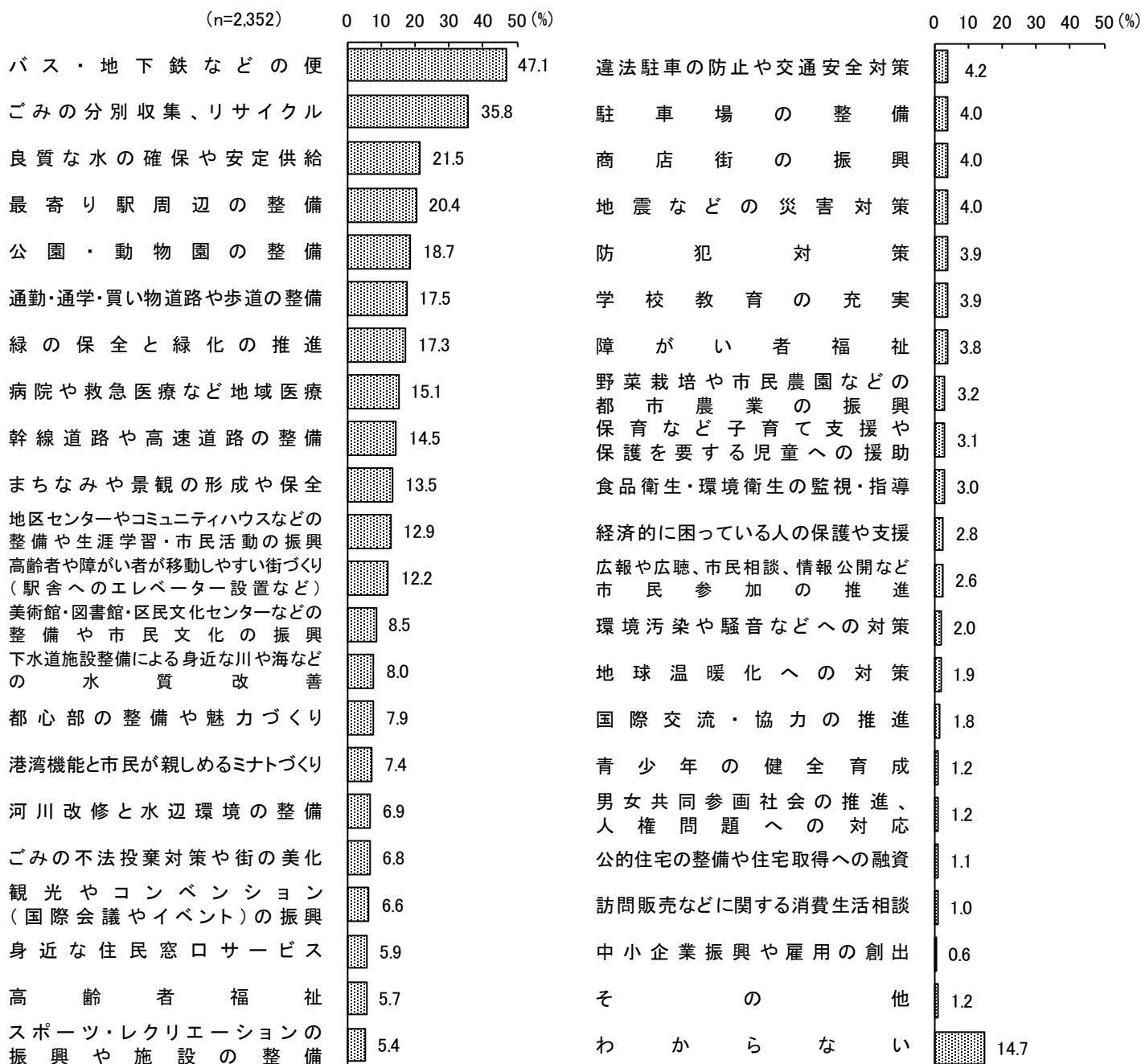
(1) 市政への満足度

問8 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。この中からいくつでも選んでください。
(〇はいくつでも)

「バス・地下鉄などの便」が1位

市政への満足度について最も満足度が高いのは、「バス・地下鉄などの便」(47.1%)で、次いで「ごみの分別収集、リサイクル」(35.8%)、「良質な水の確保や安定供給」(21.5%)、「最寄り駅周辺の整備」(20.4%)などの順となっている。

図1-1-1 市政への満足度 [全体] (複数回答)



①市政への満足度〔経年変化〕

「バス・地下鉄などの便」は11年連続1位

経年変化について単純な比較はできないが、平成15年からの上位5項目をみると、「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」は、安定して上位に挙げられる項目といえる。「バス・地下鉄などの便」は、前回から3.6ポイント減少したものの、11年連続して1位となっている。2位の「ごみの分別収集、リサイクル」も11年連続、3位の「良質な水の確保や安定供給」と4位の「最寄り駅周辺の整備」は6年連続同じ順位となっている。

②市政への満足度〔ブロック別〕（注）ブロック別の構成は回収分析標本構成（P3）参照。

「バス・地下鉄などの便」は全ブロックで1位

ブロック別にみると、全ブロックで「バス・地下鉄などの便」が1位、「ごみの分別収集、リサイクル」が2位となっている。また、「緑の保全と緑化の推進」は北部（24.6%）で3位となっている。

③市政への満足度〔区別〕

「バス・地下鉄などの便」は16区で1位

区別にみると、旭区と瀬谷区以外の16区で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、「幹線道路や高速道路の整備」は鶴見区（16.9%）で3位、港北区（14.2%）で4位、「まちなみや景観の形成や保全」は中区（26.5%）で3位、西区（24.1%）で5位となっている。

表 1-1-1 市政への満足度 [上位 5 位の経年変化] (複数回答)

年度	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
15年		バス・地下鉄などの便 30.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.2	公園・動物園の整備 18.4	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 14.2	美術館・図書館などの整備 13.2
16年		バス・地下鉄などの便 43.7	公園・動物園の整備 22.5	幹線道路や高速道路の整備 21.8	ごみの分別収集、リサイクル 20.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.9
17年		バス・地下鉄などの便 35.5	ごみの分別収集、リサイクル 32.3	公園・動物園の整備 19.6	良質な水の確保や安定供給 17.5	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 16.5
18年		ごみの分別収集、リサイクル 34.6	バス・地下鉄などの便 31.2	公園・動物園の整備 19.2	良質な水の確保や安定供給 16.8	最寄駅の周辺の整備 15.7
19年		ごみの分別収集、リサイクル 37.1	バス・地下鉄などの便 32.9	良質な水の確保や安定供給 16.6	公園・動物園の整備 15.8	最寄駅の周辺の整備 14.6
20年		バス・地下鉄などの便 39.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.0	良質な水の確保や安定供給 20.1	最寄駅の周辺の整備 18.2	公園・動物園の整備 16.7
21年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 21.4	公園・動物園の整備 19.4	最寄駅の周辺の整備 19.0
22年		バス・地下鉄などの便 43.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	最寄り駅周辺の整備 21.1	公園・動物園の整備 19.3	良質な水の確保や安定供給 18.3
23年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 34.1	良質な水の確保や安定供給 20.8	最寄り駅周辺の整備 20.5	公園・動物園の整備 16.4
24年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	最寄り駅周辺の整備 20.7	良質な水の確保や安定供給 20.2	公園・動物園の整備 18.7
25年		バス・地下鉄などの便 45.2	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.2	最寄り駅周辺の整備 19.3	公園・動物園の整備 18.0
26年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 18.8	最寄り駅周辺の整備 16.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 15.7
27年		バス・地下鉄などの便 48.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 18.8	幹線道路や高速道路の整備 17.0
28年		バス・地下鉄などの便 50.1	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.7	最寄り駅周辺の整備 19.9	公園・動物園の整備 18.4
29年		バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 21.3	公園・動物園の整備 19.3
30年		バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7

(%)

表 1-1-2 市政への満足度 [ブロック別、区別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,352)	バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
ブロック別	東部 (n=581)	バス・地下鉄などの便 47.0	ごみの分別収集、リサイクル 31.8	良質な水の確保や安定供給 19.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 16.4	最寄り駅周辺の整備 16.2
	西部 (n=708)	バス・地下鉄などの便 43.5	ごみの分別収集、リサイクル 39.1	良質な水の確保や安定供給 24.4	最寄り駅周辺の整備 22.2	公園・動物園の整備 17.7
	南部 (n=441)	バス・地下鉄などの便 47.8	ごみの分別収集、リサイクル 35.6	良質な水の確保や安定供給 24.7	最寄り駅周辺の整備 23.4	公園・動物園の整備 20.4
	北部 (n=622)	バス・地下鉄などの便 50.8	ごみの分別収集、リサイクル 35.9	緑の保全と緑化の推進 24.6	公園・動物園の整備 21.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/最寄り駅周辺の整備 20.1
区別	鶴見区 (n=189)	バス・地下鉄などの便 41.8	ごみの分別収集、リサイクル 34.9	幹線道路や高速道路の整備 16.9	最寄り駅周辺の整備 16.4	緑の保全と緑化の推進 14.3
	神奈川区 (n=140)	バス・地下鉄などの便 44.3	ごみの分別収集、リサイクル 26.4	良質な水の確保や安定供給 23.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/公園・動物園の整備 17.1	
	西区 (n=54)	バス・地下鉄などの便 46.3	ごみの分別収集、リサイクル 38.9	最寄り駅周辺の整備/良質な水の確保や安定供給 25.9	まちなみや景観の形成や保全 24.1	
	中区 (n=68)	バス・地下鉄などの便 55.9	公園・動物園の整備 27.9	まちなみや景観の形成や保全 26.5	良質な水の確保や安定供給 25.0	ごみの分別収集、リサイクル 23.5
	南区 (n=130)	バス・地下鉄などの便 53.1	ごみの分別収集、リサイクル 34.6	良質な水の確保や安定供給 20.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 16.2	病院や救急医療など地域医療 14.6
	港南区 (n=123)	バス・地下鉄などの便 56.1	ごみの分別収集、リサイクル 40.7	最寄り駅周辺の整備 30.1	良質な水の確保や安定供給 26.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.5
	保土ヶ谷区 (n=148)	バス・地下鉄などの便 41.9	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 20.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 16.2	公園・動物園の整備 15.5
	旭区 (n=171)	ごみの分別収集、リサイクル 43.9	バス・地下鉄などの便 36.8	良質な水の確保や安定供給 29.8	公園・動物園の整備 23.4	最寄り駅周辺の整備 21.6
	磯子区 (n=103)	バス・地下鉄などの便 41.7	良質な水の確保や安定供給 31.1	ごみの分別収集、リサイクル 30.1	公園・動物園の整備 21.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.4
	金沢区 (n=142)	バス・地下鉄などの便 49.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.2	良質な水の確保や安定供給 22.5	最寄り駅周辺の整備 21.8	公園・動物園の整備 21.1
	港北区 (n=211)	バス・地下鉄などの便 54.5	ごみの分別収集、リサイクル 28.0	良質な水の確保や安定供給 17.5	幹線道路や高速道路の整備 14.2	最寄り駅周辺の整備 13.7
	緑区 (n=111)	バス・地下鉄などの便 47.7	ごみの分別収集、リサイクル 44.1	公園・動物園の整備 22.5	緑の保全と緑化の推進 18.9	良質な水の確保や安定供給 18.0
	青葉区 (n=179)	バス・地下鉄などの便 44.7	ごみの分別収集、リサイクル 39.1	緑の保全と緑化の推進 30.2	公園・動物園の整備 25.7	最寄り駅周辺の整備 25.1
	都筑区 (n=121)	バス・地下鉄などの便 56.2	緑の保全と緑化の推進 47.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 40.5	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	最寄り駅周辺の整備 33.9
	戸塚区 (n=199)	バス・地下鉄などの便 58.8	ごみの分別収集、リサイクル 43.7	最寄り駅周辺の整備 30.7	良質な水の確保や安定供給 22.1	公園・動物園の整備 19.1
	栄区 (n=73)	バス・地下鉄などの便 39.7	ごみの分別収集、リサイクル 35.6	最寄り駅周辺の整備/緑の保全と緑化の推進 26.0	公園・動物園の整備/病院や救急医療など地域医療 23.3	
	泉区 (n=108)	バス・地下鉄などの便 44.4	ごみの分別収集、リサイクル 35.2	良質な水の確保や安定供給 28.7	最寄り駅周辺の整備 22.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.4
	瀬谷区 (n=82)	ごみの分別収集、リサイクル 32.9	バス・地下鉄などの便/最寄り駅周辺の整備 22.0	良質な水の確保や安定供給 19.5	緑の保全と緑化の推進/病院や救急医療など地域医療 13.4	

④市政への満足度 [年齢別]

「バス・地下鉄などの便」は、60代以外の年齢で1位

年齢別にみると、「バス・地下鉄などの便」は、60代以外の年齢で1位となっている。また、「病院や救急医療など地域医療」は70歳以上（24.9%）で4位、「高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり」は70歳以上（24.3%）で5位となっている。

⑤市政への満足度 [性・年齢別]

「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、女性18～29歳で2位

性・年齢別にみると、「バス・地下鉄などの便」は、女性60代以外の性・年齢で1位となっている。また、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は女性18～29歳（28.0%）で2位となっている。

表1-1-3 市政への満足度 [年齢別、性・年齢別]（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,352)	バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
年齢別	18～29歳	バス・地下鉄などの便 (n=295) 52.5	最寄り駅周辺の整備 26.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備、ごみの分別収集、リサイクル 24.1	公園・動物園の整備 19.0	
	30代	バス・地下鉄などの便 (n=304) 44.4	公園・動物園の整備 28.0	ごみの分別収集、リサイクル 25.3	最寄り駅周辺の整備 22.4	良質な水の確保や安定供給 16.8
	40代	バス・地下鉄などの便 (n=428) 40.7	ごみの分別収集、リサイクル 29.2	公園・動物園の整備 18.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.3	緑の保全と緑化の推進 良質な水の確保や安定供給 16.1
	50代	バス・地下鉄などの便 (n=448) 42.6	ごみの分別収集、リサイクル 32.8	良質な水の確保や安定供給 19.6	最寄り駅周辺の整備 19.2	公園・動物園の整備 18.8
	60代	ごみの分別収集、リサイクル (n=371) 46.1	バス・地下鉄などの便 45.0	良質な水の確保や安定供給 24.8	緑の保全と緑化の推進 18.3	最寄り駅周辺の整備 17.3
	70歳以上	バス・地下鉄などの便 (n=506) 56.5	ごみの分別収集、リサイクル 49.6	良質な水の確保や安定供給 32.6	病院や救急医療など地域医療 24.9	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 24.3
	男性計	(n=1,091)	バス・地下鉄などの便 46.9	ごみの分別収集、リサイクル 35.0	良質な水の確保や安定供給 22.5	最寄り駅周辺の整備 21.3
性・年齢別	18～29歳	バス・地下鉄などの便 (n=134) 53.0	最寄り駅周辺の整備 33.6	ごみの分別収集、リサイクル 22.4	公園・動物園の整備 21.6	幹線道路や高速道路の整備 20.9
	30代	バス・地下鉄などの便 (n=145) 44.1	ごみの分別収集、リサイクル 24.1	最寄り駅周辺の整備 20.7	公園・動物園の整備 17.2	良質な水の確保や安定供給 15.9
	40代	バス・地下鉄などの便 (n=194) 39.2	ごみの分別収集、リサイクル 25.3	幹線道路や高速道路の整備 20.1	公園・動物園の整備 18.6	緑の保全と緑化の推進 16.5
	50代	バス・地下鉄などの便 (n=214) 42.5	ごみの分別収集、リサイクル 29.9	幹線道路や高速道路の整備 22.4	最寄り駅周辺の整備/公園・動物園の整備/良質な水の確保や安定供給 20.1	
	60代	バス・地下鉄などの便 (n=173) 48.0	ごみの分別収集、リサイクル 46.8	良質な水の確保や安定供給 27.7	幹線道路や高速道路の整備 20.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/最寄り駅周辺の整備/緑の保全と緑化の推進 16.2
	70歳以上	バス・地下鉄などの便 (n=231) 55.0	ごみの分別収集、リサイクル 53.2	良質な水の確保や安定供給 35.9	病院や救急医療など地域医療 27.7	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.5
	女性計	(n=1,261)	バス・地下鉄などの便 47.3	ごみの分別収集、リサイクル 36.5	良質な水の確保や安定供給 20.6	最寄り駅周辺の整備 19.6
性・年齢別	18～29歳	バス・地下鉄などの便 (n=161) 52.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.0	ごみの分別収集、リサイクル 25.5	最寄り駅周辺の整備 19.9	公園・動物園の整備 16.8
	30代	バス・地下鉄などの便 (n=159) 44.7	公園・動物園の整備 37.7	ごみの分別収集、リサイクル 26.4	最寄り駅周辺の整備 23.9	まちなみや景観の形成や保全 21.4
	40代	バス・地下鉄などの便 (n=234) 41.9	ごみの分別収集、リサイクル 32.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.2	公園・動物園の整備 18.4	良質な水の確保や安定供給 17.1
	50代	バス・地下鉄などの便 (n=234) 42.7	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	緑の保全と緑化の推進 23.1	良質な水の確保や安定供給 19.2	最寄り駅周辺の整備 18.4
	60代	ごみの分別収集、リサイクル (n=198) 45.5	バス・地下鉄などの便 42.4	良質な水の確保や安定供給 22.2	緑の保全と緑化の推進 20.2	最寄り駅周辺の整備 18.2
	70歳以上	バス・地下鉄などの便 (n=275) 57.8	ごみの分別収集、リサイクル 46.5	良質な水の確保や安定供給 29.8	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 23.3	病院や救急医療など地域医療 22.5

⑥市政への満足度 [ライフステージ別]

「公園・動物園の整備」は家族形成期で2位

ライフステージ別にみると、全てのステージで「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、「公園・動物園の整備」は家族形成期（39.7%）で2位となっている。

表1-1-4 市政への満足度 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
子どもなし計 (n=749)		バス・地下鉄などの便 48.6	ごみの分別収集、リサイクル 29.1	最寄り駅周辺の整備 23.1	良質な水の確保や安定供給 19.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 18.7
単身(1) 40歳未満 (n=353)		バス・地下鉄などの便 50.1	最寄り駅周辺の整備 26.3	ごみの分別収集、リサイクル 24.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.2	公園・動物園の整備 19.0
単身(2) 40～64歳 (n=158)		バス・地下鉄などの便 53.2	ごみの分別収集、リサイクル 28.5	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 19.0	公園・動物園の整備/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.1
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=50)		バス・地下鉄などの便 42.0	最寄り駅周辺の整備 34.0	ごみの分別収集、リサイクル 30.0	公園・動物園の整備 22.0	幹線道路や高速道路の整備/緑の保全と緑化の推進 16.0
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=110)		バス・地下鉄などの便 42.7	ごみの分別収集、リサイクル 32.7	最寄り駅周辺の整備/まちなみや景観の形成や保全/良質な水の確保や安定供給 20.0		
高齢子どもなし (n=78)		バス・地下鉄などの便/ごみの分別収集、リサイクル 44.9		良質な水の確保や安定供給 26.9	公園・動物園の整備/病院や救急医療など地域医療/高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 19.2	
子どもあり計 (n=1,521)		バス・地下鉄などの便 46.5	ごみの分別収集、リサイクル 39.8	良質な水の確保や安定供給 22.9	公園・動物園の整備 19.6	最寄り駅周辺の整備 19.5
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=141)		バス・地下鉄などの便 43.3	公園・動物園の整備 39.7	ごみの分別収集、リサイクル 29.1	幹線道路や高速道路の整備/最寄り駅周辺の整備 20.6	
家族成長前期 第一子が小学生 (n=132)		バス・地下鉄などの便 47.0	ごみの分別収集、リサイクル 28.0	公園・動物園の整備 27.3	緑の保全と緑化の推進 18.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.4
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=156)		バス・地下鉄などの便 33.3	ごみの分別収集、リサイクル 30.8	公園・動物園の整備 18.6	最寄り駅周辺の整備 17.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.3
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=124)		バス・地下鉄などの便 47.6	ごみの分別収集、リサイクル 27.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4	幹線道路や高速道路の整備 21.8	公園・動物園の整備 19.4
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=80)		バス・地下鉄などの便 41.3	ごみの分別収集、リサイクル 26.3	公園・動物園の整備 21.3	最寄り駅周辺の整備 18.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/緑の保全と緑化の推進 16.3
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=302)		バス・地下鉄などの便 40.4	ごみの分別収集、リサイクル 38.7	良質な水の確保や安定供給 20.9	緑の保全と緑化の推進 17.2	最寄り駅周辺の整備 16.6
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=586)		バス・地下鉄などの便 54.3	ごみの分別収集、リサイクル 52.4	良質な水の確保や安定供給 32.8	病院や救急医療など地域医療 23.0	最寄り駅周辺の整備 22.2

⑦市政への満足度 [世帯類型別]

「公園・動物園の整備」は子と同居（1）で3位

世帯類型別にみると、「バス・地下鉄などの便」は夫婦のみ（2）以外の世帯類型で1位となっている。また、「公園・動物園の整備」は、子と同居（1）（25.4%）で3位となっている。

表1-1-5 市政への満足度 [世帯類型別]（複数回答）

属性	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)	バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=55)	バス・地下鉄などの便 49.1	最寄り駅周辺の整備 29.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/ごみの分別収集、リサイクル	最寄り駅周辺の整備 16.4	幹線道路や高速道路の整備/まちなみや景観の形成や保全 14.5
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=105)	バス・地下鉄などの便 50.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 21.0	最寄り駅周辺の整備 20.0	まちなみや景観の形成や保全 18.1
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=131)	バス・地下鉄などの便 59.5	ごみの分別収集、リサイクル 48.9	良質な水の確保や安定供給 23.7	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 22.9	最寄り駅周辺の整備/緑の保全と緑化の推進 22.1
夫婦のみ(1) 子なし (n=164)	バス・地下鉄などの便 42.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.4	最寄り駅周辺の整備 23.8	良質な水の確保や安定供給 22.6	緑の保全と緑化の推進 20.7
夫婦のみ(2) 子あり (n=334)	ごみの分別収集、リサイクル 52.4	バス・地下鉄などの便 51.8	良質な水の確保や安定供給 34.1	最寄り駅周辺の整備 21.6	病院や救急医療など地域医療 20.4
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=568)	バス・地下鉄などの便 41.5	ごみの分別収集、リサイクル 29.2	公園・動物園の整備 25.4	最寄り駅周辺の整備 18.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 18.0
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=365)	バス・地下鉄などの便 46.6	ごみの分別収集、リサイクル 42.2	良質な水の確保や安定供給 23.8	病院や救急医療など地域医療 20.0	緑の保全と緑化の推進 19.5
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=254)	バス・地下鉄などの便 48.8	最寄り駅周辺の整備/ごみの分別収集、リサイクル	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.6	良質な水の確保や安定供給 25.2	良質な水の確保や安定供給 19.7
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=85)	バス・地下鉄などの便 51.8	良質な水の確保や安定供給 28.2	ごみの分別収集、リサイクル 27.1	幹線道路や高速道路の整備 20.0	緑の保全と緑化の推進/病院や救急医療など地域医療 17.6
祖父母と親と子 3世代 (n=147)	バス・地下鉄などの便 44.2	ごみの分別収集、リサイクル 38.8	良質な水の確保や安定供給 23.8	最寄り駅周辺の整備/公園・動物園の整備	23.1

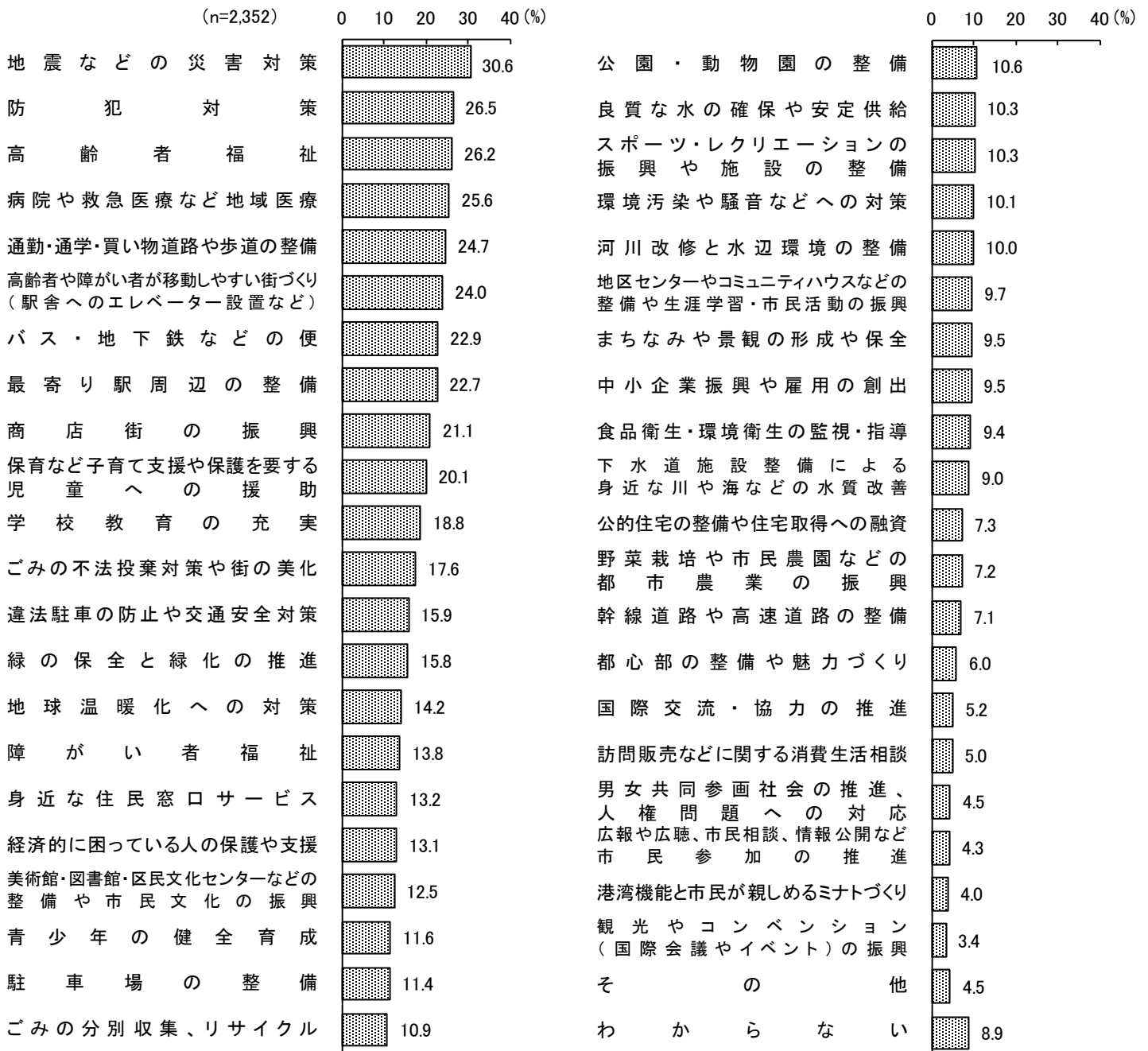
(2) 市政への要望

問9 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。この中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

「地震などの災害対策」が1位

市政への要望については、「地震などの災害対策」(30.6%)が3割を超えて最も多く、次いで「防犯対策」(26.5%)、「高齢者福祉」(26.2%)、「病院や救急医療など地域医療」(25.6%)などの順となっている。

図1-2-1 市政への要望 [全体] (複数回答)



①市政への要望 [経年変化]

「地震などの災害対策」は8年連続の1位

経年変化をみると、「地震などの災害対策」(30.6%)は8年連続の1位となっている。また、「防犯対策」(26.5%)が2位と、平成27、28年の5位、29年の4位から上昇している。

表1-2-1 市政への要望 [上位5位の経年変化] (複数回答)

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位
15年		防犯対策 36.2	違法駐車防止や交通安全対策 33.3	高齢者福祉 31.0	地震などの災害対策 29.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.0
16年		防犯対策 51.7	違法駐車防止や交通安全対策 49.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 45.7	高齢者福祉 41.2	地震などの災害対策 41.1
17年		防犯対策 42.6	地震などの災害対策 37.1	違法駐車防止や交通安全対策 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 32.0	高齢者福祉 31.6
18年		防犯対策 37.2	地震などの災害対策 33.2	病院や救急医療など地域医療 31.5	高齢者福祉 29.3	駐車場の整備/ごみの不法投棄対策や街の美化 26.1
19年		防犯対策 36.9	病院や救急医療など地域医療 33.2	高齢者福祉 33.1	地震などの災害対策 31.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.7
20年		病院や救急医療など地域医療 41.0	地震などの災害対策 39.8	高齢者福祉 38.2	防犯対策 34.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 29.5
21年		高齢者福祉 35.5	病院や救急医療など地域医療 35.1	防犯対策 29.8	地震などの災害対策 28.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.9
22年		病院や救急医療など地域医療 34.8	高齢者福祉 31.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	地震などの災害対策 25.4	ごみの不法投棄対策や街の美化/防犯対策 25.2
23年		地震などの災害対策 44.9	病院や救急医療など地域医療 34.5	高齢者福祉 31.9	防犯対策 30.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.2
24年		地震などの災害対策 43.9	病院や救急医療など地域医療 31.2	防犯対策 28.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.1	高齢者福祉 26.9
25年		地震などの災害対策 37.5	病院や救急医療など地域医療 31.4	防犯対策 28.8	高齢者福祉 27.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.0
26年		地震などの災害対策 33.3	病院や救急医療など地域医療 25.2	防犯対策 24.2	バス・地下鉄などの便 23.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.7
27年		地震などの災害対策 32.9	高齢者福祉 26.8	病院や救急医療など地域医療 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	防犯対策 25.9
28年		地震などの災害対策 36.6	高齢者福祉 28.1	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	病院や救急医療など地域医療 25.4	防犯対策 25.1
29年		地震などの災害対策 30.7	高齢者福祉 27.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 27.5	防犯対策 25.0	病院や救急医療など地域医療 24.5
30年		地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7

②市政への要望〔ブロック別〕

「地震などの災害対策」は全てのブロックで1位

ブロック別にみると、「地震などの災害対策」は全てのブロックで1位となっている。また、「高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり」は東部（27.5%）で3位となっている。

③市政への要望〔区別〕

「地震などの災害対策」は8区で1位

区別にみると、「地震などの災害対策」が8区で1位となっている。そのほかでは、「バス・地下鉄などの便」は南区（29.2%）、磯子区（30.1%）および瀬谷区（28.0%、「商店街の振興」、「防犯対策」と同率）で1位、「高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり」は都筑区（27.3%、「防犯対策」と同率）で1位などとなっている。

表 1-2-2 市政への要望 [ブロック別、区別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,352)	地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
ブロック別	東部 (n=581)	地震などの災害対策 31.7	防犯対策 28.4	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 27.5	高齢者福祉 27.0	病院や救急医療など地域医療 24.6
	西部 (n=708)	地震などの災害対策 30.2	病院や救急医療など地域医療 27.4	高齢者福祉 26.6	防犯対策 26.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.3
	南部 (n=441)	地震などの災害対策 32.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/高齢者福祉 27.4	防犯対策 26.3	防犯対策 26.3	バス・地下鉄などの便 25.2
	北部 (n=622)	地震などの災害対策 28.5	病院や救急医療など地域医療 25.7	防犯対策 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.6	高齢者福祉 24.3
区別	鶴見区 (n=189)	地震などの災害対策 31.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.9	防犯対策/高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 24.3	病院や救急医療など地域医療/高齢者福祉 23.8	
	神奈川区 (n=140)	地震などの災害対策 34.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 31.4	最寄り駅周辺の整備/防犯対策 28.6	高齢者福祉 26.4	
	西区 (n=54)	商店街の振興 37.0	地震などの災害対策 33.3	違法駐車防止や交通安全対策 31.5	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり/高齢者福祉 29.6	
	中区 (n=68)	防犯対策 45.6	地震などの災害対策 36.8	高齢者福祉 32.4	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 30.9	商店街の振興 29.4
	南区 (n=130)	バス・地下鉄などの便 29.2	高齢者福祉 28.5	防犯対策 27.7	地震などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 26.2	
	港南区 (n=123)	地震などの災害対策 34.1	防犯対策 32.5	高齢者福祉 31.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 26.8
	保土ヶ谷区 (n=148)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.7	最寄り駅周辺の整備 29.1	病院や救急医療など地域医療 28.4	バス・地下鉄などの便 27.7	地震などの災害対策 26.4
	旭区 (n=171)	地震などの災害対策 32.7	商店街の振興 31.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.4	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 28.7	バス・地下鉄などの便 28.1
	磯子区 (n=103)	バス・地下鉄などの便 30.1	地震などの災害対策 29.1	防犯対策 27.2	最寄り駅周辺の整備 26.2	ごみの不法投棄対策や街の美化 22.3
	金沢区 (n=142)	地震などの災害対策 33.8	最寄り駅周辺の整備 33.1	高齢者福祉 30.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.9	商店街の振興/病院や救急医療など地域医療 28.2
	港北区 (n=211)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.7	最寄り駅周辺の整備 31.3	地震などの災害対策 27.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 24.6	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 24.2
	緑区 (n=111)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 35.1	防犯対策 33.3	地震などの災害対策 29.7	最寄り駅周辺の整備 28.8	商店街の振興 27.9
	青葉区 (n=179)	地震などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 31.3	防犯対策/高齢者福祉 26.3	学校教育の充実 21.2		
	都筑区 (n=121)	防犯対策/高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 27.3	バス・地下鉄などの便 26.4	地震などの災害対策 25.6	高齢者福祉 24.8	
	戸塚区 (n=199)	地震などの災害対策 32.7	病院や救急医療など地域医療 30.2	高齢者福祉 28.1	防犯対策 27.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 24.6
	栄区 (n=73)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/地震などの災害対策 34.2	バス・地下鉄などの便 32.9	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助/高齢者福祉 26.0		
	泉区 (n=108)	高齢者福祉 32.4	地震などの災害対策/防犯対策 31.5	病院や救急医療など地域医療 25.0	バス・地下鉄などの便 22.2	
	瀬谷区 (n=82)	バス・地下鉄などの便/商店街の振興/防犯対策 28.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/病院や救急医療など地域医療 25.6			

④市政への要望 [年齢別]

「地震などの災害対策」は40代、50代で1位

年齢別にみると、「地震などの災害対策」が40代(28.7%)、50代(31.7%)で1位となっている。そのほかでは「高齢者福祉」が60代(39.4%)、70歳以上(36.8%)で1位などとなっている。

⑤市政への要望 [性・年齢別]

「高齢者福祉」は男女とも60代、70歳以上で1位

性・年齢別にみると、「高齢者福祉」は男女とも60代、70歳以上で1位となっている。また、「高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり」は女性50代(33.3%)で2位、男性60代(28.3%)、女性60代(34.8%)でそれぞれ3位となっている。

表1-2-3 市政への要望 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
年齢別	18~29歳 (n=295)	最寄り駅周辺の整備 29.5	バス・地下鉄などの便 25.8	地震などの災害対策 25.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.1	防犯対策 21.4
	30代 (n=304)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 40.1	学校教育の充実 31.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.6	地震などの災害対策/防犯対策 26.0	
	40代 (n=428)	地震などの災害対策 28.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.0	学校教育の充実 26.9	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 26.6	病院や救急医療など地域医療 26.2
	50代 (n=448)	地震などの災害対策 31.7	防犯対策 29.7	病院や救急医療など地域医療 29.2	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 28.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/高齢者福祉 26.8
	60代 (n=395)	高齢者福祉 39.4	地震などの災害対策 35.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 31.8	防犯対策 28.3	病院や救急医療など地域医療 28.0
	70歳以上 (n=506)	高齢者福祉 36.8	地震などの災害対策 33.4	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 27.1	バス・地下鉄などの便 25.9
	男性計 (n=1,091)	地震などの災害対策 29.3	防犯対策 26.8	高齢者福祉 25.3	病院や救急医療など地域医療 24.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
性別	18~29歳 (n=134)	最寄り駅周辺の整備 28.4	バス・地下鉄などの便 26.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/地震などの災害対策 24.6	防犯対策 20.1	
	30代 (n=145)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 36.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.9	学校教育の充実 24.8	最寄り駅周辺の整備/防犯対策 22.8	
	40代 (n=194)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.9	最寄り駅周辺の整備 27.3	地震などの災害対策 26.3	防犯対策 25.8	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助/学校教育の充実 24.7
	50代 (n=214)	防犯対策 31.8	地震などの災害対策 29.0	病院や救急医療など地域医療 27.6	高齢者福祉 26.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.8
	60代 (n=173)	高齢者福祉 35.8	地震などの災害対策 35.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 28.3	防犯対策 25.4	病院や救急医療など地域医療 24.3
	70歳以上 (n=231)	高齢者福祉 39.8	地震などの災害対策 38.1	病院や救急医療など地域医療 32.9	防犯対策 30.3	バス・地下鉄などの便/高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 26.4
	女性計 (n=1,261)	地震などの災害対策 31.7	高齢者福祉 27.0	防犯対策/病院や救急医療など地域医療 26.3		高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.6
性・年齢別	18~29歳 (n=161)	最寄り駅周辺の整備 30.4	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 27.3	地震などの災害対策 26.1	バス・地下鉄などの便 24.8	防犯対策 22.4
	30代 (n=159)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 43.4	学校教育の充実 38.4	地震などの災害対策 34.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.1	防犯対策 28.9
	40代 (n=234)	地震などの災害対策 30.8	病院や救急医療など地域医療 29.5	学校教育の充実 28.6	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 28.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.4
	50代 (n=234)	地震などの災害対策 34.2	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 33.3	病院や救急医療など地域医療 30.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.6	防犯対策 27.8
	60代 (n=198)	高齢者福祉 42.4	地震などの災害対策 35.9	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 34.8	病院や救急医療など地域医療 31.3	防犯対策 30.8
	70歳以上 (n=275)	高齢者福祉 34.2	地震などの災害対策 29.5	バス・地下鉄などの便 25.5	病院や救急医療など地域医療 24.7	防犯対策 24.4

⑥市政への要望 [ライフステージ別]

「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」は家族形成期で1位

ライフステージ別にみると、「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」は家族形成期(71.6%)で1位となっている。また、「学校教育の充実」は家族成長前期(43.9%)、家族成長中期(35.3%)で1位となっている。

表1-2-4 市政への要望 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
子どもなし計 (n=749)		地震などの災害対策 27.6	最寄り駅周辺の整備 25.4	防犯対策 24.4	バス・地下鉄などの便 23.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.5
単身(1) 40歳未満 (n=353)		最寄り駅周辺の整備 28.0	地震などの災害対策 25.5	バス・地下鉄などの便 24.6	防犯対策 23.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.8
単身(2) 40~64歳 (n=158)		地震などの災害対策 27.8	高齢者福祉 27.2	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 26.6	商店街の振興 25.9	最寄り駅周辺の整備/病院や救急医療など地域医療 23.4
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=50)		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.0	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 30.0	地震などの災害対策/防犯対策 26.0		バス・地下鉄などの便 24.0
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=110)		防犯対策 35.5	地震などの災害対策 30.9	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 30.0	商店街の振興 29.1	最寄り駅周辺の整備 28.2
高齢子どもなし (n=78)		高齢者福祉 35.9	地震などの災害対策 33.3	バス・地下鉄などの便 26.9	病院や救急医療など地域医療 24.4	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 23.1
子どもあり計 (n=1,521)		地震などの災害対策 32.5	高齢者福祉 29.5	病院や救急医療など地域医療 28.9	防犯対策 28.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.6
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=141)		保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 71.6	学校教育の充実 44.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 43.3	最寄り駅周辺の整備 31.9	地震などの災害対策 29.8
家族成長前期 第一子が小学生 (n=132)		学校教育の充実 43.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.3	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 32.6	防犯対策 31.8	病院や救急医療など地域医療 28.0
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=156)		学校教育の充実 35.3	病院や救急医療など地域医療 30.1	防犯対策 28.8	バス・地下鉄などの便/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.2	防犯対策/病院や救急医療など地域医療 26.9
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=124)		地震などの災害対策 34.7	学校教育の充実 29.8	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり/高齢者福祉 28.2	防犯対策/病院や救急医療など地域医療 27.4	防犯対策/病院や救急医療など地域医療 27.4
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=80)		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 38.8	最寄り駅周辺の整備 35.0	地震などの災害対策 30.0	病院や救急医療など地域医療 25.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 23.8
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=302)		高齢者福祉 36.4	地震などの災害対策 35.1	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 32.5	病院や救急医療など地域医療 31.8	防犯対策 30.8
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=586)		高齢者福祉 37.7	地震などの災害対策 34.8	病院や救急医療など地域医療 29.5	防犯対策 27.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 26.5

⑦市政への要望 [世帯類型別]

「最寄り駅周辺の整備」はひとり暮らし（1）で1位

世帯類型別にみると、「最寄り駅周辺の整備」はひとり暮らし（1）（30.9%）で1位となっている。また、「学校教育の充実」は子と同居（1）（36.1%）で1位となっている。

表1-2-5 市政への要望 [世帯類型別]（複数回答）

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=55)		最寄り駅周辺の整備 30.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.6	防犯対策/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 18.2		ごみの不法投棄対策や街の美化 16.4
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=105)		防犯対策 31.4	地震などの災害対策 30.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.8	高齢者福祉 23.8	最寄り駅周辺の整備/病院や救急医療など地域医療 22.9
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=131)		高齢者福祉 33.6	地震などの災害対策 32.1	防犯対策 30.5	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 24.4	病院や救急医療など地域医療 23.7
夫婦のみ(1) 子なし (n=164)		地震などの災害対策 30.5	防犯対策 29.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.4	最寄り駅周辺の整備 25.0	バス・地下鉄などの便/商店街の振興/病院や救急医療など地域医療 23.8
夫婦のみ(2) 子あり (n=334)		高齢者福祉 41.0	地震などの災害対策 35.9	病院や救急医療など地域医療 29.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 28.1	防犯対策 27.5
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=568)		学校教育の充実 36.1	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 35.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.7	地震などの災害対策 28.3	防犯対策 28.2
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=365)		高齢者福祉 34.5	地震などの災害対策 33.7	病院や救急医療など地域医療/高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 31.8		防犯対策 27.1
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=254)		地震などの災害対策 29.9	バス・地下鉄などの便 28.0	最寄り駅周辺の整備 26.4	防犯対策 23.6	学校教育の充実 18.9
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=85)		高齢者福祉 36.5	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 34.1	商店街の振興 30.6	地震などの災害対策 28.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.1
祖父母と親と子 3世代 (n=147)		地震などの災害対策 35.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.6	高齢者福祉 29.9	病院や救急医療など地域医療 29.3	バス・地下鉄などの便 28.6

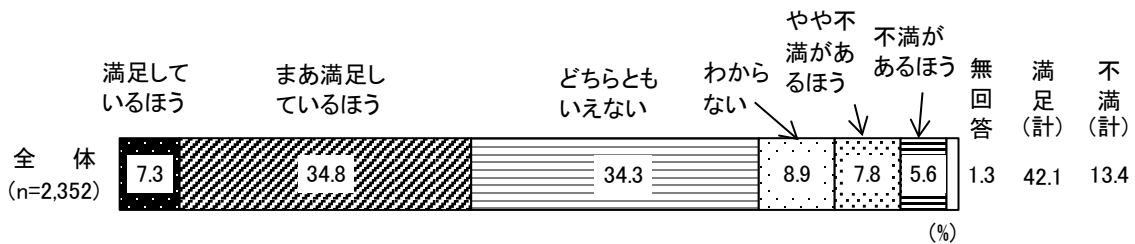
(3) 市政全体への満足度

問 10 あなたは全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(〇は1つ)

『満足(計)』は4割を超える

市政全体への満足度については、「満足しているほう」(7.3%)と「まあ満足しているほう」(34.8%)を合わせた『満足(計)』(42.1%)は4割を超えている。また、「不満があるほう」(5.6%)と「やや不満があるほう」(7.8%)を合わせた『不満(計)』(13.4%)は1割半ばとなっている。

図1-3-1 市政全体への満足度 [全体]

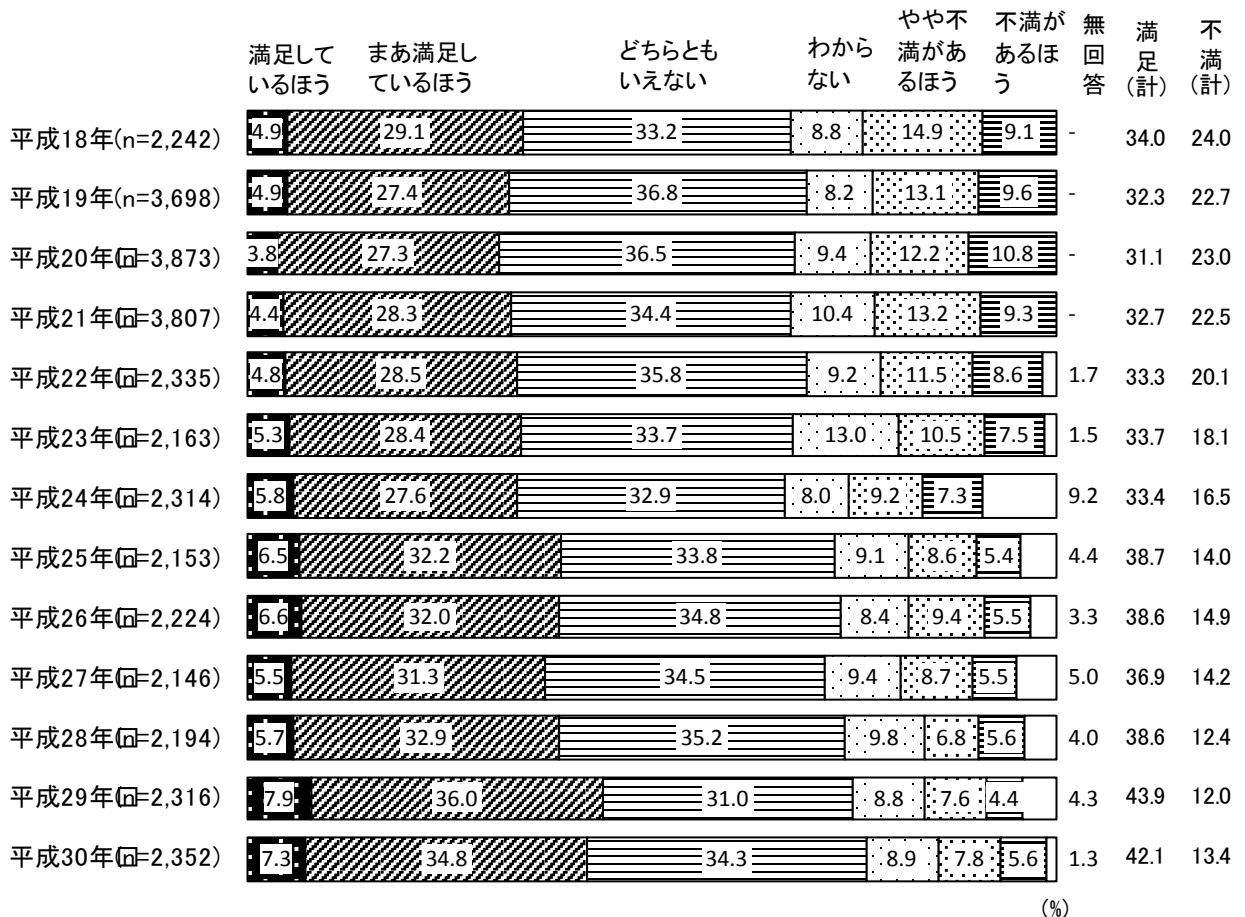


① 市政全体への満足度 [経年変化]

『満足(計)』は4割台を維持

経年変化をみると、前回調査から『満足(計)』(42.1%)は1.8ポイント減少したが、昨年(平成29年)に続き4割台を維持している。

図1-3-2 市政全体への満足度 [経年変化]



②市政全体への満足度 [ブロック別]

『満足 (計)』は南部で5割近く

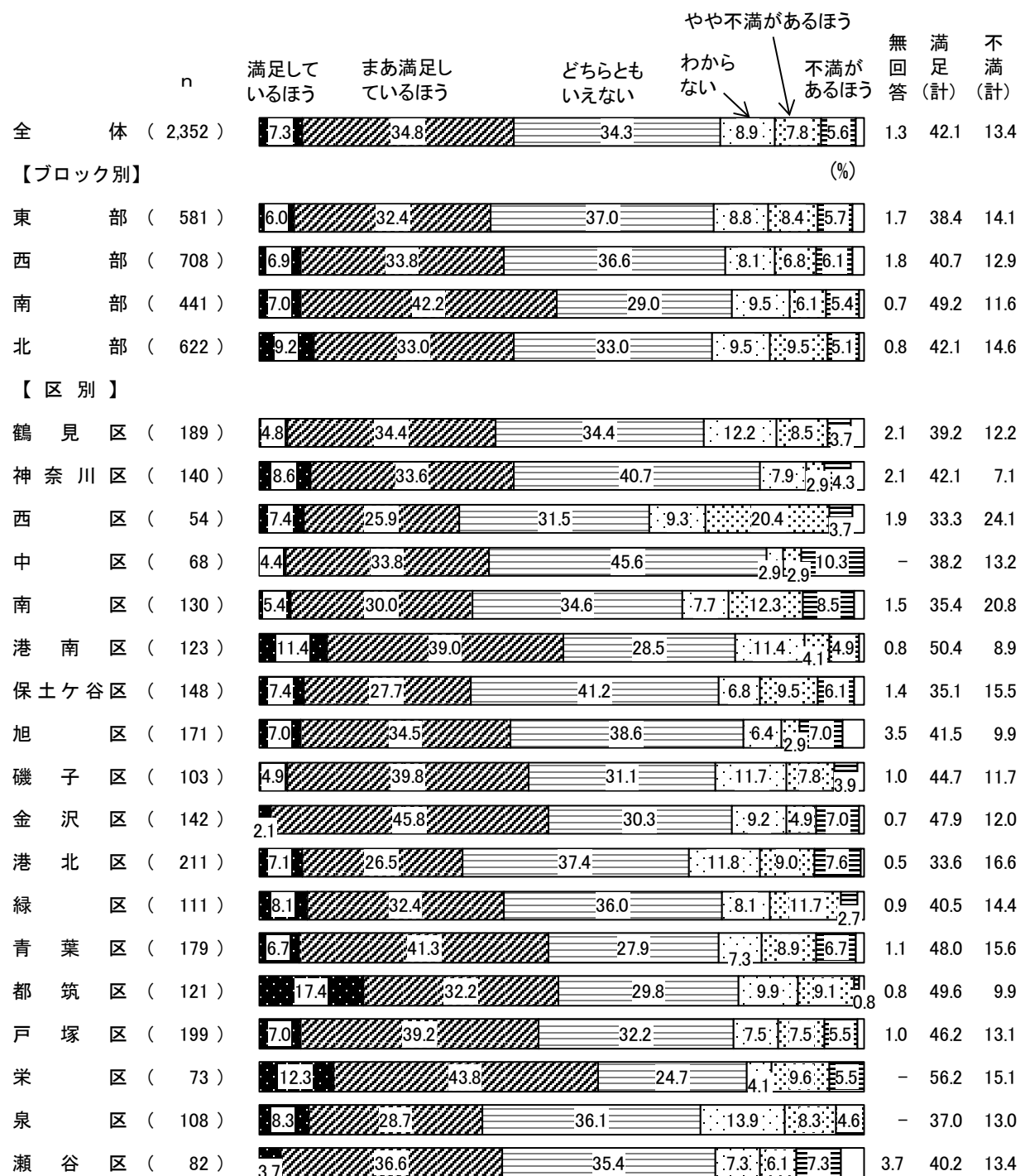
ブロック別にみると、『満足 (計)』は南部 (49.2%) で5割近くと多くなっている。

③市政全体への満足度 [区別]

『満足 (計)』は栄区で5割半ば

区別にみると、『満足 (計)』は栄区 (56.2%) で5割半ばと最も多くなっている。一方、『不満 (計)』は西区 (24.1%)、南区 (20.8%) で2割を超えて多い。

図1-3-3 市政全体への満足度 [ブロック別、区別]



④市政全体への満足度 [年齢別]

『満足(計)』は70歳以上で5割半ば

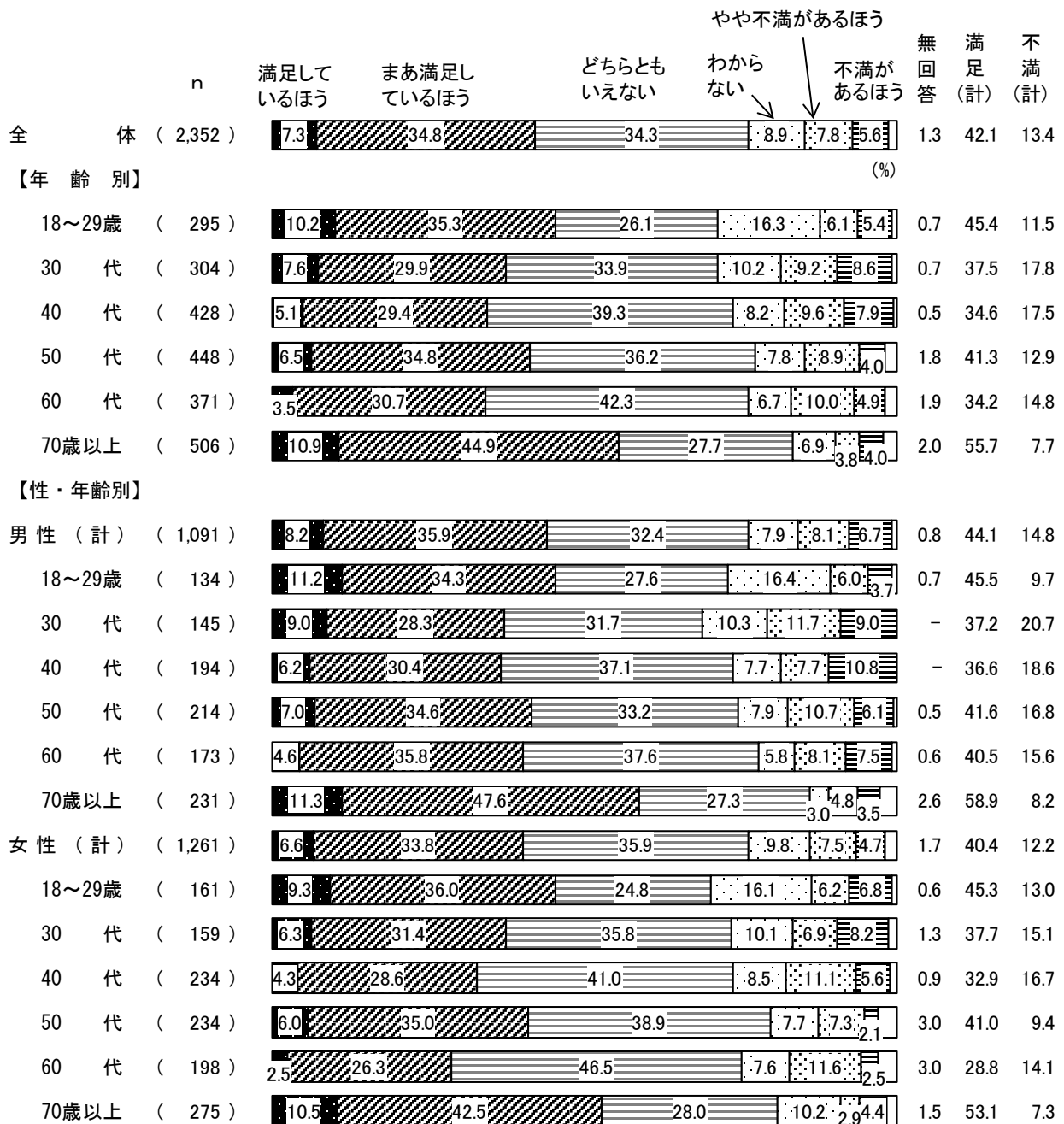
年齢別にみると、『満足(計)』は70歳以上(55.7%)で5割半ばと多くなっている。

⑤市政全体への満足度 [性・年齢別]

『満足(計)』は男女とも70歳以上で5割を超える

性・年齢別にみると、『満足(計)』は男女とも70歳以上で5割を超えて多くなっている。一方、『不満(計)』は男性30代(20.7%)で2割を超えて最も多い。

図1-3-4 市政全体への満足度 [年齢別、性・年齢別]

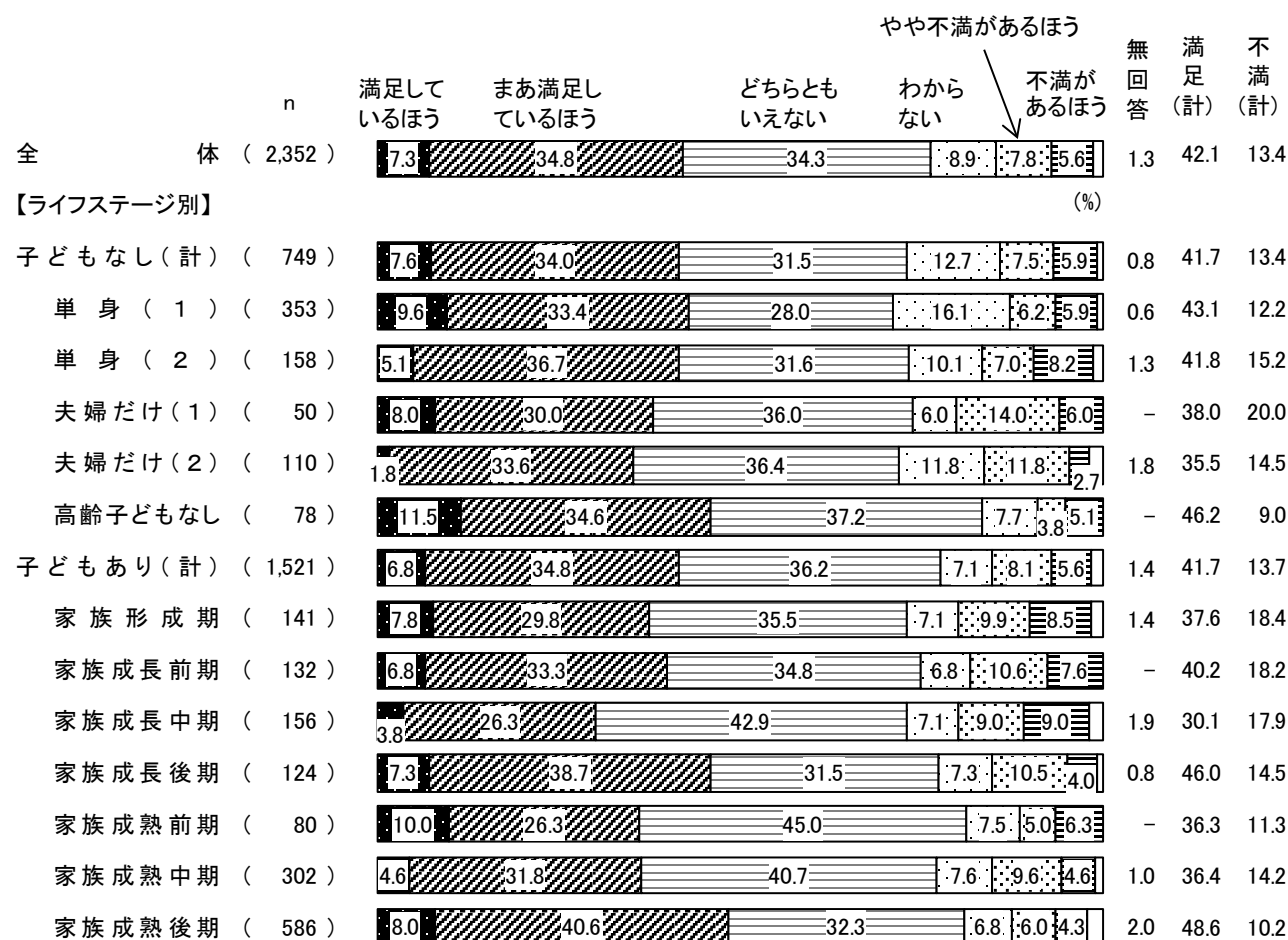


⑥市政全体への満足度 [ライフステージ別]

『満足(計)』は家族成熟後期で5割近く

ライフステージ別にみると、『満足(計)』は家族成熟後期(48.6%)で5割近くと最も多くなっている。

図1-3-5 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

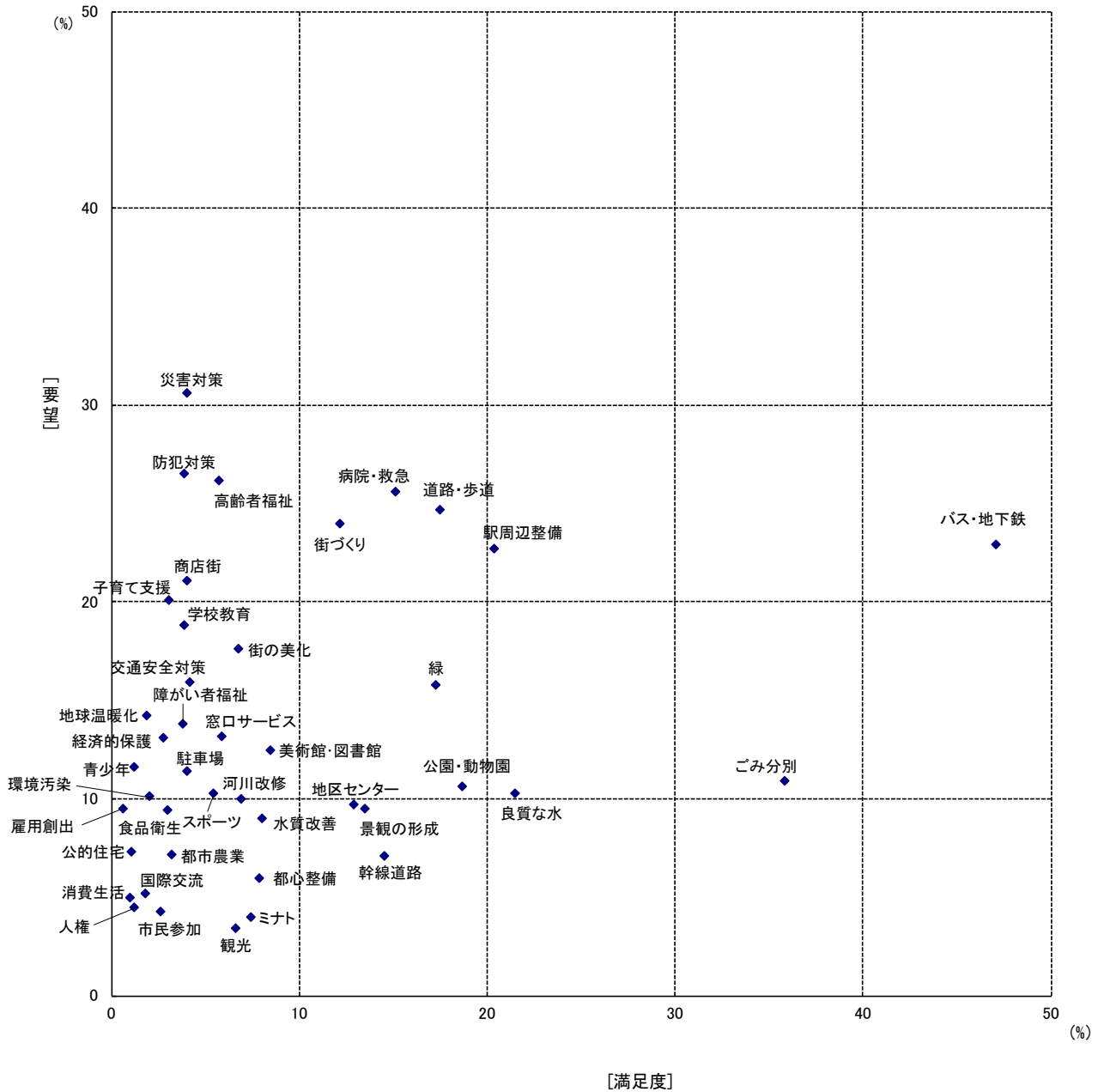


(4) 満足度と要望のまとめ

42項目について、満足度を横軸に、要望を縦軸にして同一平面にプロットすると、両者の相関をみる
ことができる（図中に表わすため、実際の選択肢を一部省略した表現で表記している）。

<満足度が低く要望の多いもの>としては、「地震などの災害対策」（略称：災害対策）、「防犯対
策」、「高齢者福祉」などが挙げられる。

図1-4-1 満足度と要望



①満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

「地震などの災害対策」でギャップが最も大きい

42項目について、満足度と要望の差を求め、要望のほうが多い10項目を表にまとめた。「地震などの災害対策」は満足度（4.0%）が要望（30.6%）を26.6ポイント下回り、両者のギャップが最も大きい。次いで、「防犯対策」は満足度（3.9%）が要望（26.5%）を22.6ポイント、「高齢者福祉」は満足度（5.7%）が要望（26.2%）を20.5ポイント下回っている。

表1-4-1 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度-要望)
1位	地震などの災害対策	4.0	30.6	▲ 26.6
2位	防犯対策	3.9	26.5	▲ 22.6
3位	高齢者福祉	5.7	26.2	▲ 20.5
4位	商店街の振興	4.0	21.1	▲ 17.1
5位	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	3.1	20.1	▲ 17.0
6位	学校教育の充実	3.9	18.8	▲ 14.9
7位	地球温暖化への対策	1.9	14.2	▲ 12.3
8位	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）	12.2	24.0	▲ 11.8
9位	違法駐車防止や交通安全対策	4.2	15.9	▲ 11.7
10位	ごみの不法投棄対策や街の美化	6.8	17.6	▲ 10.8

②満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

「ごみの分別収集、リサイクル」、「バス・地下鉄などの便」で高い充足度

42項目について、満足度と要望の差を求め、満足度のほうが多い10項目を表にまとめた。「ごみの分別収集、リサイクル」は満足度（35.8%）が要望（10.9%）を24.9ポイント上回り、充足度が最も高いといえる。次いで、「バス・地下鉄などの便」は満足度（47.1%）が要望（22.9%）を24.2ポイント上回っている。以下、「良質な水の確保や安定供給」（11.2ポイント）などの順となっている。

表1-4-2 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度-要望)
1位	ごみの分別収集、リサイクル	35.8	10.9	24.9
2位	バス・地下鉄などの便	47.1	22.9	24.2
3位	良質な水の確保や安定供給	21.5	10.3	11.2
4位	公園・動物園の整備	18.7	10.6	8.1
5位	幹線道路や高速道路の整備	14.5	7.1	7.4
6位	まちなみや景観の形成や保全	13.5	9.5	4.0
7位	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	7.4	4.0	3.4
8位	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興	12.9	9.7	3.2
8位	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	6.6	3.4	3.2
10位	都心部の整備や魅力づくり	7.9	6.0	1.9

2. 定住意識

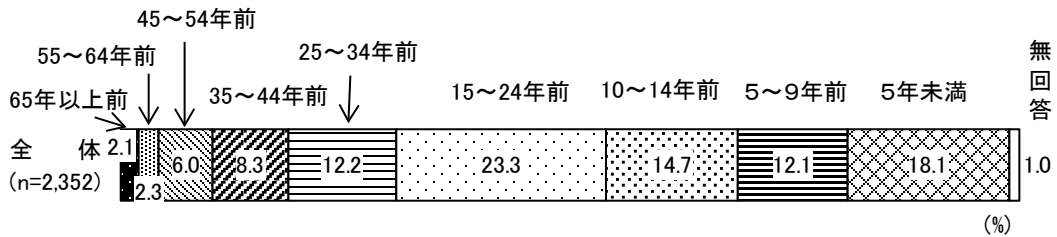
(1) 現住地居住年数

問1 あなたは今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

「5年未満」の居住者が2割近く

現住地居住年数については、「5年未満」(18.1%)が2割近くとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]

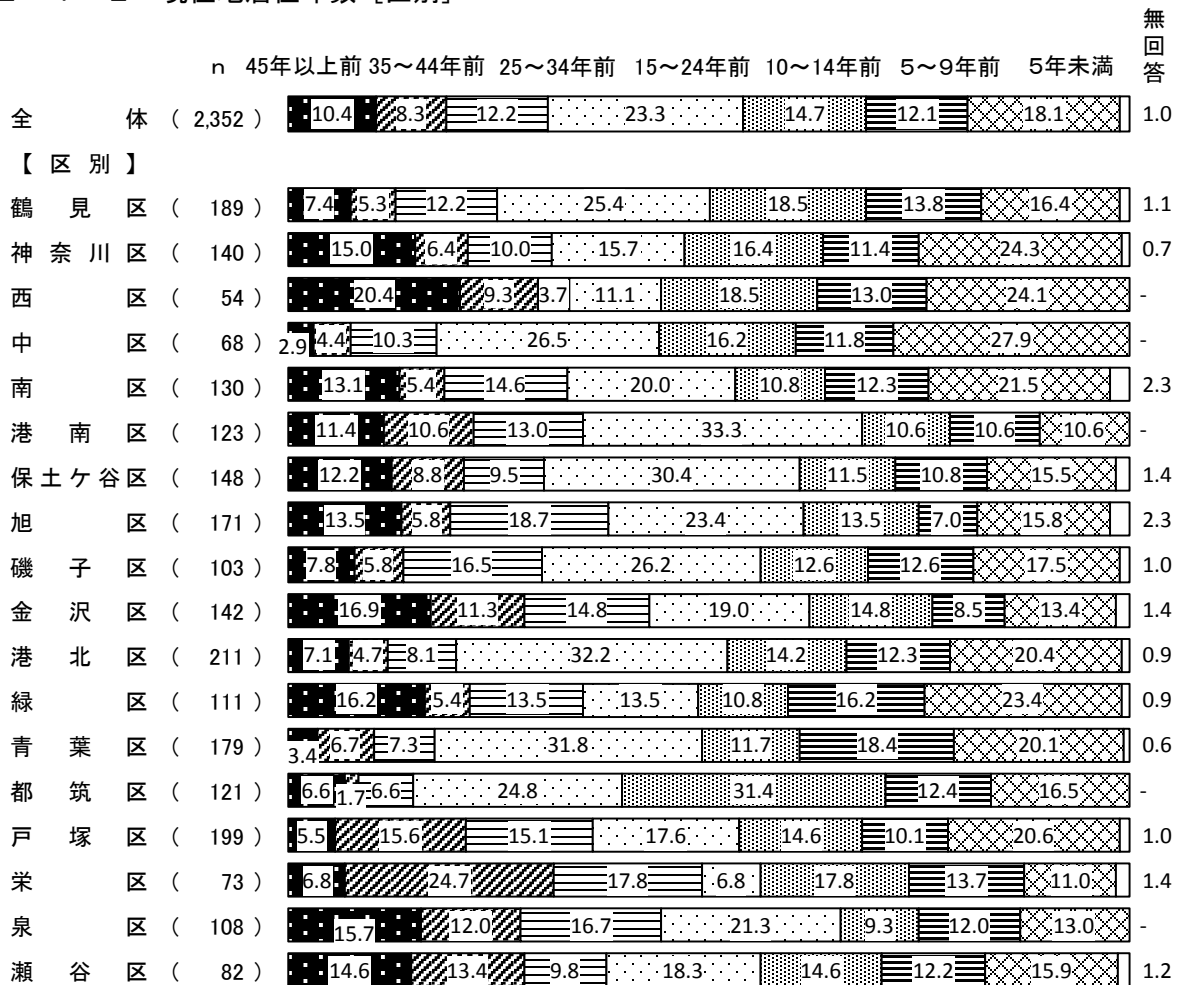


①現住地居住年数 [区別]

「5年未満」の居住者は中区で3割近く

区別にみると、居住年数「5年未満」は中区(27.9%)で3割近くと最も多くなっている。一方、「45年以上前」は西区(20.4%)で2割を超えて多い。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]



②現住地居住年数 [ライフステージ別]

「5年未満」の居住者は夫婦だけ(1)で7割を超える

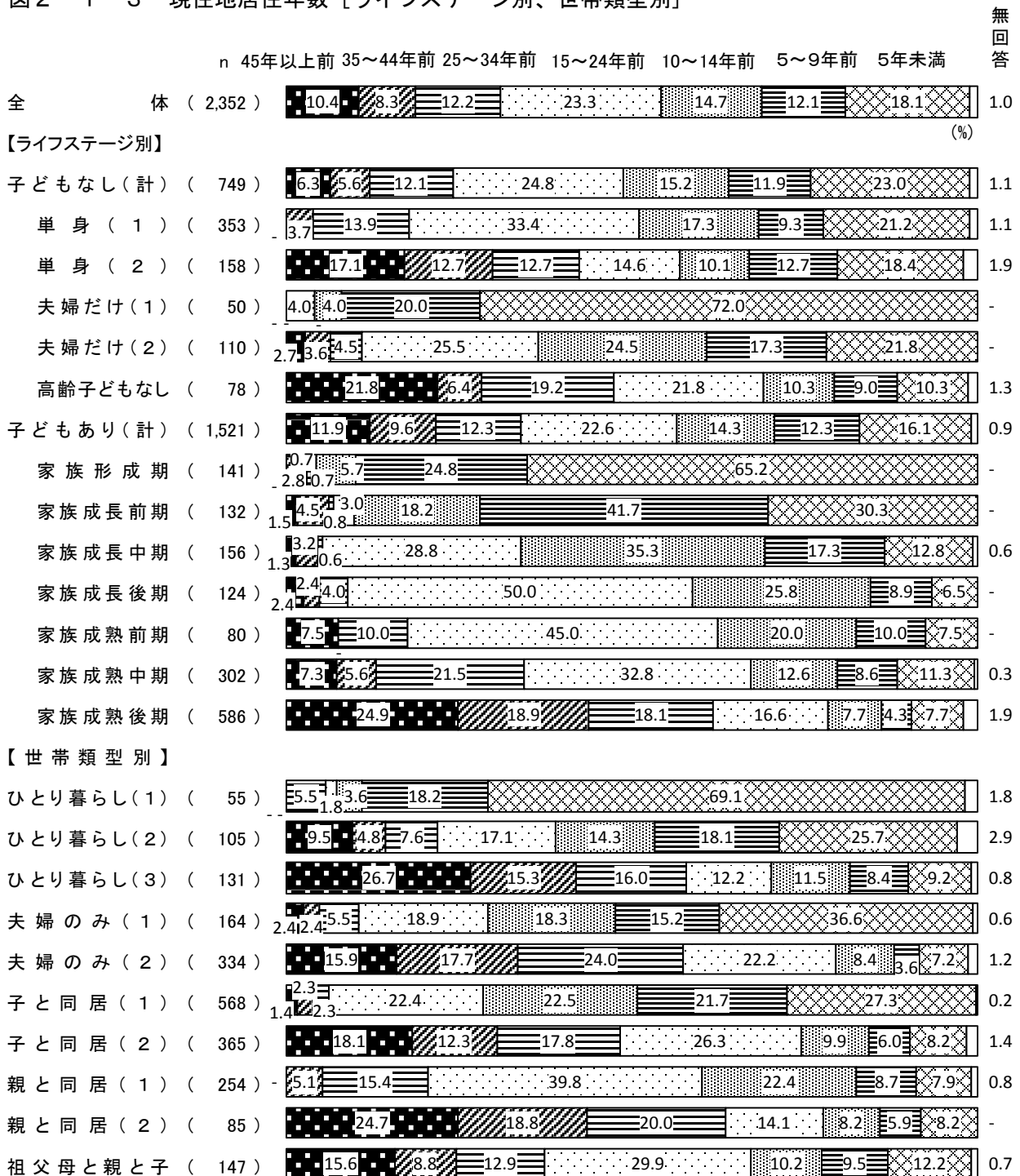
ライフステージ別にみると、居住年数「5年未満」は夫婦だけ(1) (72.0%)で7割を超え、家族形成期(65.2%)で6割半ばと多くなっている。

③現住地居住年数 [世帯類型別]

「5年未満」の居住者はひとり暮らし(1)で7割近く

世帯類型別にみると、居住年数「5年未満」はひとり暮らし(1) (69.1%)で7割近くと最も多くなっている。

図2-1-3 現住地居住年数 [ライフステージ別、世帯類型別]



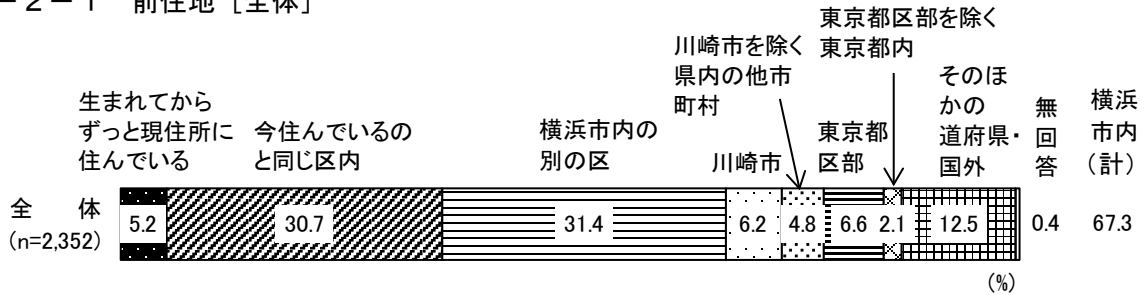
(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

現住所の直前に住んでいたところについては、「横浜市内の別の区」(31.4%)が3割を超えて最も多く、次いで「今住んでいるのと同じ区内」(30.7%)となっている。これらと「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(5.2%)を合わせた『横浜市内(計)』(67.3%)は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地 [全体]

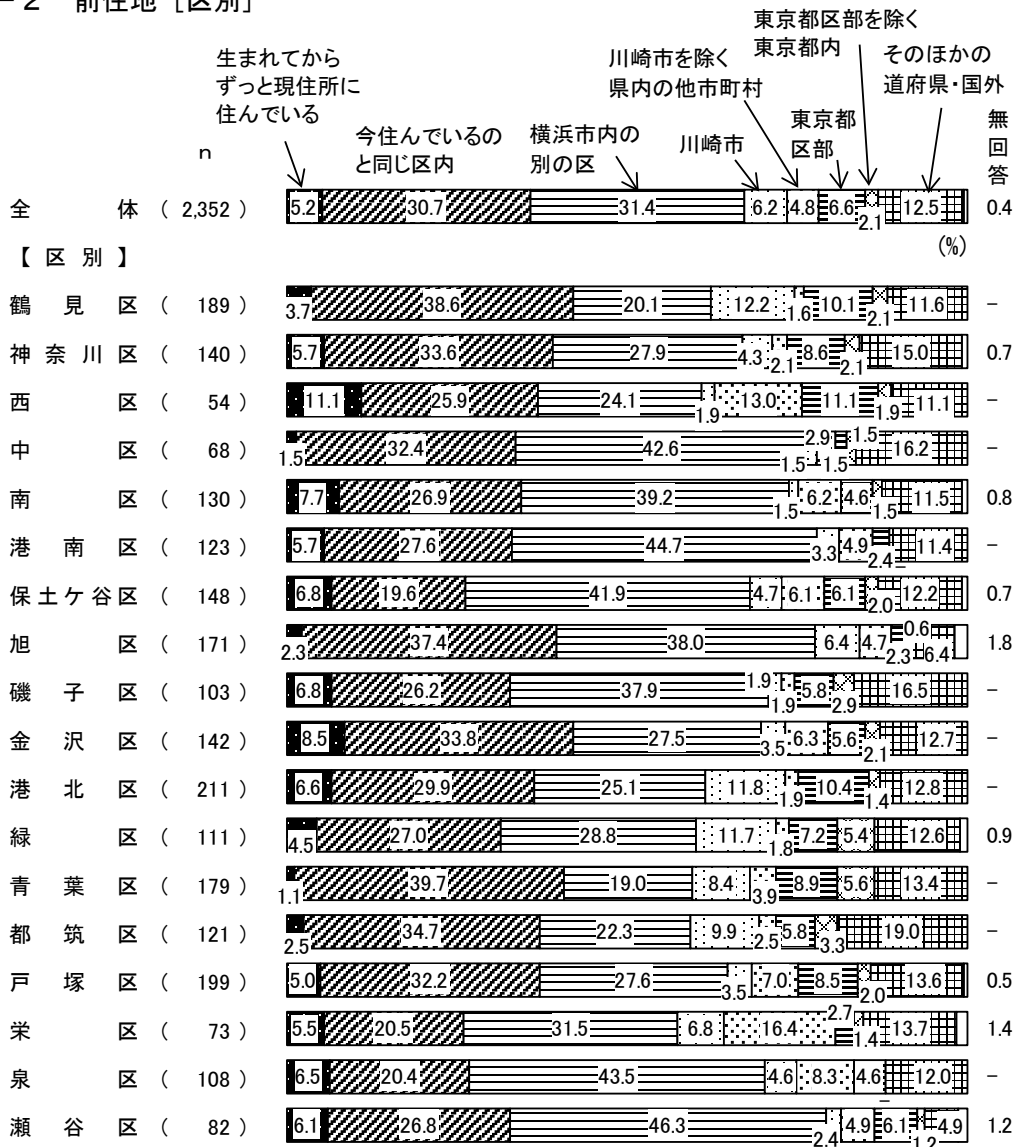


①前住地 [区別]

「横浜市内の別の区」は瀬谷区で4割半ば

区別にみると、「横浜市内の別の区」は、瀬谷区(46.3%)で4割半ばと最も多くなっている。

図2-2-2 前住地 [区別]



(3) 周辺環境の総合評価

問3 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(〇は1つ)

『暮らしやすい(計)』は8割近く

周辺環境の総合評価については、「暮らしやすい」(44.3%)と「どちらかという暮らしやすい」(34.9%)を合わせた『暮らしやすい(計)』(79.2%)は8割近くとなっている。

図2-3-1 周辺環境の総合評価[全体]

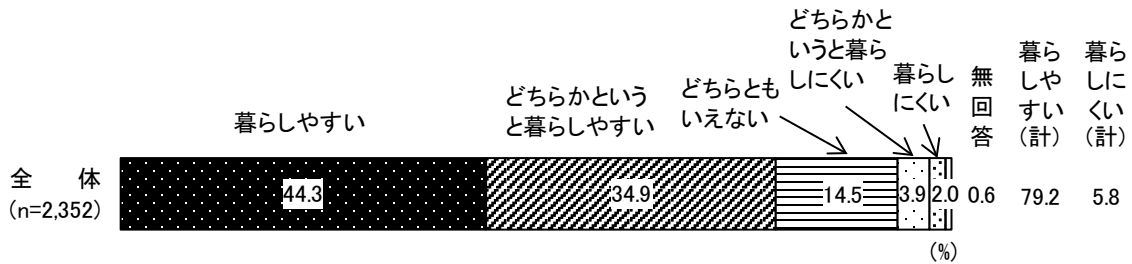
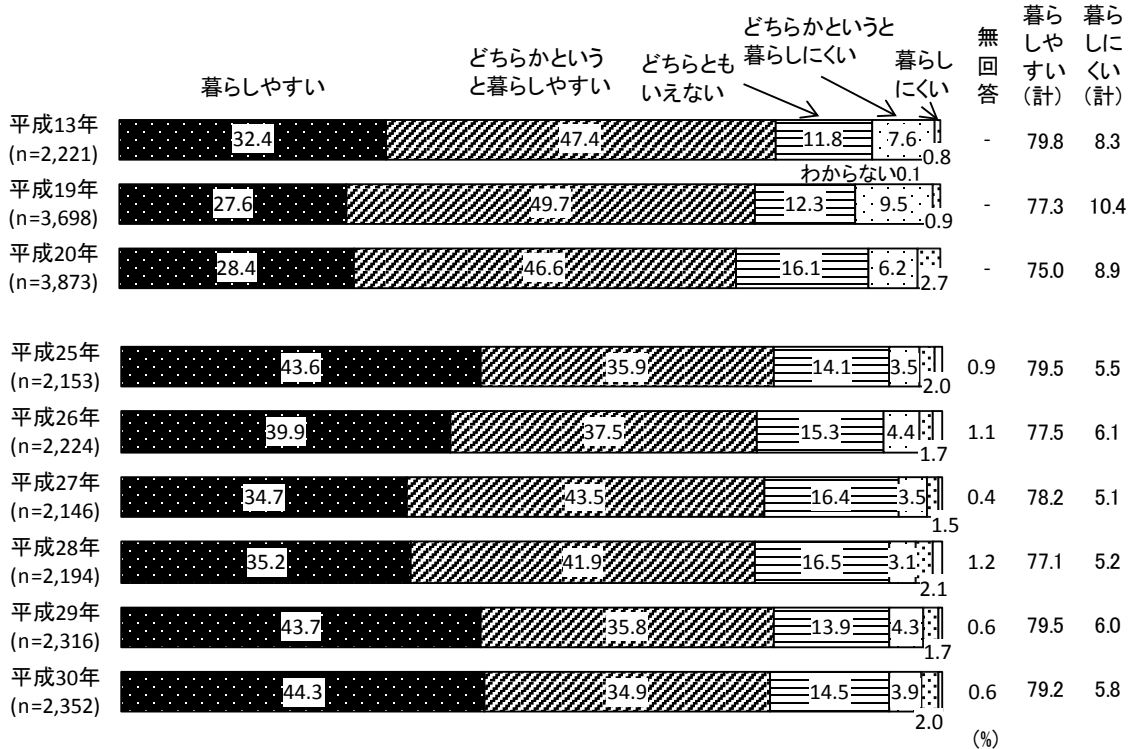


図2-3-2 周辺環境の総合評価[経年変化](参考)

『暮らしやすい(計)』は横ばい傾向

経年変化をみると、前回調査から『暮らしやすい(計)』は0.3ポイントの減少で、過去6年横ばい傾向が続いている。



(注1) 平成13年・平成19年調査は、設問文が「今お住まいの周辺の環境を暮らしやすいと感じていますか。」、平成20年調査は設問文が「あなたは今のお住まいの環境を暮らしやすいと感じていますか。」である。

(注2) 平成13年・平成19年調査は選択肢の一部が以下のように異なる。

「どちらかという暮らしやすい」→「まあ暮らしやすい」
 「どちらかという暮らしにくい」→「あまり暮らしやすくない」
 「暮らしにくい」→「まったく暮らしやすくない」

(注3) 平成13年調査では「わからない」の選択肢を加えている。

①周辺環境の総合評価 [ブロック別]

『暮らしやすい(計)』は北部で8割半ば

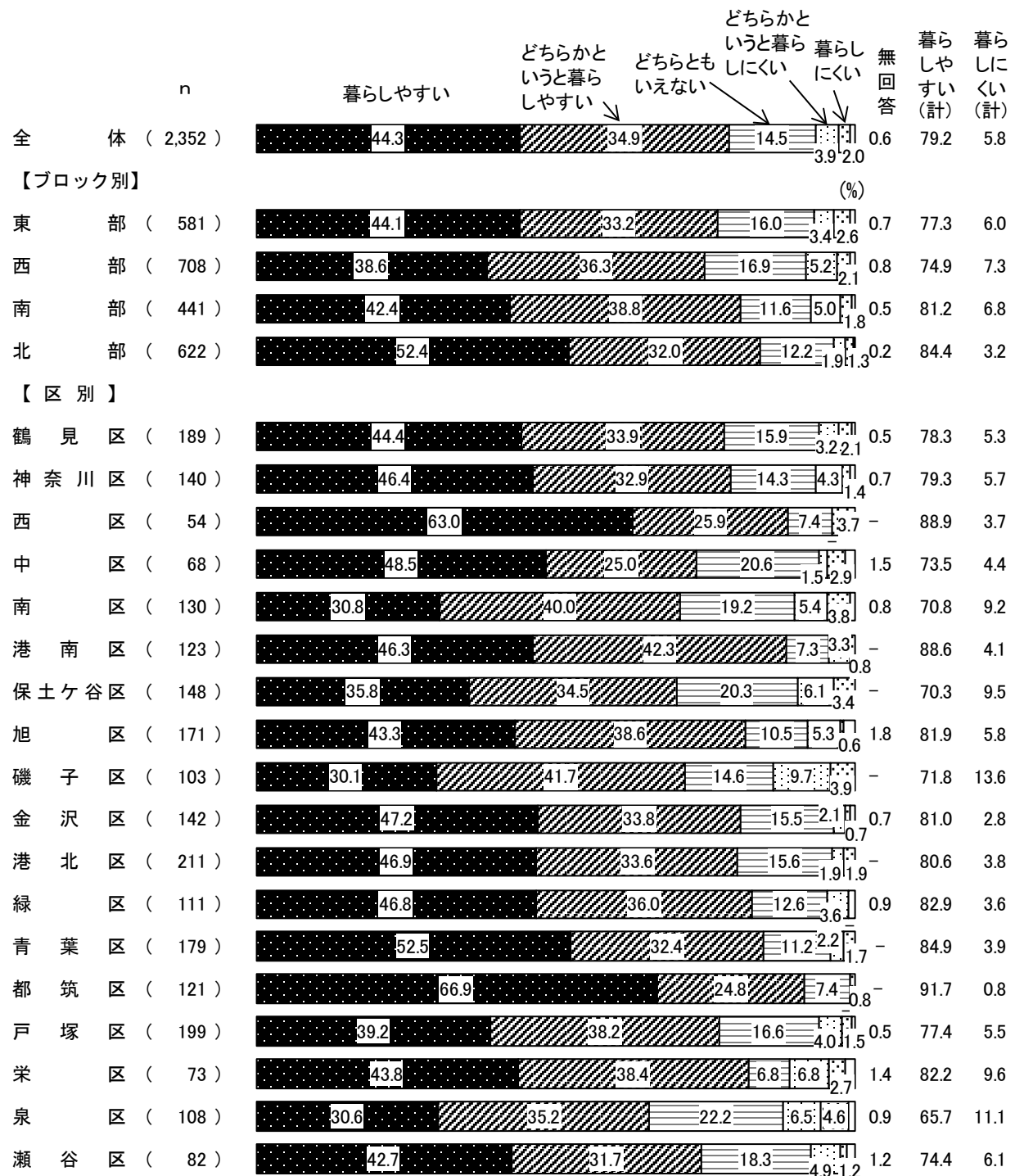
ブロック別にみると、『暮らしやすい(計)』は北部(84.4%)で8割半ばと多くなっている。

②周辺環境の総合評価 [区別]

『暮らしやすい(計)』は都筑区で9割を超える

区別にみると、『暮らしやすい(計)』は都筑区(91.7%)で9割を超えて最も多くなっている。一方、「暮らしにくい」と「どちらかという暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい(計)』は磯子区(13.6%)で1割半ばとなっている。

図2-3-3 周辺環境の総合評価 [ブロック別、区別]

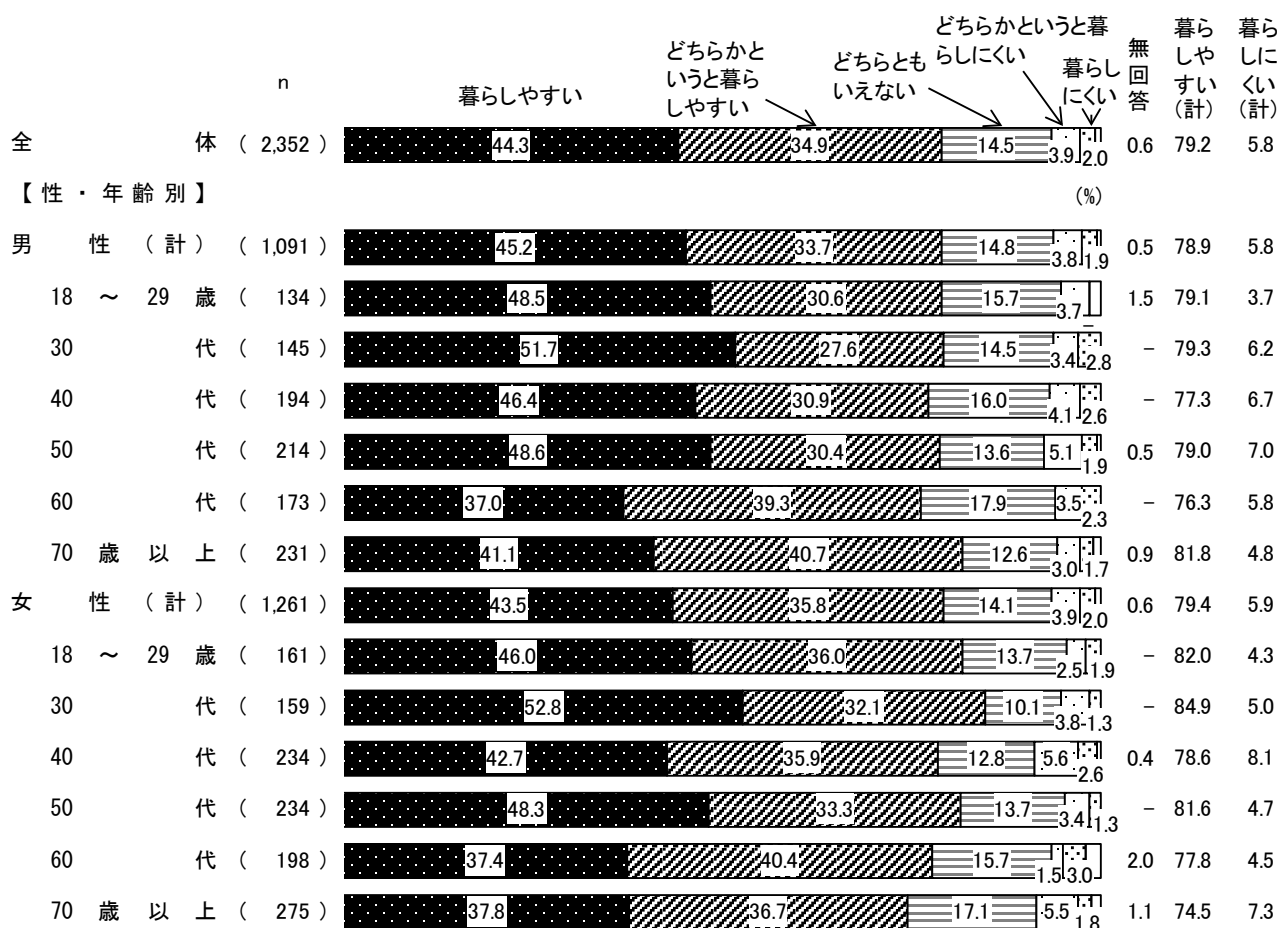


③周辺環境の総合評価 [性・年齢別]

『暮らしやすい(計)』は女性30代で8割半ば

性・年齢別にみると、『暮らしやすい(計)』は女性30代(84.9%)で8割半ばと最も多くなっている。また、「暮らしやすい」に限ると、女性30代(52.8%)、男性30代(51.7%)で5割を超えて多い。

図2-3-4 周辺環境の総合評価 [性・年齢別]



(4) 現住地定住意向

問4 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

『定住意向(計)』は6割を超える

現住地定住意向については、「住み続ける」(29.3%)と「たぶん住み続ける」(32.7%)を合わせた『定住意向(計)』(62.1%)は6割を超えている。

図2-4-1 現住地定住意向[全体]

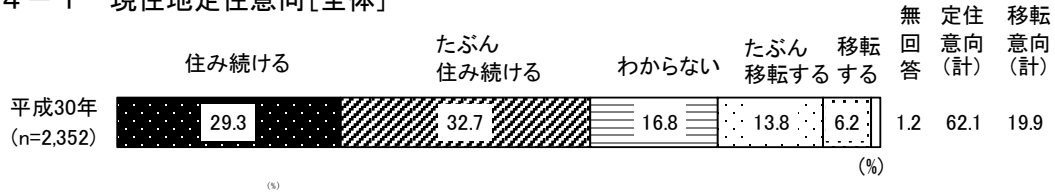
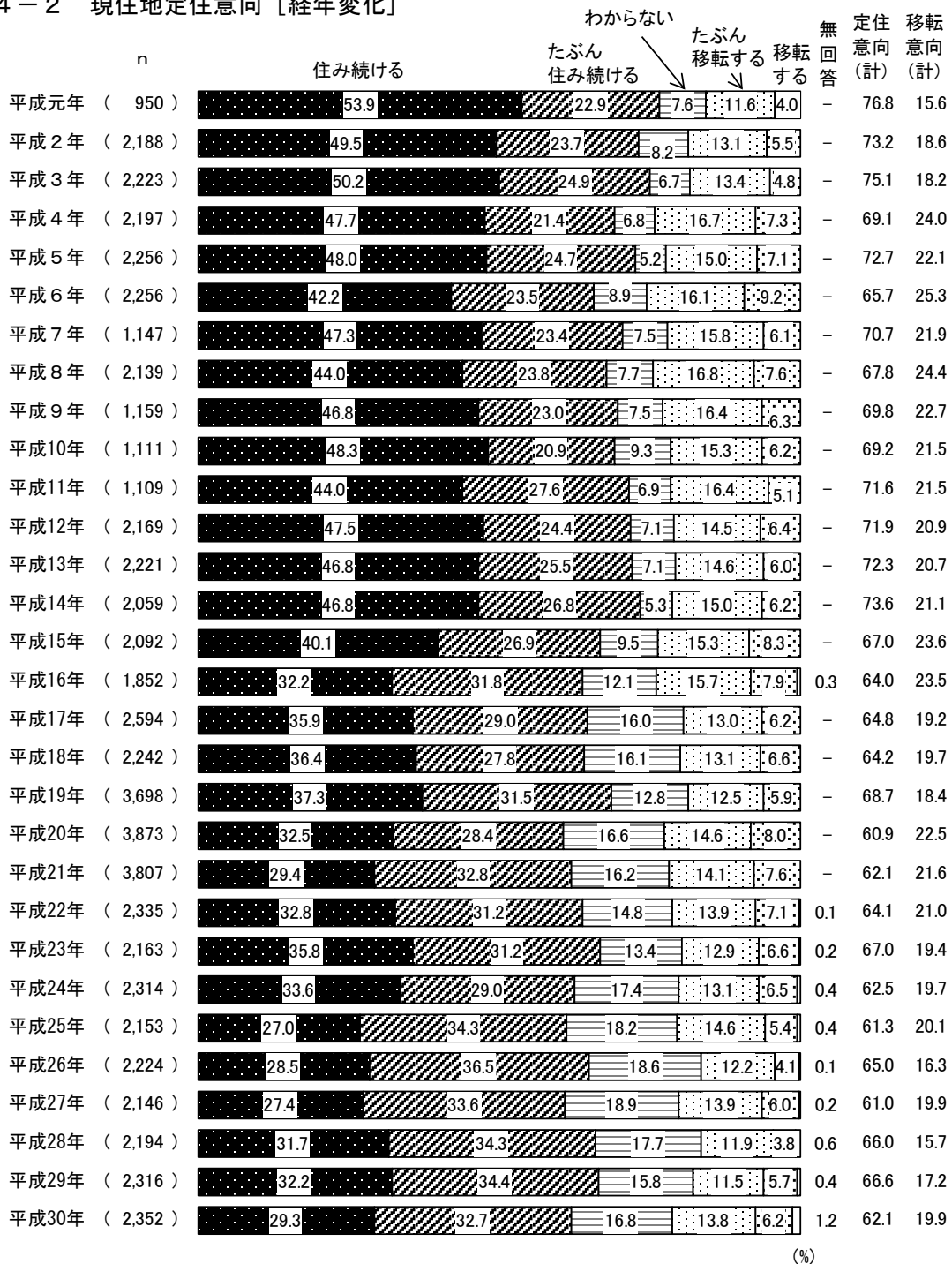


図2-4-2 現住地定住意向[経年変化]



①現住地定住意向 [ブロック別]

『移転意向 (計)』は北部で2割半ば

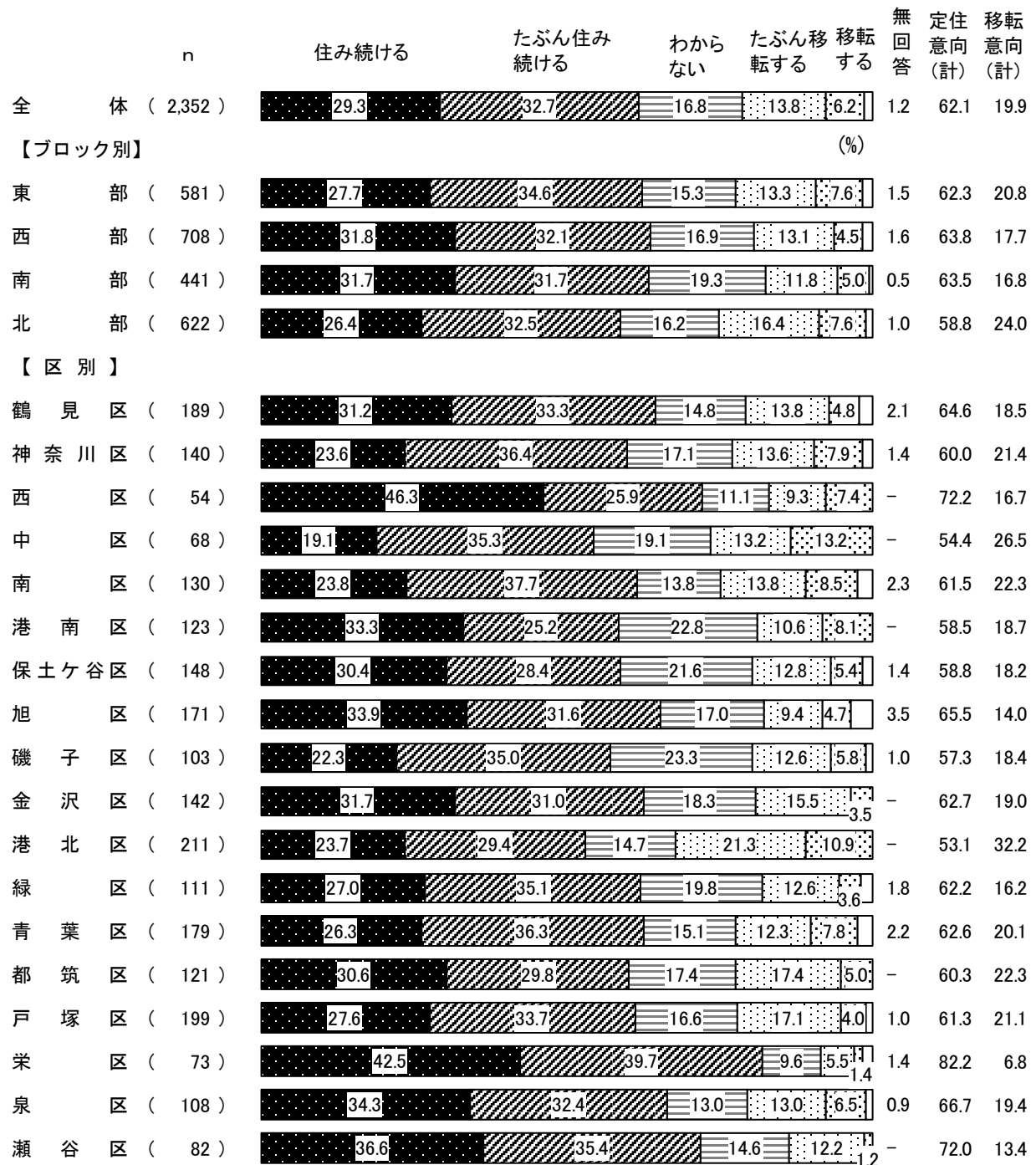
ブロック別にみると、『移転意向 (計)』は北部 (24.0%) で2割半ばと多くなっている。

②現住地定住意向 [区別]

『定住意向 (計)』は栄区で8割を超える

区別にみると、『定住意向 (計)』は栄区 (82.2%) で8割を超えて最も多くなっている。一方、『移転意向 (計)』は港北区 (32.2%) で3割を超えて多い。

図 2-4-3 現住地定住意向 [ブロック別、区別]



③現住地定住意向 [年齢別]

『定住意向 (計)』はおおむね年齢が高いほど多い

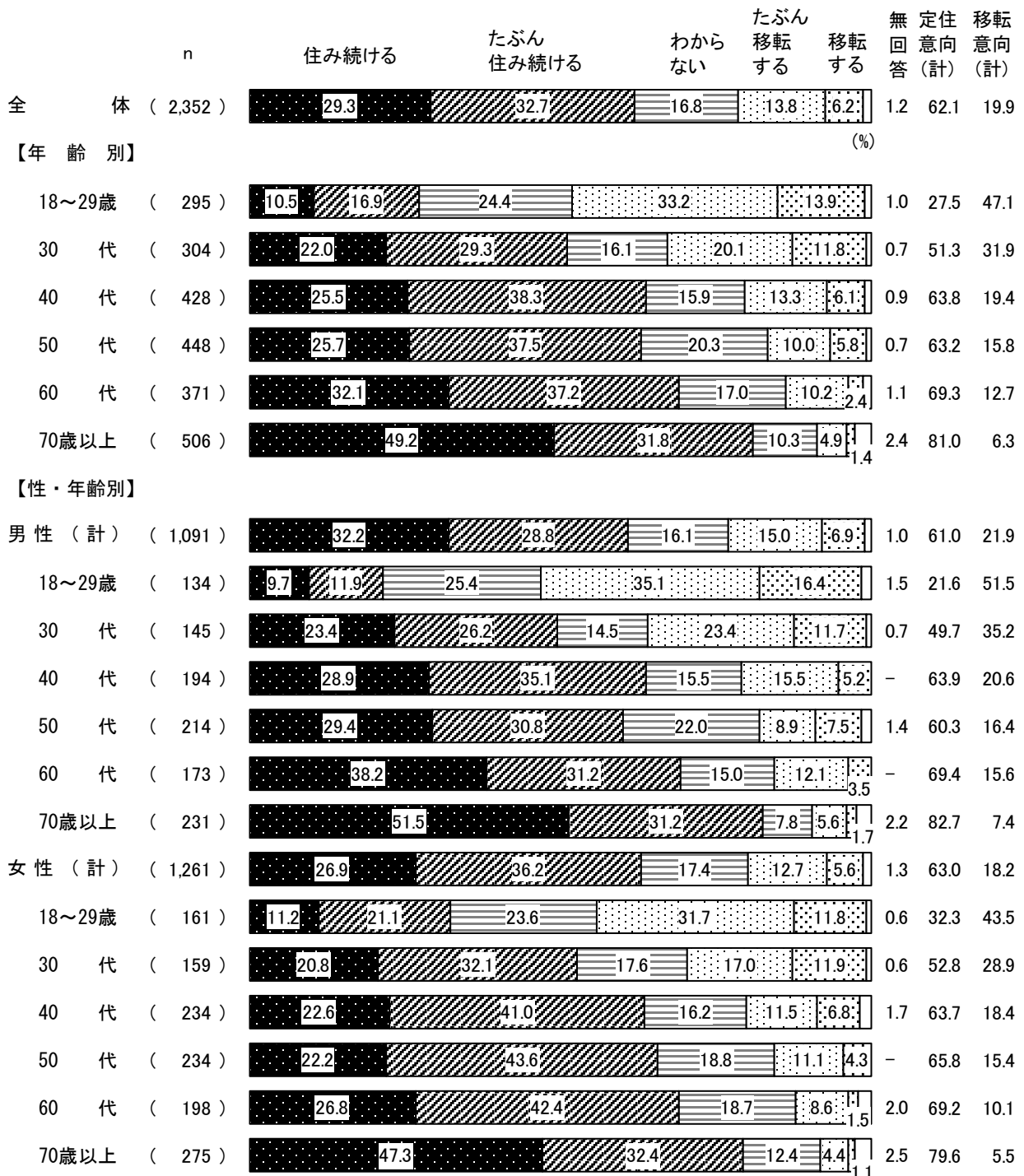
年齢別にみると、『定住意向 (計)』はおおむね年齢が高いほど多くなっている。

④現住地定住意向 [性・年齢別]

『定住意向 (計)』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、『定住意向 (計)』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多く、男女とも 70 歳以上で 8 割前後となっている。一方、『移転意向 (計)』は男性 18～29 歳 (51.5%) で 5 割を超えて多い。

図 2-4-4 現住地定住意向 [年齢別、性・年齢別]



⑤現住地定住意向 [ライフステージ別]

『定住意向 (計)』は家族成熟後期で8割

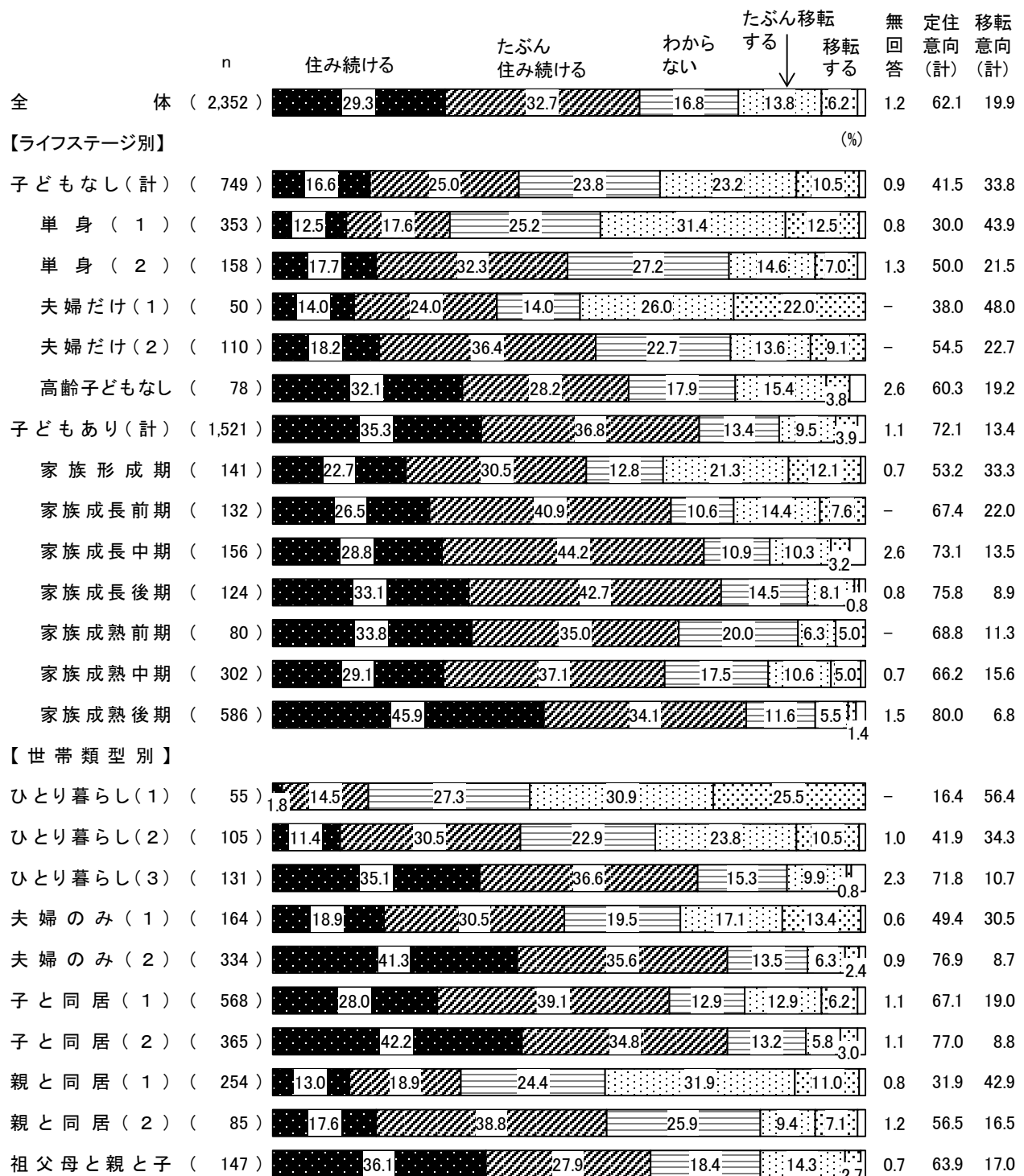
ライフステージ別にみると、『定住意向 (計)』は家族成熟後期 (80.0%) で8割と多くなっている。一方、『移転意向 (計)』は、夫婦だけ (1) (48.0%) で5割近くと多い。

⑥現住地定住意向 [世帯類型別]

『移転意向 (計)』はひとり暮らし (1) で5割半ば

世帯類型別にみると、『定住意向』は子と同居 (2) (77.0%)、夫婦のみ (2) (76.9%) で7割半ばと多くなっている。一方、『移転意向 (計)』は、ひとり暮らし (1) (56.4%) で5割半ばと多い。

図2-4-5 現住地定住意向 [ライフステージ別、世帯類型別]



(5) 希望する移転先

(問4で「3」「4」と答えた方に)
 問4-1 現実の問題は別として、次の移転先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』への移転意向は4割を超える

現住地から「移転する」または「たぶん移転する」と回答した人(469人)に、希望する移転先を尋ねたところ、「同じ区内」(13.9%)と「横浜市内」(28.6%)を合わせた『横浜市内(計)』(42.5%)は4割を超え、「横浜市以外」(20.9%)を上回っている。

図2-5-1 希望する移転先[全体]

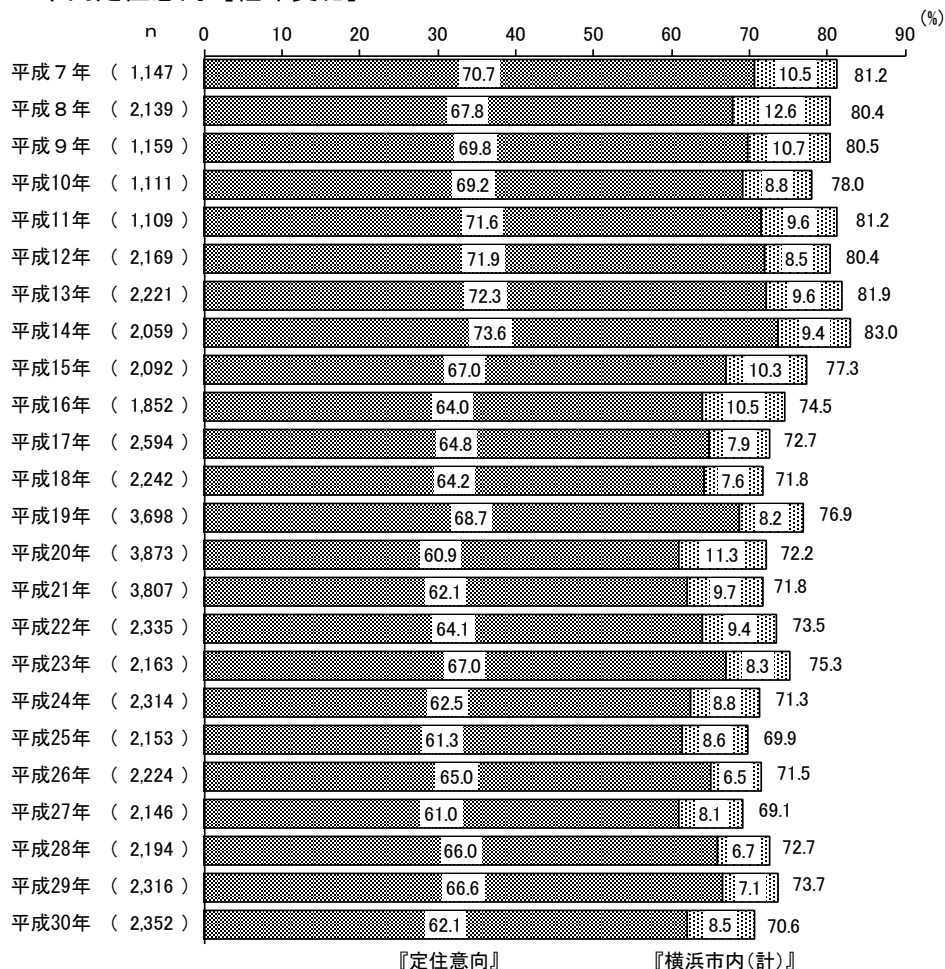


(6) 市内定住意向

『市内定住意向』は7割台を維持

現住地での『定住意向』に、現住地から「移転する」または「たぶん移転する」と答えた人のうち希望する移転先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』(70.6%)は、前回調査から3.1ポイント減少したものの、7割台を維持している。

図2-6-1 市内定住意向[経年変化]



3. 生活意識

(1) 生活満足度

問5 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

『満足(計)』は7割近く

生活満足度については、「満足しているほう」(24.3%)と「まあ満足しているほう」(45.4%)を合わせた『満足(計)』(69.6%)は7割近くとなっている。また、本年度の内閣府「国民生活に関する世論調査(※)」における全国の『満足(計)』(74.7%)と比べると5.1ポイント低くなっている。

一方、「不満があるほう」(5.6%)と「やや不満があるほう」(8.2%)を合わせた『不満(計)』(13.8%)は1割半ばで、横ばい傾向となっている。この『不満(計)』の割合は、全国の『不満(計)』(24.3%)と比較すると10.5ポイント低くなっている。

(※) 全国の18歳以上の日本国籍を有する者10,000人を対象(回収数5,969人)

図3-1-1 生活満足度 [全体]

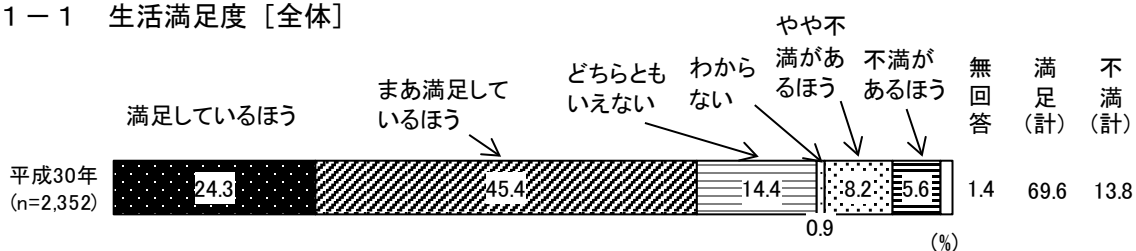
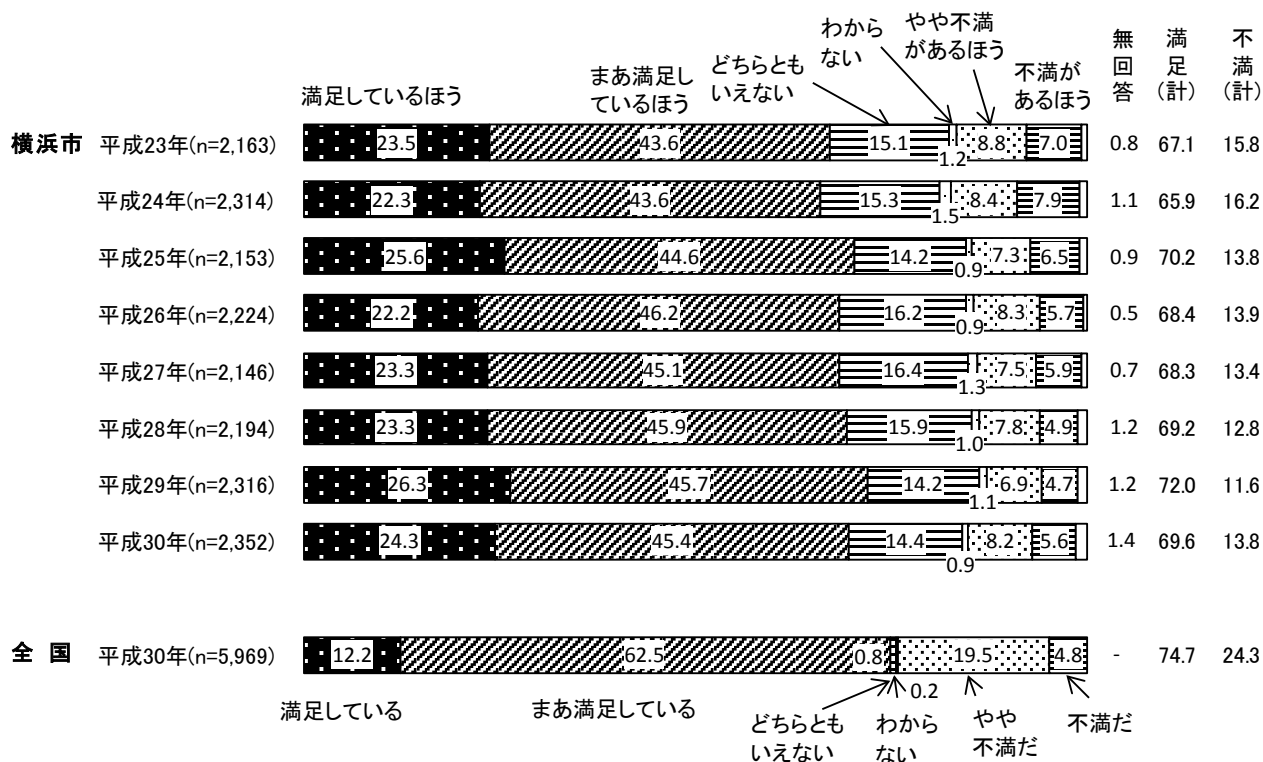


図3-1-2 生活満足度 [直近8回の調査の経年変化、全国との比較]

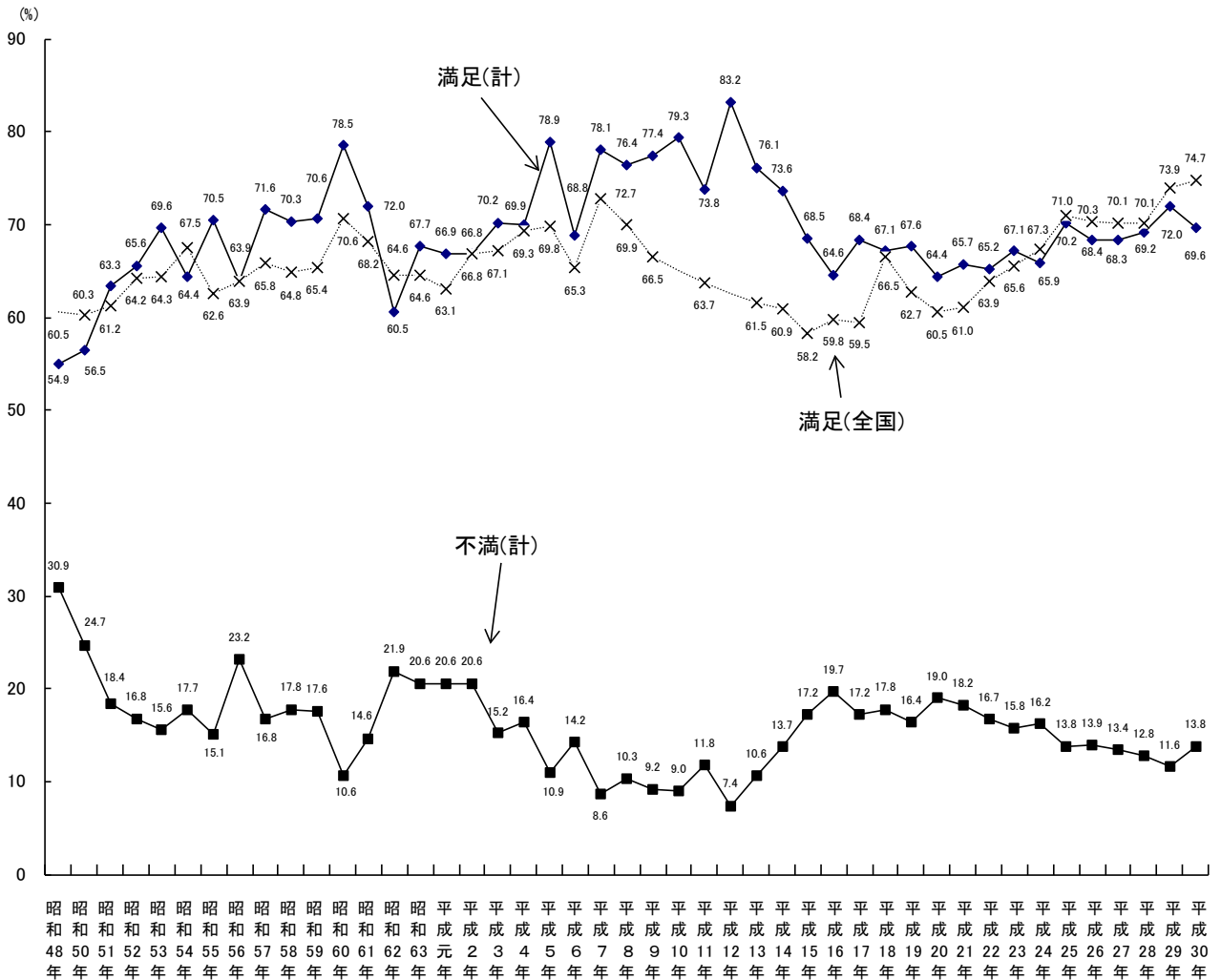


①生活満足度 [経年変化]

横浜市の満足度は微減

経年変化をみると、前回調査に比べ『満足（計）』は2.4ポイント減少、『不満（計）』は2.2ポイント増加となっている。

図3-1-3 生活満足度 [経年変化]



②生活満足度 [年齢別]

『満足(計)』は70歳以上で7割半ば

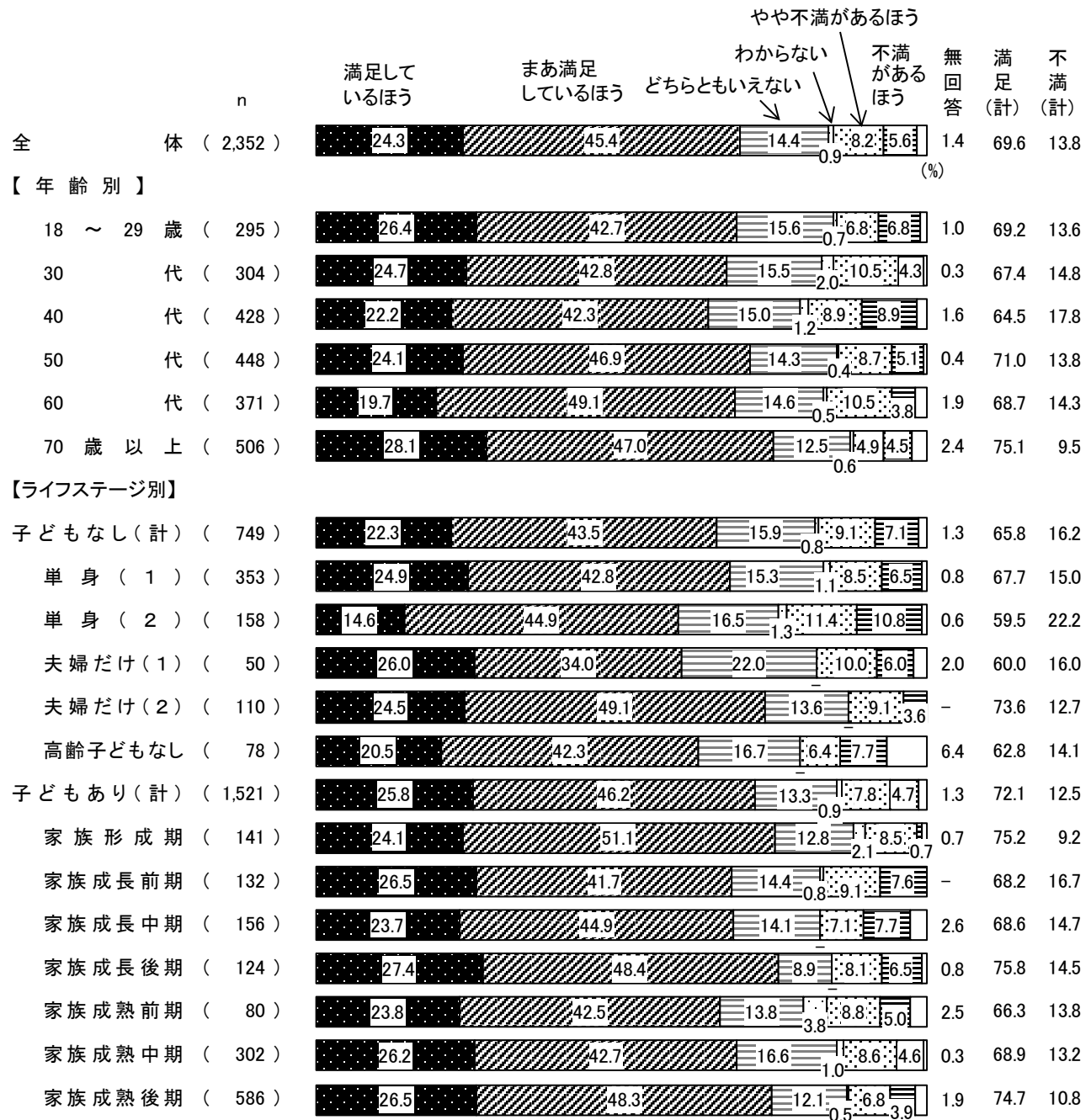
年齢別にみると、『満足(計)』は70歳以上(75.1%)で7割半ばと最も多くなっている。

③生活満足度 [ライフステージ別]

『不満(計)』は単身(2)で2割を超える

ライフステージ別にみると、『不満(計)』は単身(2)(22.2%)で2割を超えて多い。

図3-1-4 生活満足度 [年齢別、ライフステージ別]



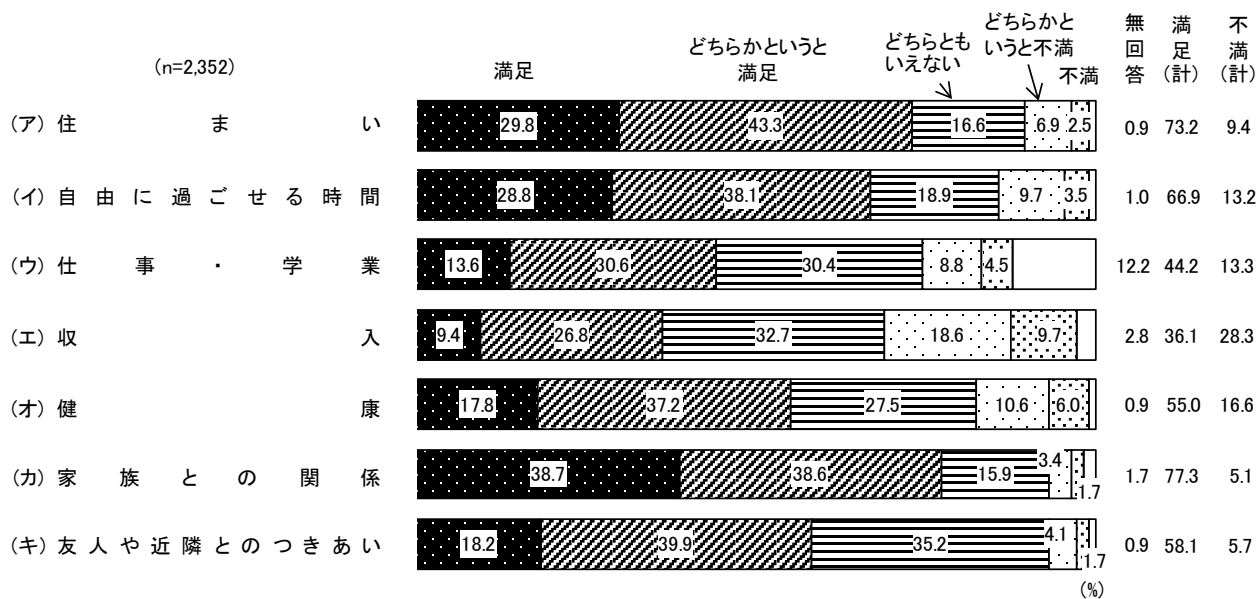
(2) 項目別生活満足度

問6 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

『満足(計)』は《家族との関係》、《住まい》で7割半ば

項目別生活満足度について、「満足」と「どちらかという満足」を合わせた『満足(計)』は、《家族との関係》(77.3%)、《住まい》(73.2%)で7割半ばとなっている。

図3-2-1 項目別生活満足度[全体]



①項目別生活満足度（ア）住まい [年齢別]

『不満（計）』は40代で1割半ば

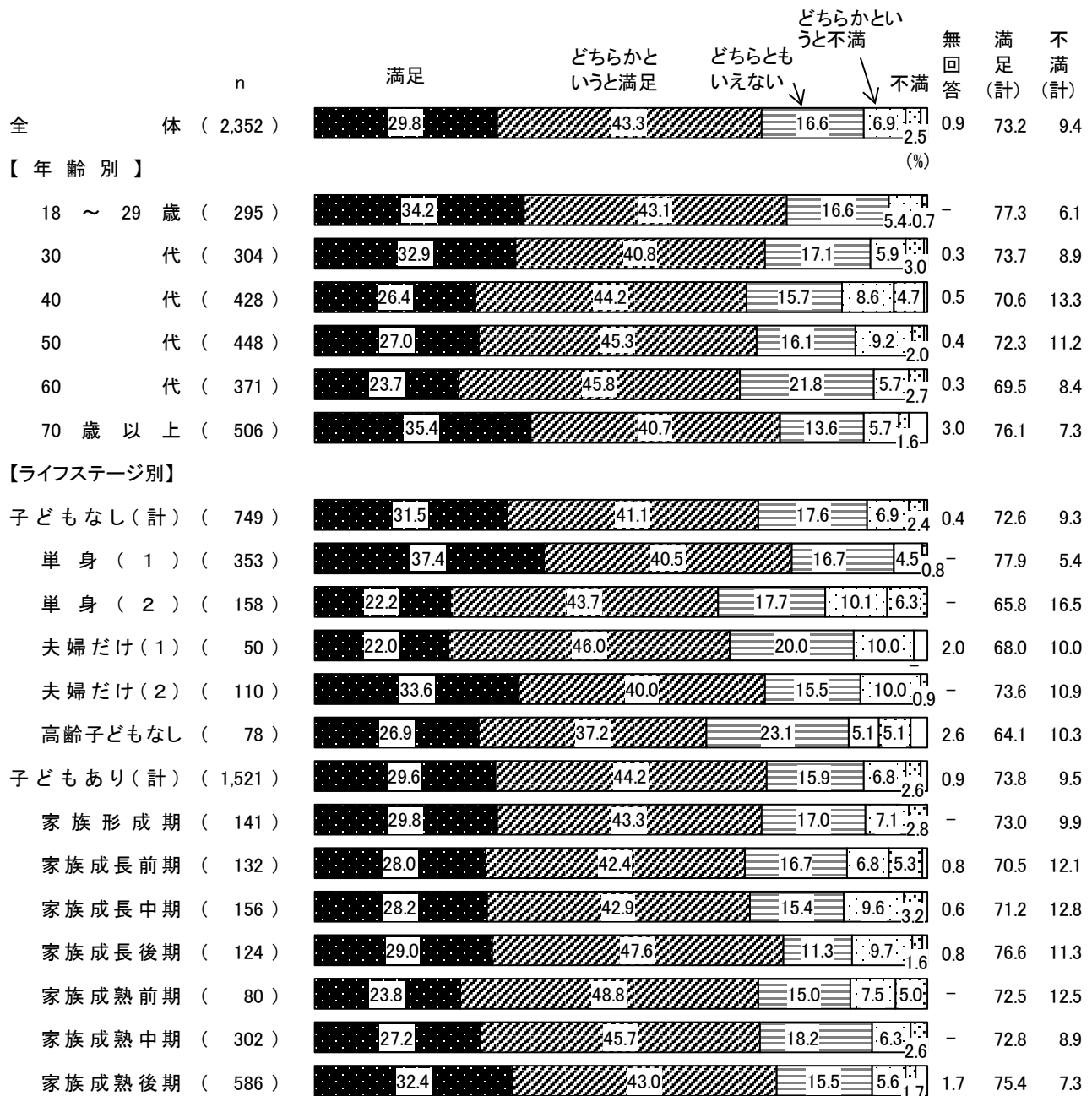
《住まい》について年齢別にみると、『不満（計）』は40代（13.3%）で1割半ばと多くなっている。

②項目別生活満足度（ア）住まい [ライフステージ別]

『満足（計）』は単身（1）で8割近く

《住まい》についてライフステージ別にみると、『満足（計）』は単身（1）（77.9%）で8割近くと最も多い。

図3-2-2 項目別生活満足度（ア）住まい [年齢別、ライフステージ別]



③項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で8割を超える

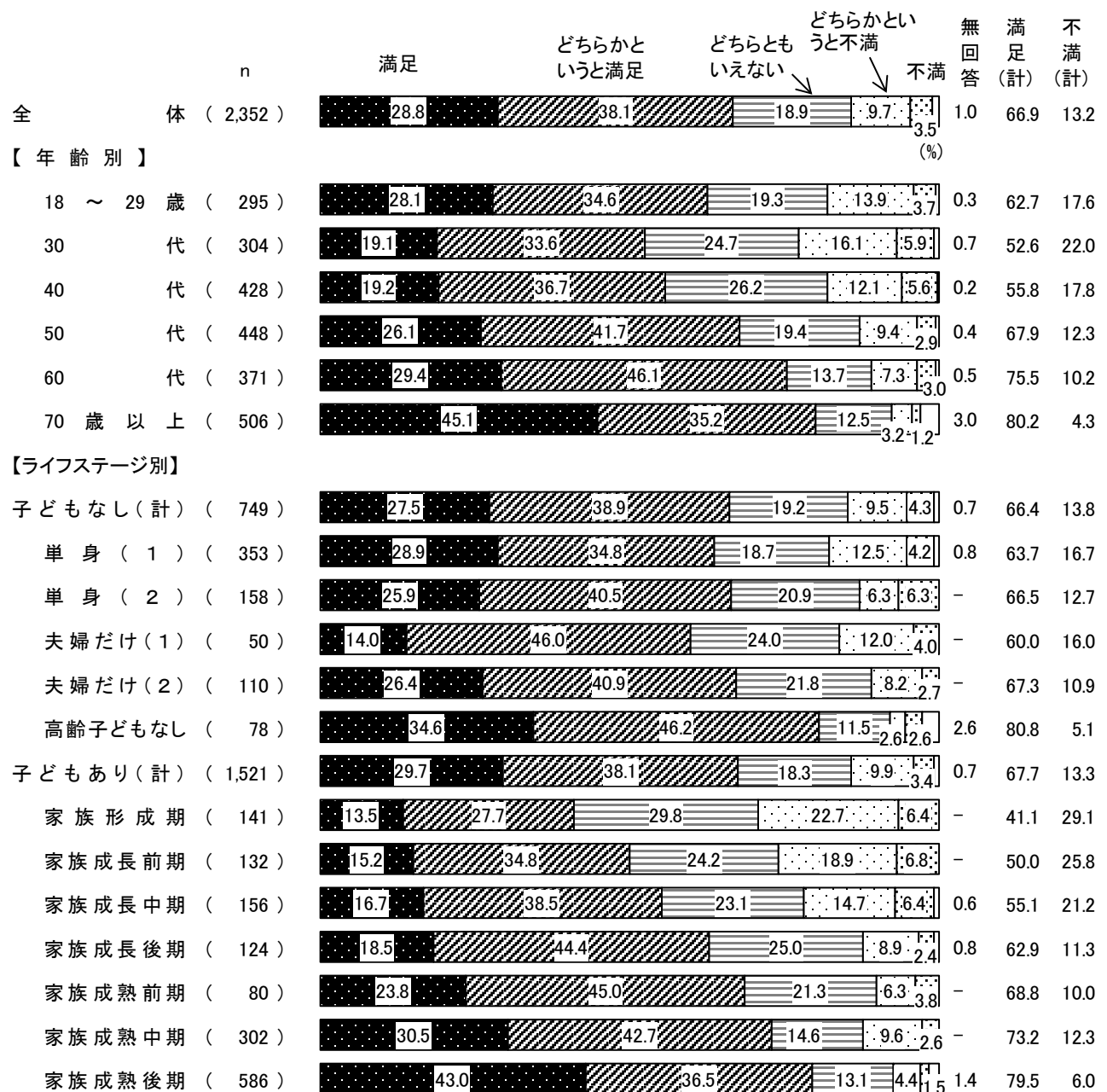
《自由に過ごせる時間》について年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（80.2%）で8割を超えて最も多くなっている。

④項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は家族形成期で3割近く

《自由に過ごせる時間》についてライフステージ別にみると、『満足（計）』は高齢子どもなし（80.8%）で8割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期（29.1%）で3割近くと多い。

図3-2-3 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間〔年齢別、ライフステージ別〕



⑤項目別生活満足度（ウ）仕事・学業〔年齢別〕

『満足（計）』は50代、18～29歳で5割半ば

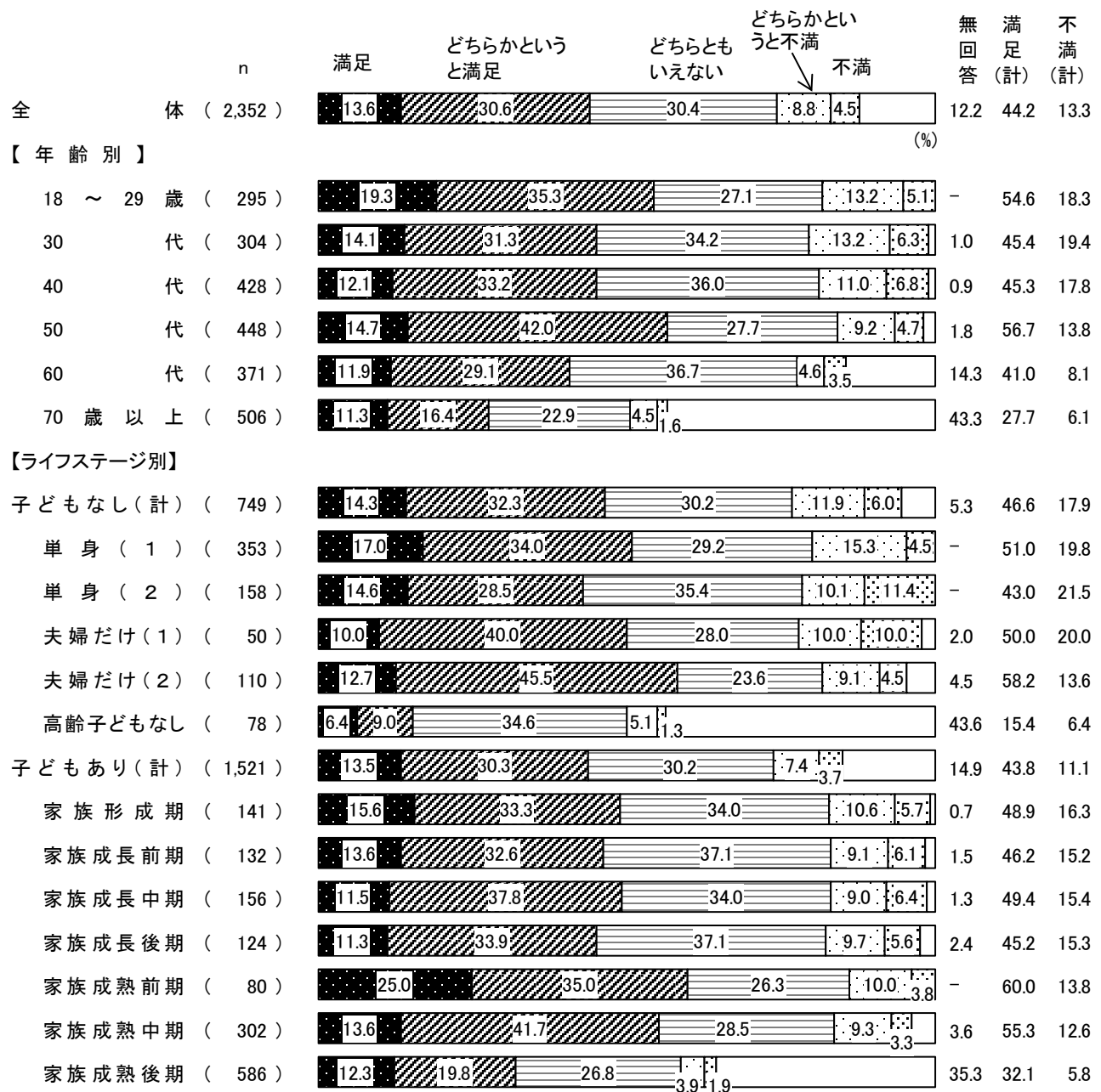
《仕事・学業》について年齢別にみると、『満足（計）』は50代（56.7%）、18～29歳（54.6%）で5割半ばと多くなっている。

⑥項目別生活満足度（ウ）仕事・学業〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は家族成熟前期で6割

《仕事・学業》についてライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成熟前期（60.0%）で6割と最も多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（21.5%）、夫婦だけ（1）（20.0%）で2割を超えて多い。

図3-2-4 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業〔年齢別、ライフステージ別〕



⑦項目別生活満足度（エ）収入 [年齢別]

『満足（計）』は50代で4割半ば

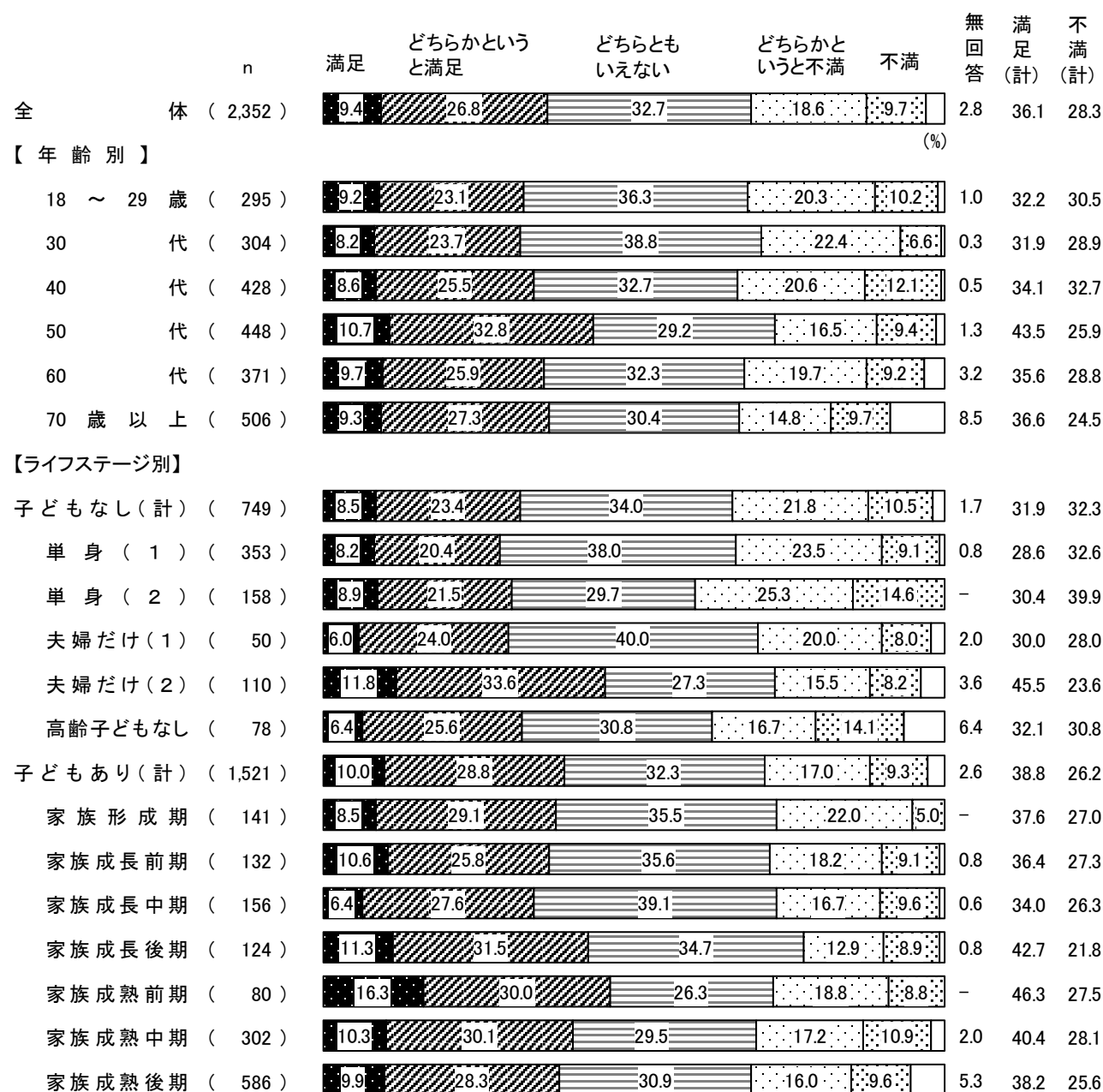
《収入》について年齢別にみると、『満足（計）』は50代（43.5%）で4割半ばと最も多くなっている。

⑧項目別生活満足度（エ）収入 [ライフステージ別]

『不満（計）』は単身（2）で4割近く

《収入》についてライフステージ別にみると、『不満（計）』は単身（2）（39.9%）で4割近くと多い。

図3-2-5 項目別生活満足度（エ）収入 [年齢別、ライフステージ別]



⑨項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別〕

『満足（計）』はおおむね年齢が高いほど少ない

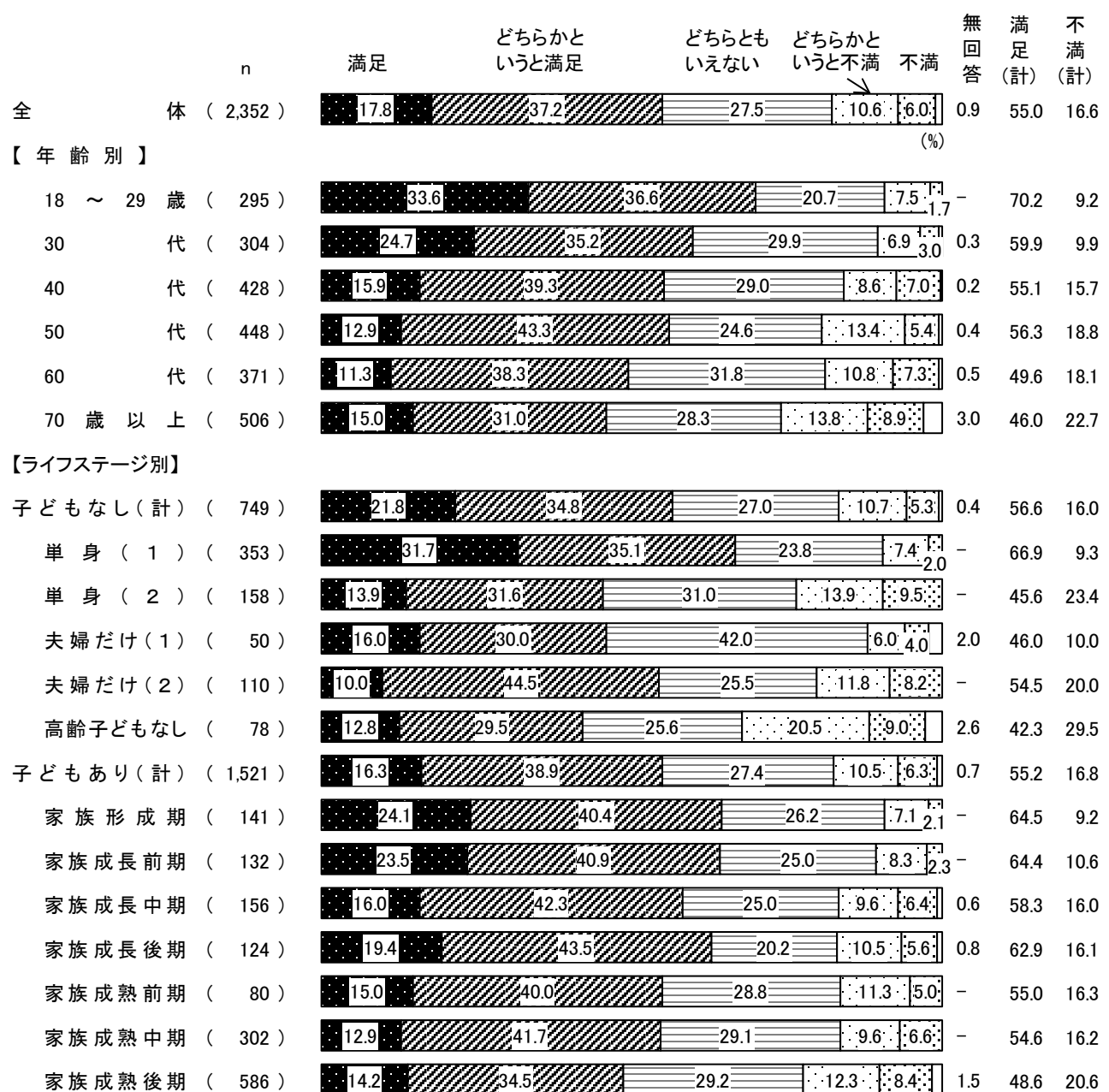
《健康》について年齢別にみると、『満足（計）』はおおむね年齢が高いほど少なくなっている。一方、『不満（計）』は70歳以上（22.7%）で2割を超えて多い。

⑩項目別生活満足度（オ）健康〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は単身（1）、家族形成期、家族成長前期で6割半ば

《健康》についてライフステージ別にみると、『満足（計）』は単身（1）（66.9%）、家族形成期（64.5%）、家族成長前期（64.4%）で6割半ばと多くなっている。一方、『不満（計）』は高齢子どもなし（29.5%）で3割近くと多い。

図3-2-6 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別、ライフステージ別〕



⑪項目別生活満足度（カ）家族との関係 [年齢別]

『満足（計）』は30代で8割を超える

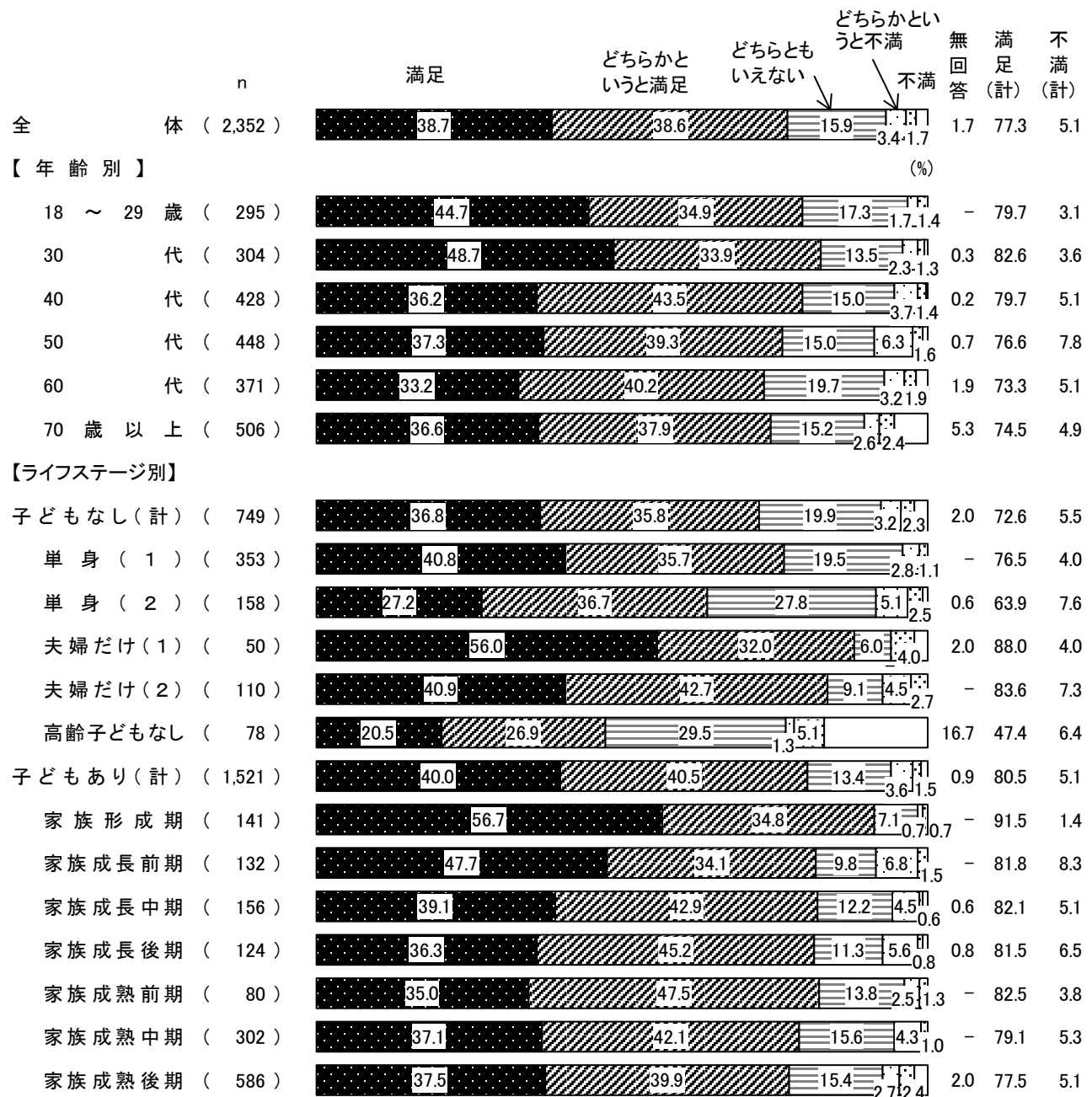
《家族との関係》について年齢別にみると、『満足（計）』は30代（82.6%）で8割を超えて最も多くなっている。

⑫項目別生活満足度（カ）家族との関係 [ライフステージ別]

『満足（計）』は家族形成期で9割を超える

《家族との関係》についてライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族形成期（91.5%）で9割を超えて最も多い。

図3-2-7 項目別生活満足度（カ）家族との関係 [年齢別、ライフステージ別]



⑬項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつきあい〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で6割半ば

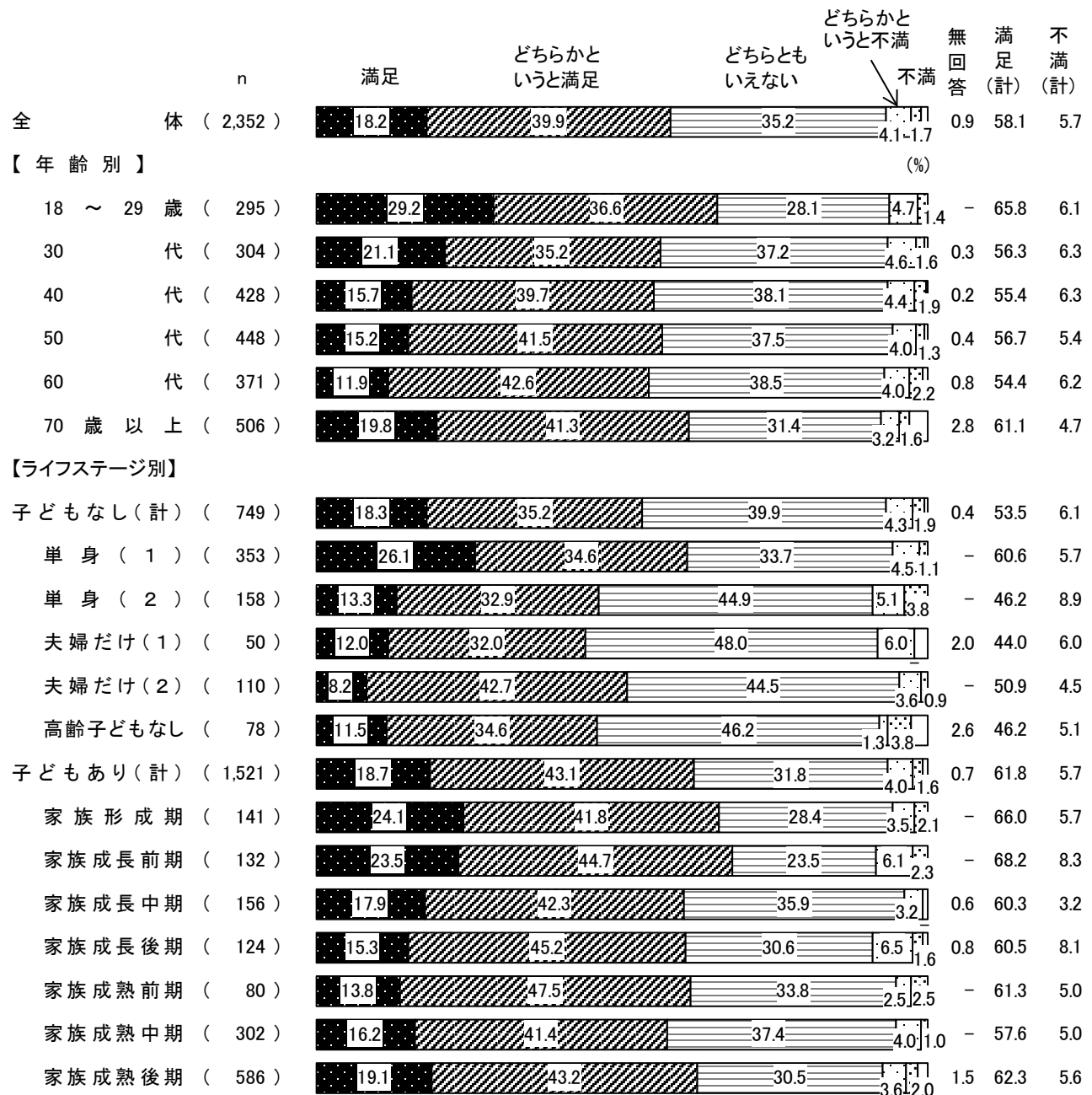
《友人や近隣とのつきあい》について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（65.8%）で6割半ばと最も多くなっている。

⑭項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつきあい〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は家族成長前期で7割近く

《友人や近隣とのつきあい》についてライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長前期（68.2%）で7割近くと最も多い。

図3-2-8 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつきあい〔年齢別、ライフステージ別〕



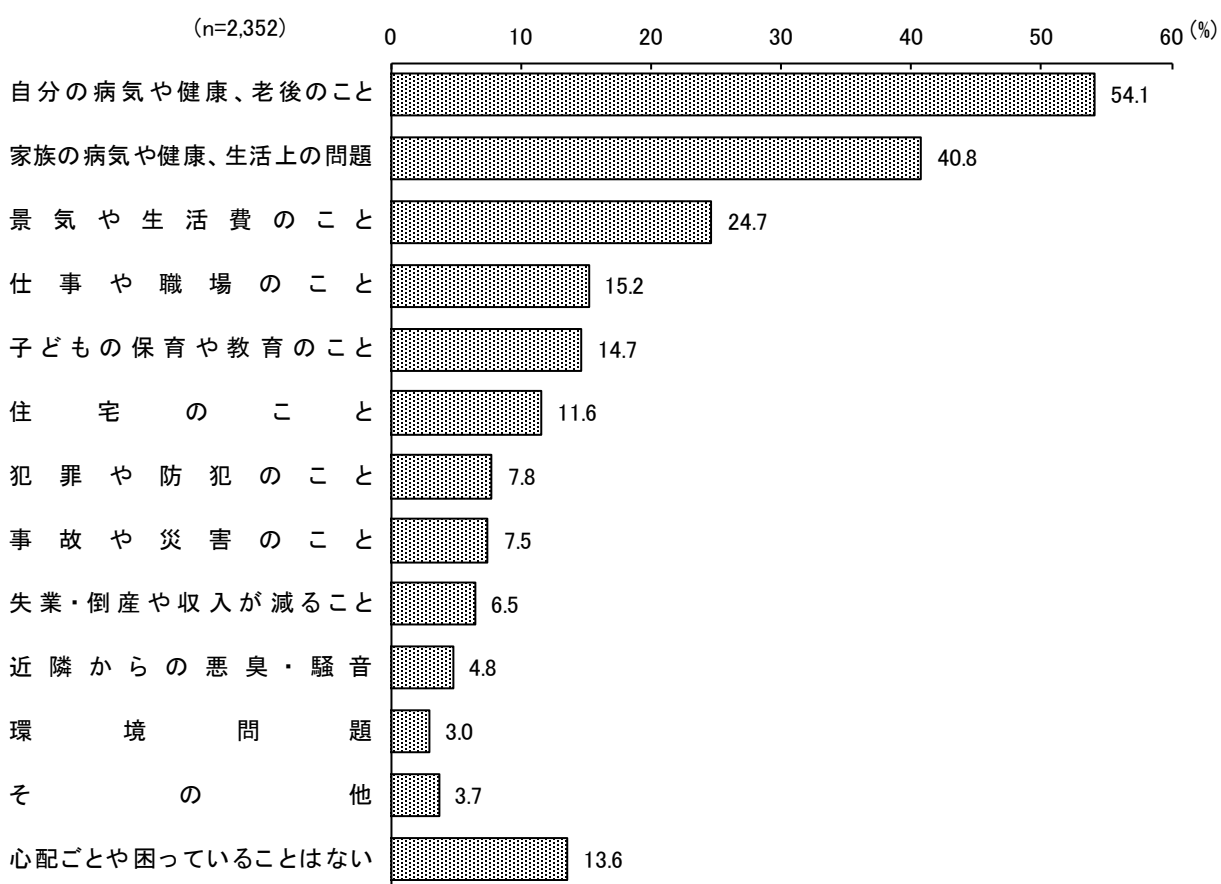
(3) 心配ごとや困っていること

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(○は3つまで)

「自分の病気や健康、老後のこと」が5割半ばで最も多い

心配ごとや困っていることについては、「自分の病気や健康、老後のこと」(54.1%)が5割半ばで最も多く、次いで「家族の病気や健康、生活上の問題」(40.8%)、「景気や生活費のこと」(24.7%)などの順となっている。

図3-3-1 心配ごとや困っていること [全体] (3つまでの複数回答)

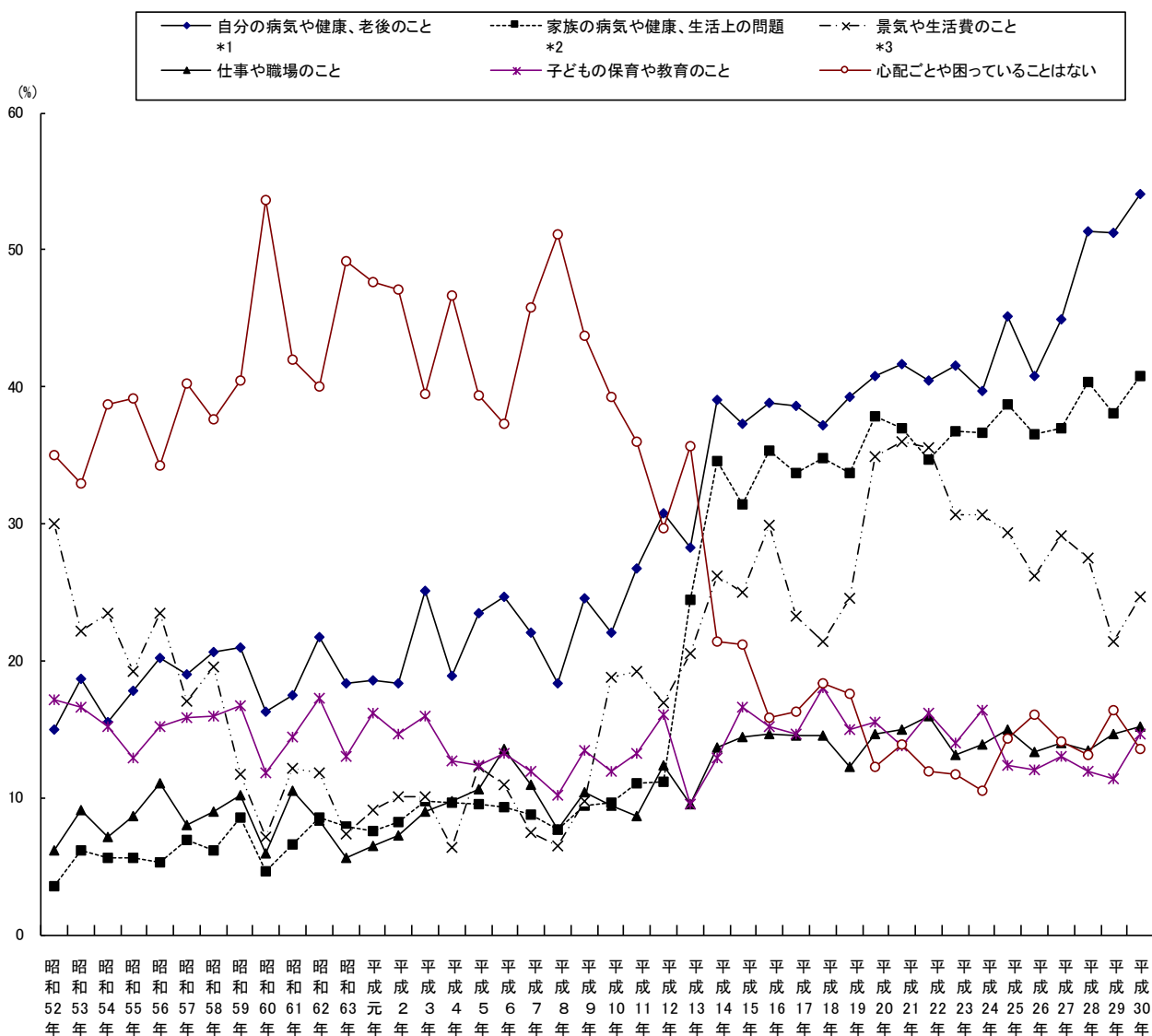


①心配ごとや困っていること [経年変化] (3つまでの複数回答)

「自分の病気や健康、老後のこと」「家族の病気や健康、生活上の問題」は増加傾向

経年変化をみると、平成12年頃から「自分の病気や健康、老後のこと」、「家族の病気や健康、生活上の問題」は増加傾向にある。

図3-3-2 心配ごとや困っていること [経年変化] (上位5項目と「心配ごとや困っていることはない」の割合)



※縦軸の数値の印刷が切れていたため修正をしました。

*1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

*2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

*3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

表3-3-1 心配ごとや困っていること〔経年変化〕（3つまでの複数回答）

心配ごと 調査時期	自分の病気や健康、老後のこと*1	家族の病気や健康、生活上の問題*2	景気や生活費のこと*3	事故や災害のこと*4	環境問題*4	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	住宅のこと	犯罪や防犯のこと	近隣からの悪臭・騒音	心配ごとや困っていることはない	(%)
昭和52年	15.0	3.5	30.0	13.0		17.1	6.1	3.9	15.6	-	-	35.0	
53年	18.7	6.2	22.2	11.2		16.6	9.1	5.2	17.6	-	-	32.9	
54年	15.5	5.6	23.5	8.7		15.2	7.1	3.0	16.5	-	-	38.7	
55年	17.8	5.6	19.2	6.5		12.9	8.7	3.4	15.2	-	-	39.2	
56年	20.2	5.3	23.5	8.7		15.2	11.0	2.3	19.0	-	-	34.3	
57年	19.0	6.9	17.0	7.7		15.8	8.0	3.1	14.1	-	-	40.2	
58年	20.6	6.2	19.5	11.0		15.9	9.0	4.0	12.4	-	-	37.6	
59年	21.0	8.6	11.7	8.1		16.7	10.2	4.6	11.7	-	-	40.4	
60年	16.3	4.6	7.1	4.4		11.8	5.9	2.5	6.3	-	-	53.6	
61年	17.5	6.6	12.1	5.9		14.4	10.5	4.2	11.6	-	-	42.0	
62年	21.7	8.5	11.8	5.8		17.3	8.3	4.7	13.7	-	-	40.0	
63年	18.3	7.9	7.4	4.8		13.0	5.6	3.1	12.5	-	-	49.2	
平成元年	18.6	7.6	9.1	6.3		16.2	6.5	2.2	11.6	-	-	47.6	
2年	18.4	8.2	10.1	6.1		14.6	7.2	1.1	14.2	-	-	47.1	
3年	25.1	9.7	10.1	8.9		15.9	9.0	2.0	12.0	-	-	39.5	
4年	18.9	9.6	6.4	5.7		12.7	9.8	3.0	12.7	-	-	46.7	
5年	23.5	9.5	12.3	8.7		12.4	10.6	5.3	6.0	-	-	39.4	
6年	24.7	9.3	10.9	6.0		13.2	13.6	7.6	14.7	-	-	37.3	
7年	22.1	8.8	7.5	6.8		11.9	10.9	4.0	9.6	-	-	45.8	
8年	18.4	7.7	6.5	4.9		10.2	7.7	3.2	9.4	-	-	51.1	
9年	24.6	9.4	9.7	7.6		13.5	10.4	4.6	7.8	-	-	43.7	
10年	22.1	9.6	18.8	7.7		11.9	9.4	6.8	8.3	-	-	39.3	
11年	26.7	11.0	19.2	11.5		13.2	8.7	7.2	6.9	-	-	36.0	
12年	30.8	11.2	16.9	11.8		16.1	12.4	6.5	9.0	-	-	29.7	
13年	28.3	24.4	20.5	11.6	12.4	9.5	9.5	12.6	6.9	-	-	35.7	
14年	39.0	34.6	26.2	6.8	12.7	12.9	13.7	16.3	6.2	-	3.0	21.4	
15年	37.3	31.4	25.0	9.0	9.5	16.6	14.4	12.5	11.4	-	4.7	21.2	
16年	38.8	35.3	29.9	7.6	10.0	15.2	14.6	13.3	13.5	-	4.4	15.8	
17年	38.6	33.7	23.3	14.9	13.4	14.6	14.5	8.5	10.7	25.6	3.7	16.3	
18年	37.2	34.8	21.4	11.5	10.7	18.0	14.5	7.9	9.7	25.0	3.3	18.3	
19年	39.3	33.7	24.6	11.0	14.8	15.0	12.2	8.7	9.0	24.6	3.8	17.6	
20年	40.8	37.8	34.9	3.8	12.3	15.5	14.7	8.8	11.5	16.6	3.5	12.3	
21年	41.7	37.0	36.0	4.6	5.3	13.8	15.0	15.1	10.1	11.4	3.5	13.9	
22年	40.5	34.7	35.6	6.3	4.5	16.2	16.0	13.5	10.5	10.9	4.1	11.9	
23年	41.5	36.8	30.6	16.0	11.5	14.0	13.1	10.7	10.7	7.4	3.6	11.7	
24年	39.7	36.6	30.6	20.7	7.7	16.4	13.9	11.2	8.8	8.0	3.2	10.5	
25年	45.1	38.7	29.4	13.0	4.8	12.4	15.0	10.0	10.1	7.9	3.9	14.3	
26年	40.8	36.5	26.2	8.9	3.8	12.0	13.3	8.4	9.0	7.6	3.5	16.1	
27年	44.9	37.0	29.1	10.4	4.3	13.0	14.0	8.5	10.1	8.9	4.1	14.1	
28年	51.3	40.3	27.5	13.4	2.8	11.9	13.4	8.0	10.5	7.6	4.3	13.1	
29年	51.2	38.1	21.4	8.6	3.7	11.4	14.7	6.5	10.9	6.7	3.3	16.4	
30年	54.1	40.8	24.7	7.5	3.0	14.7	15.2	6.5	11.6	7.8	4.8	13.6	

*1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

*2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

*3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

*4 平成9年までは「公害や交通事故のこと」、平成10年から平成12年までは「環境問題や事故・災害のこと」としていた。

②心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別] (3つまでの複数回答)

「自分の病気や健康、老後のこと」は全てのブロックと区で1位

ブロック別にみると、横浜市全体で1位の「自分の病気や健康、老後のこと」、2位の「家族の病気や健康、生活上の問題」、3位の「景気や生活費のこと」は、全てのブロックでそれぞれ1位から3位となっている。

区別にみると、1位と2位はブロック別と同じ結果となっている。また、「住宅のこと」が西区(16.7%)で3位、「仕事や職場のこと」が都筑区(23.1%)で3位となっている。

表3-3-2 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別] (3つまでの複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体		(n=2,352)	自分の病気や健康、老後のこと 54.1	家族の病気や健康、生活上の問題 40.8	景気や生活費のこと 24.7	仕事や職場のこと 15.2	子どもの保育や教育のこと 14.7
ブロック別	東部	(n=581)	自分の病気や健康、老後のこと 51.3	家族の病気や健康、生活上の問題 41.5	景気や生活費のこと 23.8	子どもの保育や教育のこと 14.5	住宅のこと 12.4
	西部	(n=708)	自分の病気や健康、老後のこと 56.2	家族の病気や健康、生活上の問題 40.5	景気や生活費のこと 24.6	仕事や職場のこと 14.3	子どもの保育や教育のこと 12.6
	南部	(n=441)	自分の病気や健康、老後のこと 60.5	家族の病気や健康、生活上の問題 44.7	景気や生活費のこと 26.5	仕事や職場のこと 16.1	子どもの保育や教育のこと 12.5
	北部	(n=622)	自分の病気や健康、老後のこと 49.7	家族の病気や健康、生活上の問題 37.6	景気や生活費のこと 24.6	仕事や職場のこと 19.3	子どもの保育や教育のこと 18.8
区別	鶴見区	(n=189)	自分の病気や健康、老後のこと 49.2	家族の病気や健康、生活上の問題 35.4	景気や生活費のこと 25.4	子どもの保育や教育のこと 16.4	仕事や職場のこと 12.7
	神奈川区	(n=140)	自分の病気や健康、老後のこと 48.6	家族の病気や健康、生活上の問題 38.6	景気や生活費のこと 24.3	子どもの保育や教育のこと 15.0	仕事や職場のこと 13.6
	西区	(n=54)	自分の病気や健康、老後のこと 63.0	家族の病気や健康、生活上の問題 61.1	住宅のこと 16.7	景気や生活費のこと 14.8	近隣からの悪臭・騒音 13.0
	中区	(n=68)	自分の病気や健康、老後のこと 45.6	家族の病気や健康、生活上の問題 44.1	景気や生活費のこと 20.6	住宅のこと 17.6	環境問題 16.2
	南区	(n=130)	自分の病気や健康、老後のこと 55.4	家族の病気や健康、生活上の問題 43.8	景気や生活費のこと 26.2	子どもの保育や教育のこと 13.8	住宅のこと 10.8
	港南区	(n=123)	自分の病気や健康、老後のこと 66.7	家族の病気や健康、生活上の問題 43.9	景気や生活費のこと 31.7	仕事や職場のこと 17.9	子どもの保育や教育のこと 9.8
	保土ヶ谷区	(n=148)	自分の病気や健康、老後のこと 51.4	家族の病気や健康、生活上の問題 36.5	景気や生活費のこと 25.0	仕事や職場のこと 16.2	子どもの保育や教育のこと 15.5
	旭区	(n=171)	自分の病気や健康、老後のこと 53.2	家族の病気や健康、生活上の問題 43.3	景気や生活費のこと 24.6	事故や災害のこと 14.6	子どもの保育や教育のこと 12.3
	磯子区	(n=103)	自分の病気や健康、老後のこと 51.5	家族の病気や健康、生活上の問題 46.6	景気や生活費のこと 24.3	仕事や職場のこと/子どもの保育や教育のこと	16.5
	金沢区	(n=142)	自分の病気や健康、老後のこと 61.3	家族の病気や健康、生活上の問題 43.7	景気や生活費のこと 25.4	仕事や職場のこと 14.1	住宅のこと 13.4
	港北区	(n=211)	自分の病気や健康、老後のこと 48.8	家族の病気や健康、生活上の問題 34.1	景気や生活費のこと 30.3	仕事や職場のこと 23.2	子どもの保育や教育のこと 21.8
	緑区	(n=111)	自分の病気や健康、老後のこと 55.9	家族の病気や健康、生活上の問題 39.6	景気や生活費のこと 18.0	子どもの保育や教育のこと 15.3	仕事や職場のこと 14.4
	青葉区	(n=179)	自分の病気や健康、老後のこと 52.0	家族の病気や健康、生活上の問題 38.0	景気や生活費のこと 26.3	子どもの保育や教育のこと 19.6	仕事や職場のこと 15.1
	都筑区	(n=121)	自分の病気や健康、老後のこと 42.1	家族の病気や健康、生活上の問題 41.3	仕事や職場のこと 23.1	景気や生活費のこと 18.2	子どもの保育や教育のこと 15.7
	戸塚区	(n=199)	自分の病気や健康、老後のこと 57.3	家族の病気や健康、生活上の問題 42.7	景気や生活費のこと 21.6	子どもの保育や教育のこと 12.6	住宅のこと 12.1
	栄区	(n=73)	自分の病気や健康、老後のこと 61.6	家族の病気や健康、生活上の問題 45.2	景気や生活費のこと 23.3	子どもの保育や教育のこと 17.8	仕事や職場のこと 16.4
	泉区	(n=108)	自分の病気や健康、老後のこと 62.0	家族の病気や健康、生活上の問題 34.3	景気や生活費のこと 25.9	仕事や職場のこと 19.4	住宅のこと 16.7
瀬谷区	(n=82)	自分の病気や健康、老後のこと 61.0	家族の病気や健康、生活上の問題 45.1	景気や生活費のこと 29.3	仕事や職場のこと 17.1	子どもの保育や教育のこと 12.2	

③心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

「子どもの保育や教育のこと」は30代で1位

年齢別にみると、「子どもの保育や教育のこと」は30代(38.8%)で1位となっている。

性・年齢別にみると、「仕事や職場のこと」は男性30代(36.6%、「自分の病気や健康、老後のこと」と同率)、「家族の病気や健康、生活上の問題」は女性18~29歳(29.2%、「自分の病気や健康、老後のこと」と同率)、「子どもの保育や教育のこと」は女性30代(44.0%)でそれぞれ1位となっている。

表3-3-3 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		自分の病気や健康、老後のこと 54.1	家族の病気や健康、生活上の問題 40.8	景気や生活費のこと 24.7	仕事や職場のこと 15.2	子どもの保育や教育のこと 14.7
年齢別	18~29歳 (n=295)	自分の病気や健康、老後のこと 31.2	仕事や職場のこと 29.5	家族の病気や健康、生活上の問題 28.5	景気や生活費のこと 21.4	子どもの保育や教育のこと 8.1
	30代 (n=304)	子どもの保育や教育のこと 38.8	自分の病気や健康、老後のこと 36.8	家族の病気や健康、生活上の問題 35.9	景気や生活費のこと 28.6	仕事や職場のこと 26.6
	40代 (n=428)	自分の病気や健康、老後のこと 45.8	家族の病気や健康、生活上の問題 39.0	子どもの保育や教育のこと 32.7	景気や生活費のこと 25.7	仕事や職場のこと 18.5
	50代 (n=448)	自分の病気や健康、老後のこと 56.7	家族の病気や健康、生活上の問題 49.8	景気や生活費のこと 23.4	仕事や職場のこと 16.3	子どもの保育や教育のこと 12.7
	60代 (n=371)	自分の病気や健康、老後のこと 70.4	家族の病気や健康、生活上の問題 43.7	景気や生活費のこと 27.0	住宅のこと 17.3	事故や災害のこと 8.4
	70歳以上 (n=506)	自分の病気や健康、老後のこと 70.6	家族の病気や健康、生活上の問題 42.3	景気や生活費のこと 23.1	住宅のこと 12.3	事故や災害のこと 11.1
	男性計 (n=1,091)	自分の病気や健康、老後のこと 53.8	家族の病気や健康、生活上の問題 39.2	景気や生活費のこと 26.3	仕事や職場のこと 18.4	子どもの保育や教育のこと 13.8
男性	18~29歳 (n=134)	自分の病気や健康、老後のこと 33.6	仕事や職場のこと 32.1	家族の病気や健康、生活上の問題 27.6	景気や生活費のこと 18.7	子どもの保育や教育のこと 7.5
	30代 (n=145)	自分の病気や健康、老後のこと/仕事や職場のこと 36.6	家族の病気や健康、生活上の問題 36.6	家族の病気や健康、生活上の問題 35.2	子どもの保育や教育のこと 33.1	景気や生活費のこと 29.7
	40代 (n=194)	自分の病気や健康、老後のこと 44.3	家族の病気や健康、生活上の問題 36.1	子どもの保育や教育のこと 30.4	景気や生活費のこと 28.4	仕事や職場のこと 20.6
	50代 (n=214)	自分の病気や健康、老後のこと 55.1	家族の病気や健康、生活上の問題 46.7	景気や生活費のこと 24.3	仕事や職場のこと 18.7	子どもの保育や教育のこと 14.0
	60代 (n=173)	自分の病気や健康、老後のこと 69.4	家族の病気や健康、生活上の問題 40.5	景気や生活費のこと 28.9	住宅のこと 16.8	仕事や職場のこと 11.6
	70歳以上 (n=231)	自分の病気や健康、老後のこと 71.4	家族の病気や健康、生活上の問題 43.3	景気や生活費のこと 26.8	住宅のこと 13.0	事故や災害のこと 12.1
	女性計 (n=1,261)	自分の病気や健康、老後のこと 54.3	家族の病気や健康、生活上の問題 42.1	景気や生活費のこと 23.4	子どもの保育や教育のこと 15.4	仕事や職場のこと 12.4
女性	18~29歳 (n=161)	自分の病気や健康、老後のこと/家族の病気や健康、生活上の問題 29.2	仕事や職場のこと 29.2	家族の病気や健康、生活上の問題 27.3	景気や生活費のこと 23.6	事故や災害のこと/犯罪や防犯のこと 9.9
	30代 (n=159)	子どもの保育や教育のこと 44.0	自分の病気や健康、老後のこと 37.1	家族の病気や健康、生活上の問題 36.5	景気や生活費のこと 27.7	仕事や職場のこと 17.6
	40代 (n=234)	自分の病気や健康、老後のこと 47.0	家族の病気や健康、生活上の問題 41.5	子どもの保育や教育のこと 34.6	景気や生活費のこと 23.5	仕事や職場のこと 16.7
	50代 (n=234)	自分の病気や健康、老後のこと 58.1	家族の病気や健康、生活上の問題 52.6	景気や生活費のこと 22.6	仕事や職場のこと 14.1	住宅のこと 13.2
	60代 (n=198)	自分の病気や健康、老後のこと 71.2	家族の病気や健康、生活上の問題 46.5	景気や生活費のこと 25.3	住宅のこと 17.7	事故や災害のこと 10.1
	70歳以上 (n=275)	自分の病気や健康、老後のこと 69.8	家族の病気や健康、生活上の問題 41.5	景気や生活費のこと 20.0	住宅のこと 11.6	事故や災害のこと 10.2

④心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別] (3つまでの複数回答)

「子どもの保育や教育のこと」は家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で1位
 ライフステージ別にみると、「子どもの保育や教育のこと」は家族形成期(75.2%)、家族成長前期(59.1%)、家族成長中期(49.4%)でそれぞれ1位となっている。

表3-3-4 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		自分の病気や健康、老後のこと 54.1	家族の病気や健康、生活上の問題 40.8	景気や生活費のこと 24.7	仕事や職場のこと 15.2	子どもの保育や教育のこと 14.7
子どもなし計 (n=749)		自分の病気や健康、老後のこと 50.6	家族の病気や健康、生活上の問題 38.3	仕事や職場のこと 24.2	景気や生活費のこと 23.1	失業・倒産や収入が減ること 8.0
単身(1) 40歳未満 (n=353)		自分の病気や健康、老後のこと 35.7	仕事や職場のこと 33.7	家族の病気や健康、生活上の問題 31.4	景気や生活費のこと 22.9	犯罪や防犯のこと 7.4
単身(2) 40～64歳 (n=158)		自分の病気や健康、老後のこと 62.0	家族の病気や健康、生活上の問題 52.5	仕事や職場のこと 20.9	景気や生活費のこと 18.4	失業・倒産や収入が減ること 15.2
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=50)		自分の病気や健康、老後のこと 48.0	家族の病気や健康、生活上の問題 46.0	景気や生活費のこと 40.0	子どもの保育や教育のこと 20.0	仕事や職場のこと 18.0
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=110)		自分の病気や健康、老後のこと 65.5	家族の病気や健康、生活上の問題 47.3	景気や生活費のこと 20.9	仕事や職場のこと 17.3	犯罪や防犯のこと 10.0
高齢子どもなし (n=78)		自分の病気や健康、老後のこと 75.6	景気や生活費のこと 25.6	家族の病気や健康、生活上の問題 23.1	住宅のこと 14.1	事故や災害のこと 10.3
子どもあり計 (n=1,521)		自分の病気や健康、老後のこと 55.0	家族の病気や健康、生活上の問題 41.8	景気や生活費のこと 25.2	子どもの保育や教育のこと 21.4	住宅のこと 13.1
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=141)		子どもの保育や教育のこと 75.2	家族の病気や健康、生活上の問題 27.7	景気や生活費のこと 26.2	自分の病気や健康、老後のこと 24.1	仕事や職場のこと 19.9
家族成長前期 第一子が小学生 (n=132)		子どもの保育や教育のこと 59.1	家族の病気や健康、生活上の問題 31.1	自分の病気や健康、老後のこと 30.3	景気や生活費のこと 28.0	犯罪や防犯のこと 21.2
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=156)		子どもの保育や教育のこと 49.4	自分の病気や健康、老後のこと/家族の病気や健康、生活上の問題 40.4	景気や生活費のこと 40.4	仕事や職場のこと 24.4	住宅のこと 14.7
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=124)		自分の病気や健康、老後のこと 44.4	家族の病気や健康、生活上の問題 41.1	子どもの保育や教育のこと 32.3	景気や生活費のこと 21.0	仕事や職場のこと 20.2
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=80)		自分の病気や健康、老後のこと 55.0	家族の病気や健康、生活上の問題 45.0	景気や生活費のこと 30.0	子どもの保育や教育のこと 18.8	仕事や職場のこと 13.8
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=302)		自分の病気や健康、老後のこと 62.3	家族の病気や健康、生活上の問題 45.7	景気や生活費のこと 25.2	住宅のこと 18.5	仕事や職場のこと 13.2
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=586)		自分の病気や健康、老後のこと 70.5	家族の病気や健康、生活上の問題 45.7	景気や生活費のこと 24.7	住宅のこと 11.9	事故や災害のこと 11.3

⑤心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別] (3つまでの複数回答)

「仕事や職場のこと」はひとり暮らし(1)で1位

世帯類型別にみると、「仕事や職場のこと」はひとり暮らし(1) (41.8%)、「子どもの保育や教育のこと」は子と同居(1) (50.9%)、「家族の病気や健康、生活上の問題」は祖父母と親と子(49.0%)でそれぞれ1位となっている。

表3-3-5 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別] (3つまでの複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		自分の病気や健康、老後のこと 54.1	家族の病気や健康、生活上の問題 40.8	景気や生活費のこと 24.7	仕事や職場のこと 15.2	子どもの保育や教育のこと 14.7
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=55)		仕事や職場のこと 41.8	自分の病気や健康、老後のこと 40.0	景気や生活費のこと 34.5	家族の病気や健康、生活上の問題 21.8	近隣からの悪臭・騒音 16.4
ひとり暮らし(2) 40~64歳 (n=105)		自分の病気や健康、老後のこと 71.4	家族の病気や健康、生活上の問題 38.1	仕事や職場のこと 20.0	景気や生活費のこと/住宅のこと	18.1
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=131)		自分の病気や健康、老後のこと 68.7	景気や生活費のこと 24.4	家族の病気や健康、生活上の問題 16.8	事故や災害のこと 16.0	住宅のこと 15.3
夫婦のみ(1) 子なし (n=164)		自分の病気や健康、老後のこと 59.8	家族の病気や健康、生活上の問題 45.7	景気や生活費のこと 28.0	仕事や職場のこと 15.9	犯罪や防犯のこと 9.8
夫婦のみ(2) 子あり (n=334)		自分の病気や健康、老後のこと 68.3	家族の病気や健康、生活上の問題 49.4	景気や生活費のこと 23.7	住宅のこと 14.1	事故や災害のこと 10.2
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=568)		子どもの保育や教育のこと 50.9	自分の病気や健康、老後のこと 37.7	家族の病気や健康、生活上の問題 35.0	景気や生活費のこと 24.1	仕事や職場のこと 18.1
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=365)		自分の病気や健康、老後のこと 67.4	家族の病気や健康、生活上の問題 48.5	景気や生活費のこと 27.7	住宅のこと 14.8	事故や災害のこと 7.9
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=254)		自分の病気や健康、老後のこと 35.0	家族の病気や健康、生活上の問題 33.1	仕事や職場のこと 32.3	景気や生活費のこと 18.5	犯罪や防犯のこと 7.1
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=85)		自分の病気や健康、老後のこと 60.0	家族の病気や健康、生活上の問題 58.8	仕事や職場のこと 23.5	景気や生活費のこと 18.8	失業・倒産や収入が減ること 12.9
祖父母と親と子 3世代 (n=147)		家族の病気や健康、生活上の問題 49.0	自分の病気や健康、老後のこと 46.9	景気や生活費のこと 29.3	子どもの保育や教育のこと 18.4	仕事や職場のこと 12.2

⑥心配ごとや困っていること 上位5位 [生活満足度別] (3つまでの複数回答)

「住宅のこと」は不満があるほう、やや不満があるほうで5位

生活満足度別にみると、「住宅のこと」は不満があるほう (21.4%)、やや不満があるほう (18.7%) でそれぞれ5位となっている。

表3-3-6 心配ごとや困っていること 上位5位 [生活満足度別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,352)		自分の病気や健康、老後のこと 54.1	家族の病気や健康、生活上の問題 40.8	景気や生活費のこと 24.7	仕事や職場のこと 15.2	子どもの保育や教育のこと 14.7
満足しているほう (n=571)		自分の病気や健康、老後のこと 42.4	家族の病気や健康、生活上の問題 29.4	景気や生活費のこと 14.0	子どもの保育や教育のこと 13.7	仕事や職場のこと 8.9
まあ満足しているほう (n=1,067)		自分の病気や健康、老後のこと 56.5	家族の病気や健康、生活上の問題 43.2	景気や生活費のこと 23.3	子どもの保育や教育のこと 15.2	仕事や職場のこと 14.5
どちらともいえない (n=338)		自分の病気や健康、老後のこと 58.9	家族の病気や健康、生活上の問題 43.8	景気や生活費のこと 33.1	仕事や職場のこと 18.0	子どもの保育や教育のこと 16.9
やや不満があるほう (n=193)		自分の病気や健康、老後のこと 63.2	家族の病気や健康、生活上の問題 51.8	景気や生活費のこと 37.8	仕事や職場のこと 24.4	住宅のこと 18.7
不満があるほう (n=131)		自分の病気や健康、老後のこと 59.5	家族の病気や健康、生活上の問題 48.9	景気や生活費のこと 43.5	仕事や職場のこと 29.0	住宅のこと 21.4

4. 地域におけるつながり

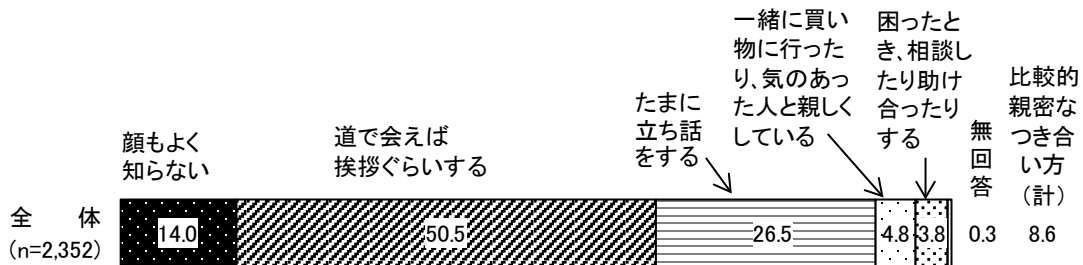
(1) 隣近所とのつき合い方

問 11 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

「道で会えば挨拶ぐらいする」は5割を超える

隣近所とのつき合い方については、「道で会えば挨拶ぐらいする」(50.5%)で5割を超えて最も多くなっている。「たまに立ち話をする」(26.5%)は2割半ば、「顔もよく知らない」(14.0%)は1割半ばとなっている。「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」(4.8%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(3.8%)の2つを合わせた、『比較的親密なつき合い方』(8.6%)をしている人は1割未満となっている。

図 4-1-1 隣近所とのつき合い方 [全体]

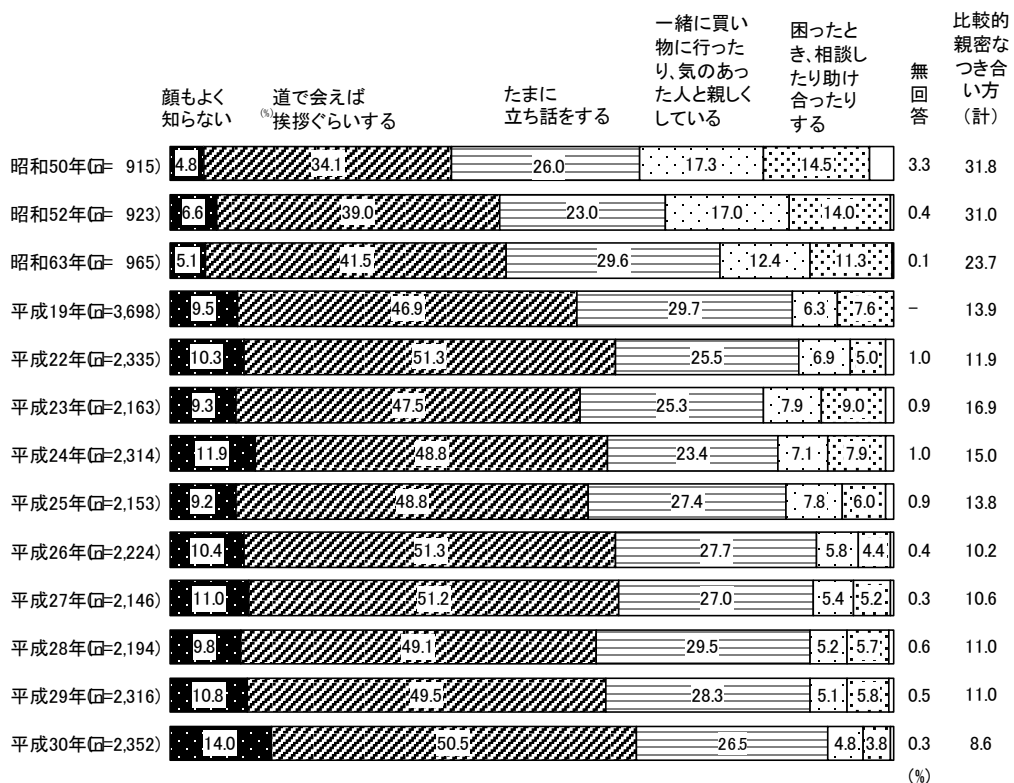


①隣近所とのつき合い方 [経年変化]

『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は2.4ポイント減少

経年変化をみると、前回調査から『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は2.4ポイント減少し、昭和50年以降はじめて1割をきった。

図 4-1-2 隣近所とのつき合い方 [経年変化]



②隣近所とのつき合い方 [ブロック別]

「顔もよく知らない」は東部で2割近く

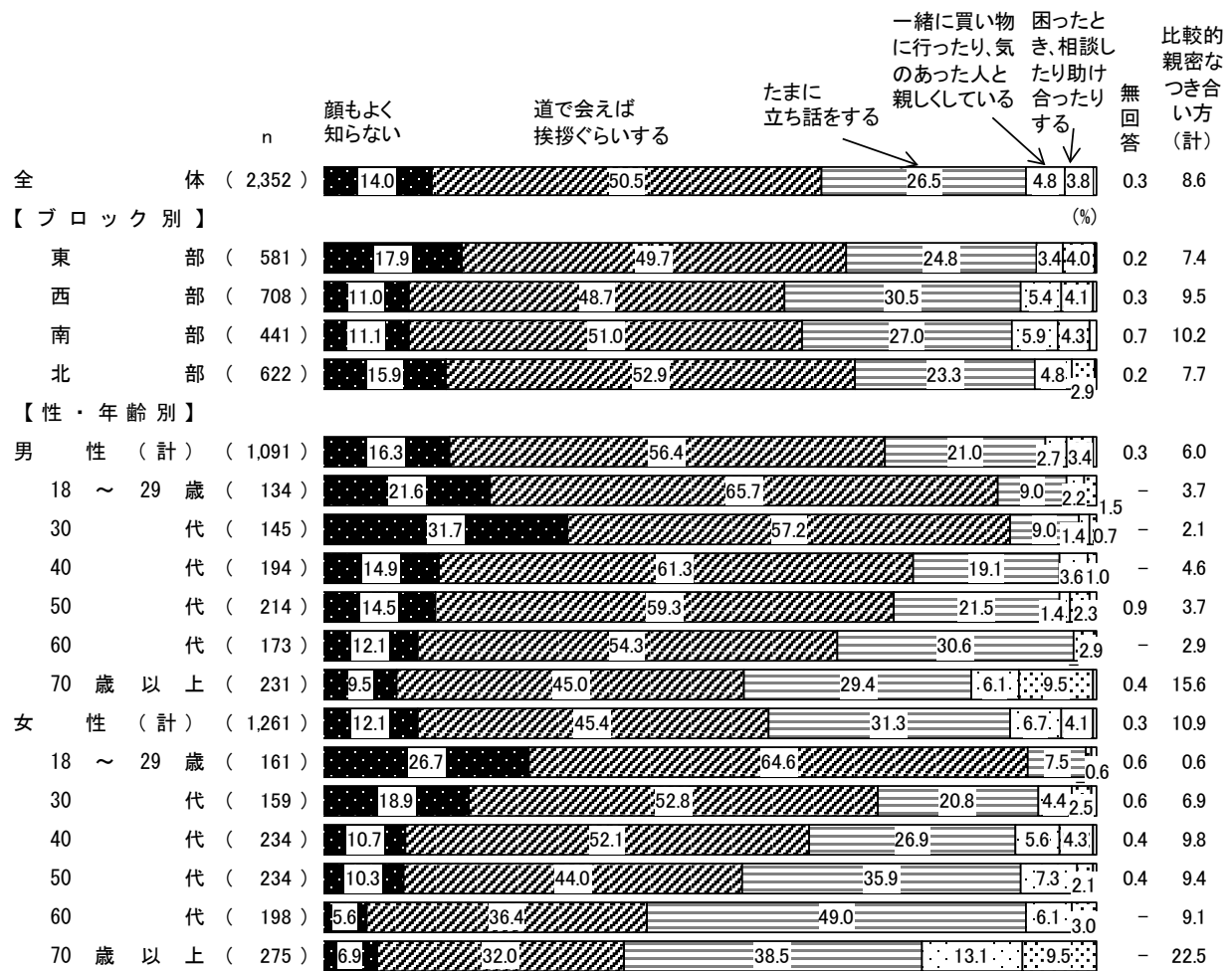
ブロック別にみると、「顔もよく知らない」は東部（17.9%）で2割近くと多くなっている。

③隣近所とのつき合い方 [性・年齢別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は女性70歳以上で2割を超える

性・年齢別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、女性70歳以上（22.5%）で2割を超えて最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は男性30代（31.7%）で3割を超えて多い。

図4-1-3 隣近所とのつき合い方 [ブロック別、性・年齢別]



④隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は家族成熟後期で1割半ば

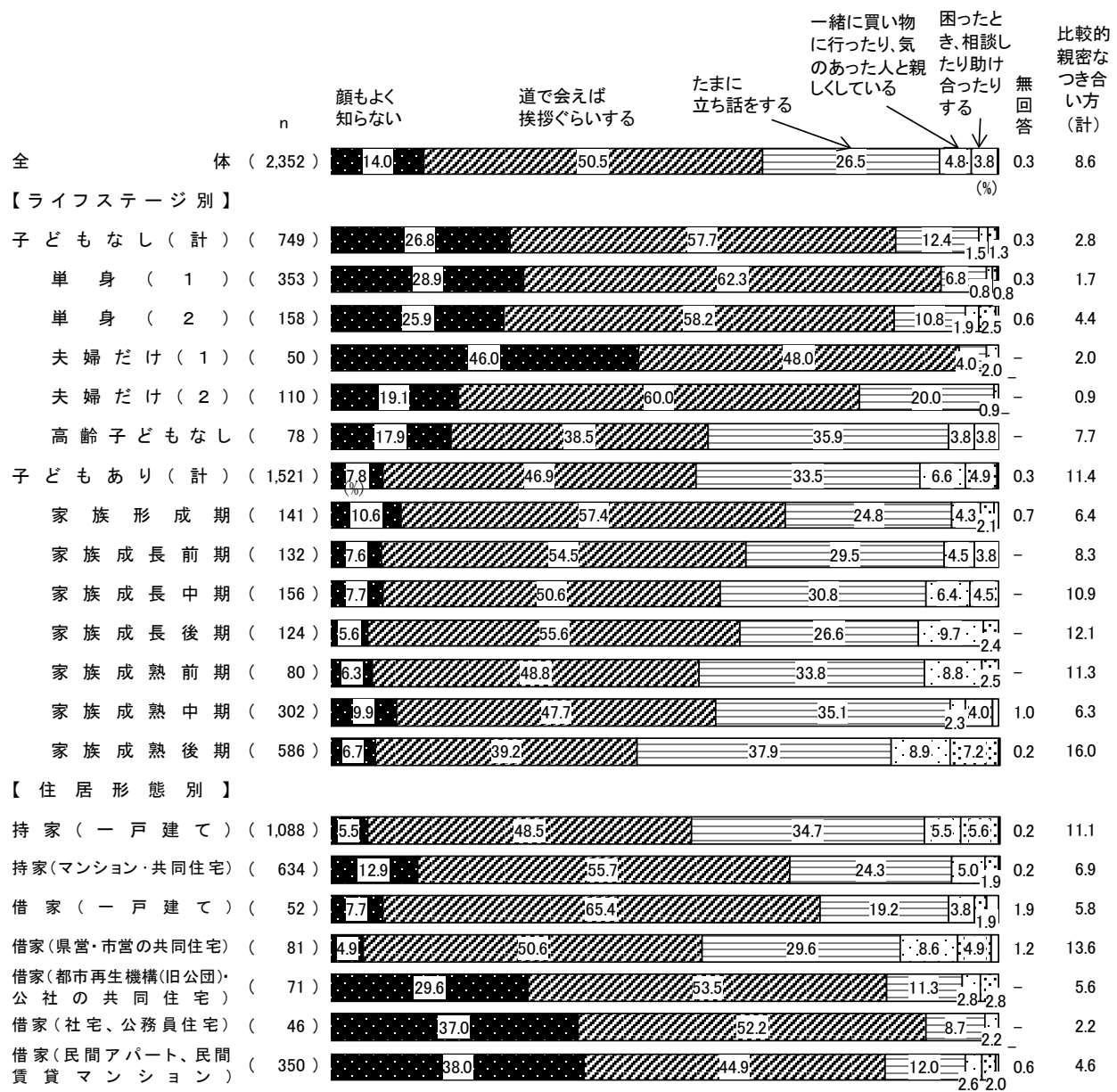
ライフステージ別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、家族成熟後期（16.0%）で1割半ばと多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は夫婦だけ（1）（46.0%）で4割半ばと多い。

⑤隣近所とのつき合い方 [住居形態別]

「顔もよく知らない」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）、借家（社宅、公務員住宅）で3割半ば以上

住居形態別にみると、「顔もよく知らない」は借家（民間アパート・民間賃貸マンション）（38.0%）、借家（社宅、公務員住宅）（37.0%）で3割半ば以上と多くなっている。

図4-1-4 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別、住居形態別]

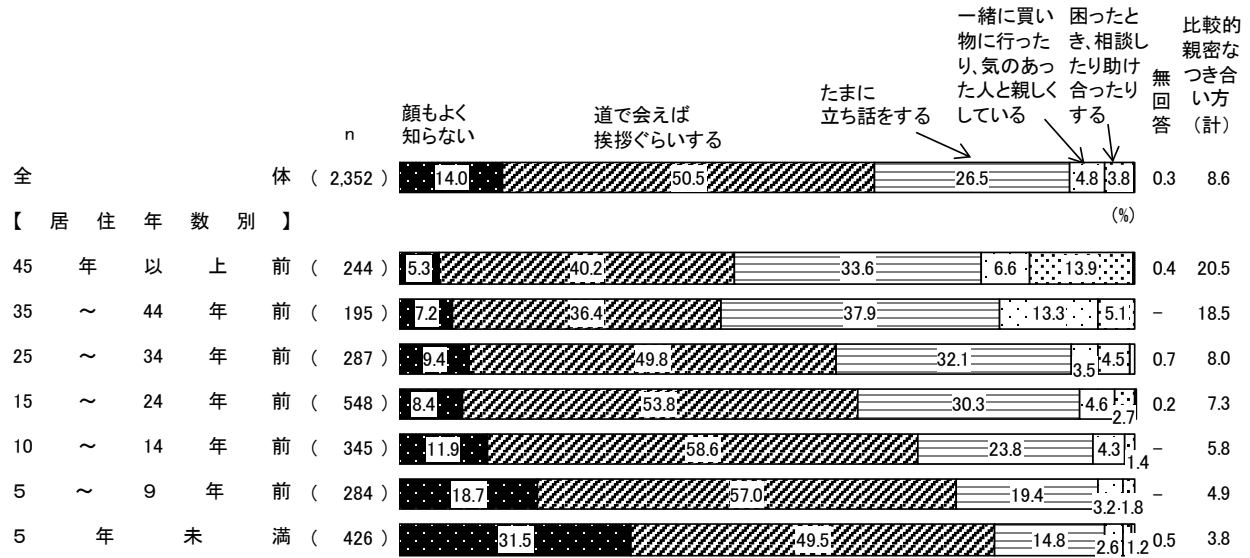


⑥隣近所とのつき合い方〔居住年数別〕

『比較的親密なつき合い方』をしている人は居住年数が長いほど多い

居住年数別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、居住年数が長いほど多く、45年以上前（20.5%）では2割を超えて多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は居住年数がおおむね短いほど多く、「5年未満」（31.5%）で3割を超えて多い。

図4-1-5 隣近所とのつき合い方〔居住年数別〕



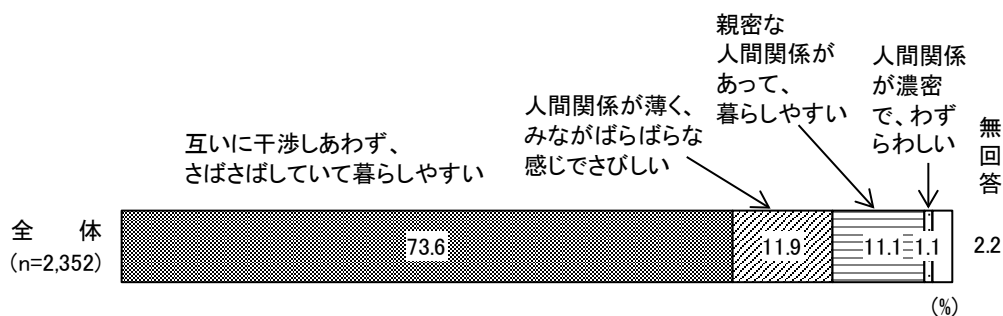
(2) 隣近所とのつき合いの感じ方

問 12 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(○は1つ)

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は7割半ば

隣近所とのつき合いの感じ方については、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」(73.6%)で7割半ばと最も多く、次いで「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」(11.9%)、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(11.1%)、「人間関係が濃密で、わずらわしい」(1.1%)となっている。

図4-2-1 隣近所とのつき合いの感じ方 [全体]

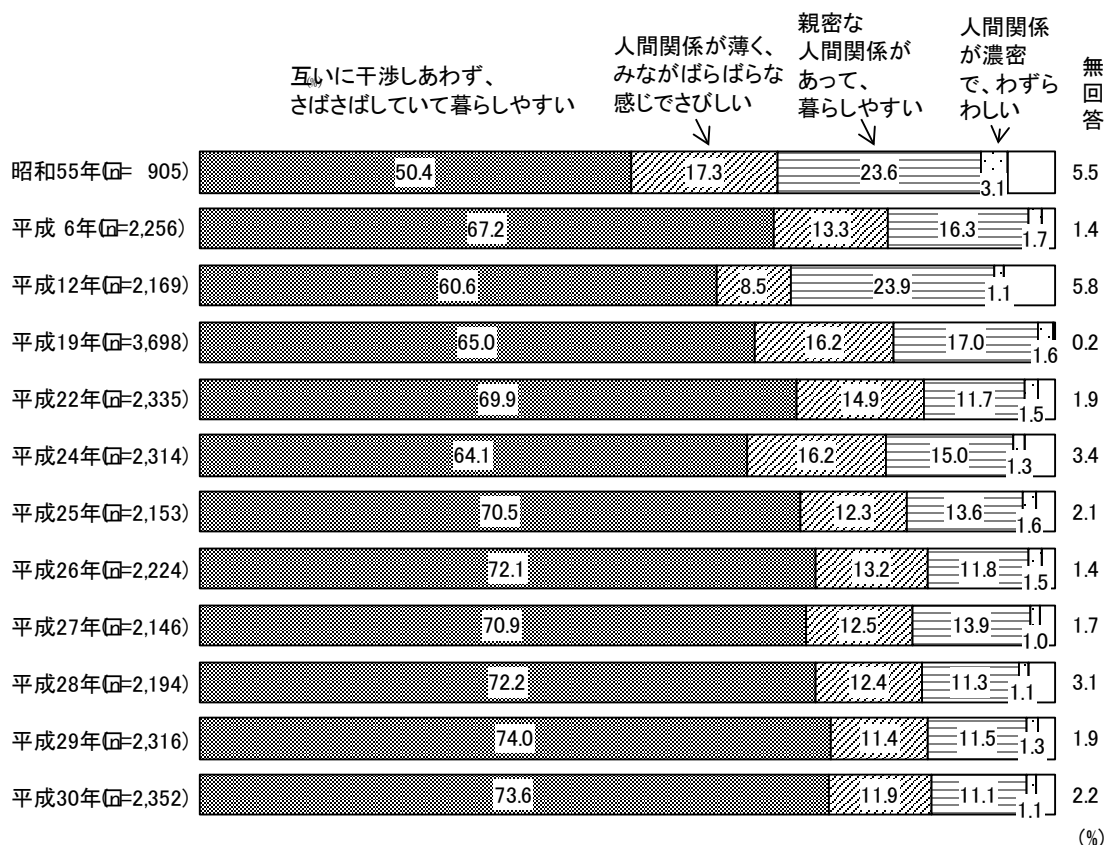


①隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は横ばい傾向

経年変化をみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は前回調査から0.4ポイント減少の横ばい傾向となっている。

図4-2-2 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]



②隣近所とのつき合いの感じ方 [ブロック別]

ブロック毎に大きな違いはみられない

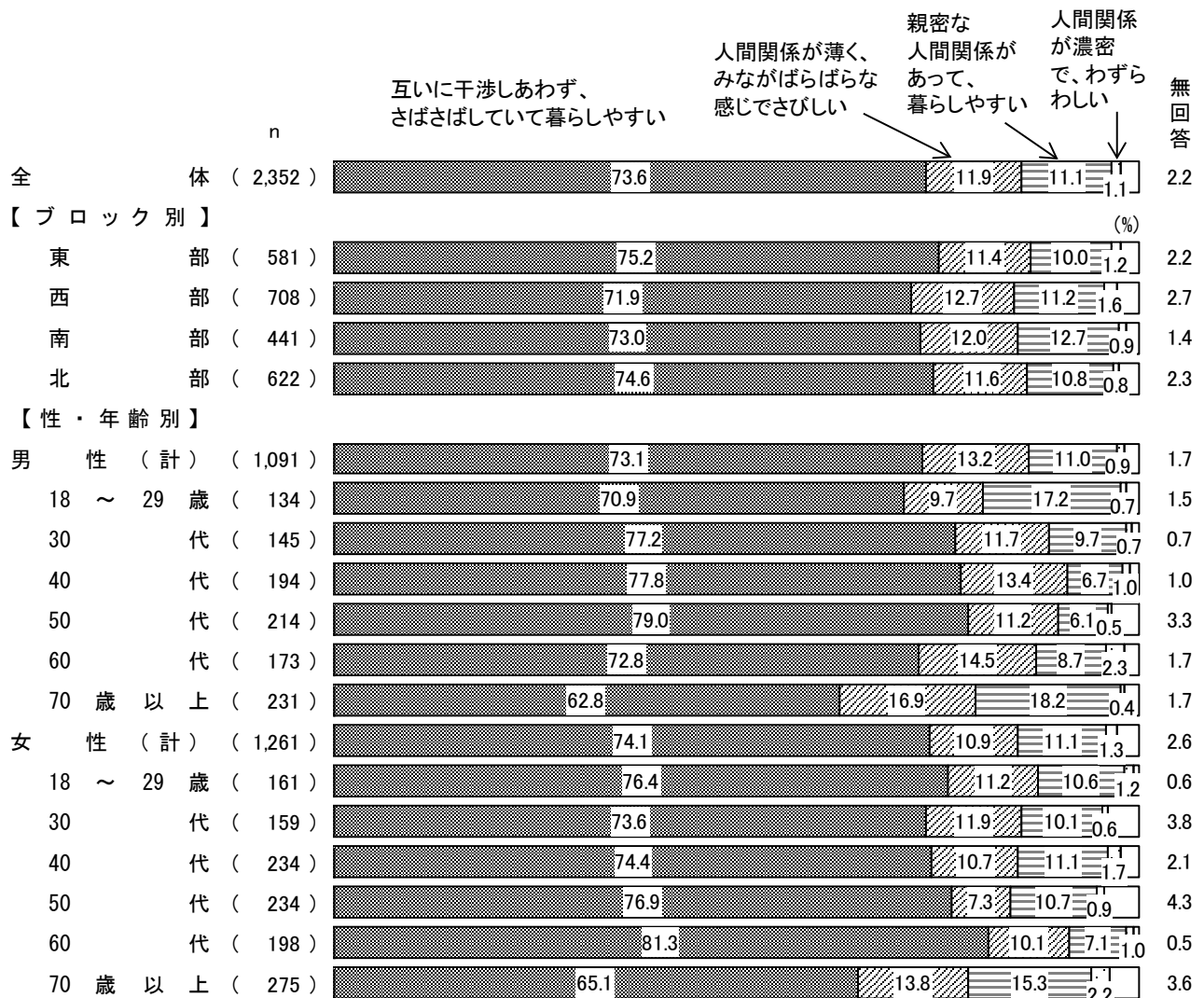
ブロック別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は全てのブロックで7割台と、大きな違いはみられない。

③隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は女性 60代で8割を超える

性・年齢別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は女性 60代 (81.3%) で8割を超えて多くなっている。また、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は男性 70歳以上 (18.2%)、18~29歳 (17.2%) で1割半ば以上と多い。

図 4-2-3 隣近所とのつき合いの感じ方 [ブロック別、性・年齢別]



④隣近所とのつき合いの感じ方 [住居形態別]

「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」は借家（都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅）で3割近く

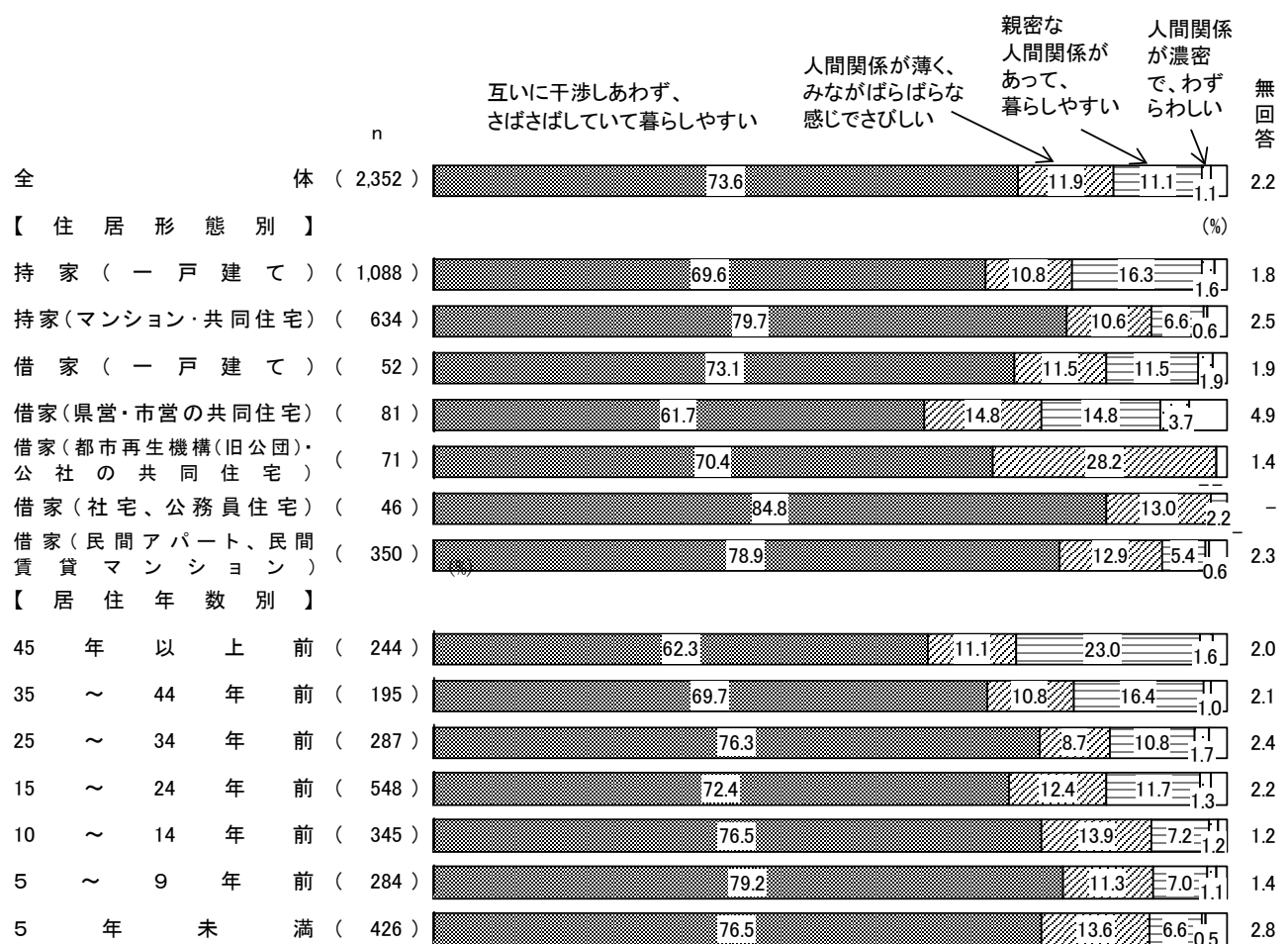
住居形態別にみると、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」は借家（都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅）（28.2%）で3割近くと多くなっている。

⑤隣近所とのつき合いの感じ方 [居住年数別]

「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は45年以上前で2割半ば

居住年数別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は45年以上前（23.0%）で2割半ばと多い。

図4-2-4 隣近所とのつき合いの感じ方 [住居形態別、居住年数別]



(3) 隣近所とのつき合い方のまとめ

隣近所とのつき合い方を、性別および隣近所とのつき合いの感じ方別にまとめた。

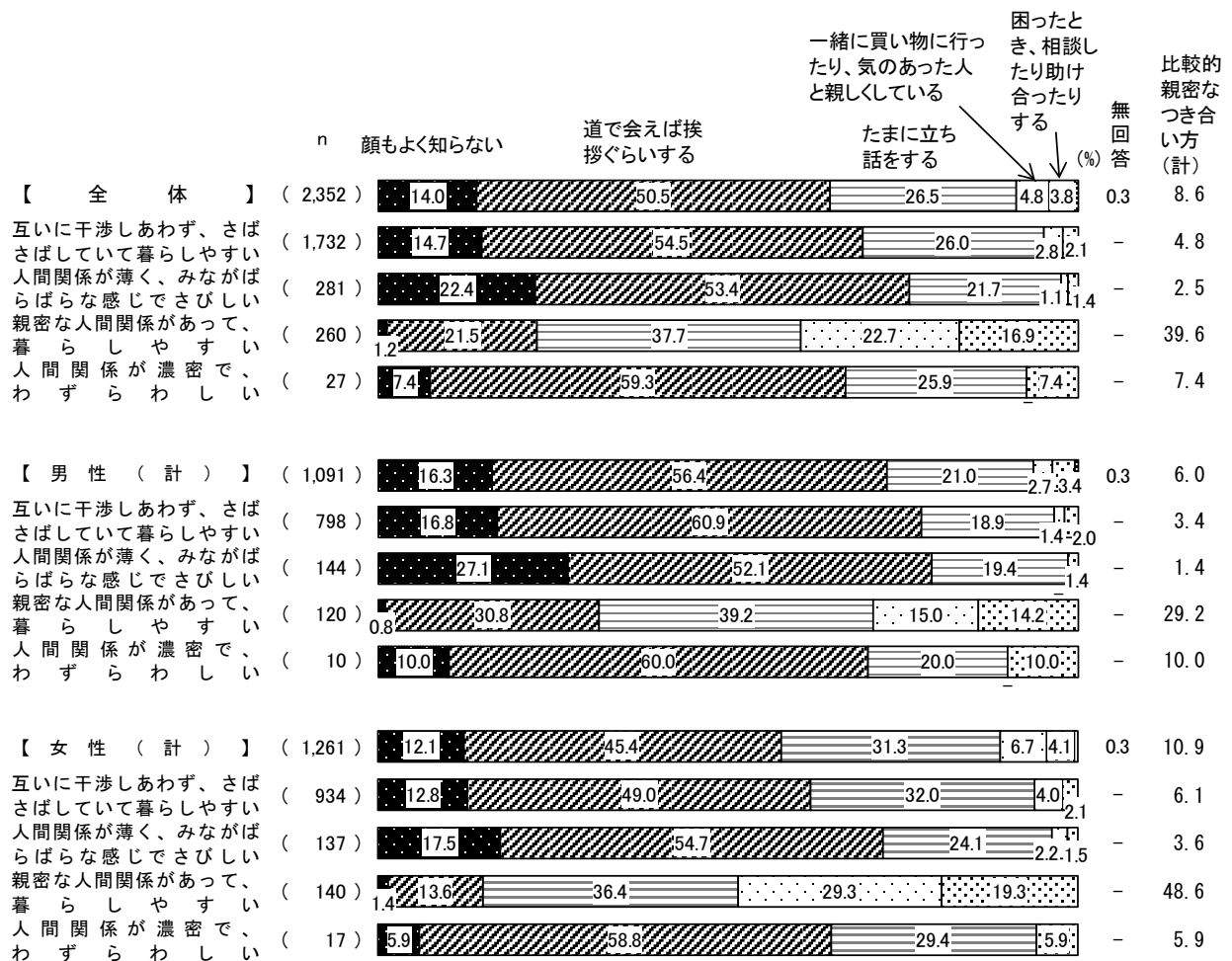
隣近所とのつき合い方のまとめ [性別および隣近所とのつき合いの感じ方別]

『比較的親密なつき合い方(計)』は《全体》の親密な人間関係があって、暮らしやすいで4割近く

隣近所とのつき合い方のまとめについては、《全体》では『比較的親密なつき合い方(計)』は親密な人間関係があって、暮らしやすい(39.6%)で4割近くと最も多くなっている。

性別にみると、「親密な人間関係があって暮らしやすい」以外の感じ方(「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」、「人間関係が濃密で、わずらわしい」)をしている人のつき合い方で最も多いのは男性、女性とも共通して「道で会えば挨拶ぐらいする」でおおむね5割を超える。

図4-3-1 隣近所とのつき合い方のまとめ [性別および隣近所とのつき合いの感じ方別]



5. 生活の行動範囲

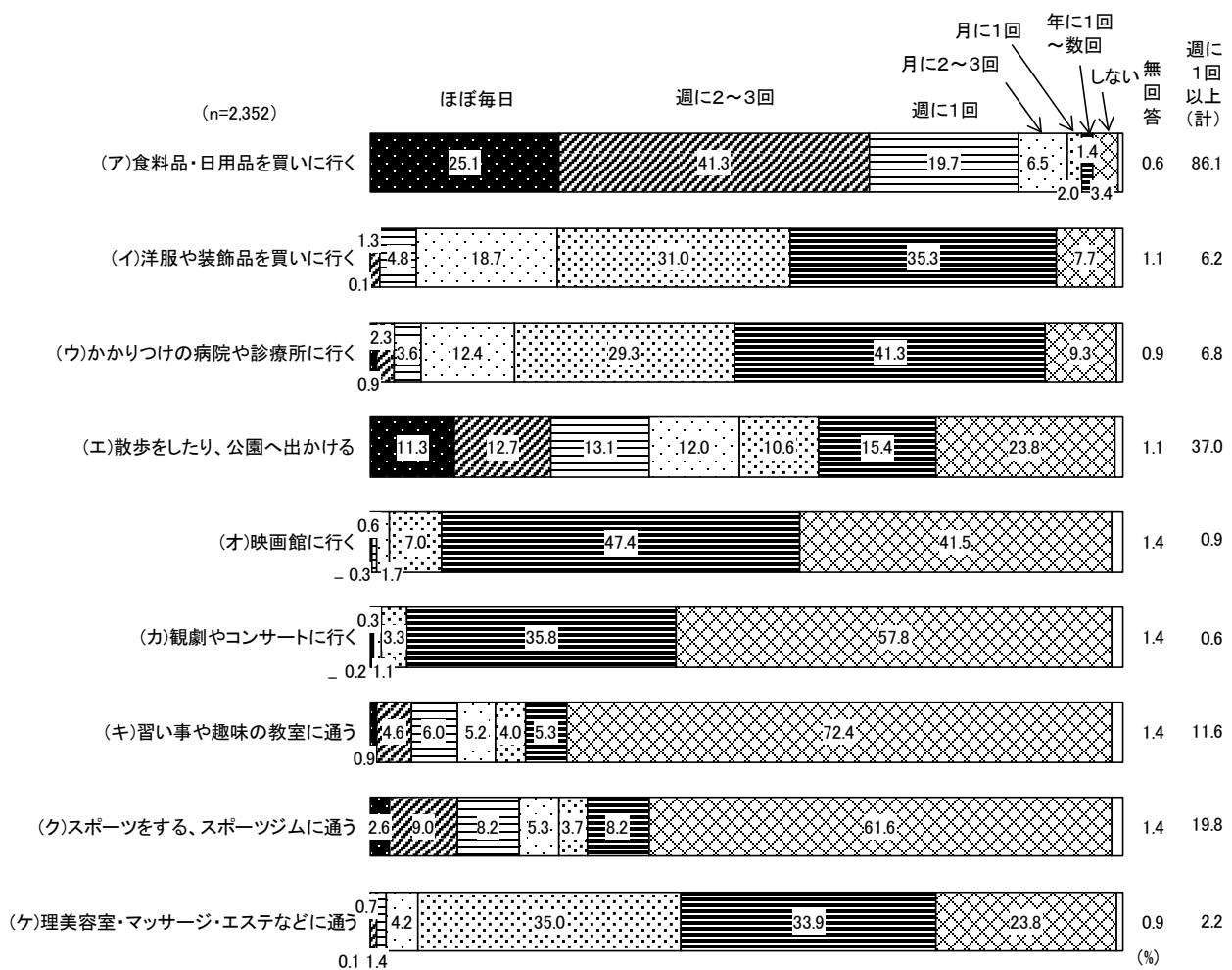
(1) 生活の行動頻度

問 13 あなたは、次のことをどのくらいの頻度でしていますか。なお、することがない項目については「しない」を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

『週に1回以上(計)』は《食料品・日用品を買いに行く》で8割半ば

生活の行動頻度について、「ほぼ毎日」と「週に2~3回」、「週に1回」を合わせた『週に1回以上(計)』は、《食料品・日用品を買いに行く》(86.1%)で8割半ばとなっている。

図5-1-1 生活の行動頻度[全体]

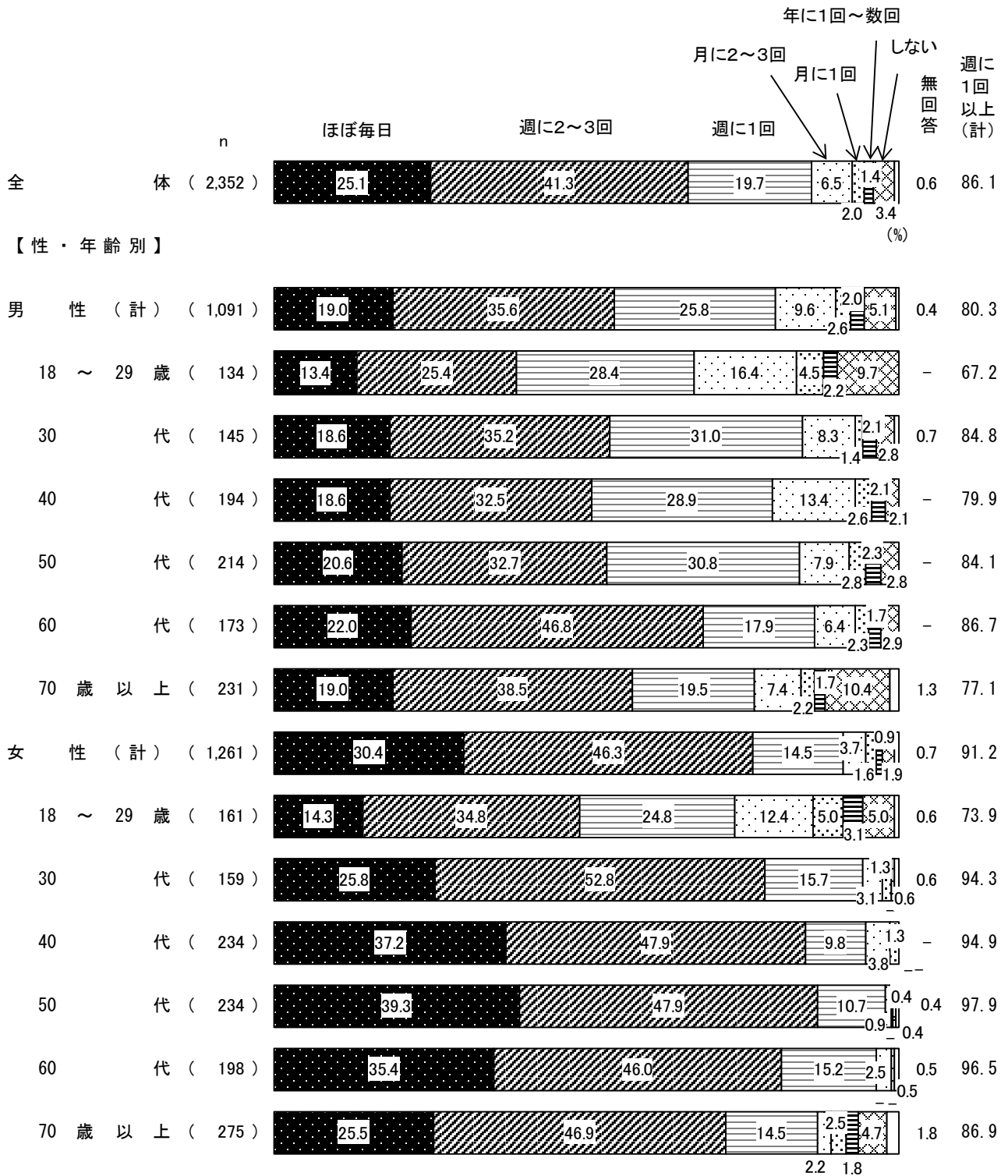


①生活の行動頻度（ア）食料品・日用品を買いに行く【性・年齢別】

「ほぼ毎日」は女性50代で4割近く

性・年齢別にみると、「ほぼ毎日」は女性50代（39.3%）で4割近くと最も多くなっている。また、『週に1回以上（計）』は男性18～29歳（67.2%）で6割半ばと最も少ない。

図5-1-2 生活の行動頻度（ア）食料品・日用品を買いに行く【性・年齢別】

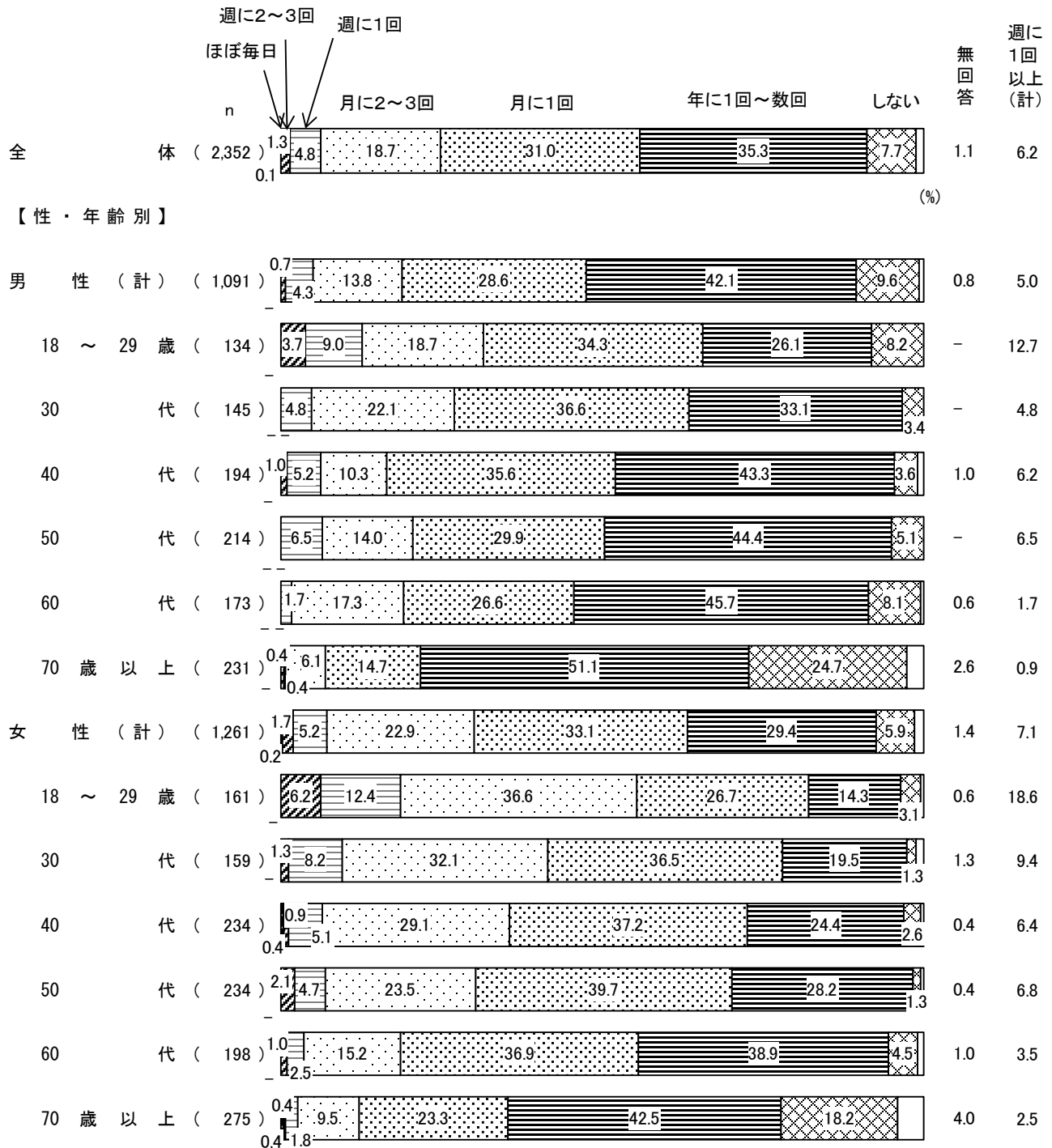


②生活の行動頻度（イ）洋服や装飾品を買いに行く〔性・年齢別〕

「月に2～3回」は女性18～29歳で3割半ば

性・年齢別にみると、「月に2～3回」は女性18～29歳（36.6%）で3割半ばと最も多くなっている。また、『週に1回以上（計）』でも女性18～29歳（18.6%）で2割近くと多い。

図5-1-3 生活の行動頻度（イ）洋服や装飾品を買いに行く〔性・年齢別〕

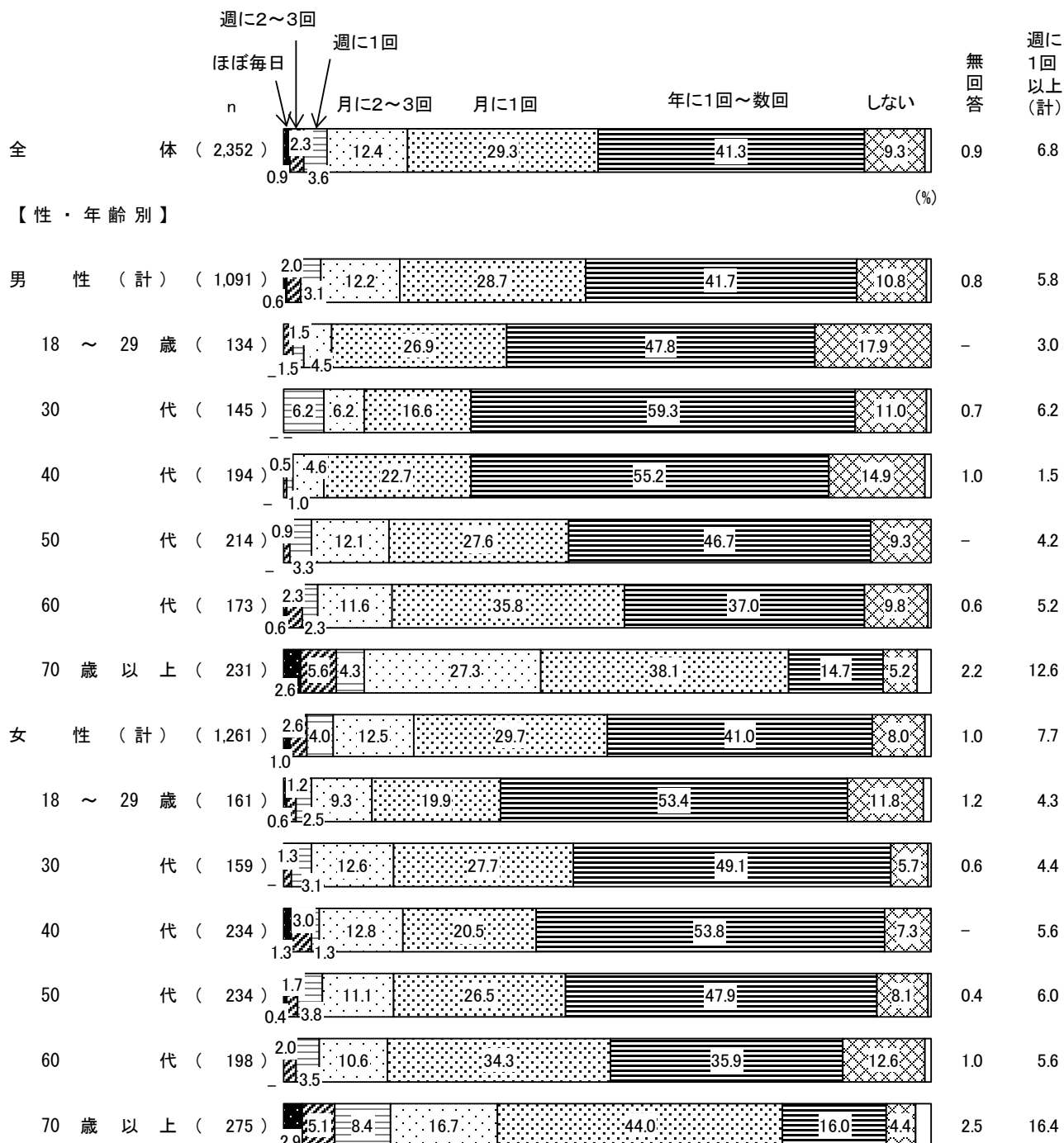


③生活の行動頻度（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

「月に1回」は女性70歳以上で4割半ば

性・年齢別にみると、「月に1回」は女性70歳以上（44.0%）で4割半ばと最も多くなっている。また、「月に2～3回」は男性70歳以上（27.3%）で2割半ばと多い。

図5-1-4 生活の行動頻度（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

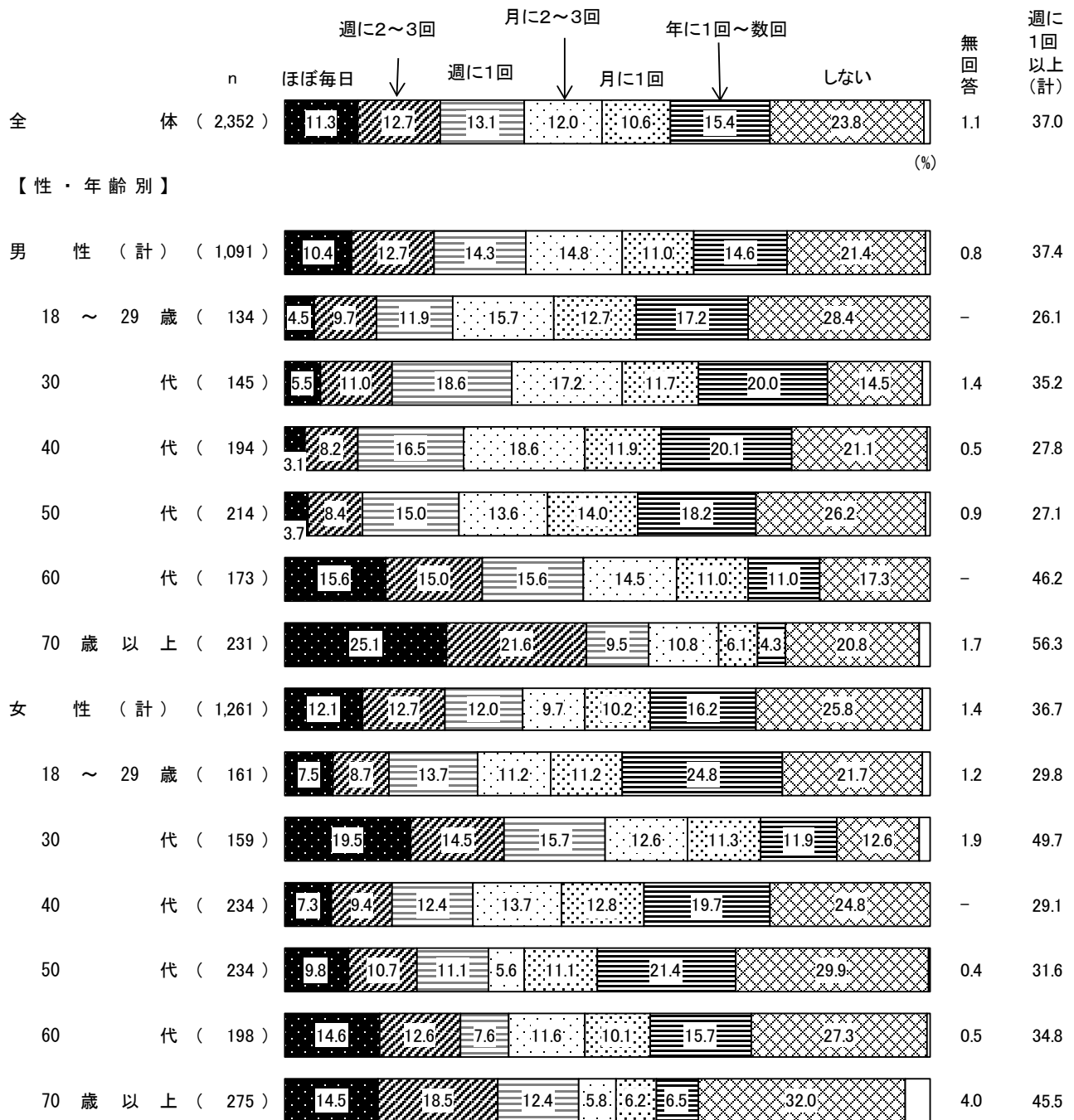


④生活の行動頻度（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔性・年齢別〕

「ほぼ毎日」は男性70歳以上で2割半ば

性・年齢別にみると、「ほぼ毎日」は男性70歳以上（25.1%）で2割半ばと最も多くなっている。また、『週に1回以上（計）』は男性70歳以上（56.3%）で5割半ば、女性30代（49.7%）で5割近くと多い。なお、「しない」は女性70歳以上（32.0%）で3割を超えて多くなっている。

図5-1-5 生活の行動頻度（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔性・年齢別〕

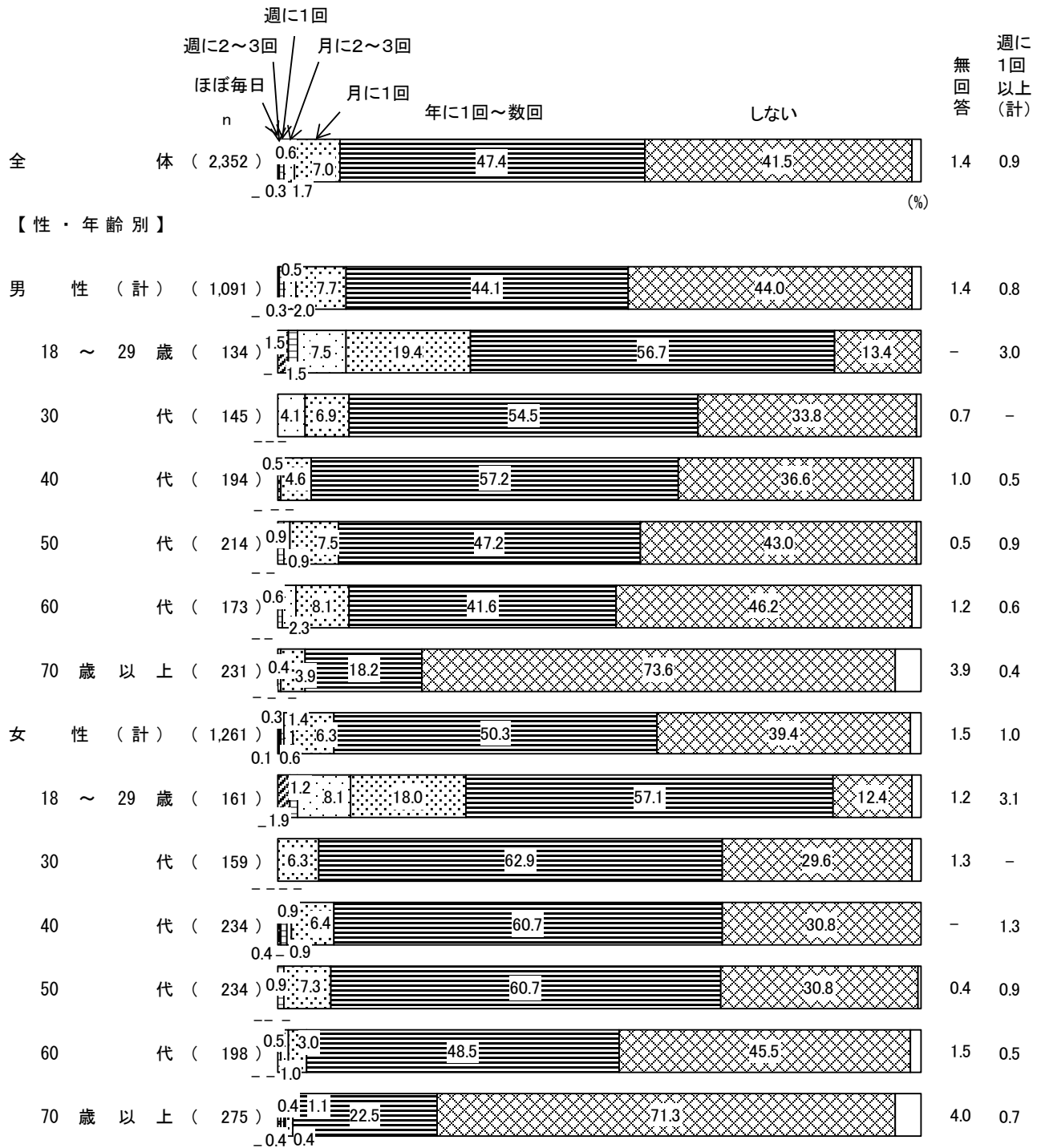


⑤生活の行動頻度（オ）映画館に行く [性・年齢別]

「年に1回～数回」は女性30～50代で6割を超える

性・年齢別にみると、「年に1回～数回」は女性30代（62.9%）、40代、50代（ともに60.7%）で6割を超えて多くなっている。

図5-1-6 生活の行動頻度（オ）映画館に行く [性・年齢別]

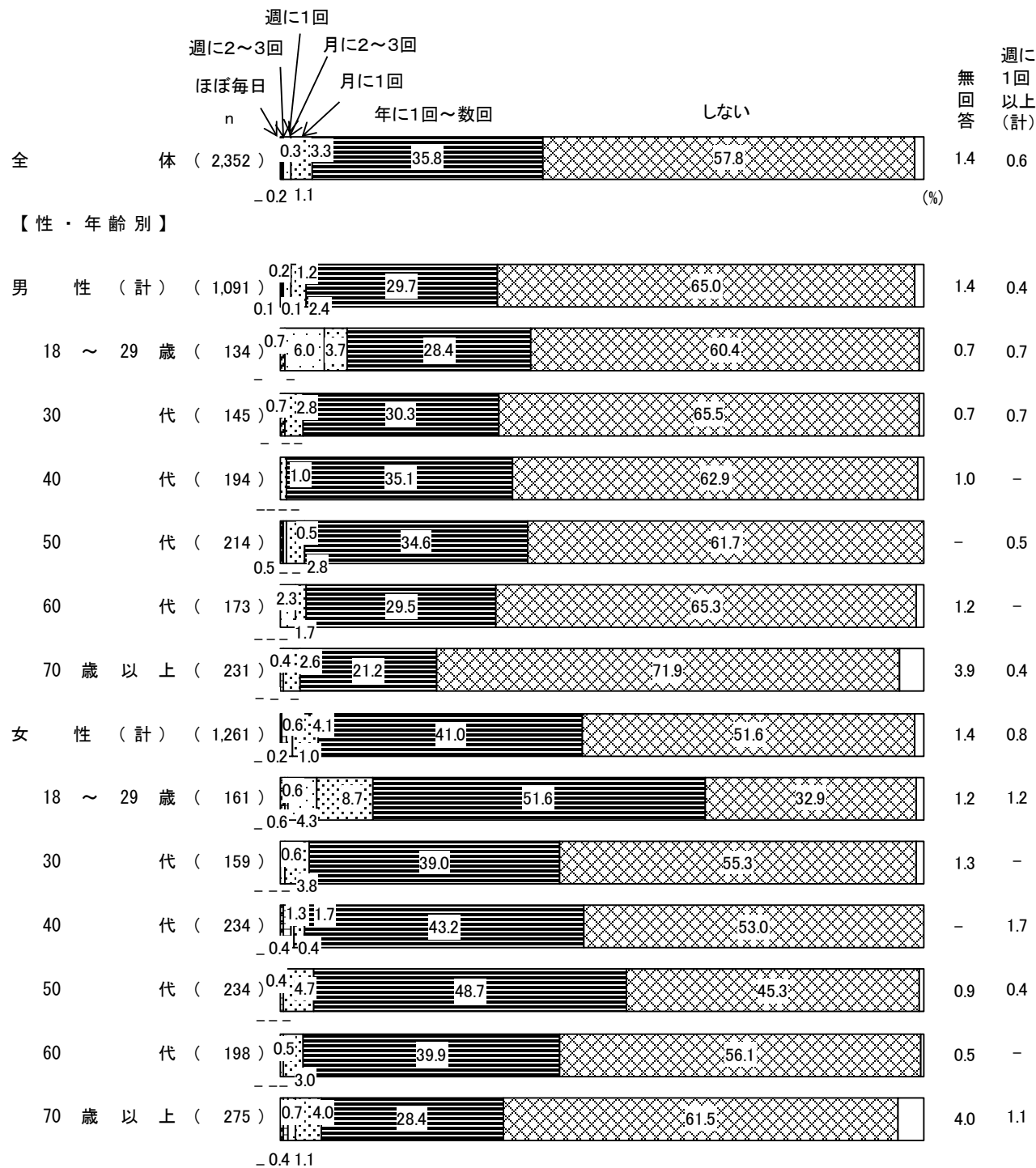


⑥生活の行動頻度（カ）観劇やコンサートに行く〔性・年齢別〕

「年に1回～数回」は女性18～29歳で5割を超える

性・年齢別にみると、「年に1回～数回」は女性18～29歳（51.6%）で5割を超えて最も多くなっている。また、「しない」は男性70歳以上（71.9%）で7割を超えて多い。

図5-1-7 生活の行動頻度（カ）観劇やコンサートに行く〔性・年齢別〕

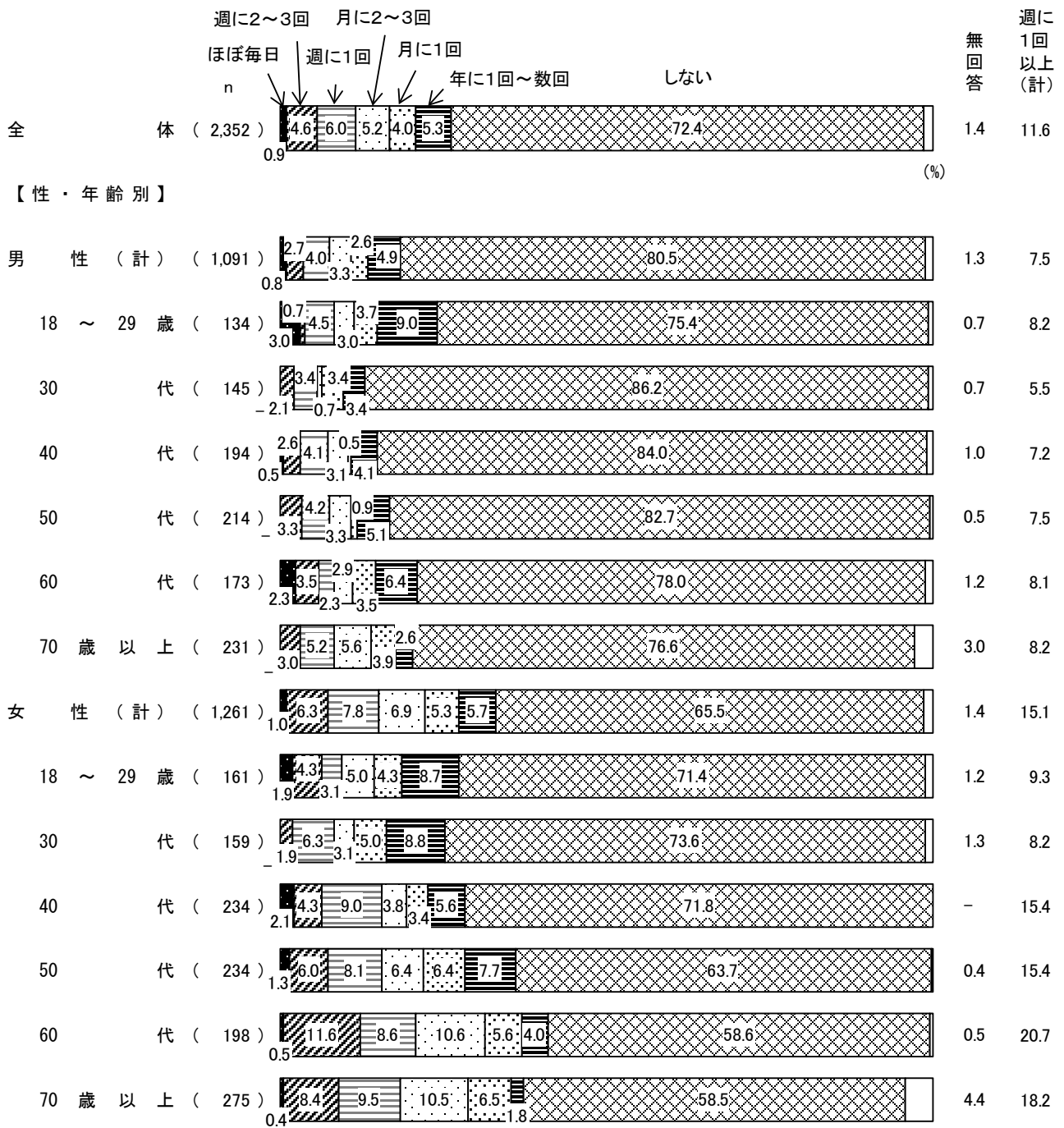


⑦生活の行動頻度（キ）習い事や趣味の教室に通う〔性・年齢別〕

『週に1回以上（計）』は女性60代で2割を超える

性・年齢別にみると、『週に1回以上（計）』は女性60代（20.7%）で2割を超えて、女性70歳以上（18.2%）で2割近くと多くなっている。一方、「しない」は男性30代（86.2%）、40代（84.0%）、50代（82.7%）で8割を超えて多い。

図5-1-8 生活の行動頻度（キ）習い事や趣味の教室に通う〔性・年齢別〕

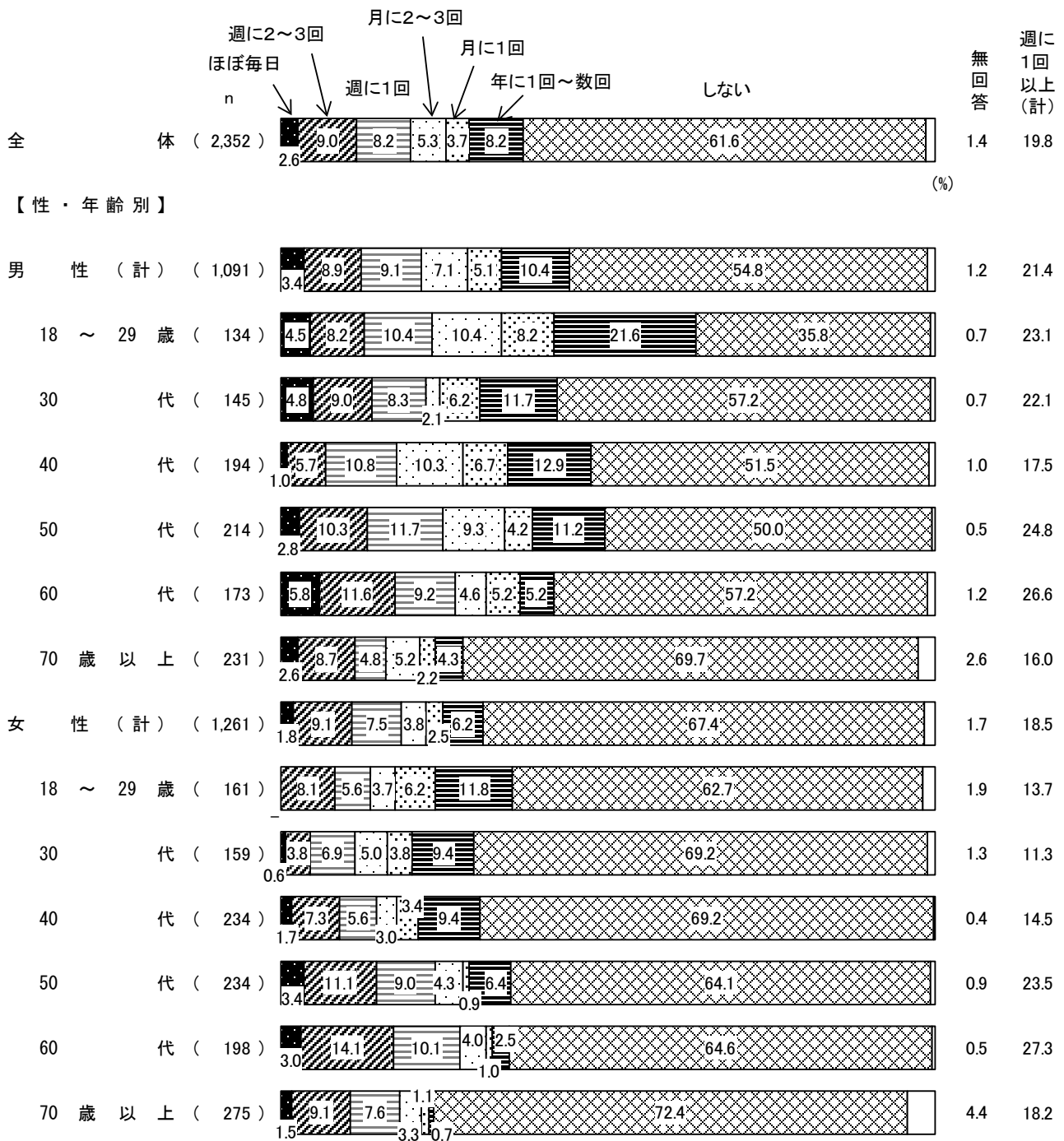


⑧生活の行動頻度（ク）スポーツをする、スポーツジムに通う【性・年齢別】

『週に1回以上（計）』は男女とも60代で2割半ばを超える

性・年齢別にみると、『週に1回以上（計）』は女性60代（27.3%）、男性60代（26.6%）でともに2割半ばを超えて多くなっている。一方、「しない」は女性70歳以上（72.4%）で7割を超えて多い。

図5-1-9 生活の行動頻度（ク）スポーツをする、スポーツジムに通う【性・年齢別】

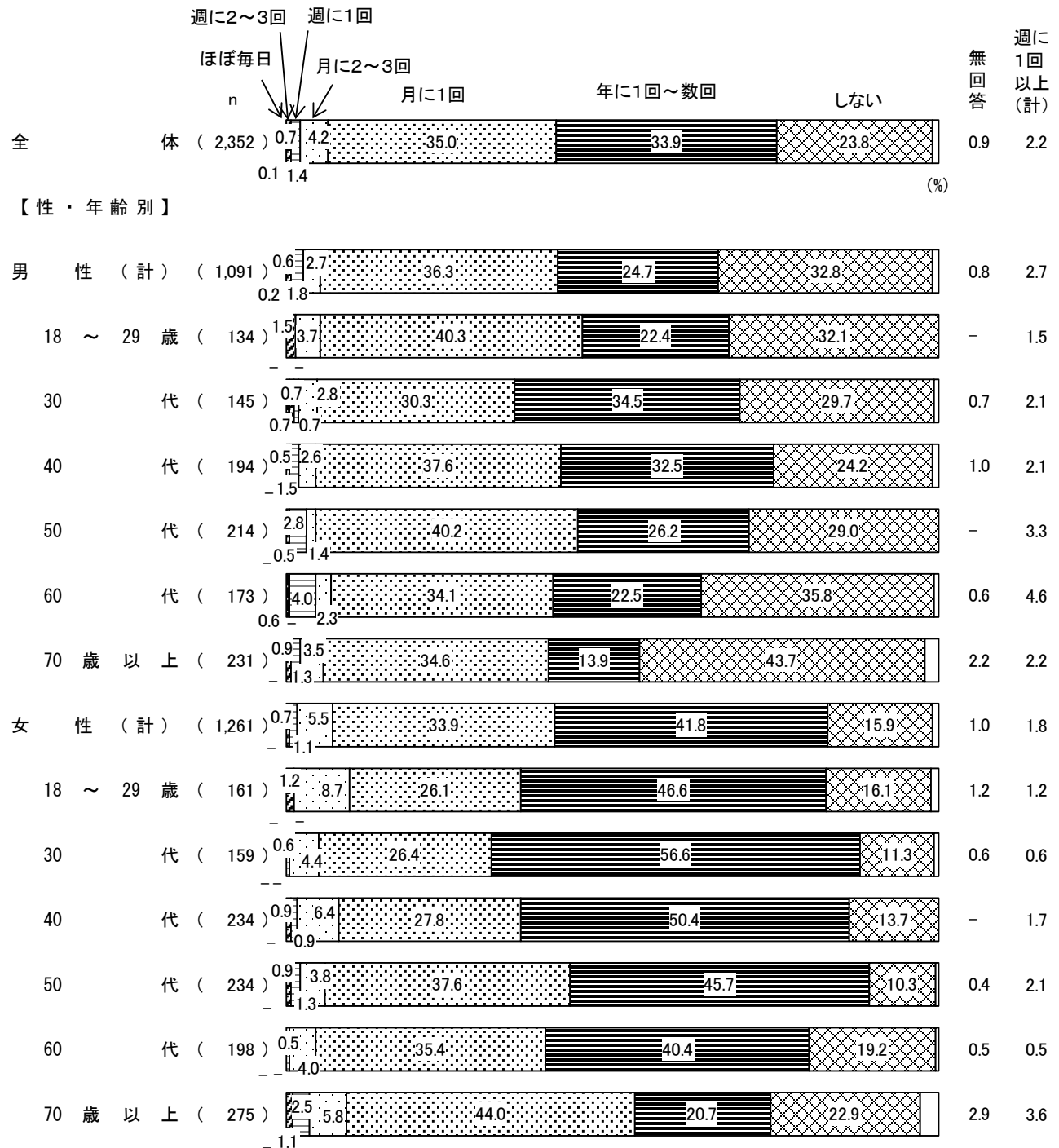


⑨生活の行動頻度（ケ）理美容室・マッサージ・エステなどに通う【性・年齢別】

「月に1回」は女性70歳以上で4割半ば

性・年齢別にみると、「月に1回」は女性70歳以上（44.0%）で4割半ばと最も多く、半数以上は月に1回以上通っている。また、「年に1回～数回」は女性30代（56.6%）で5割半ばと多い。

図5-1-10 生活の行動頻度（ケ）理美容室・マッサージ・エステなどに通う【性・年齢別】



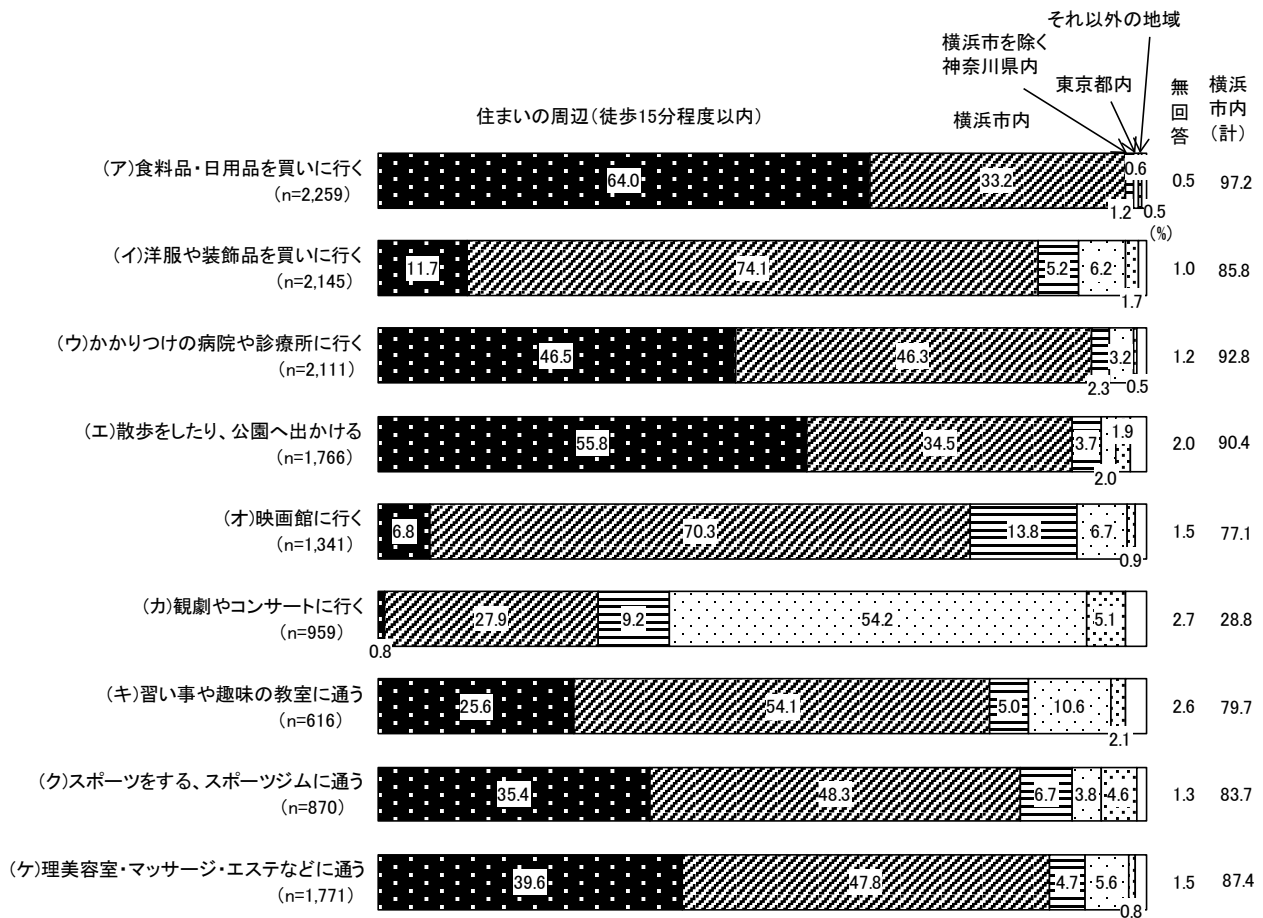
(2) 生活の行動範囲

問 14 あなたは、次のことをする場合、主にどこに行きますか。(〇はそれぞれ1つ。ただし、問 13 で「しない」と回答した項目については無記入としてください。)

『横浜市内(計)』は《映画館に行く》で7割半ば

生活の行動範囲について、「住まいの周辺(徒歩15分程度以内)」と「横浜市内」を合わせた『横浜市内(計)』は《映画館に行く》(77.1%)で7割半ば、《観劇やコンサートに行く》(28.8%)では3割近くとなっている。また、「東京都内」は《観劇やコンサートに行く》(54.2%)で5割半ばとなっている。

図 5-2-1 生活の行動範囲[全体]



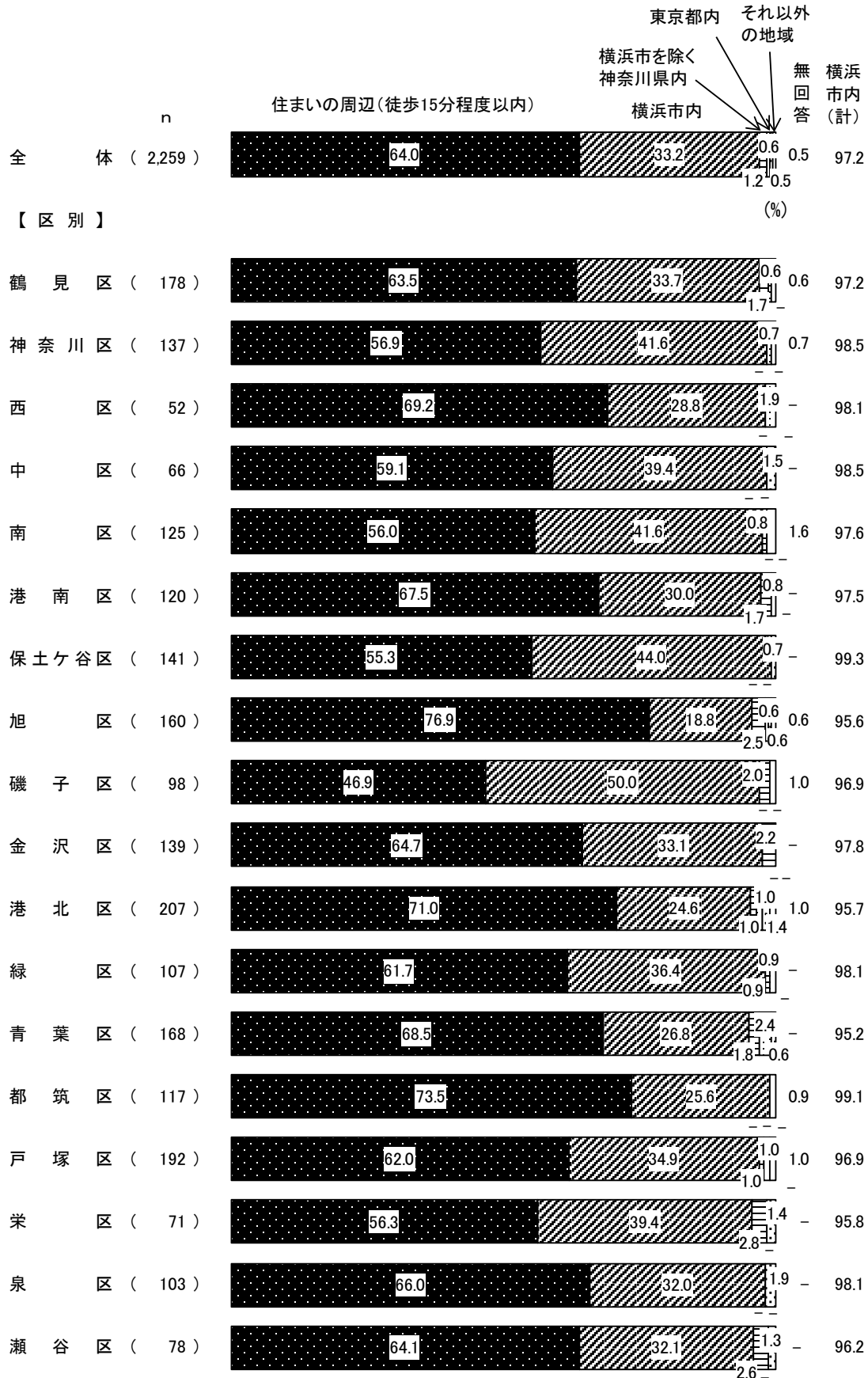
※「住まいの周辺(徒歩15分程度以内)」は、地域によっては市外を含む可能性がある。

①生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く [区別]

「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は旭区で7割半ば

区別にみると、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は旭区（76.9%）で7割半ばと最も多くなっている。また、「横浜市内」は磯子区（50.0%）で5割と多い。

図5-2-2 生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く [区別]

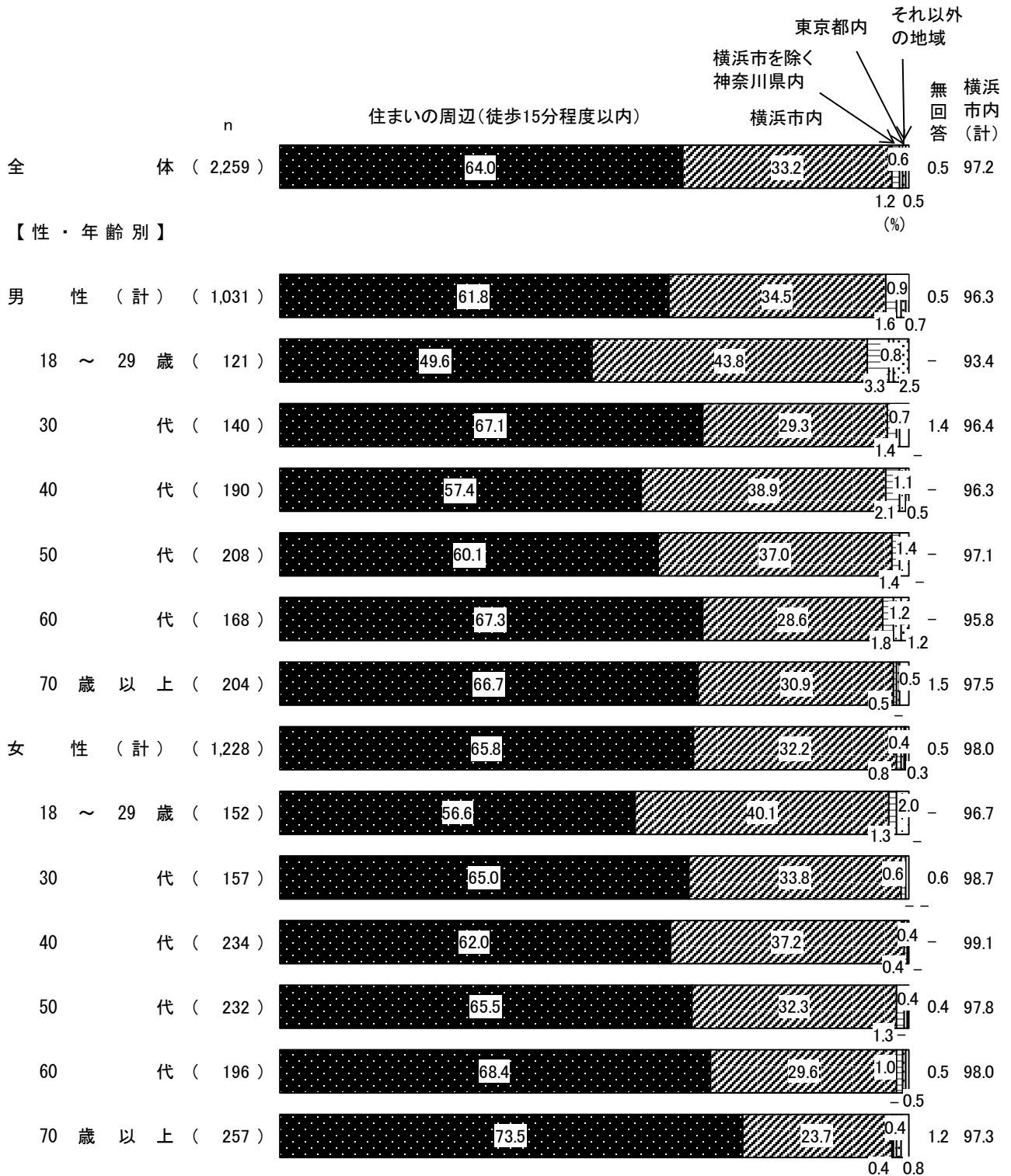


②生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く〔性・年齢別〕

「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は女性70歳以上で7割半ば

性・年齢別にみると、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は女性70歳以上（73.5%）で7割半ばと最も多くなっている。また、「横浜市内」は男性18～29歳（43.8%）で4割半ばと多い。

図5-2-3 生活の行動範囲（ア）食料品・日用品を買いに行く〔性・年齢別〕

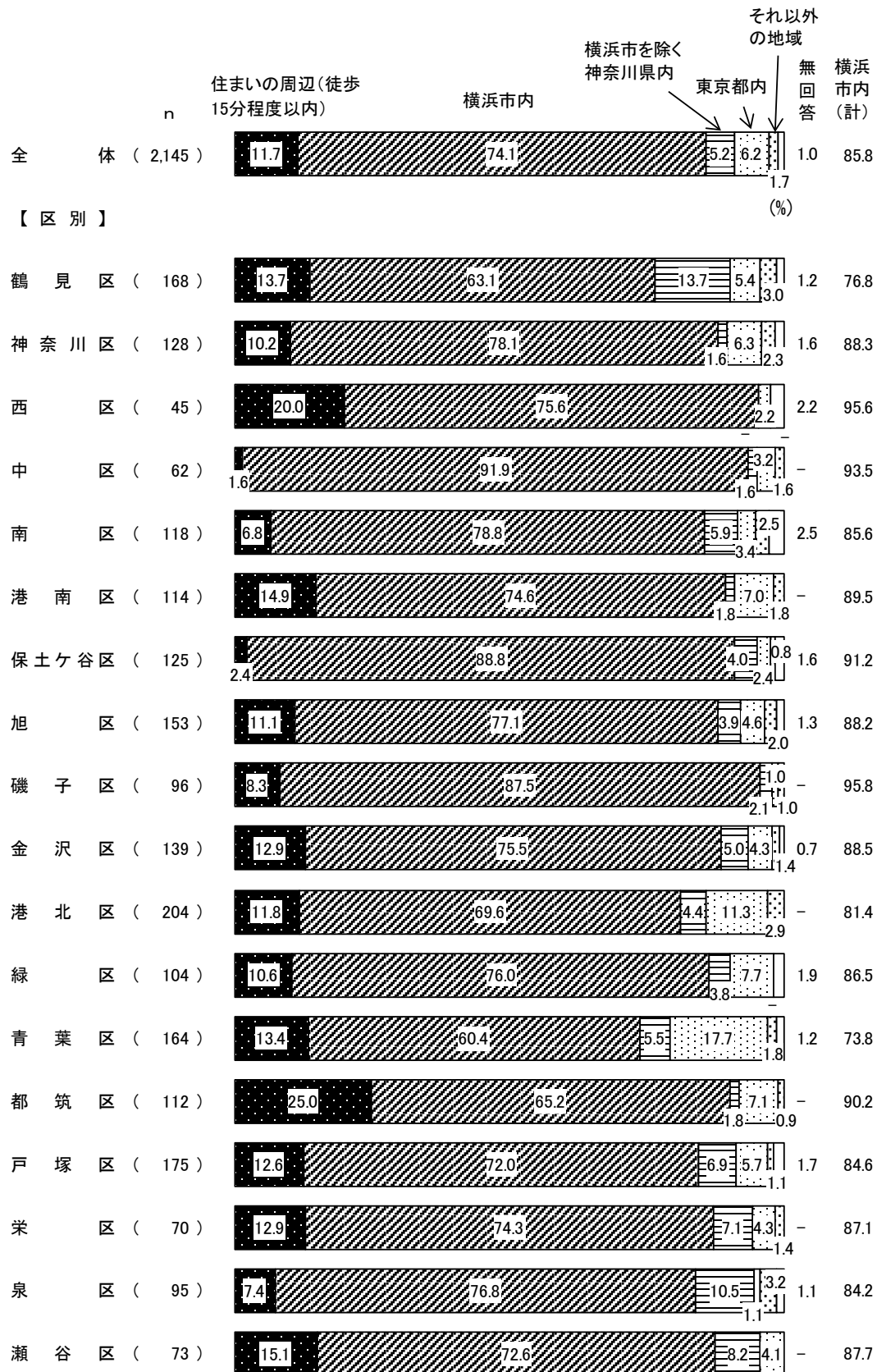


③生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く [区別]

「横浜市内」は中区で9割を超える

区別にみると、「横浜市内」は中区（91.9%）で9割を超えて最も多くなっている。また、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は都筑区（25.0%）で2割半ば、「東京都内」は青葉区（17.7%）で2割近くとそれぞれ最も多い。

図5-2-4 生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く [区別]

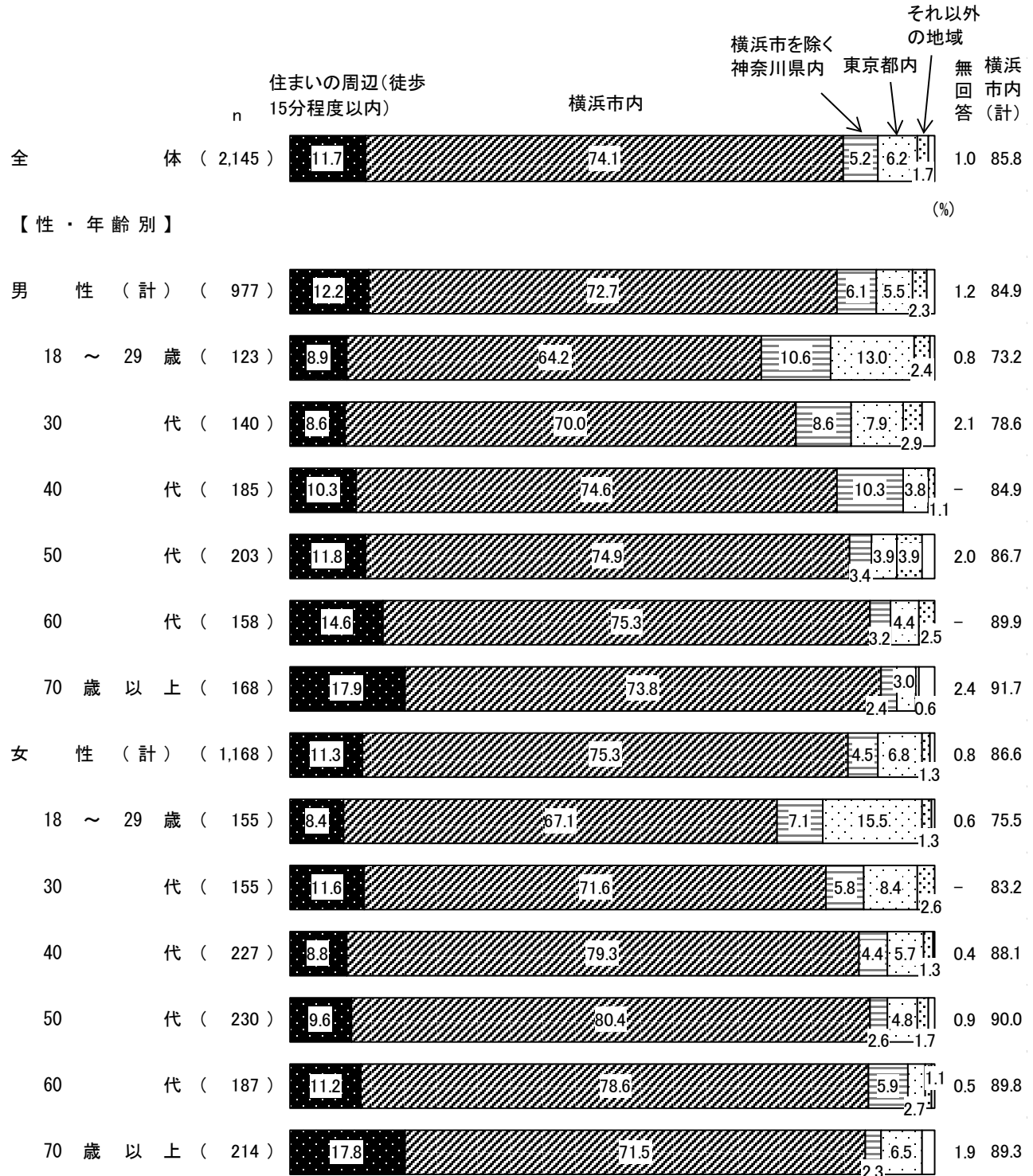


④生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く〔性・年齢別〕

『横浜市内（計）』は男性70歳以上、女性50代で9割を超える

性・年齢別にみると、『横浜市内（計）』は男性70歳以上（91.7%）、女性50代（90.0%）で9割を超えて多くなっている。また、「東京都内」は女性18～29歳（15.5%）、男性18～29歳（13.0%）でともに1割半ばとなっている。

図5-2-5 生活の行動範囲（イ）洋服や装飾品を買いに行く〔性・年齢別〕

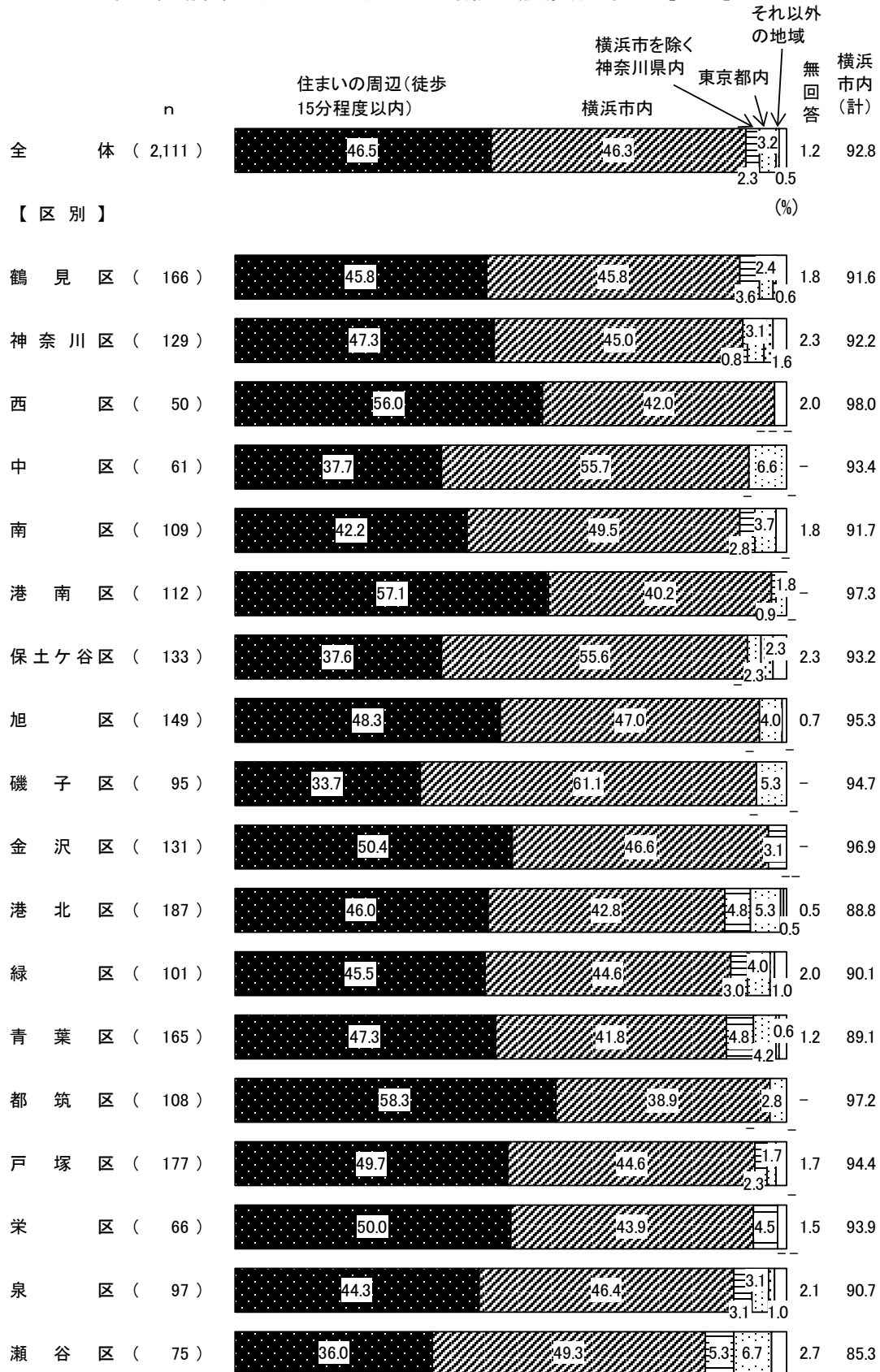


⑤生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [区別]

「横浜市内」は磯子区で6割を超える

区別にみると、「横浜市内」は磯子区（61.1%）で6割を超えて最も多くなっている。また、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は都筑区（58.3%）、港南区（57.1%）、西区（56.0%）で5割半ばと多い。

図5-2-6 生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [区別]

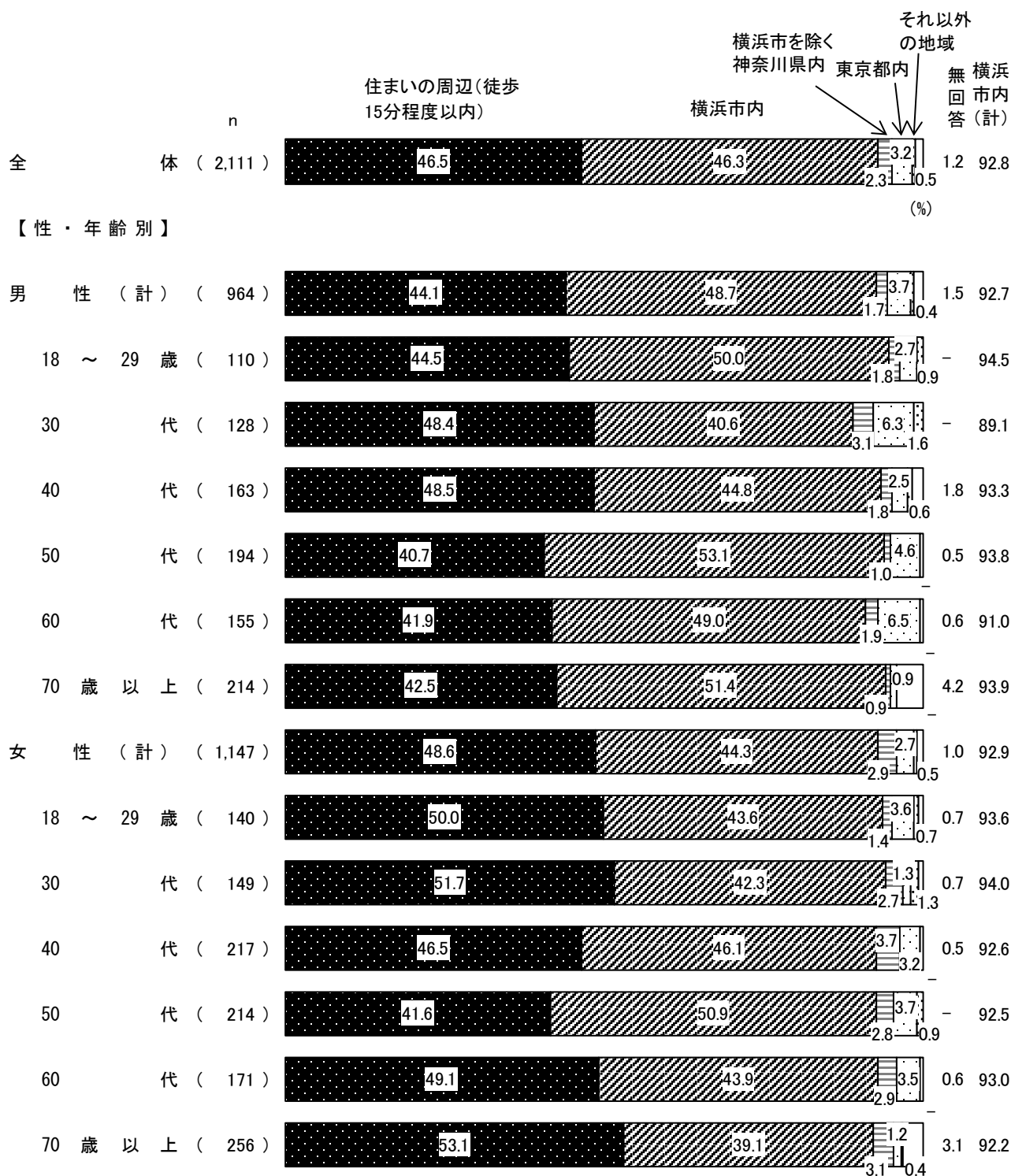


⑥生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は女性 70 歳以上で 5 割半ば

性・年齢別にみると、「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は女性 70 歳以上（53.1%）で 5 割半ばと最も多くなっている。

図 5-2-7 生活の行動範囲（ウ）かかりつけの病院や診療所に行く [性・年齢別]

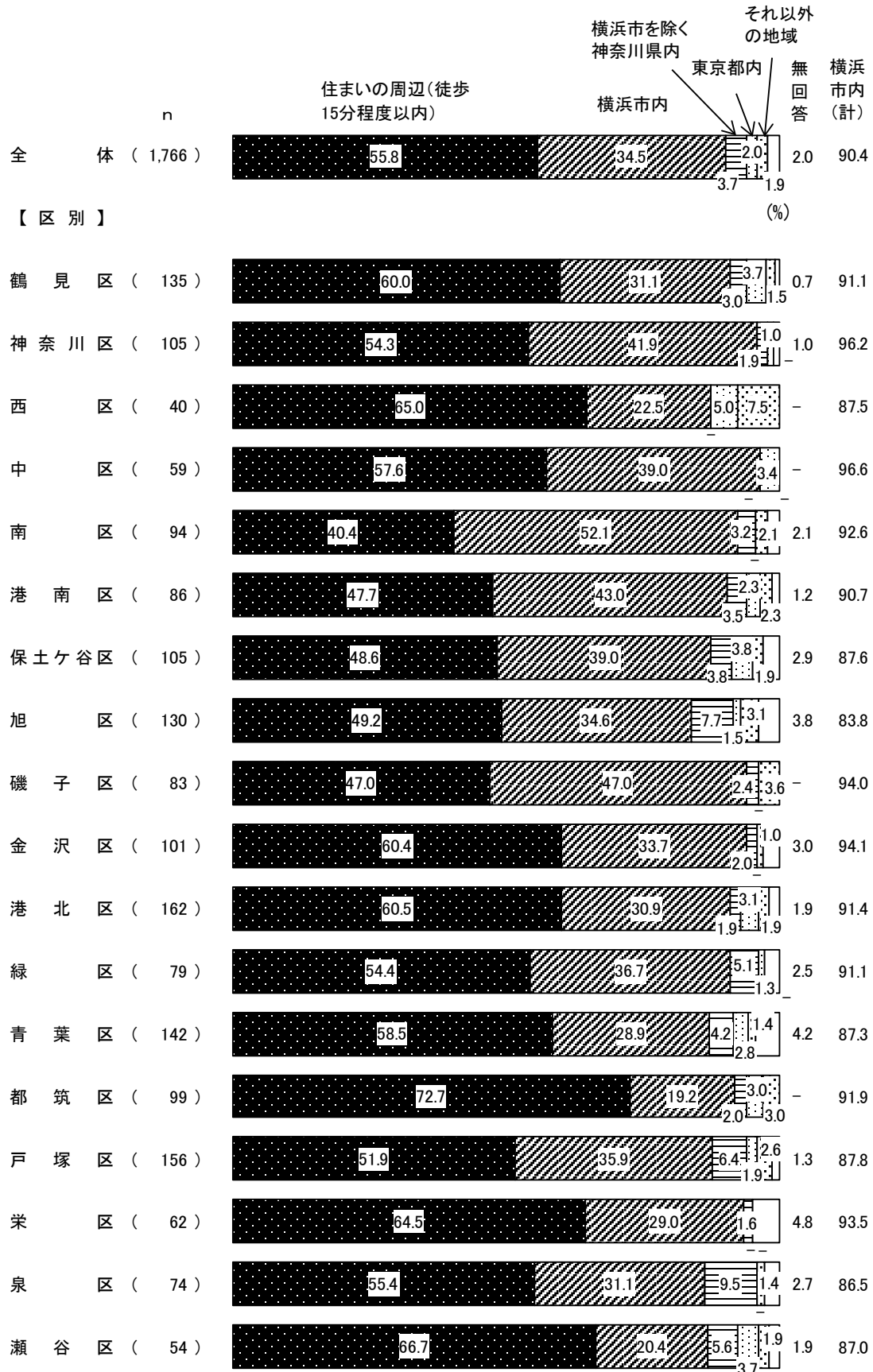


⑦生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔区別〕

「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は都筑区で 7 割を超える

区別にみると、「住まいの周辺（徒歩 15 分程度以内）」は都筑区（72.7%）で 7 割を超えて最も多くなっている。また、「横浜市内」は南区（52.1%）で 5 割を超えて多い。

図 5-2-8 生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔区別〕

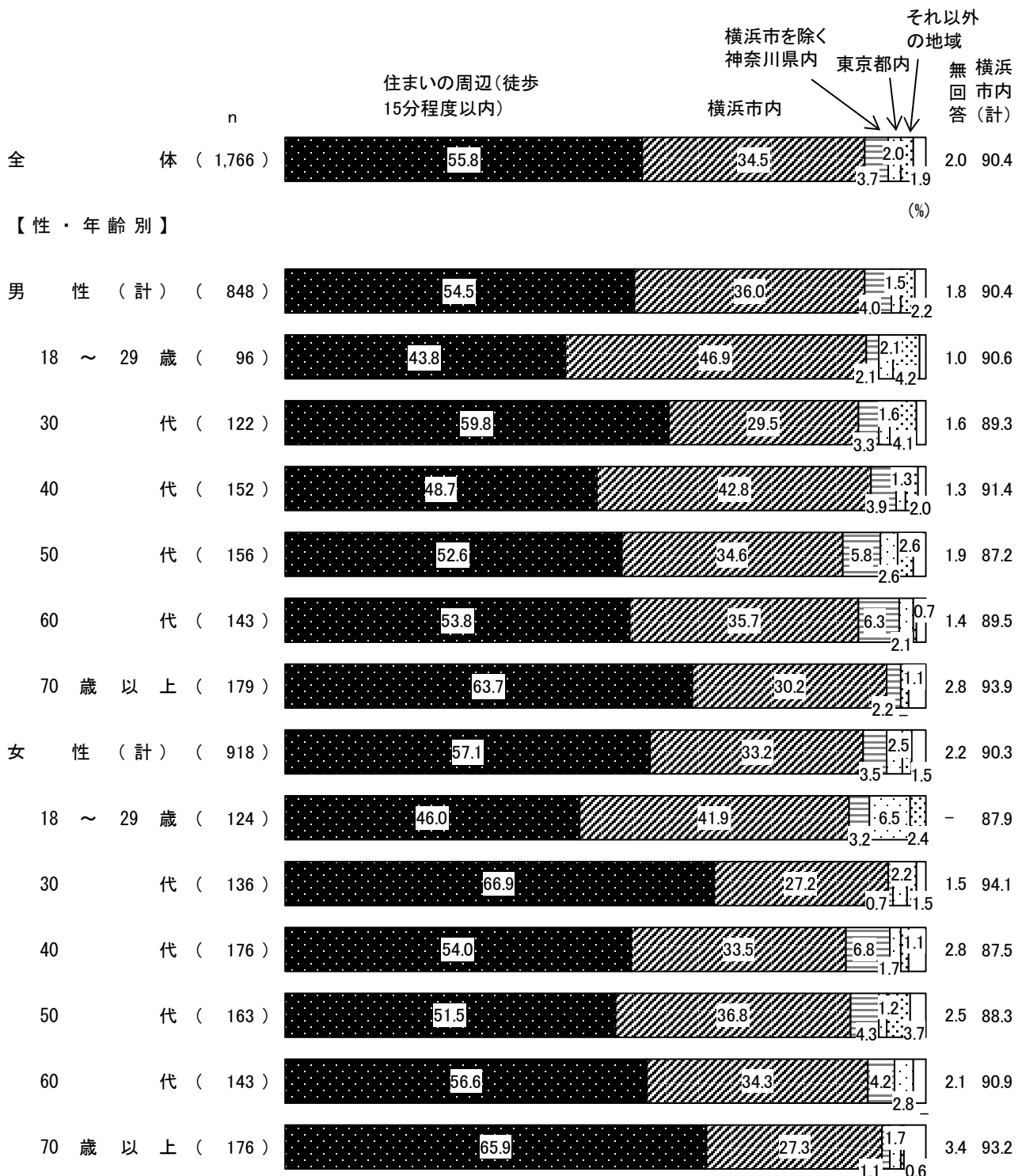


⑧生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔性・年齢別〕

「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は女性30代、男女70歳以上で6割半ば

性・年齢別にみると、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は女性30代（66.9%）、女性70歳以上（65.9%）、男性70歳以上（63.7%）で6割半ばと多くなっている。

図5-2-9 生活の行動範囲（エ）散歩をしたり、公園へ出かける〔性・年齢別〕

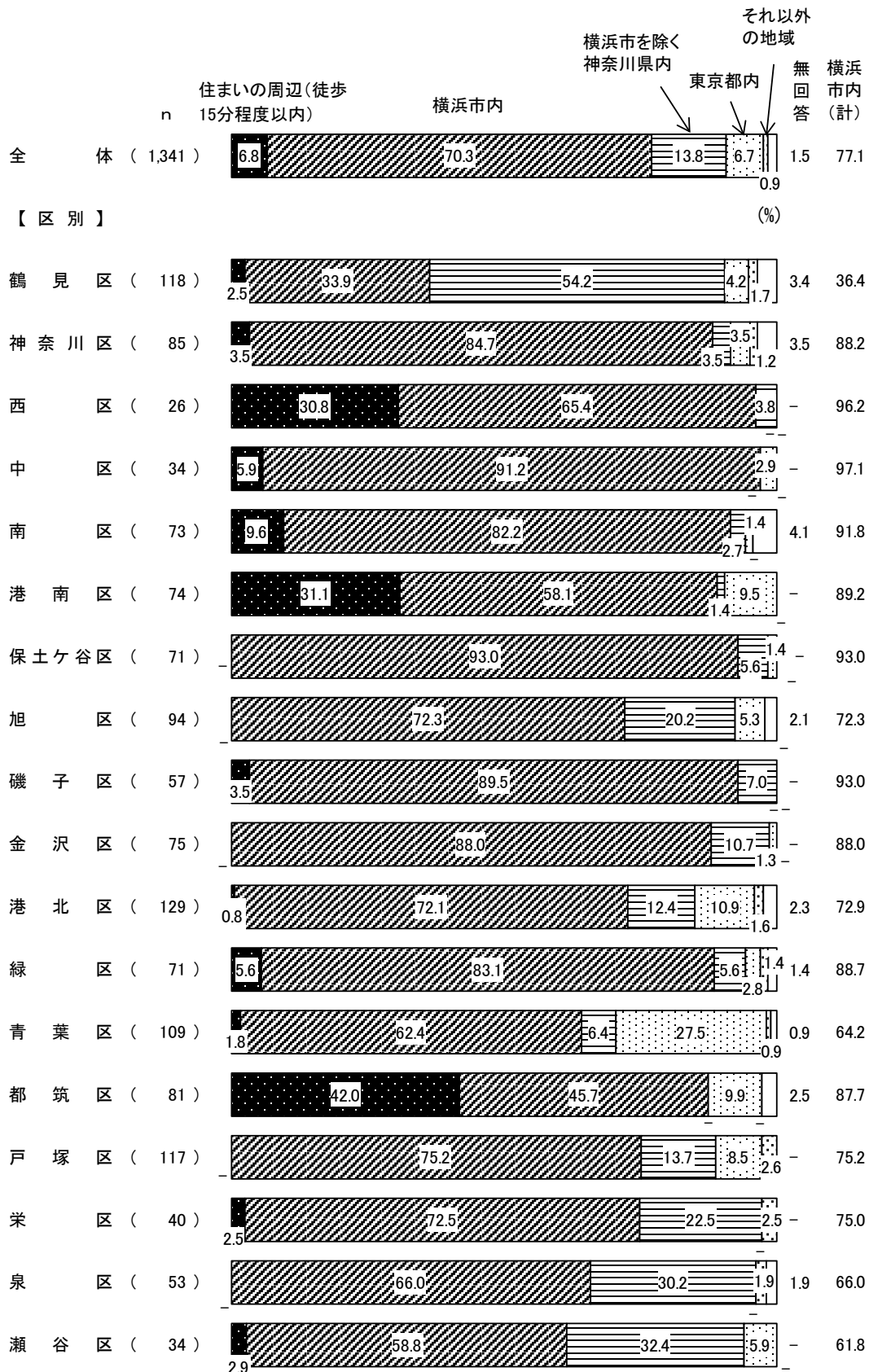


⑨生活の行動範囲（オ）映画館に行く〔区別〕

「横浜市を除く神奈川県内」は鶴見区で5割半ば

区別にみると、「横浜市を除く神奈川県内」は鶴見区（54.2%）で5割半ばと多くなっている。また、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は都筑区（42.0%）で4割を超えて、「東京都内」は青葉区（27.5%）で2割半ばとそれぞれ多い。

図5-2-10 生活の行動範囲（オ）映画館に行く〔区別〕

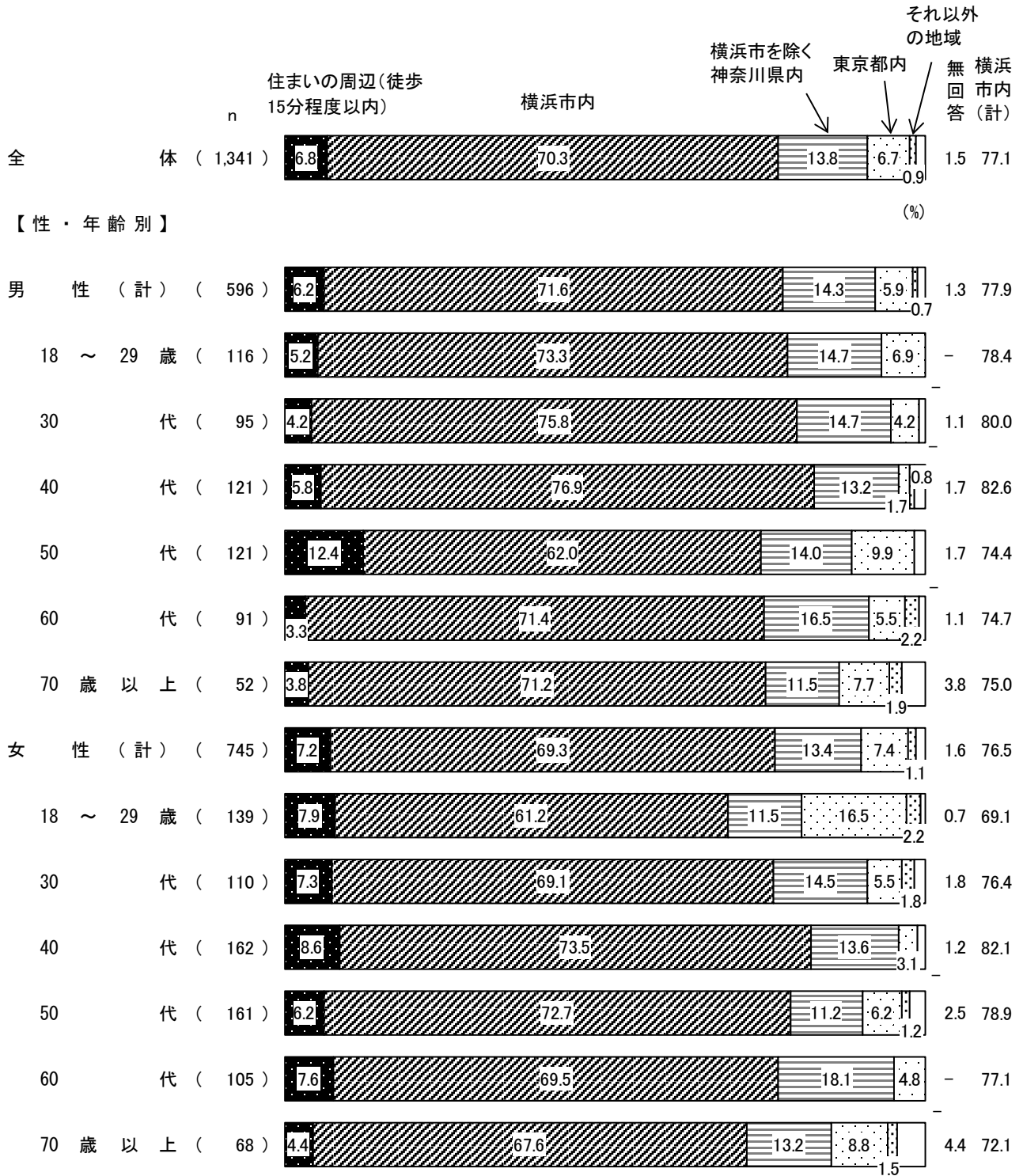


⑩生活の行動範囲（才）映画館に行く〔性・年齢別〕

『横浜市内（計）』は男女40代、男性30代で8割を超える

性・年齢別にみると、『横浜市内（計）』は男性40代（82.6%）、女性40代（82.1%）、男性30代（80.0%）で8割を超えて多くなっている。

図5-2-11 生活の行動範囲（才）映画館に行く〔性・年齢別〕

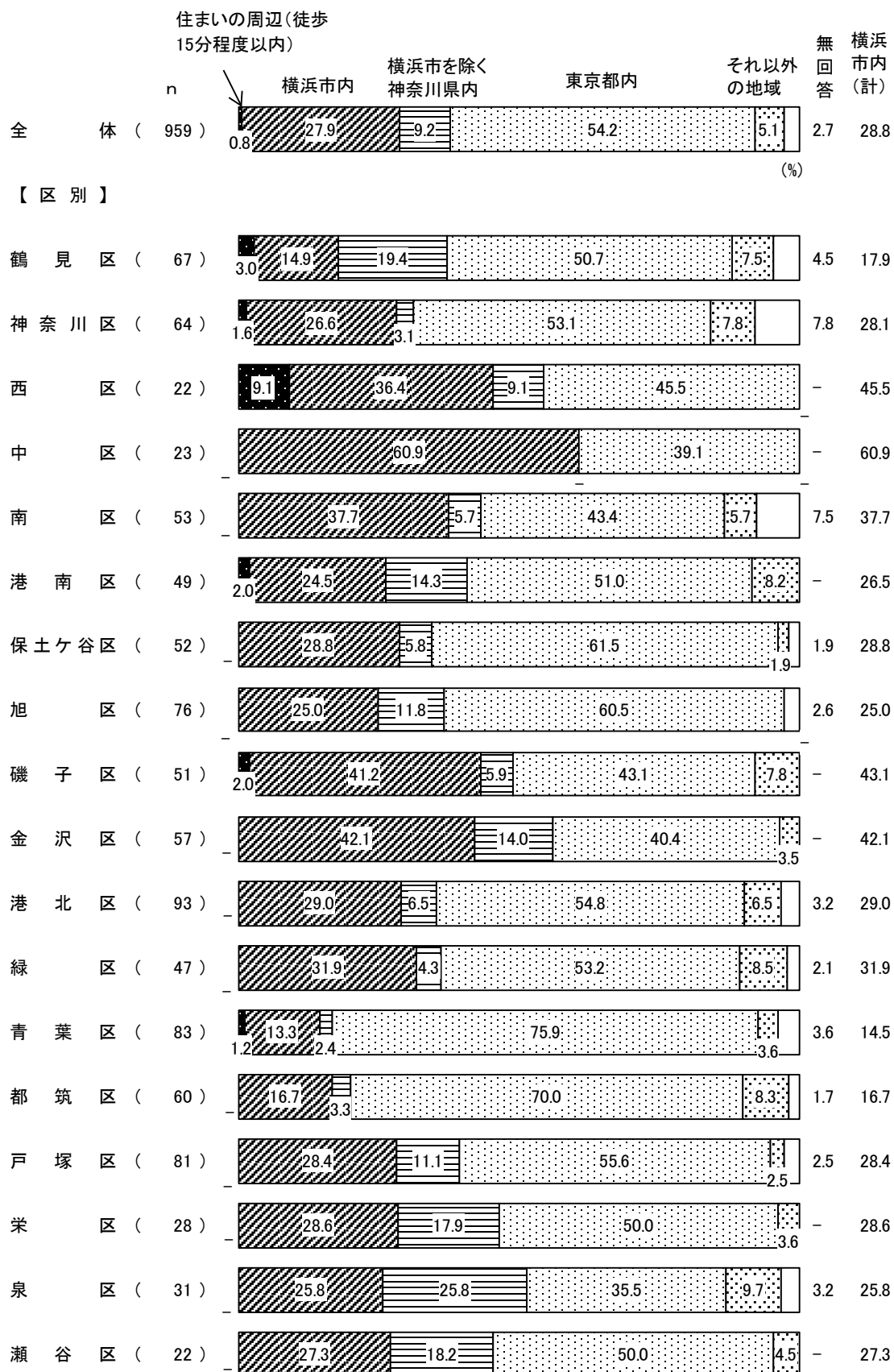


⑪生活の行動範囲（カ）観劇やコンサートに行く【区別】

「東京都内」は青葉区で7割半ば

区別にみると、「東京都内」は青葉区（75.9%）で7割半ばと最も多くなっている。また、「横浜市内」は中区（60.9%）で6割を超えて多い。

図5-2-12 生活の行動範囲（カ）観劇やコンサートに行く【区別】

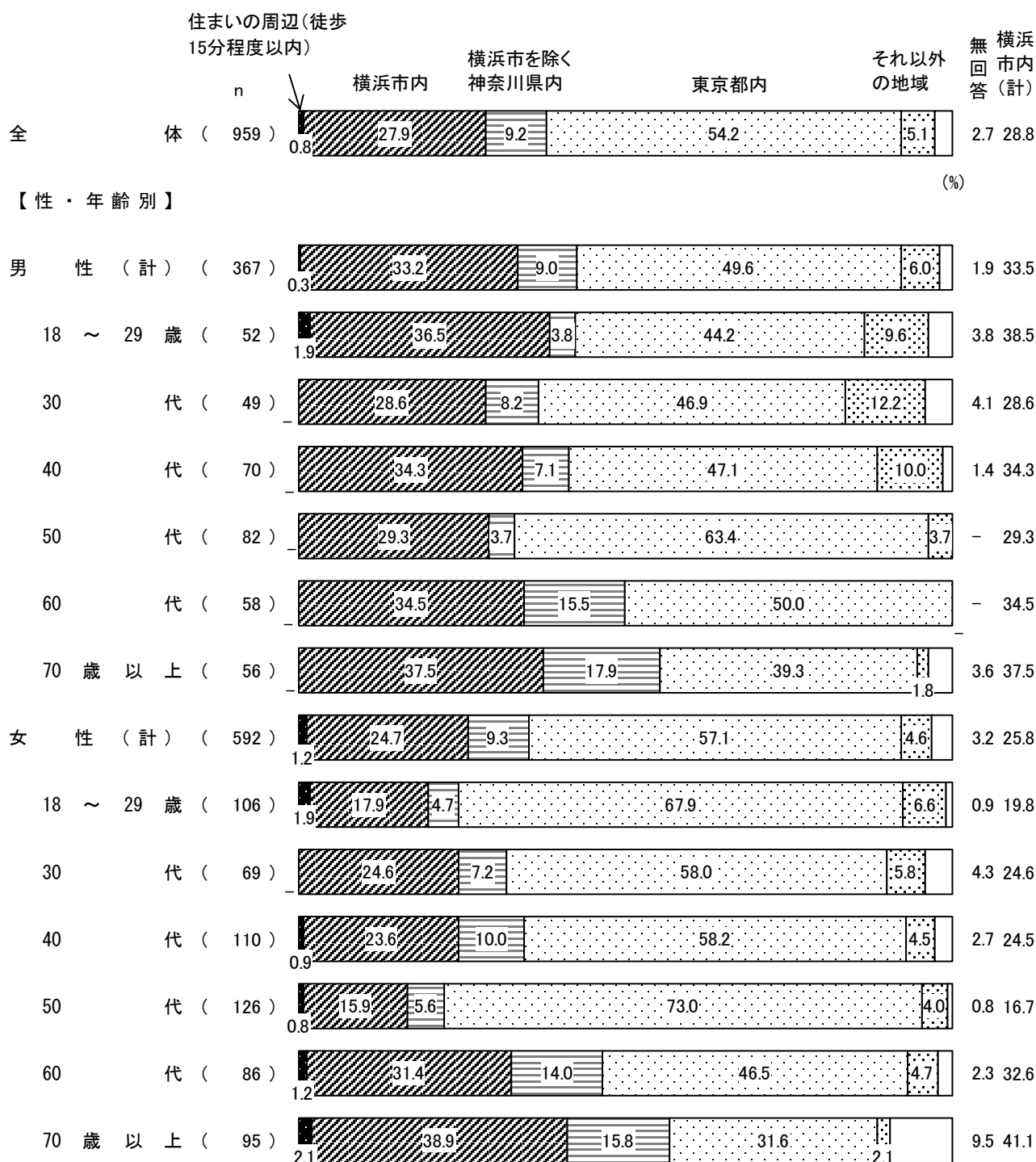


⑫生活の行動範囲（カ）観劇やコンサートに行く〔性・年齢別〕

「東京都内」は女性50代で7割半ば

性・年齢別にみると、「東京都内」は女性50代（73.0%）で7割半ば、女性18～29歳（67.9%）で7割近くと多くなっている。また、『横浜市内（計）』は女性70歳以上（41.1%）と4割を超えて最も多い。

図5-2-13 生活の行動範囲（カ）観劇やコンサートに行く〔性・年齢別〕

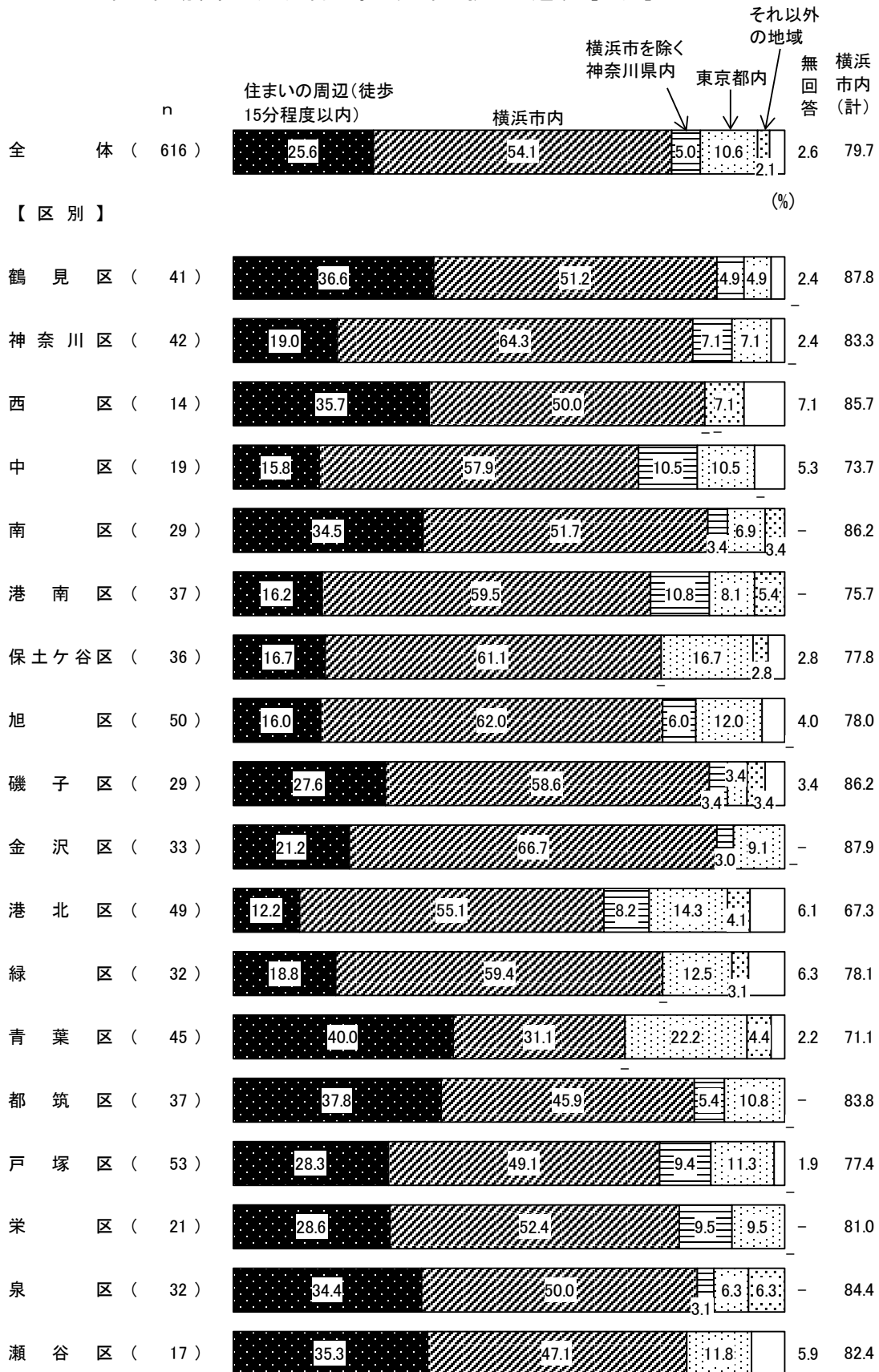


⑬生活の行動範囲（キ）習い事や趣味の教室に通う〔区別〕

『横浜市内（計）』は港北区で6割半ばと少ない

区別にみると、『横浜市内（計）』は港北区（67.3%）で6割半ばと少なくなっている。また、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は青葉区（40.0%）で4割と最も多く、「東京都内」も青葉区（22.2%）で2割を超えて多い。

図5-2-14 生活の行動範囲（キ）習い事や趣味の教室に通う〔区別〕

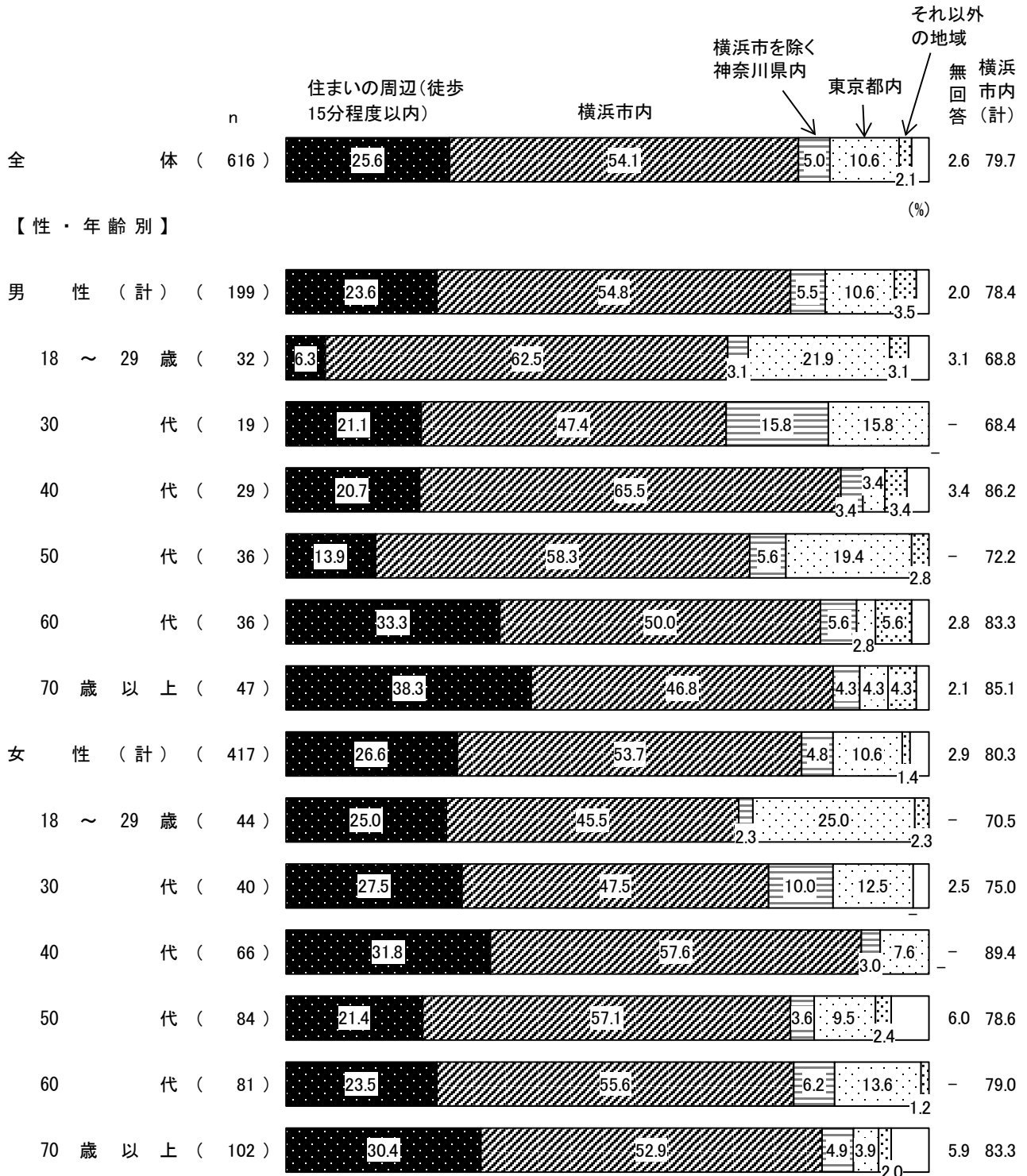


⑭生活の行動範囲（キ）習い事や趣味の教室に通う〔性・年齢別〕

「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は男性70歳以上で4割近く

性・年齢別にみると、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は男性70歳以上（38.3%）で4割近くと最も多くなっている。また、「東京都内」は女性18～29歳（25.0%）で2割半ばと多い。

図5-2-15 生活の行動範囲（キ）習い事や趣味の教室に通う〔性・年齢別〕

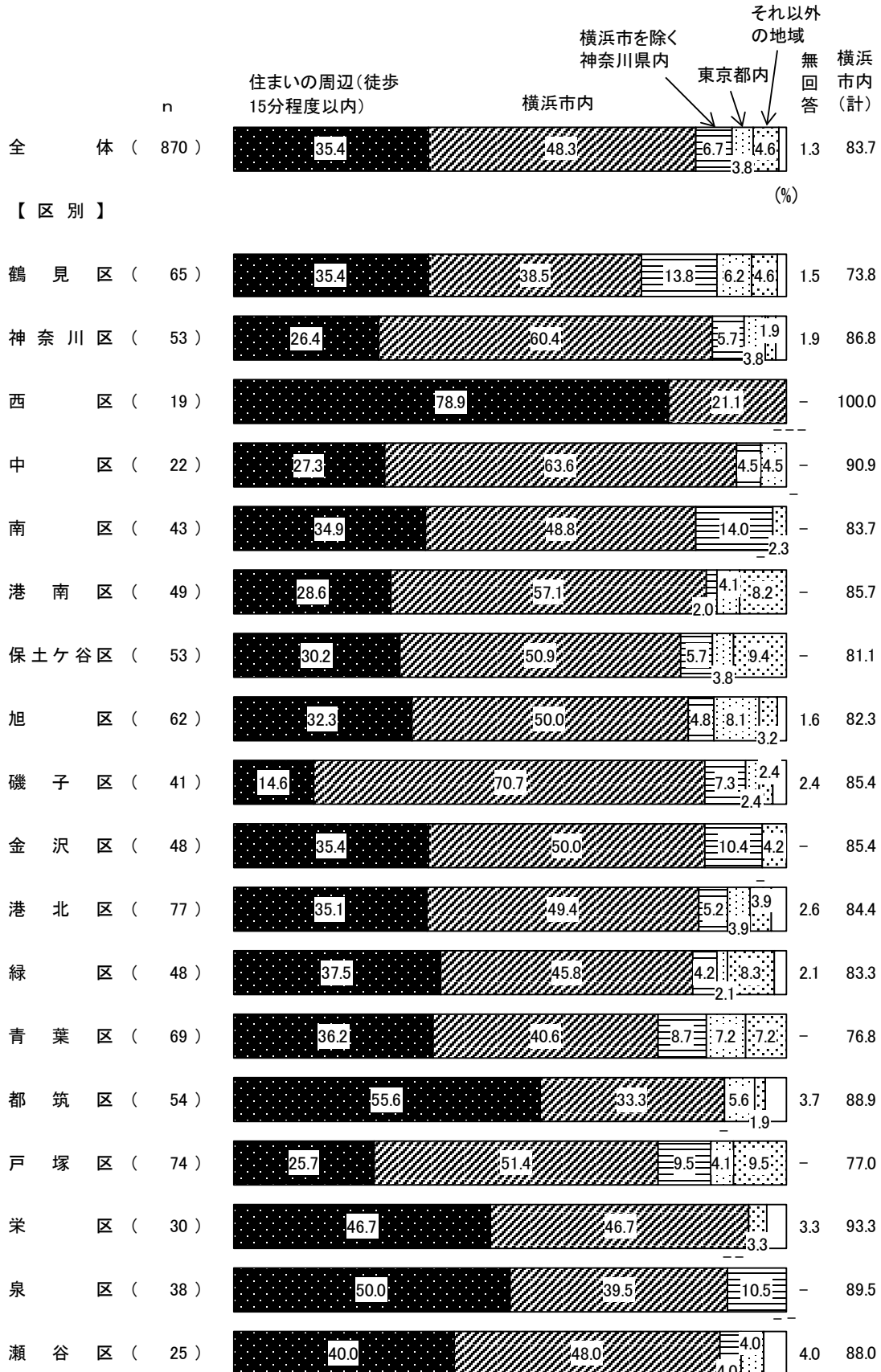


⑮生活の行動範囲（ク）スポーツをする、スポーツジムに通う〔区別〕

「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は西区で8割近く

区別にみると、「住まいの周辺（徒歩15分程度以内）」は西区（78.9%）で8割近くと最も多くなっている。また、「横浜市内」は磯子区（70.7%）で7割を超えて多い。

図5-2-16 生活の行動範囲（ク）スポーツをする、スポーツジムに通う〔区別〕

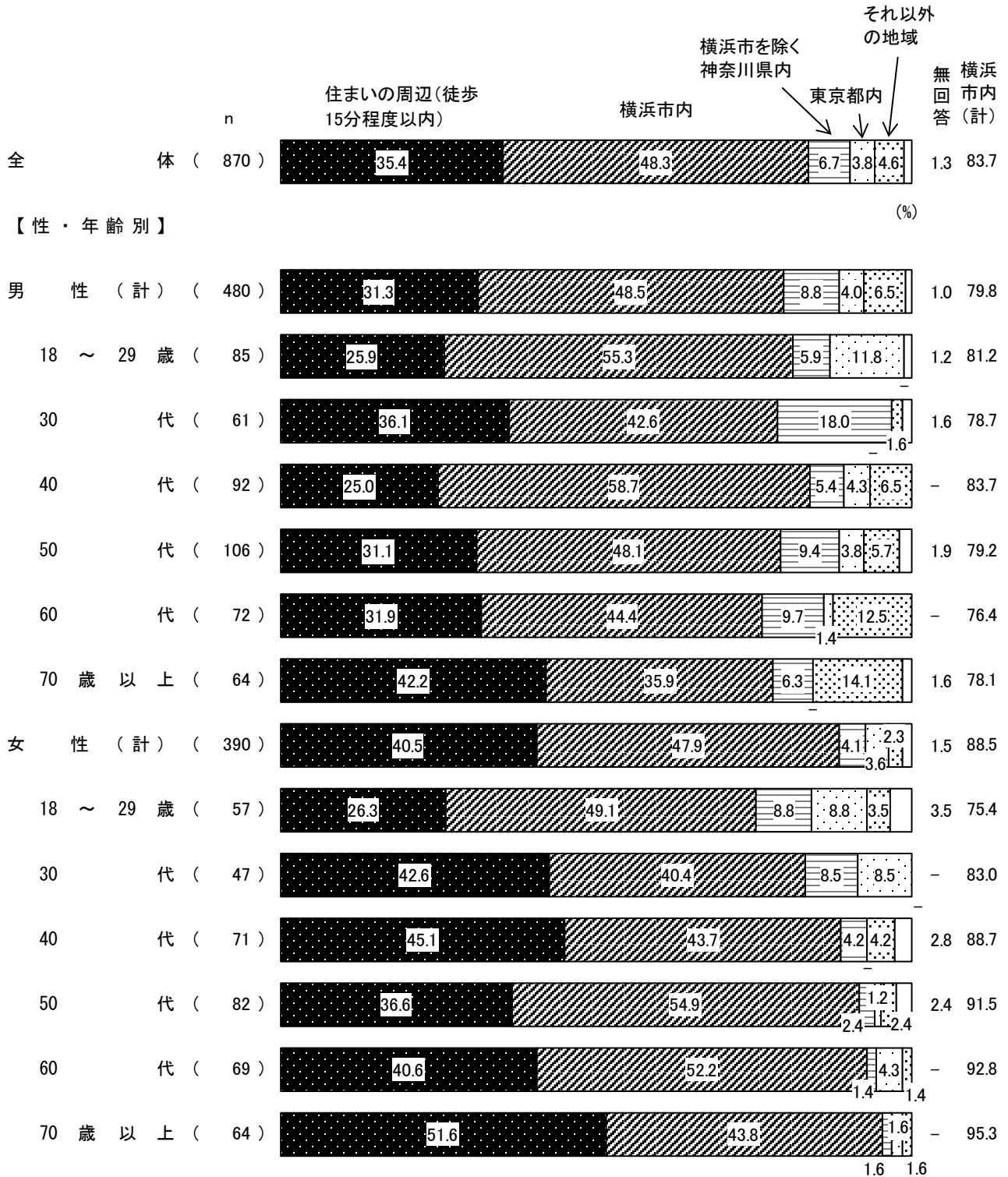


⑩生活の行動範囲（ク）スポーツをする、スポーツジムに通う【性・年齢別】

『横浜市内（計）』は女性で年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、『横浜市内（計）』は女性で年齢が高いほど多く、女性70歳以上（95.3%）、60代（92.8%）、50代（91.5%）では9割を超えている。

図5-2-17 生活の行動範囲（ク）スポーツをする、スポーツジムに通う【性・年齢別】

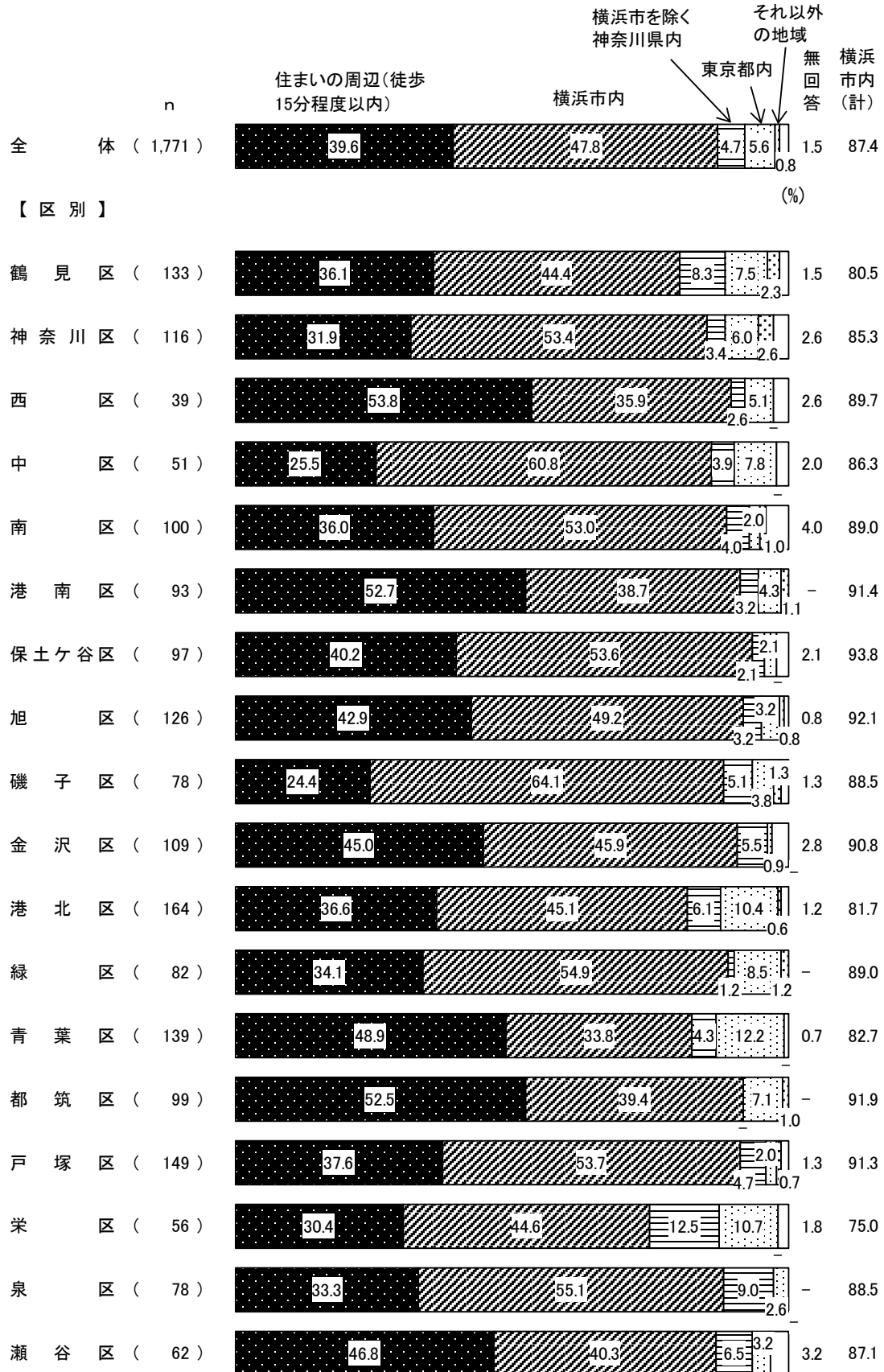


⑰生活の行動範囲（ケ）理美容室・マッサージ・エステなどに通う〔区別〕

『横浜市内（計）』は栄区で7割半ばと少ない

区別にみると、『横浜市内（計）』は栄区（75.0%）で7割半ばと最も少なくなっている。また、「横浜市内」は磯子区（64.1%）で6割半ばと最も多い。

図5-2-18 生活の行動範囲（ケ）理美容室・マッサージ・エステなどに通う〔区別〕

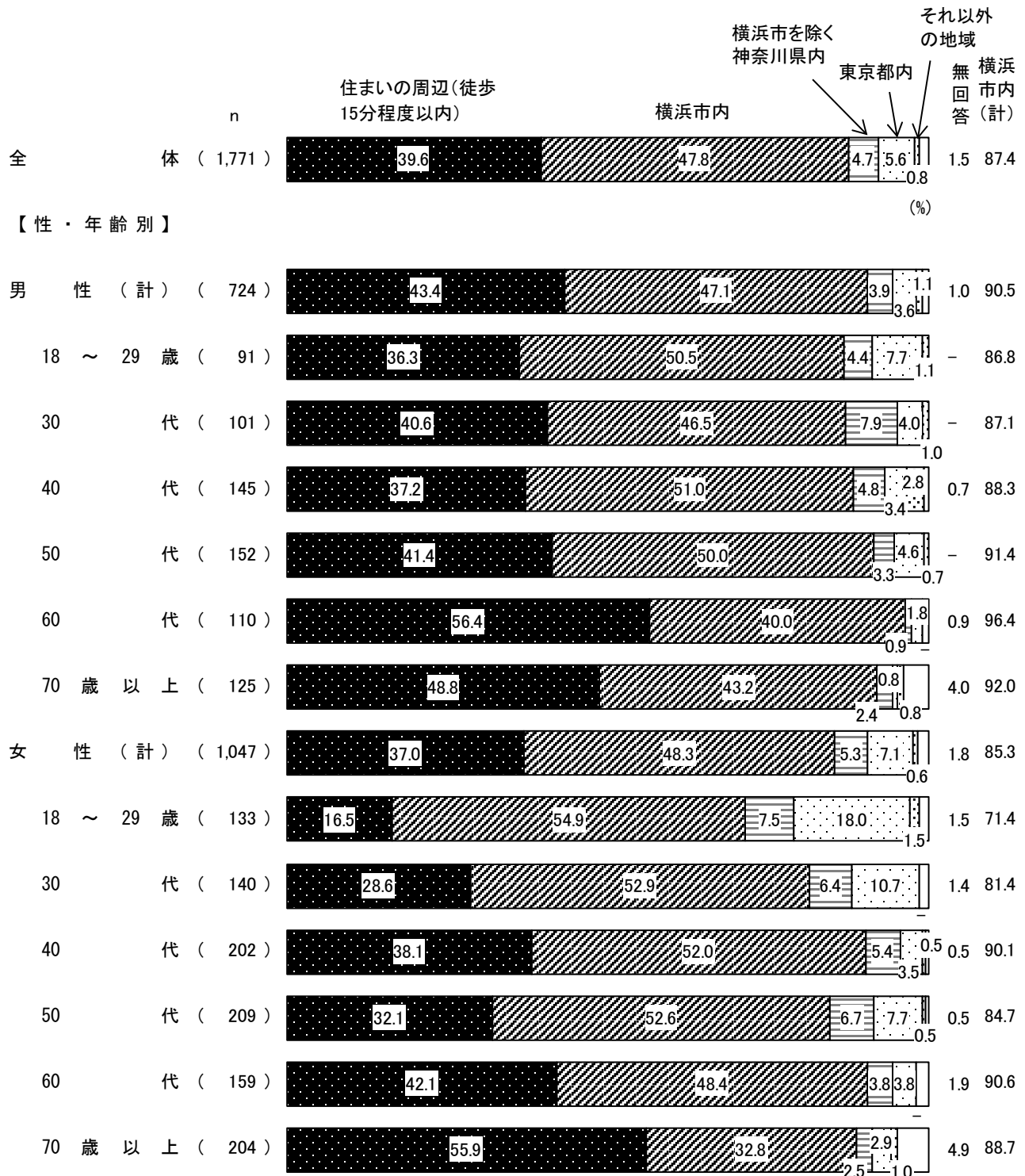


⑱生活の行動範囲（ケ）理美容室・マッサージ・エステなどに通う【性・年齢別】

『横浜市内（計）』は女性 18～29 歳で 7 割程度と少ない

性・年齢別にみると、『横浜市内（計）』は女性 18～29 歳（71.4%）で 7 割程度と少なくなっている。一方、「東京都内」は女性 18～29 歳（18.0%）で 2 割近くと多い。

図 5-2-19 生活の行動範囲（ケ）理美容室・マッサージ・エステなどに通う【性・年齢別】



6. インターネットの利用

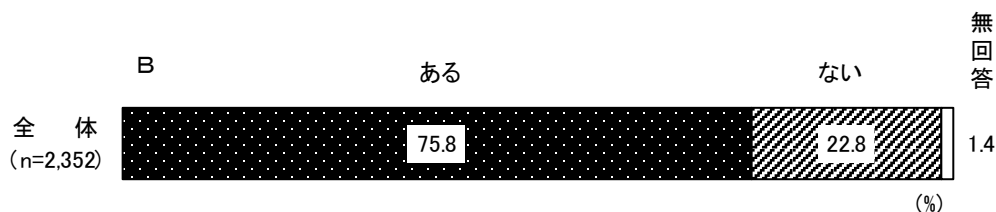
(1) インターネットの利用状況

問 15 あなたは、過去1年間に、仕事や学業以外で、インターネットを利用したことがありますか。(〇は1つ)

「ある」は7割半ば

インターネットの利用状況については、「ある」(75.8%)は7割半ばとなっている。一方、「ない」(22.8%)は2割を超えている。

図6-1-1 インターネットの利用状況[全体]

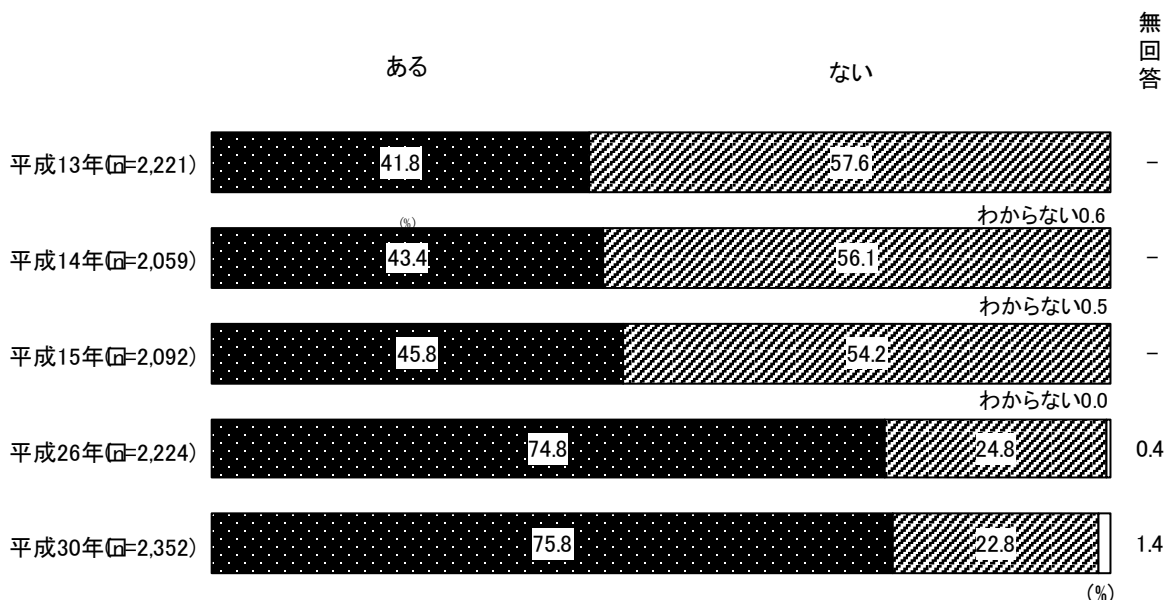


① インターネットの利用状況 [経年変化]

「ある」は横ばい傾向

経年変化をみると、前回の平成26年調査から「ある」は1.0ポイント増加の横ばい傾向となっている。

図6-1-2 インターネットの利用状況 [経年変化]



(注1) 平成15年調査までは選択肢が以下のように異なる。

「ある」→「利用している」

「ない」→「利用していない」

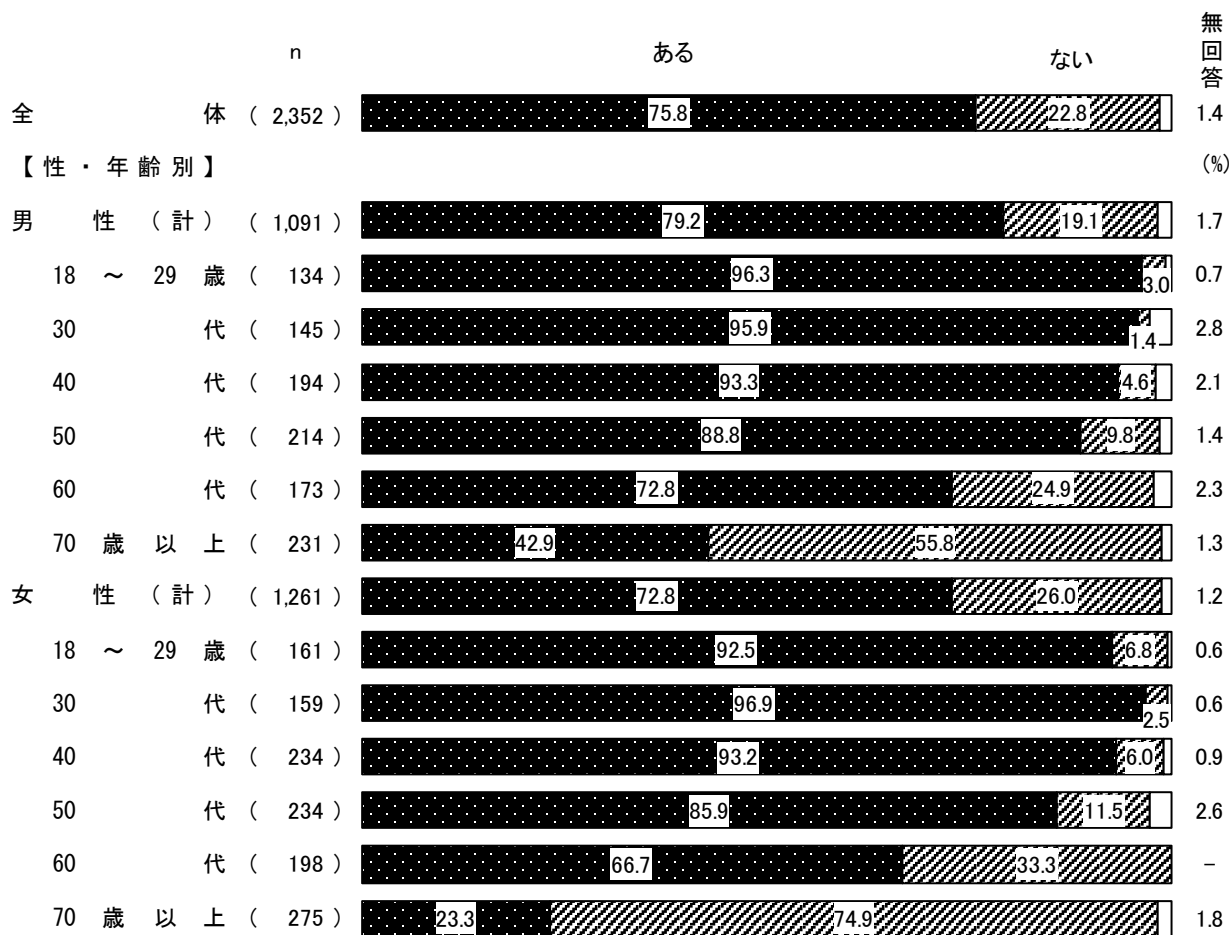
(注2) 平成15年調査までは選択肢に「わからない」を加えていた。

②インターネットの利用状況【性・年齢別】

「ある」は男女ともおおむね年齢が高いほど少ない

性・年齢別にみると、「ある」は男女ともおおむね年齢が高いほど少なくなっている。

図6-1-3 インターネットの利用状況【性・年齢別】



(2) インターネットの利用内容

(問 15 で「ある」と答えた方に)

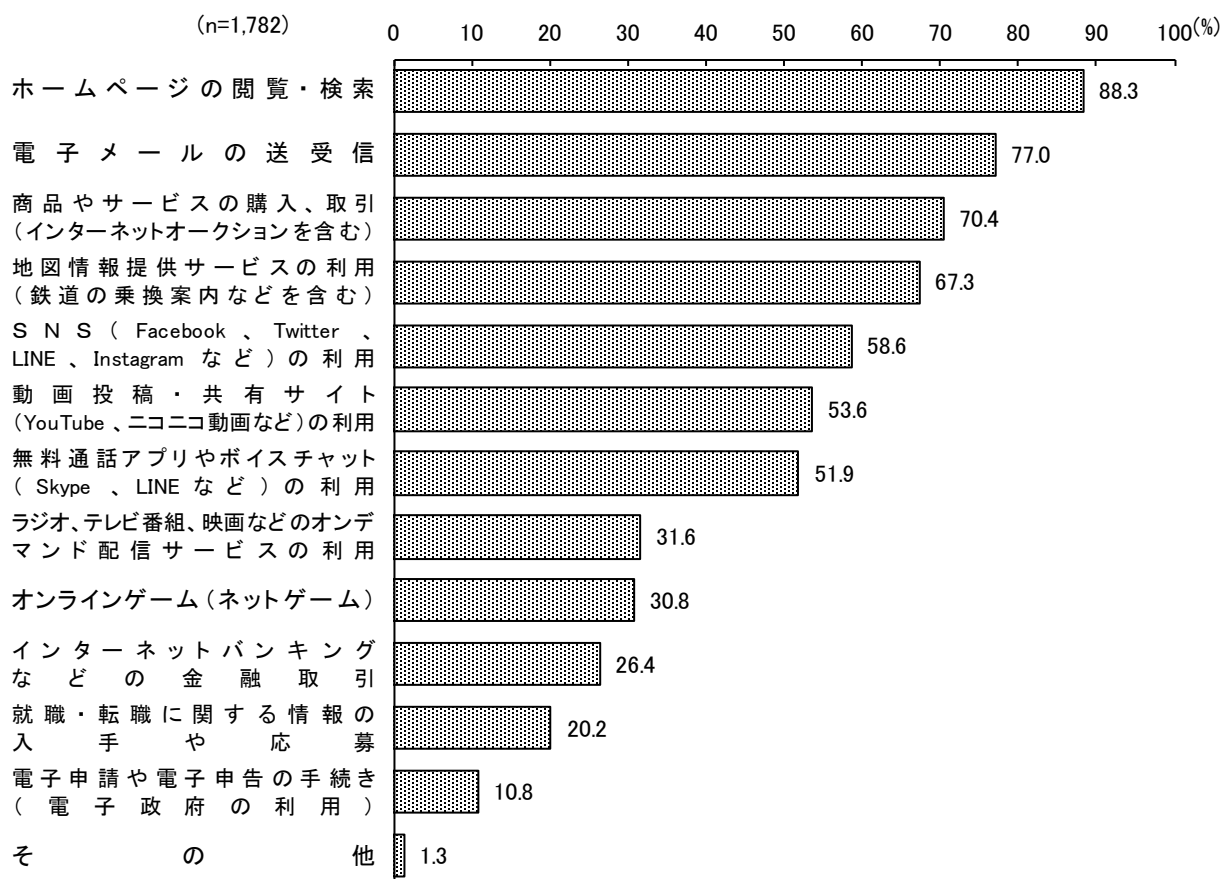
問 15-1 どのようなことに利用しましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。

(○はいくつでも)

「ホームページの閲覧・検索」は9割近く

インターネットの利用内容については、「ホームページの閲覧・検索」(88.3%)が9割近くと最も多く、次いで、「電子メールの送受信」(77.0%)、「商品やサービスの購入、取引(インターネットオークションを含む)」(70.4%)などの順となっている。

図6-2-1 インターネットの利用内容[全体] (複数回答)



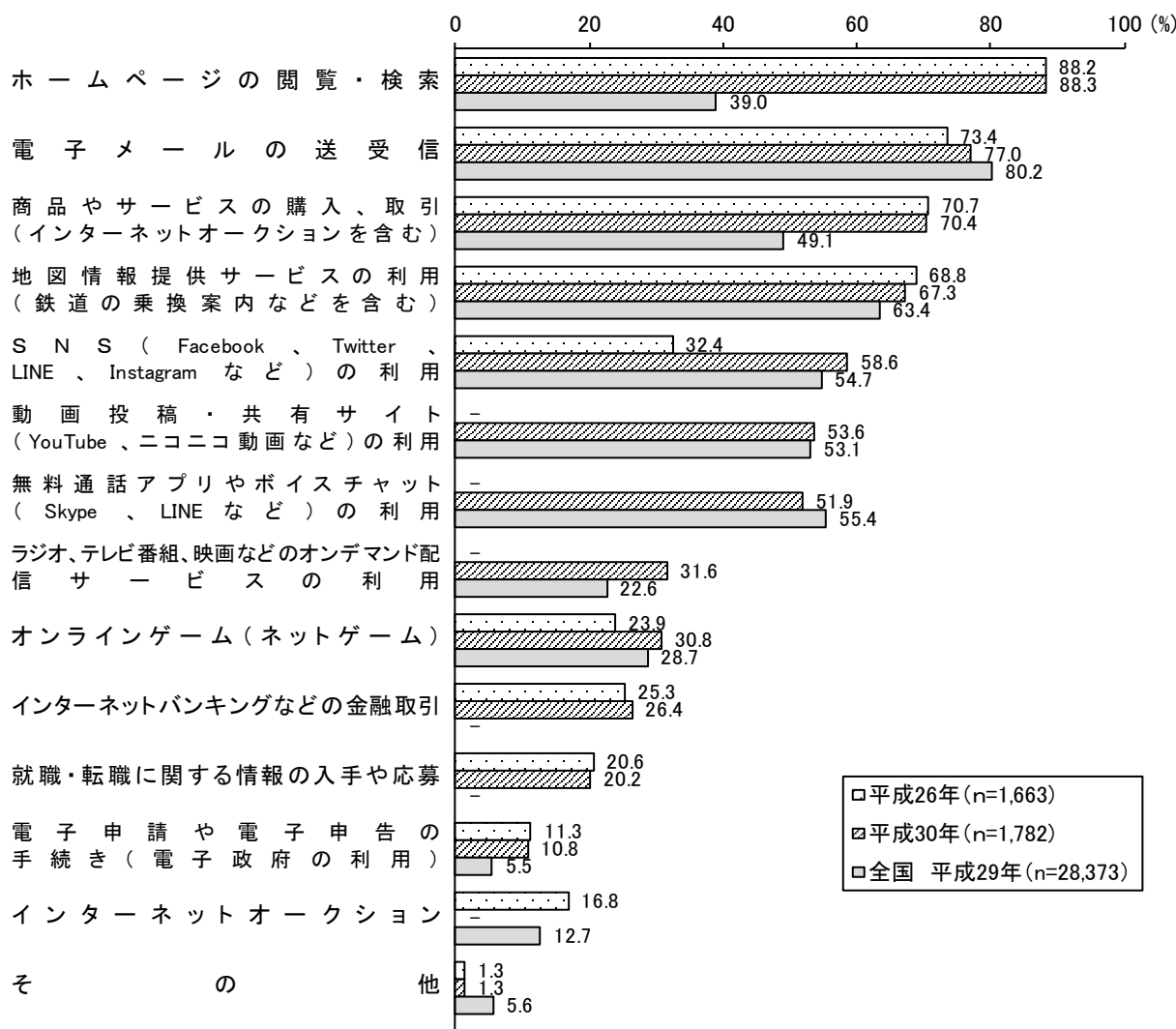
①インターネットの利用内容〔経年変化〕（複数回答）

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」は26.2ポイント増加

経年変化をみると、前回の平成26年調査（※1）から「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」（58.6%）は26.2ポイントの増加となっている。また、平成29年総務省「通信利用動向調査（※2）」における全国の「ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用」（22.6%）と比べると、9.0ポイント高くなっている。

（※2）全国の満20歳以上の世帯構成員がいる世帯、40,592世帯を対象（回収数16,117世帯）

図6-2-2 インターネットの利用内容〔経年変化〕（複数回答）



※1 平成26年調査は、選択肢の一部が以下のように異なる。

「商品やサービスの購入、取引（インターネットオークションを含む）」→「商品やサービスの購入、取引」

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」→「ソーシャルメディアの利用（SNSや電子掲示板など）」

※2 「通信利用動向調査」は、選択肢の一部が以下のように異なる。

「ホームページの閲覧・検索」→「ホームページ・ブログの開設・更新又は閲覧・書き込み」

「商品やサービスの購入、取引（インターネットオークションを含む）」→「商品やサービスの購入、取引」

「地図情報提供サービスの利用（鉄道の乗換案内などを含む）」→「地図・交通情報の提供サービス（無料のもの）」

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」→「ソーシャルネットワーキングサービスの利用」

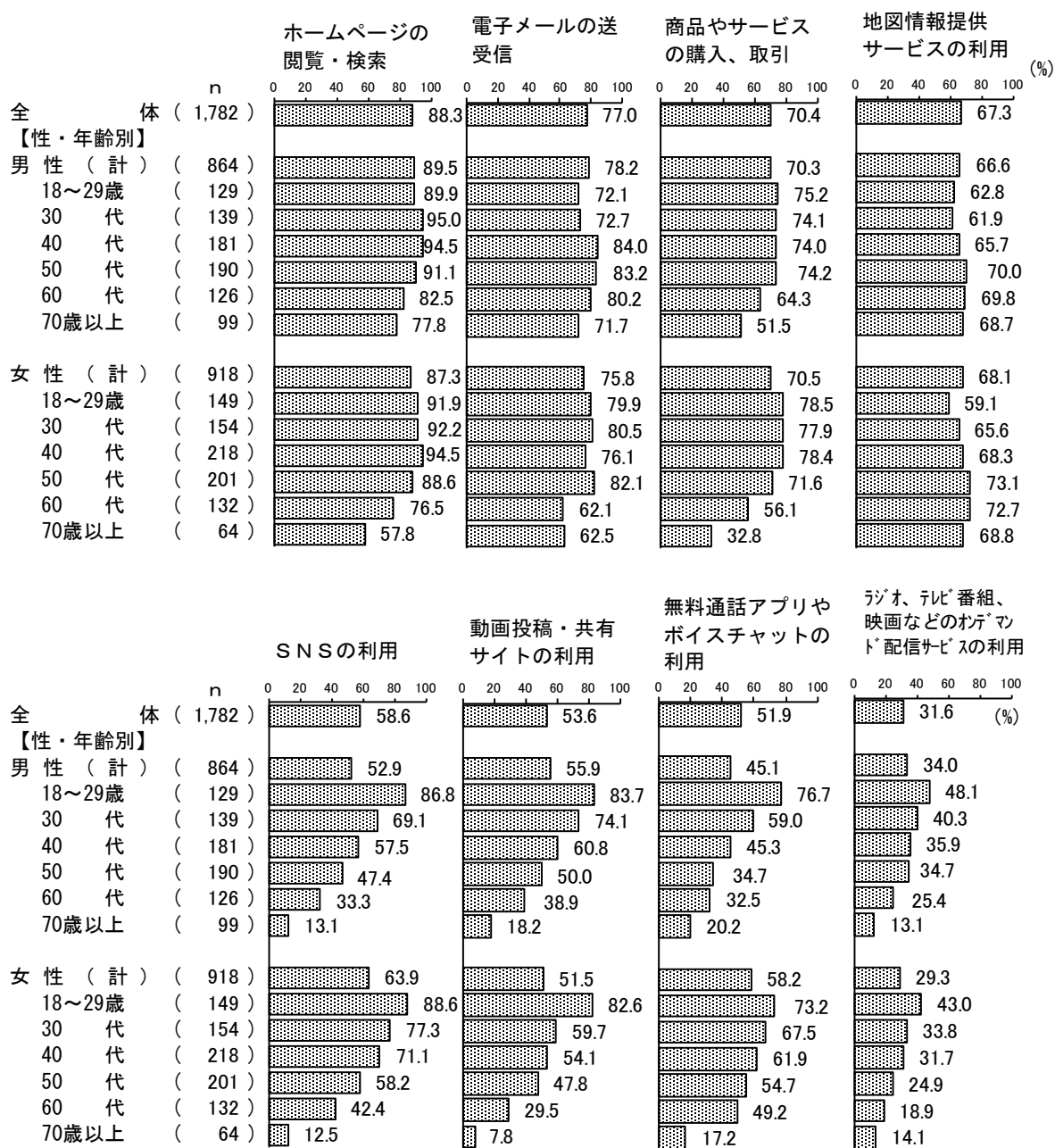
「電子申請や電子申告の手続き（電子政府の利用）」→「電子政府・電子自治体の利用」

また、上図は本調査と比較可能な項目のみ掲載した。

②インターネットの利用内容〔性・年齢別〕（複数回答）

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」は男女とも年齢が高いほど少ない
 性・年齢別にみると、「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」、「動画投稿・共有サイト（YouTube、ニコニコ動画など）の利用」、「無料通話アプリやボイスチャット（Skype、LINEなど）の利用」、「ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用」は男女とも年齢が高いほど少なくなっている。

図6-2-3 インターネットの利用内容〔性・年齢別（上位8項目）〕（複数回答）



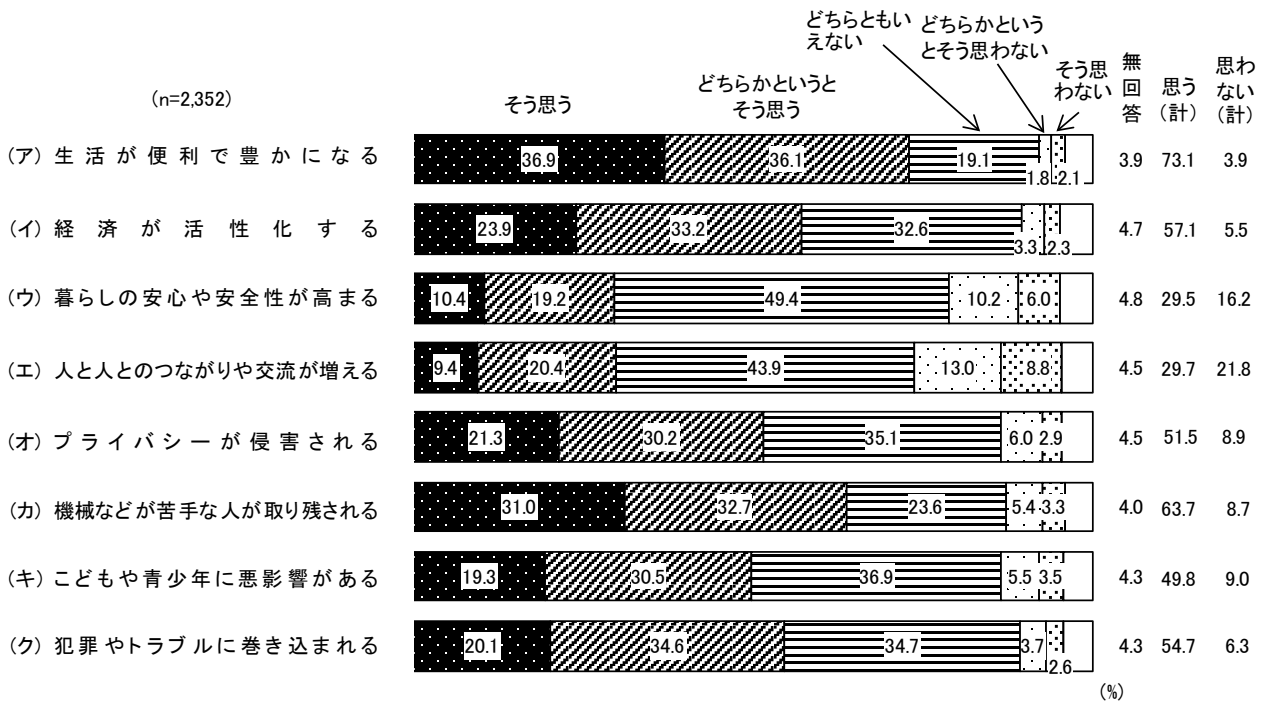
(3) 情報化の進展による影響

問 16 あなたは、情報化の進展が、暮らしに対してどのような影響を及ぼすと思いますか。
(○はそれぞれ1つ)

『思う(計)』は《生活が便利で豊かになる》で7割半ば

情報化の進展による影響について、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『思う(計)』は、《生活が便利で豊かになる》(73.1%)で7割半ば、《機械などが苦手な人が取り残される》(63.7%)で6割半ばとなっている。

図6-3-1 情報化の進展による影響[全体]



①情報化の進展による影響（ア）生活が便利で豊かになる〔経年変化〕

『思う（計）』は1.7ポイント減少

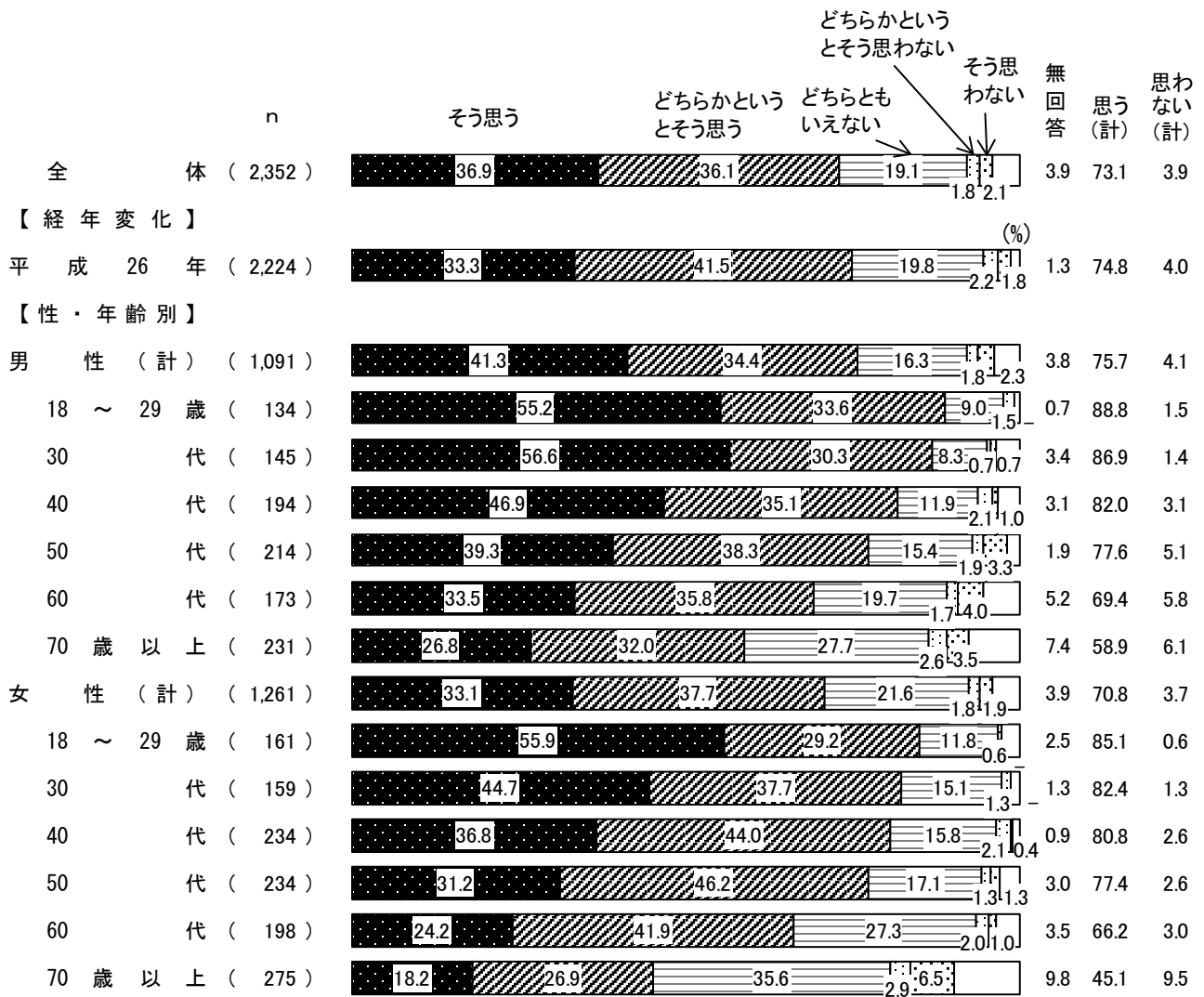
経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は1.7ポイント減少している。

②情報化の進展による影響（ア）生活が便利で豊かになる〔性・年齢別〕

『思う（計）』は男女とも年齢が高いほど少ない

性・年齢別にみると、『思う（計）』は男女とも年齢が高いほど少なくなっている。

図6-3-2 情報化の進展による影響（ア）生活が便利で豊かになる〔経年変化、性・年齢別〕



③情報化の進展による影響（イ）経済が活性化する〔経年変化〕

『思う（計）』は0.9ポイント増加

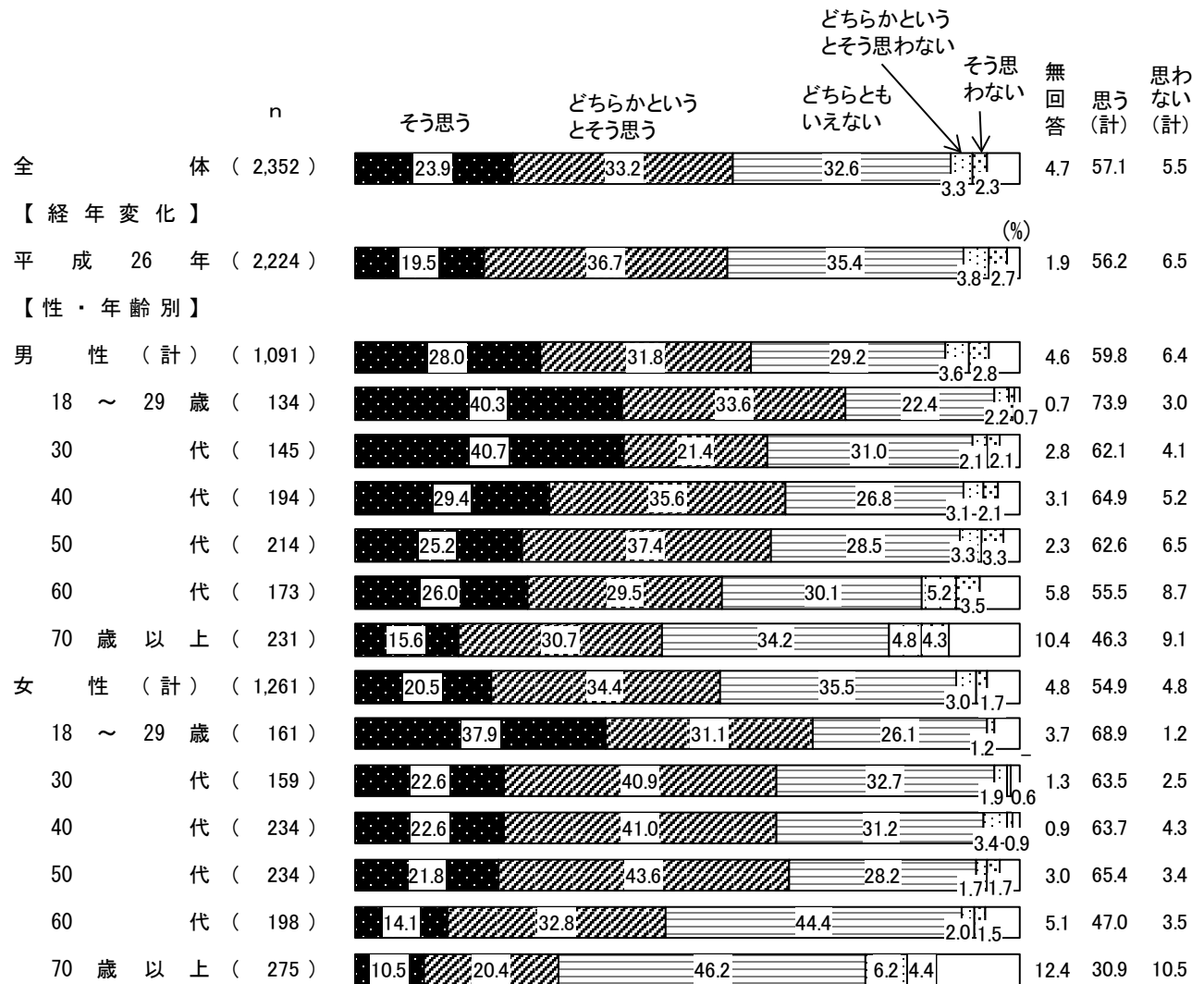
経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は0.9ポイント増加している。

④情報化の進展による影響（イ）経済が活性化する〔性・年齢別〕

『思う（計）』は男性18～29歳で7割半ば

性・年齢別にみると、『思う（計）』は男性18～29歳（73.9%）で7割半ば、女性18～29歳（68.9%）で7割近くと多くなっている。

図6-3-3 情報化の進展による影響（イ）経済が活性化する〔経年変化、性・年齢別〕



⑤情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔経年変化〕

『思う（計）』は4.3ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は4.3ポイント減少している。

⑥情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔性・年齢別〕

『思う（計）』は男性18～29歳で4割を超える

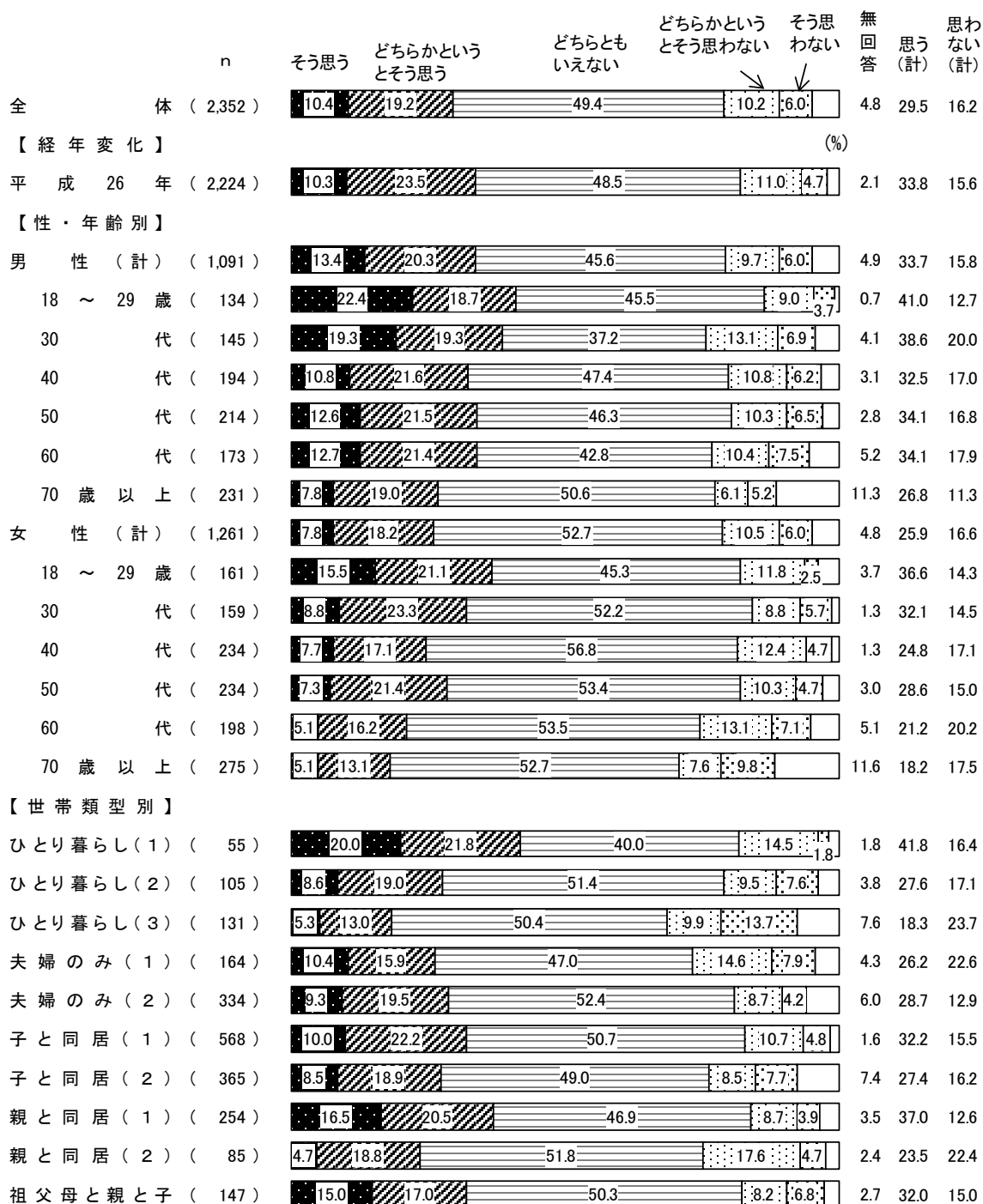
性・年齢別にみると、『思う（計）』は男性18～29歳（41.0%）で4割を超えて多くなっている。

⑦情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（1）で4割を超える

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（1）（41.8%）で4割を超えて多い。

図6-3-4 情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑧情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔経年変化〕

『思う（計）』は1.1ポイント増加

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は1.1ポイント増加している。

⑨情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性18～29歳で5割半ば

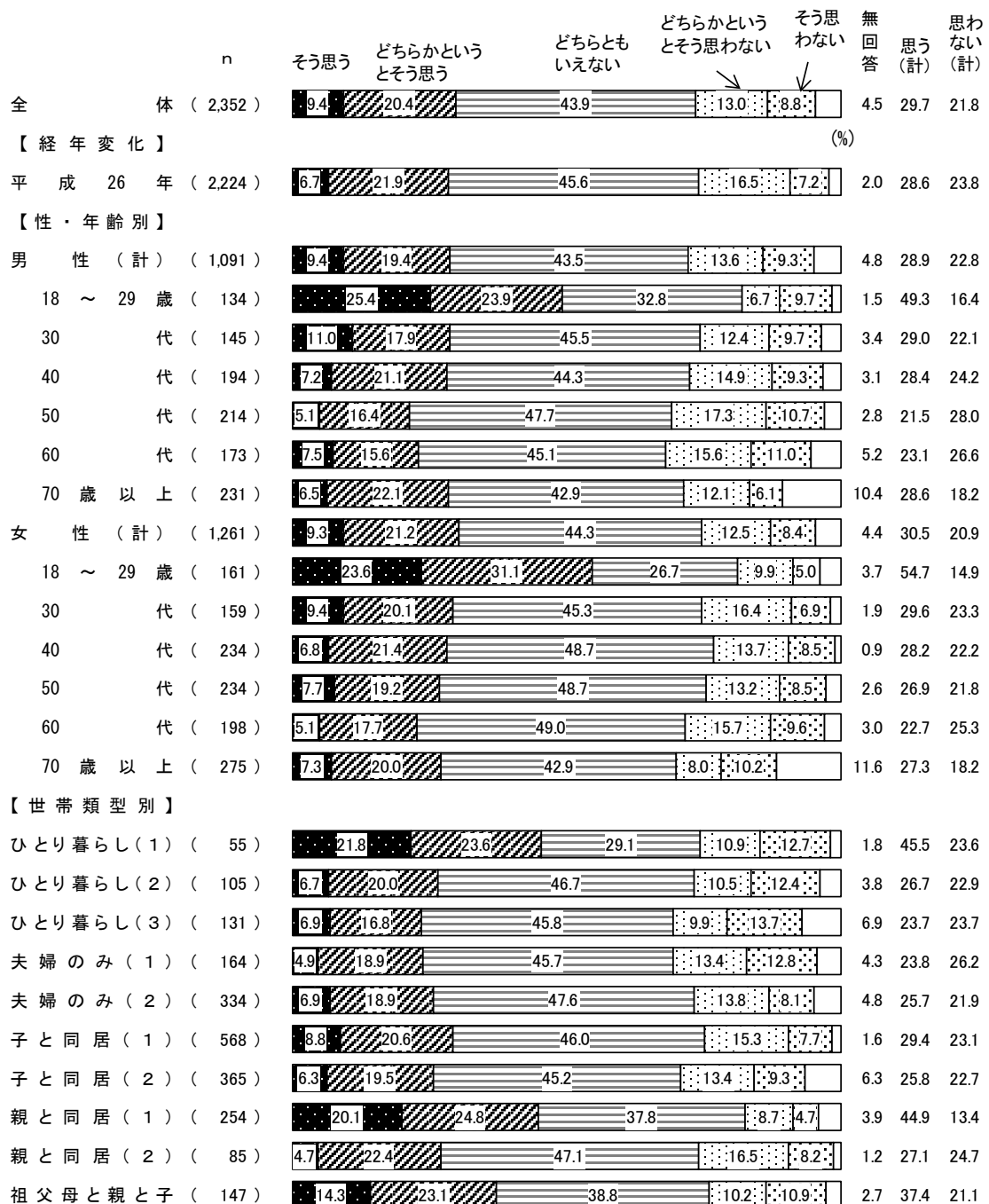
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性18～29歳（54.7%）で5割半ばと多くなっている。

⑩情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（1）、親と同居（1）で4割半ば

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（1）（45.5%）、親と同居（1）（44.9%）でともに4割半ばと多い。

図6-3-5 情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑪情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔経年変化〕

『思う（計）』は大きな違いはみられない

経年変化をみると、前回の平成 26 年調査から『思う（計）』は 0.4 ポイント増加と、大きな違いはみられない。

⑫情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性 30 代で 6 割半ば

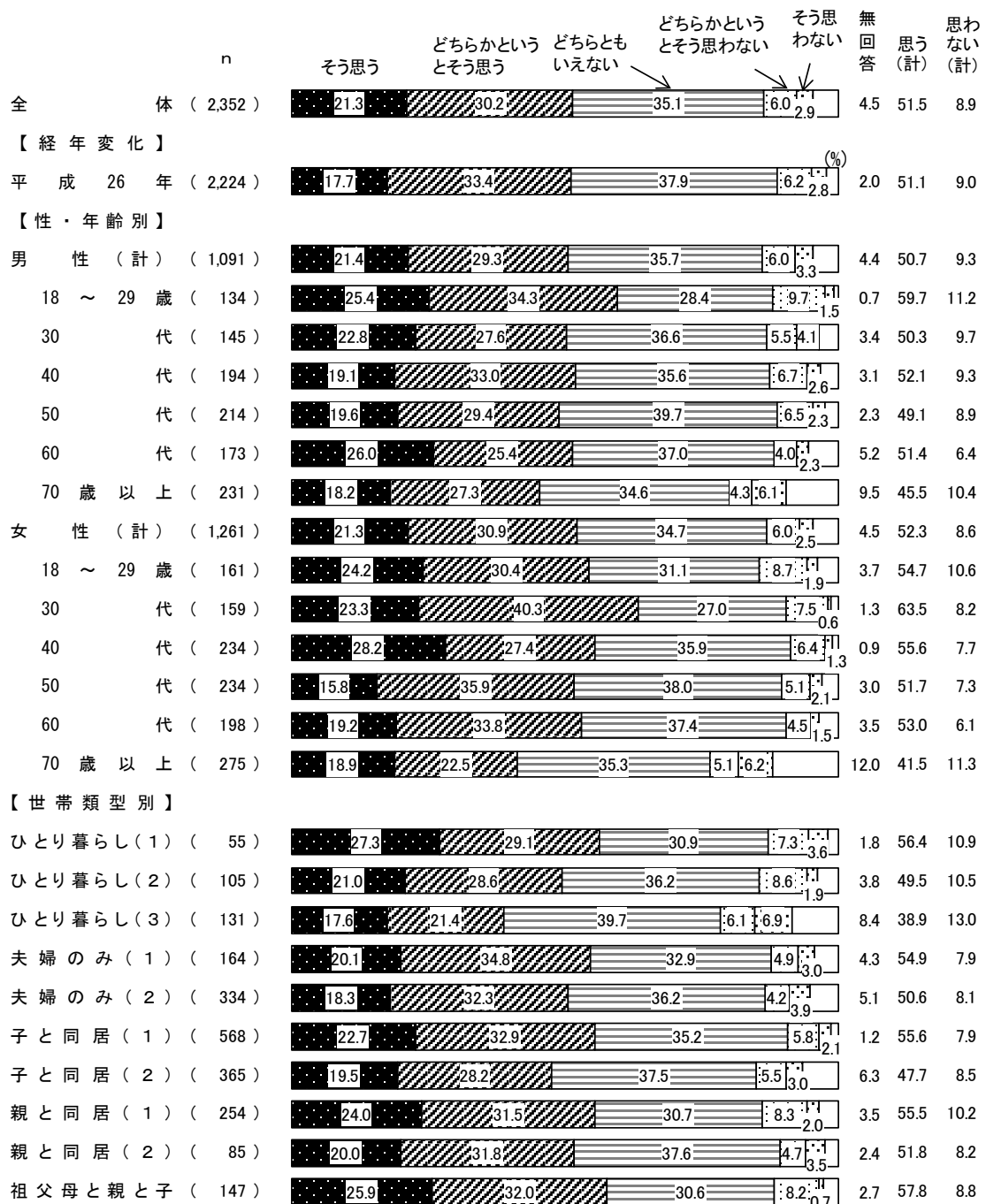
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性 30 代（63.5%）で 6 割半ばと多くなっている。

⑬情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（3）で 4 割未満と少ない

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（3）（38.9%）で 4 割未満と少ない。

図 6-3-6 情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑭情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔経年変化〕

『思う（計）』は2.0ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は2.0ポイント減少している。

⑮情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性40代で7割半ば

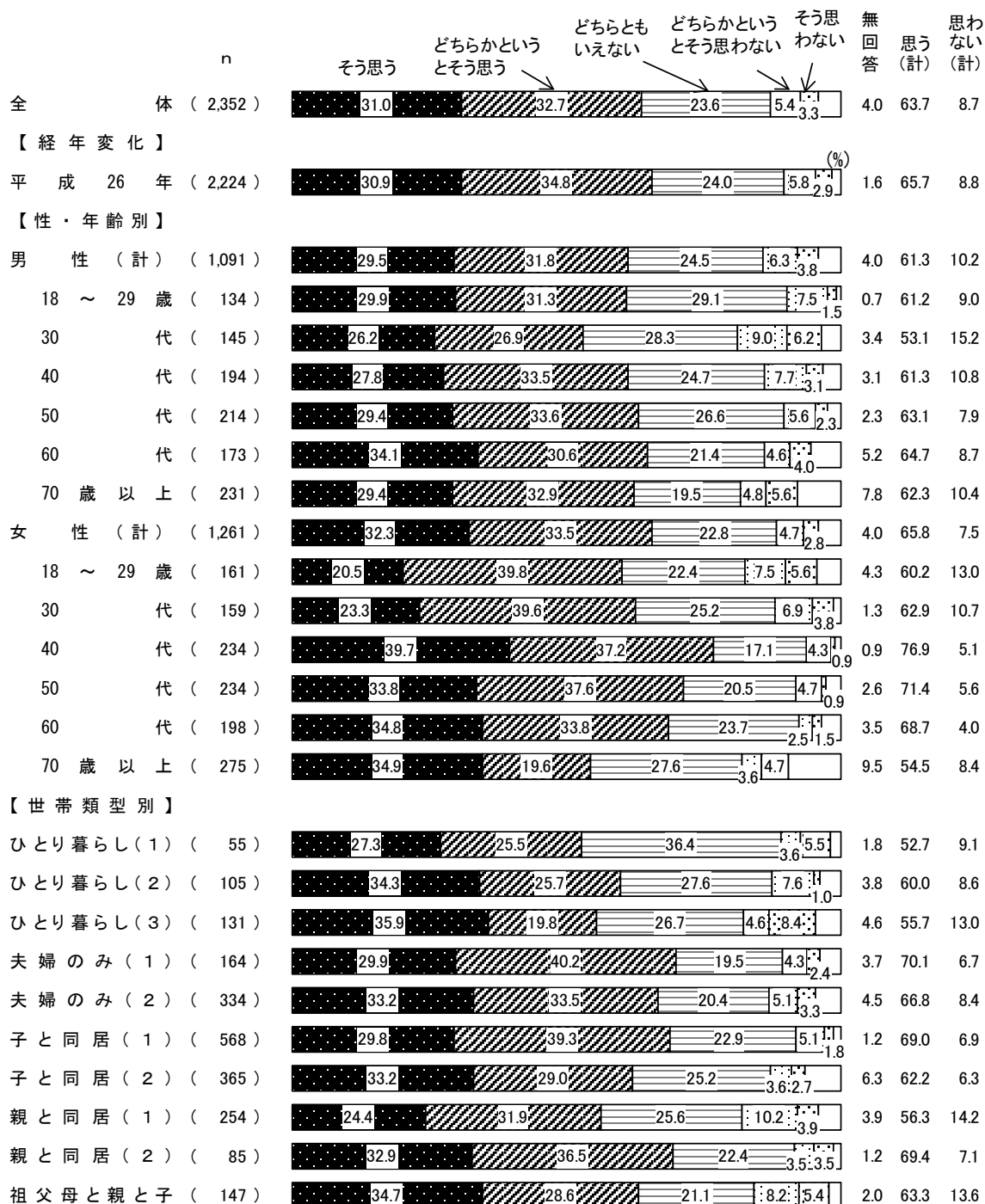
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性40代（76.9%）で7割半ばと多くなっている。

⑯情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔世帯類型別〕

『思う（計）』は夫婦のみ（1）で7割を超える

世帯類型別にみると、『思う（計）』は夫婦のみ（1）（70.1%）で7割を超えて多い。

図6-3-7 情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑰情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔経年変化〕

『思う（計）』は2.0ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は2.0ポイント減少している。

⑱情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性40代で6割半ば

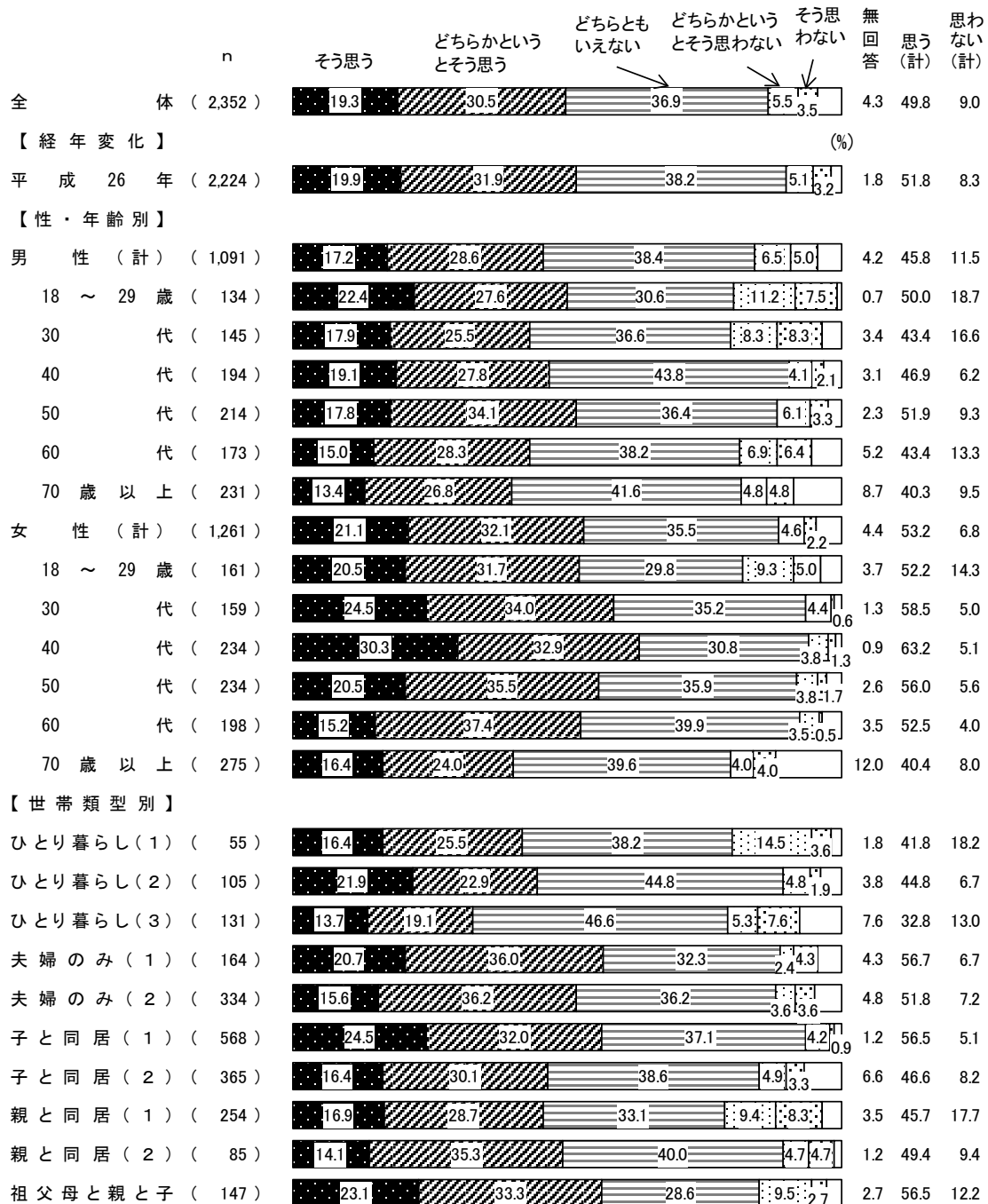
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性40代（63.2%）で6割半ばと多くなっている。

⑲情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔世帯類型別〕

『思う（計）』は夫婦のみ（1）、子と同居（1）、祖父母と親と子で5割半ば

世帯類型別にみると、『思う（計）』は夫婦のみ（1）（56.7%）、子と同居（1）、祖父母と親と子（ともに56.5%）で5割半ばと多くなっている。

図6-3-8 情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑩情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔経年変化〕

『思う（計）』は0.8ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は0.8ポイント減少している。

⑪情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性40代で6割半ば

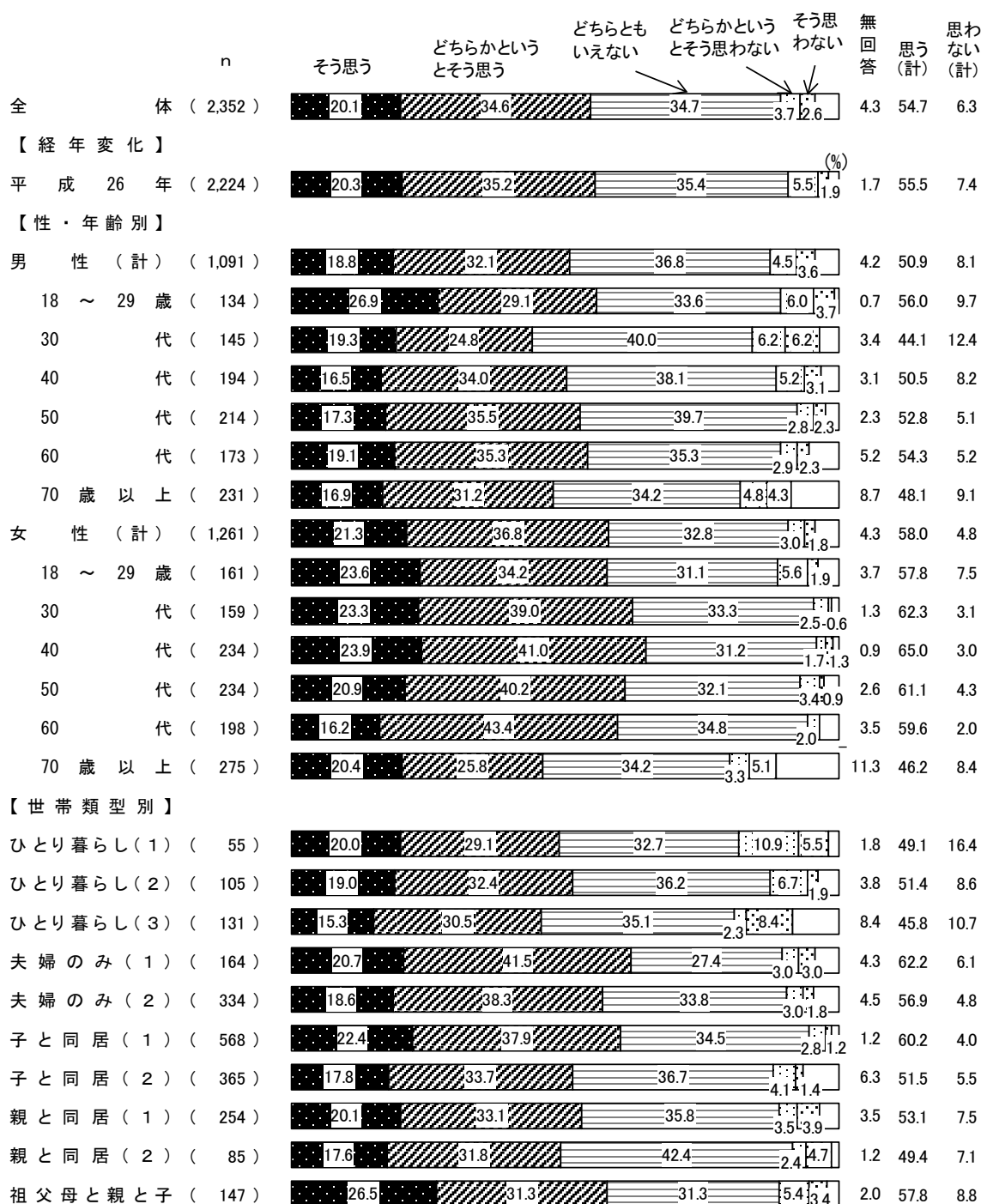
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性40代（65.0%）で6割半ばと多くなっている。

⑫情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（3）で4割半ばと少ない

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（3）（45.8%）で4割半ばと少ない。

図6-3-9 情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



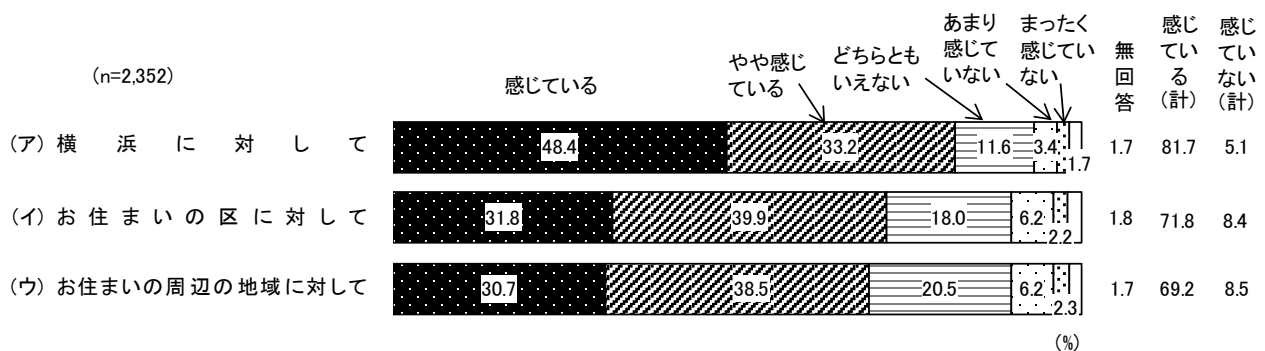
7. 地域への愛着

問 17 あなたは、横浜やお住まいの区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。（〇はそれぞれ1つ）

『感じている（計）』は《横浜に対して》で8割を超える

地域への愛着については、「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている（計）』は、《横浜に対して》（81.7%）で8割を超えている。また、《お住まいの区に対して》（71.8%）は7割を超え、《お住まいの周辺の地域に対して》（69.2%）は7割近くとなっている。

図 7-1-1 地域への愛着[全体]

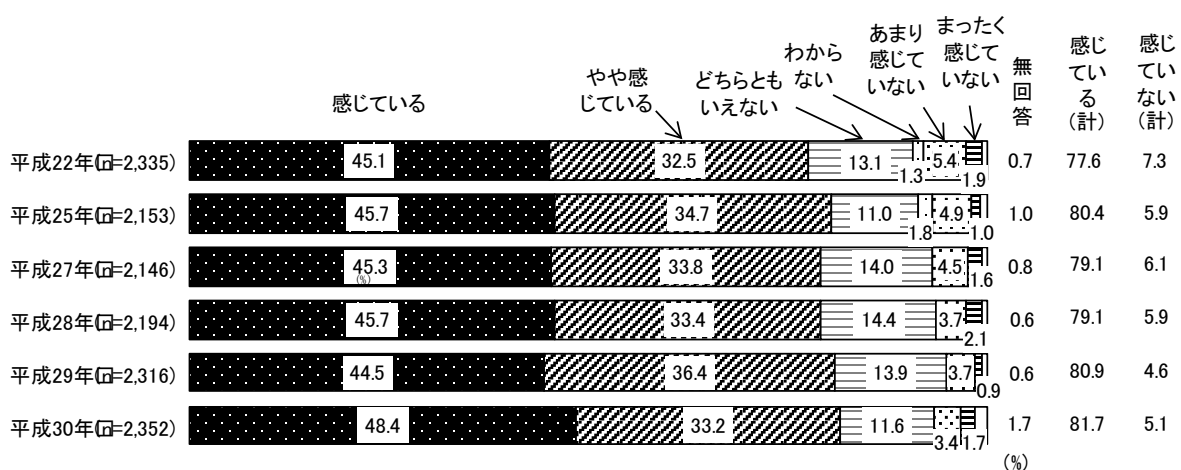


①地域への愛着（ア）横浜に対して [経年変化]

『感じている（計）』、『感じている（計）』ともに横ばい傾向

経年変化をみると、『感じている（計）』は前回調査から0.8ポイント増加、『感じている（計）』は0.5ポイントの増加と、ともに横ばい傾向となっている。

図 7-1-2 地域への愛着（ア）横浜に対して [経年変化]



※平成27年以降の調査は、「わからない」は設けていない。

②地域への愛着（ア）横浜に対して〔区別〕

『感じている（計）』は港南区、金沢区で9割近く

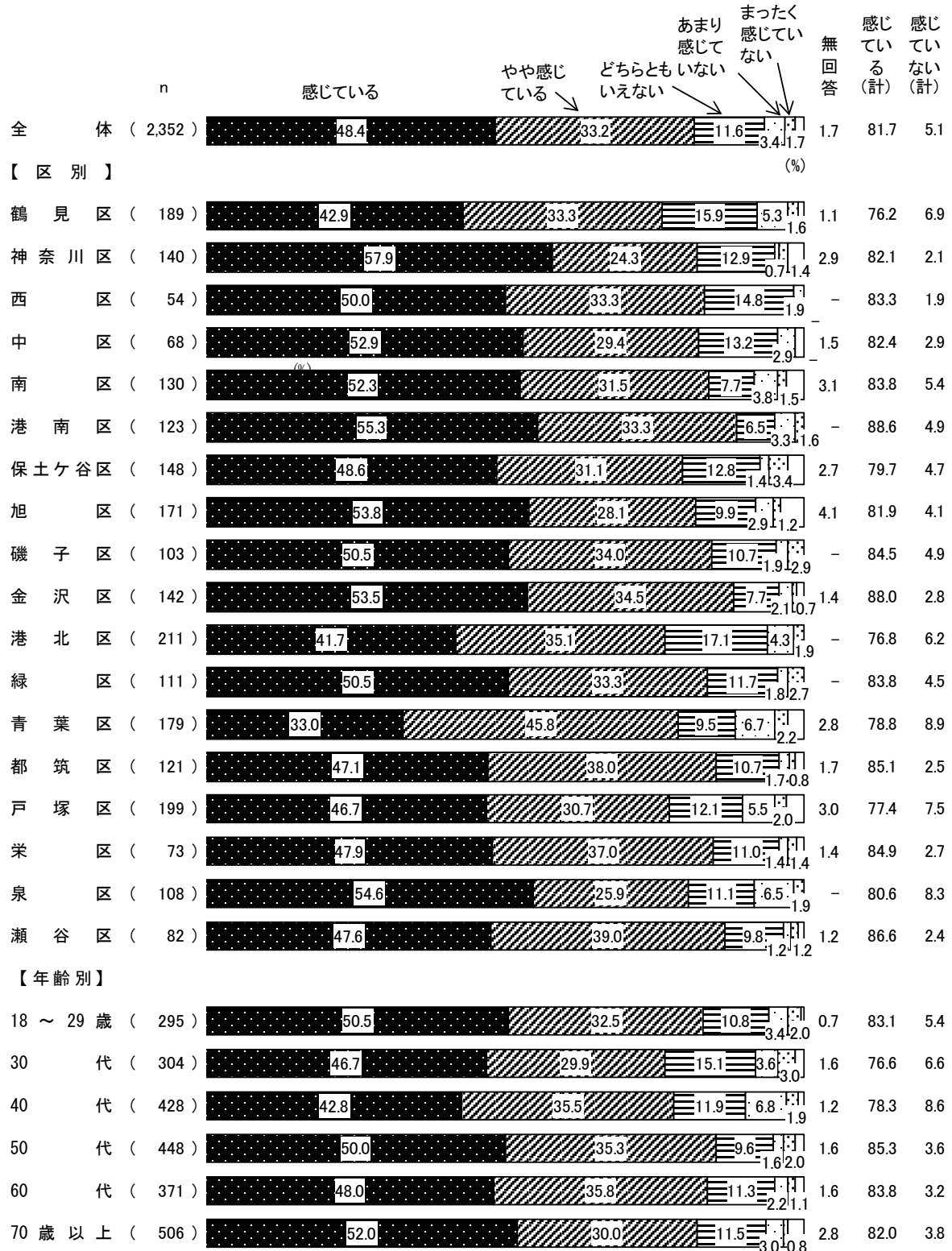
区別にみると、『感じている（計）』は港南区（88.6%）、金沢区（88.0%）で9割近くと多くなっている。

③地域への愛着（ア）横浜に対して〔年齢別〕

『感じている（計）』は30代で7割半ばと少ない

年齢別にみると、『感じている（計）』は30代（76.6%）で7割半ばと少ない。

図7-1-3 地域への愛着（ア）横浜に対して〔区別、年齢別〕

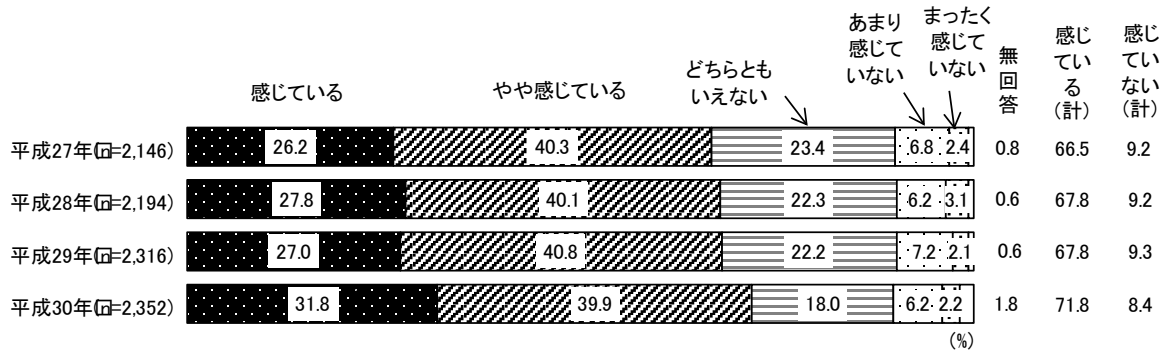


④地域への愛着（イ）お住まいの区に対して〔経年変化〕

『感じている（計）』は増加傾向

経年変化をみると、前回調査から『感じている（計）』は4.0ポイント増加し、平成27年から増加傾向にある。

図7-1-4 地域への愛着（イ）お住まいの区に対して〔経年変化〕

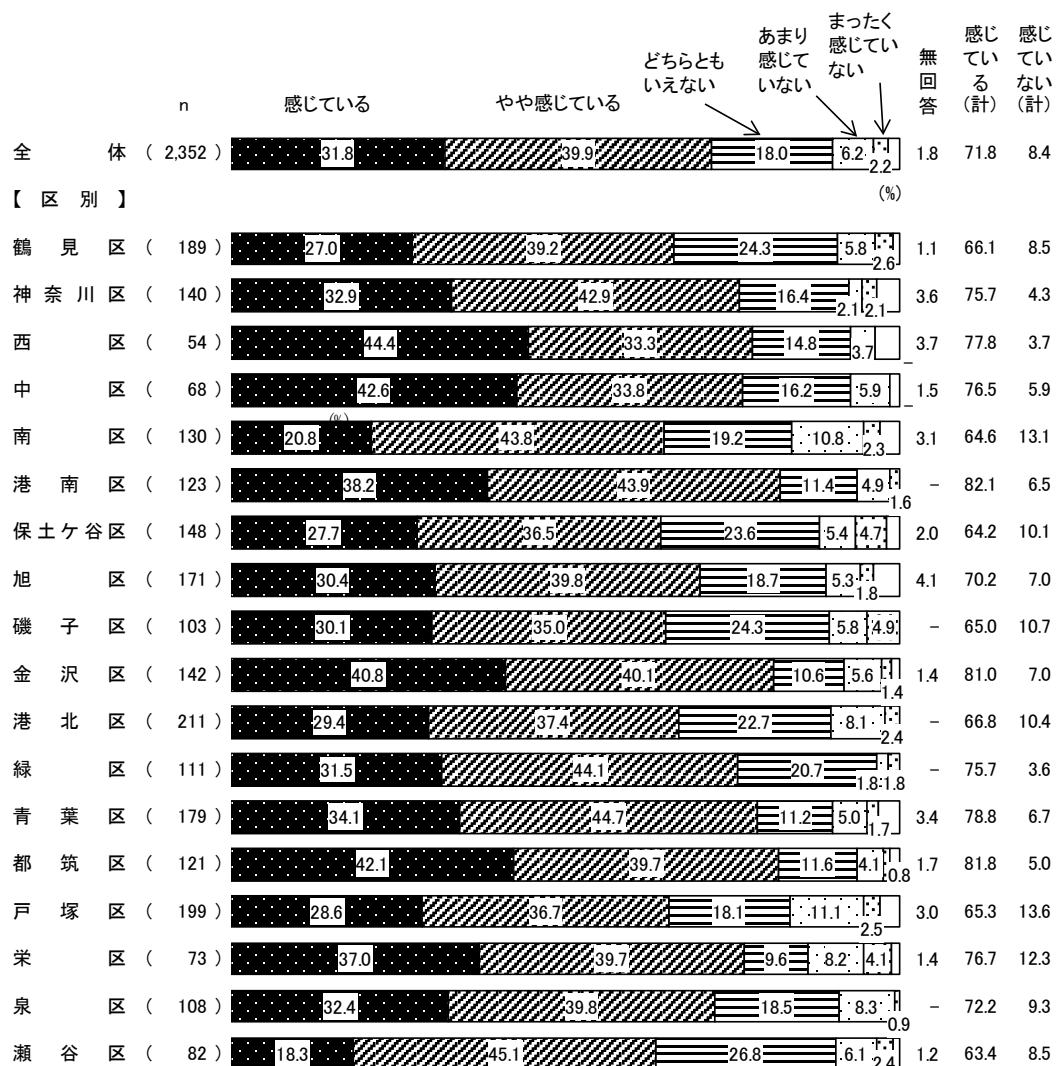


⑤地域への愛着（イ）お住まいの区に対して〔区別〕

『感じている（計）』は港南区、都筑区、金沢区で8割を超える

区別にみると、『感じている（計）』は港南区（82.1%）、都筑区（81.8%）、金沢区（81.0%）で8割を超えて多くなっている。

図7-1-5 地域への愛着（イ）お住まいの区に対して〔区別〕

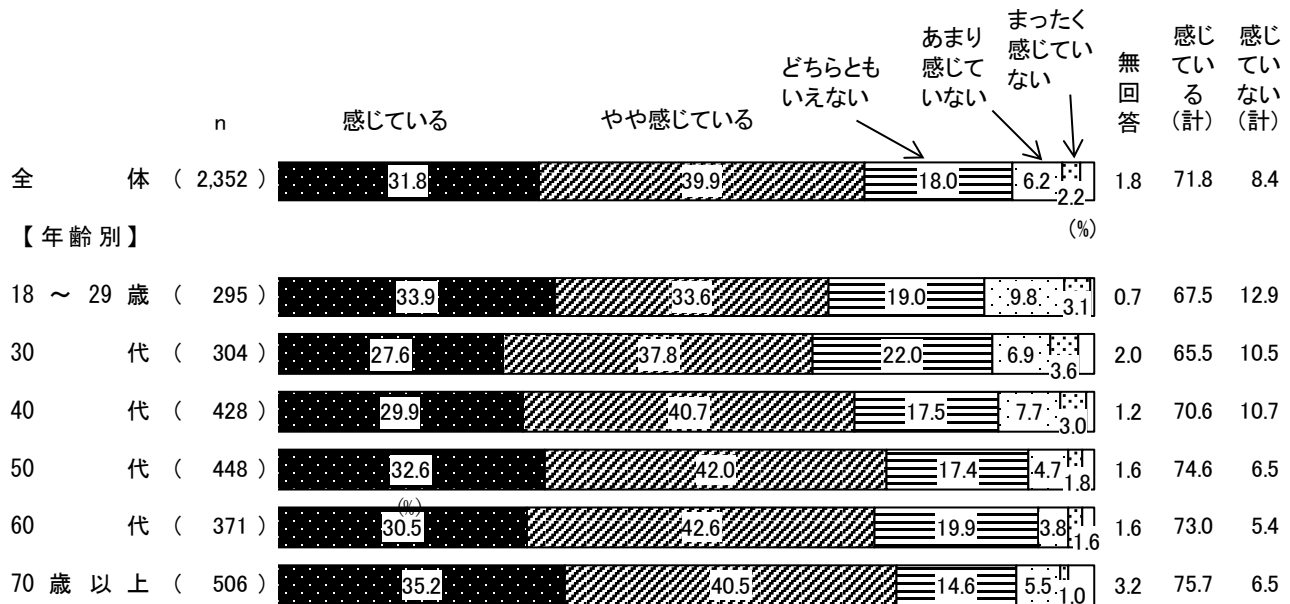


⑥地域への愛着（イ）お住まいの区に対して〔年齢別〕

『感じている（計）』はおおむね年齢が高いほど多い

年齢別にみると、『感じている（計）』はおおむね年齢が高いほど多くなっている。

図7-1-6 地域への愛着（イ）お住まいの区に対して〔年齢別〕

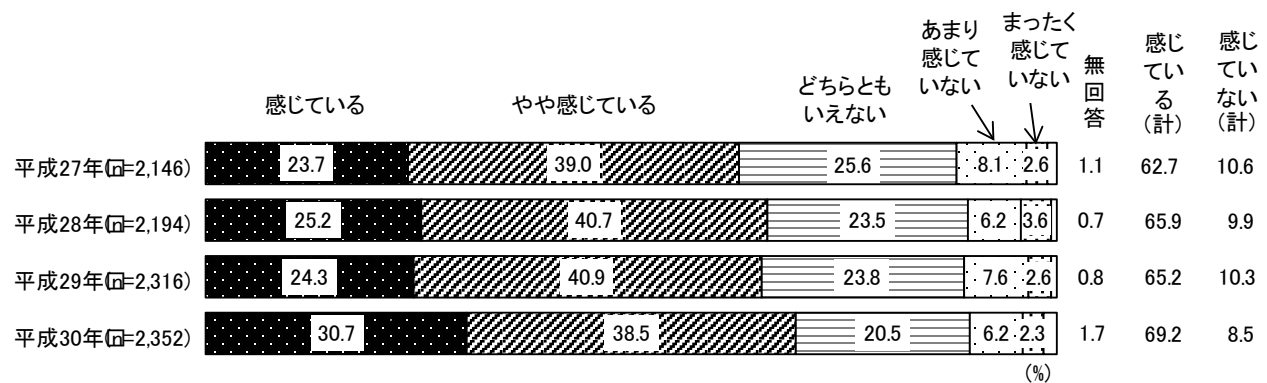


⑦地域への愛着（ウ）お住まいの周辺の地域に対して〔経年変化〕

『感じている（計）』は4.0ポイント増加

経年変化をみると、前回調査から『感じている（計）』は4.0ポイント増加している。

図7-1-7 地域への愛着（ウ）お住まいの周辺の地域に対して〔経年変化〕



⑧地域への愛着（ウ）お住まいの周辺の地域に対して〔区別〕

『感じている（計）』は瀬谷区で5割半ばと少ない

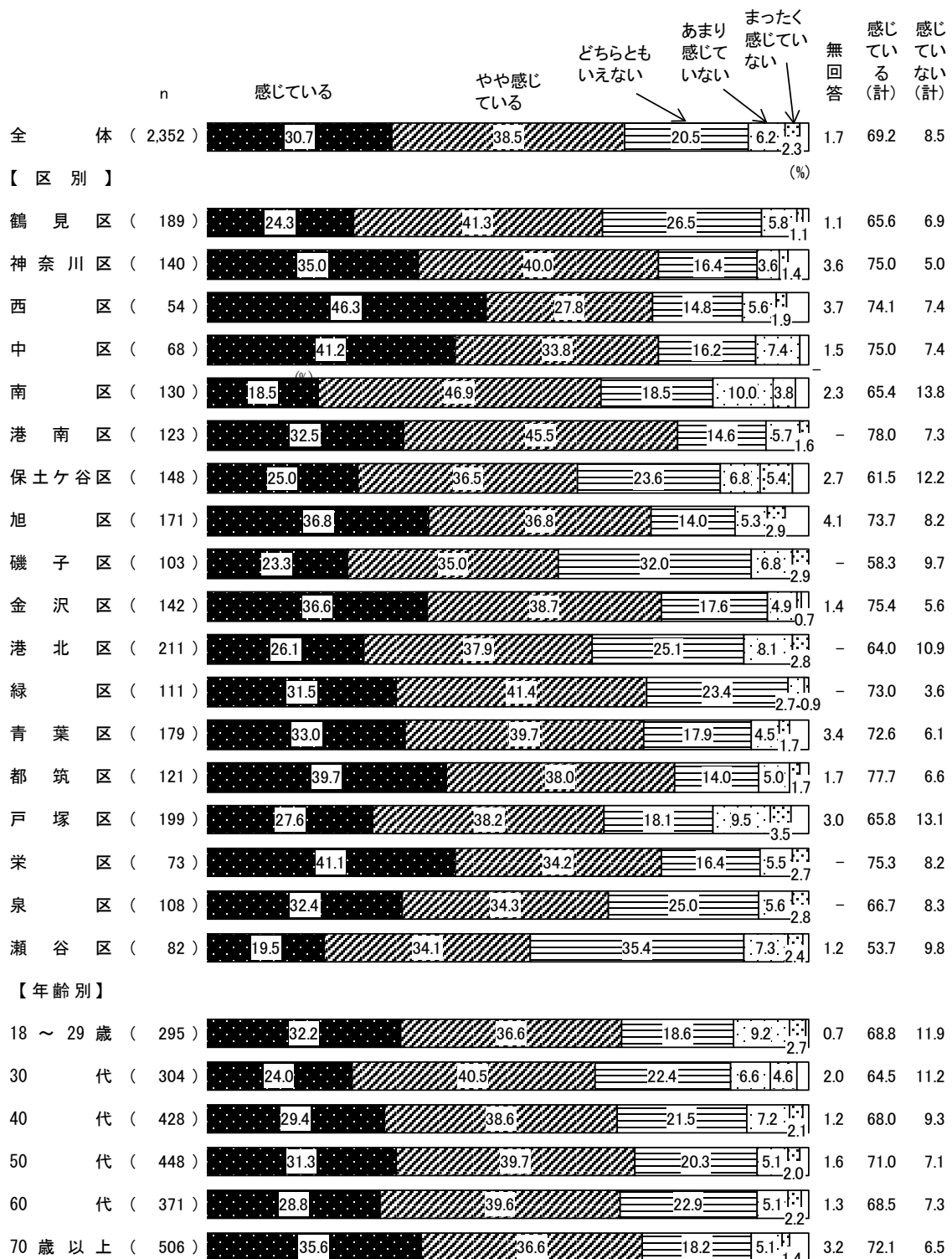
区別にみると、『感じている（計）』は瀬谷区（53.7%）で5割半ばと最も少なくなっている。

⑨地域への愛着（ウ）お住まいの周辺の地域に対して〔年齢別〕

「感じている」は70歳以上で3割半ば

年齢別にみると、「感じている」は70歳以上（35.6%）で3割半ばと多い。

図7-1-8 地域への愛着（ウ）お住まいの周辺の地域に対して〔区別、年齢別〕



平成 30 年度 横浜市民意識調査
平成 31 年 3 月発行

横浜市 政策局 政策部 政策課
〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
TEL 045 (671) 2028
FAX 045 (663) 1225
mail ss-ishiki@city.yokohama.jp

この報告書を引用する場合、出典を明記してください。